

小仁田遺跡

(主)大間々世良田線社会資本総合整備事業に伴う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書

2024

群 馬 県 桐 生 土 木 事 務 所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

小仁田遺跡

(主)大間々世良田線社会資本総合整備事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2024

群馬県桐生土木事務所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

主要地方道大間々世良田線バイパスは、太田市大原町の主要地方道桐生伊勢崎線と国道50号前橋笠懸道路を南北につなぐ道です。群馬県の高速交通網を補完する「7つの交通軸」のうち、「渡良瀬軸」の主軸に位置づけられており、北関東自動車道太田藪塚インターチェンジへのアクセス性を向上させ、高速道路網を活用した物流の効率化による産業立地の促進や観光振興などを図るとともに、現道の渋滞緩和、沿線地域住民の利便性や安全性の向上を図り、災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築することを目的とするものです。

道路予定地の発掘調査を行ったところ、みどり市笠懸町鹿地内で、弥生時代、古代、中・近世にかけての遺構、遺物が見つかりました。我が国の旧石器研究発祥の地として著名な、岩宿遺跡に程近い場所であります。今次の発掘調査成果を鑑みますと、山際遺跡や鹿の川遺跡、馬見岡遺跡など、古代の製鉄、窯業にかかわる遺跡が知られている地域であることが想い起こされます。

発掘された古代の竪穴建物や、鍛冶関連遺構からは、古代上野における産業の一中心地であった当地域の姿が浮かび上がります。新しい技術を取り入れて、郷土を発展させた、先人たちの力強さを目の当たりにする想いがいたします。郷土の歴史研究に、また、これから地域発展のために、本書をご活用いただければ幸いです。

発掘調査から報告書刊行に至るまで、多大なるご理解とご協力をいただきました、群馬県、みどり市教育委員会をはじめとする関係機関、また、地元の皆様に、心から感謝を申し上げ、序といたします。

令和6年2月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

理 事 長 向 田 忠 正

例　　言

1. 本書は、令和3年度(一)大間々世良田線社会資本総合整備事業に伴って発掘作業を実施した、小仁田遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。整理等作業は、令和5年度(主)大間々世良田線社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財整理事業により実施した。
2. 遺跡の所在地は下記のとおりである。
みどり市笠懸町鹿3573-1、3583、3595、3596、3600、3602-1、3774-1、3777-1、3777-2、3779-1、3780-1、3808-3
3. 事業主体　群馬県桐生土木事務所
4. 調査主体　公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
5. 発掘調査の期間と体制は次のとおりである。
(令和4年度)
調査期間　令和4年4月1日～令和4年7月31日(履行期間　令和4年3月31日～令和4年9月30日)
調査担当　専門員(主任)　石川真理子　専門調査役　山口逸弘
遺跡掘削工事請負　有限会社高澤考古学研究所　地上測量委託　技研コンサル株式会社
6. 整理事業の期間と体制は次のとおりである。
整理期間　令和5年5月1日～令和5年12月31日(履行期間　令和5年5月1日～令和6年2月29日)
整理担当　専門調査役　洞口正史
金属製品・有機質遺物保存処理　専門員(主任)　板垣泰之　専門調査役　閔　邦一
7. 本書作成の担当者は以下のとおりである。
編集・本文執筆　第1章・第2章・第3章第1節　洞口正史　第3章第2節　専門調査役　神谷佳明
デジタル編集　主任調査研究員　齊田智彦
遺構写真撮影　発掘調査担当者
遺物写真撮影　石器・石製品：上席調査研究員・資料統括　閔口博幸　土師器・須恵器：洞口正史
陶磁器：専門調査役　大西雅広　　金属製品：板垣泰之
遺物観察　石器・石製品：閔口博幸　繩文土器：主任調査研究員・資料統括　橋本　淳
土師器・須恵器：神谷佳明　陶磁器：大西雅広　　金属・木製品：板垣泰之
8. 発掘調査諸資料及び出土遺物は群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。
9. 発掘調査および報告書作成に際して、群馬県地域創生部、みどり市教育委員会にご協力・ご指導をいただいた。

凡　　例

1. 本書で使用した座標・方位は、すべて国家座標第IX系(世界測地系)を用いた。
2. 遺構挿図中に国家座標X・Y値を示したが、便宜的に下3桁のみを用いて表記することがある。
3. 遺構の種別及び遺構番号は原則として発掘時に従う。遺構番号の振替を行った遺構は、遺構一覧表に新旧の対応を示した。
4. 等高線・遺構断面図基準線等に記した数値は標高(単位：m)を表す。

5. 長さ・巾・深さ及び面積については、遺構図からの読み取り値を、1cm・0.1mを最小単位として記載した。
6. 遺構図および断面図の縮尺は原則として以下のとおりとし、各挿図にスケールを添えた。調査区の全体図等及び細部にわたる表現が必要な遺構・遺物図については、紙幅の範囲内で、遺構の形状を最も把握しやすいと思われる縮尺を採用した。同一図内に異なる縮尺の図が加わる場合は、必要に応じて該当する遺物番号に続けて()内に縮尺を記した。

遺構図 積穴建物・豊穴状遺構・井戸・土坑・ピット・溝1:60 窟1:30

遺物図 土師器・須恵器1:3、1:4 陶器1:4 繩文土器1:3 石製品1:2 金属製品1:2

7. 遺構の主軸方位・走行を記載する際は、座標北を基準として東に傾いた場合はN-○°-E、西に傾いた場合はN-○°-Wと表記した。

8. 土層・土器の色調はともに「新版標準土色帳」の基準色および慣用名を使用することとしているが、必ずしも統一されていない。基準色、慣用名が使用されていない場合には、発掘担当者の記載に従った。

9. 文中で使用した火山灰堆植物等の略称と年代・給源は次のとおりである。

As-B 浅間Bテフラ 天仁元(1108)年(浅間山)

As-C 浅間Cテフラ 4世紀(浅間山)

As-YP 浅間板鼻黄色テフラ 15~16.5ka(浅間山)

As-BP 浅間板鼻褐色テフラ群 20~25ka(浅間山)

10. 遺物番号は本文・挿図・表・写真図版の番号と一致する。図・写真的掲載を行っていない遺物もある。

11. 遺物写真は基本的に遺物図とおおよそ同一縮尺となるようにした。

12. 遺構図内に使用したスクリーントーン及びドットは以下を示す。また、必要に応じて図内に内容を記した。



13. 遺物図内に使用したスクリーントーン及び記号は以下を示す。



土器ケズリの方向 ← 火打ち石潰れ部 • 石器使用痕範囲 ← →
土器断面実測図中の●は繊維含有を表している。

14. 本書で使用した地図は以下のとおりである。

国土地理院20万分の1地勢図 「宇都宮」 平成18年4月1日発行

目 次

序	
例言	
凡例	
目次	
挿図・表・写真図版目次	
第1章 小仁田遺跡の発掘調査 ······	1
第1節 発掘調査に至る経過 ······	1
第2節 発掘作業・整理等作業の経過 ······	1
第3節 小仁田遺跡の位置と地理的・歴史的環境 ······	2
第4節 発掘作業・整理等作業の方法と 本書の編集 ······	5
第2章 発掘された遺構と遺物 ······	6
第1節 概要 ······	6
第2節 1区 ······	6
第3節 2区 ······	15
第4節 3区 ······	31
第5節 4区 ······	48
第6節 5区 ······	56
第7節 6区 ······	67
第8節 7区 ······	73
第9節 8区 ······	79
第10節 9区 ······	98
第11節 10区 ······	103
第12節 遺構外出土遺物 ······	106
第3章 発掘調査のまとめと成果 ······	111
第1節 発掘調査のまとめ ······	111
第2節 小仁田遺跡8号竪穴建物出土の 須恵器杯について ······	111
遺構一覧表 ······	117
遺物観察表 ······	131
写真図版	
報告書抄録	

挿図目次

第1図 小仁田道路の位置 ······	2
第2図 小仁田道路周辺の主な道路 ······	3
第3図 小仁田道路の調査区配置と標準土層・微地形 ······	7
第4図 1区の遺構配置と土層 ······	8
第5図 1区上坑・ビット	9
第6図 1区部分図1 ······	10
第7図 1区部分図2 ······	11
第8図 1号柱穴列 ······	12
第9図 1区部分図3／2号柱穴列 ······	13
第10図 1区部分図4／3・4号柱穴列 ······	14
第11図 2区の遺構配置と土層 ······	15
第12図 2区部分図1 ······	16
第13図 2区部分図2 ······	18
第14図 1号井T・9号溝・1号井戸出土遺物 ······	19
第15図 2区部分図3 ······	20
第16図 2区部分図3断面 ······	21
第17図 2区部分図4 ······	22
第18図 2区出土遺物／1・2号樋／1号柱立柱建物1 ······	24
第19図 1号柱立柱建物2 ······	25
第20図 8号竪穴建物1 ······	26
第21図 8号竪穴建物2 ······	27
第22図 8号竪穴建物3 出土遺物1 ······	28
第23図 8号竪穴建物4 出土遺物2 ······	29
第24図 8号竪穴建物5 出土遺物3 ······	30
第25図 8号竪穴建物6 出土遺物4 ······	31
第26図 3区の遺構配置と土層 ······	32
第27図 3区部分図1 ······	33
第28図 3区部分図2 ······	35
第29図 3区部分図3／火葬跡 ······	37
第30図 3区部分図4 ······	39
第31図 3区出土遺物1 ······	40
第32図 3区出土遺物2 ······	41
第33図 1号竪穴建物 ······	41
第34図 2号竪穴建物1 ······	42
第35図 2号竪穴建物2 ······	43
第36図 2号竪穴建物3 出土遺物1 ······	44
第37図 2号竪穴建物4 出土遺物2 ······	45
第38図 3号竪穴建物1 ······	46
第39図 3号竪穴建物2 ······	47
第40図 4区の遺構配置と土層 ······	49
第41図 4区部分図1／191号上坑出土遺物 ······	50
第42図 4区部分図2／185号上坑・257号ビット出土遺物 ······	51
第43図 6号竪穴建物1 ······	52
第44図 6号竪穴建物2 ······	53
第45図 7号竪穴建物1 ······	54
第46図 7号竪穴建物2 ······	55
第47図 5区の遺構配置 ······	56
第48図 5区部分図1 ······	57

第49図	5区部分図1 断面	58	第75図	8区部分図3	85
第50図	5区部分図2	59	第76図	8区部分図2 断面	86
第51図	5区部分図2 断面	60	第77図	8区部分図4	87
第52図	5区部分図3	61	第78図	2号堅立柱建物・5号樁	88
第53図	5区部分図3 断面	62	第79図	4号堅穴建物1	89
第54図	5区部分図4	63	第80図	4号堅穴建物2	90
第55図	5区部分図4 断面	64	第81図	4号堅穴建物3	91
第56図	5区出土遺物	65	第82図	5号堅穴建物1	92
第57図	1号堅穴状構造	66	第83図	5号堅穴建物2	93
第58図	6区の道構配位置と土層	68	第84図	9号堅穴建物	94
第59図	6区部分図1	69	第85図	9区の道構配	95
第60図	6区部分図2 / 121号土坑出土遺物	70	第86図	9区の土層	96
第61図	6区部分図3	71	第87図	9区部分図1 / 430号ビット出土遺物	97
第62図	6区部分図4	72	第88図	9区部分図2	99
第63図	7区の道構配位置	73	第89図	9区部分図2 断面	100
第64図	7区出土遺物	74	第90図	9区部分図3	101
第65図	7区部分図1	75	第91図	9区部分図4	102
第66図	7区部分図2	76	第92図	9区部分図5	104
第67図	7区部分図3	77	第93図	10区の道構配 / 10区部分図1	105
第68図	7区部分図4	78	第94図	10区部分図2 / 10区出土遺物	106
第69図	8区の道構配位置	79	第95図	遺構外出土遺物1	107
第70図	8区の土層	80	第96図	遺構外出土遺物2	108
第71図	8区出土遺物	80	第97図	遺構外出土遺物3	109
第72図	8区部分図1	81	第98図	遺構外出土遺物4	110
第73図	8区部分図2	82	第99図	時間別の道構・遺物出土状況	110
第74図	8区部分図2 断面	83			

表 目 次

第1表	小仁田道路周辺の主な道路	4
第2表	発掘調査構造の概要	6
第3表	小仁田道路8号堅穴建物須恵器杯	112

第4表	新川八幡三道路H-8号堅穴建物出土須恵器杯	114
第5表	須恵器杯技法一覧	116

写真図版目次

■ 鹿山山中腹から南の発掘調査地を望む

- PL. 1
 1. 薩摩原 周から
 2. 道路原 周東から
 3. 1区 周から
 4. 1区 北から
 5. 1区土坑断面Aライン(基本土層) 西から
 6. 1区土坑断面Bライン(2トレンチ北壁) 南から
 7. 1区土坑断面Cライン(2トレンチ東壁) 西から
 8. 1区土坑断面Dライン(1トレンチ東壁) 南から
 PL. 2
 1. 1区土坑断面Eライン(1トレンチ東壁) 西から
 2. 2号柱 東から
 3. 2号堅穴断面Aライン 西から
 4. 2号堅穴断面Bライン 處から
 5. 1区北側の柱・ビット 西から
 PL. 3
 1. 47・48号土坑 西から
 2. 55号土坑・121号ビット断面 西から
 3. 56・57号土坑 東から
 4. 57号土坑断面 西から
 5. 58号土坑断面 南から
 6. 59・60号土坑 南から
 7. 59・60号土坑断面 南から
 8. 61号土坑 西から
 9. 62号土坑 南から
 10. 62号土坑壁・変化物出土状況 南から
 11. 62号土坑断面 南から
 12. 2号堅穴のビット 東から
 PL. 4
 1. 1号堅穴(119~121号ビット) 東北から
 2. 1号堅穴(119号ビット)断面 南から
 3. 1号堅穴(2号120号ビット)断面 北から
 4. 1号堅穴(3号121号ビット)断面 北から
 5. 2号堅穴(123・127・128号ビット)/126・129号ビット 南から

6. 2号柱穴(122号ビット)断面 南から
 7. 2号堅穴(2号121号ビット) / 126号ビット断面 東から
 8. 2号堅穴(3号128号ビット)断面 南から
 9. 3号堅穴(3号・133号ビット) 西から
 10. 3号堅穴(1号123号ビット)断面 南から
 11. 3号堅穴(2号122号ビット)断面 南から
 12. 4号堅穴(134~136号ビット) 東から
 13. 4号堅穴(1号124号ビット)断面 南から
 14. 4号堅穴(2号123号ビット)断面 南から
 15. 4号堅穴(3号136号ビット)断面 南から
 PL. 5
 1. 2区 南から
 2. 2区 北から
 3. 2区土坑断面Aライン(16トレンチ北壁) 南から
 4. 2区土坑断面Bライン(16トレンチ東壁) 西から
 5. 2区土坑断面Cライン(17トレンチ北壁) 南から
 6. 2区土坑断面Dライン(17トレンチ東壁) 西から
 7. 195号土坑断面 東から
 8. 196・197号土坑断面 南から
 9. 198号土坑断面 東から
 PL. 6
 1. 199号土坑断面 南から
 2. 200・201号土坑断面 東から
 3. 202~204号土坑・305号ビット断面 南から
 4. 205~207号土坑断面 東から
 5. 208号土坑断面 東から
 6. 209・210号土坑断面 南から
 7. 211号土坑断面 南から
 8. 212・231号土坑 東から
 9. 213号土坑断面 東から
 10. 214号土坑断面 東から
 11. 215号土坑断面 東から
 12. 216号土坑 東から

13. 217・218号土坑／322号ピット 南から
14. 219号土坑断面 西から
15. 220号土坑断面 南から
- PL. 7 1. 221・222号土坑断面 南から
2. 225号土坑 西から
3. 226号土坑 西から
4. 228号土坑断面 南から
5. 229号土坑断面 東から
6. 232号土坑断面 西から
7. 233号土坑断面 東から
8. 234号土坑断面 東から
9. 235号土坑断面 南から
10. 237号土坑断面 南から
11. 1号戸口・9号溝 東から
12. 1号戸口 南から
13. 1号戸口右端面 曲から
14. 9号溝 東から
- PL. 8 1. 1・2号窓／1号獨立柱建物 南から
2. 1号戸口 P 2(299号ピット) 南から
3. 1号戸口 P 3(299号ピット) 南から
4. 1号戸口 P 4(285号ピット) 南から
5. 2号戸口 P 1(290号ピット) 南から
6. 2号窓 P 2(296号ピット) 西から
7. 2号戸口 P 2(296号ピット)下部 西から
8. 2号戸口 P 4(288号ピット) 西から
9. 1号獨立柱建物 P 1(280号ピット) 南から
10. 1号獨立柱建物 P 3(271号ピット) 西から
11. 1号獨立柱建物 P 4(272号ピット) 南から
12. 1号獨立柱建物 P 5(288号ピット) 東から
- PL. 9 1. 8号窓穴建物断面 北西から
2. 8号窓穴建物断面Dライン 南西から
3. 8号窓穴建物断面Eライン 北西から
4. 8号窓穴建物断面F 北西から
5. 8号窓穴建物断面 G 北西から
6. 8号窓穴建物断面H Aライン 南西から
7. 8号窓穴建物断面I Bライン 北西から
8. 8号窓穴建物断面J Cライン 北西から
PL. 10 1. 8号窓穴建物断面K 土状壁 南北から
2. 8号窓穴建物断面L 土状壁 南北から
3. 3区 南から
4. 3区A号窓断面A ライン(3トレンチ北壁) 南から
5. 3区A号窓断面B ライン(3トレンチ東壁) 西から
6. 3区A号窓断面C ライン(4トレンチ南壁) 北から
7. 3区A号窓断面D ライン(4トレンチ西壁) 東から
- PL. 11 1. 3号窓断面の土壁 ピット 南から
2. 67号土坑断面 南から
3. 68号土坑断面 南から
4. 69号土坑断面 南から
5. 70号土坑断面 南から
6. 71号土坑断面 東から
7. 72号土坑断面 東から
8. 73号土坑断面 東から
9. 74号土坑断面 南から
10. 75号土坑断面 東から
11. 76号土坑断面 東から
12. 77号土坑断面 西から
- PL. 12 1. 78号土坑断面 南から
2. 79号土坑断面 南から
3. 80号土坑断面 東から
4. 81号土坑断面 東から
5. 82・83号土坑断面 南から
6. 84号土坑／167・168号ピット 南から
7. 85号土坑・170号ピット 北東から
8. 86号土坑・168号ピット 南から
9. 88・90号土坑断面 南東から
10. 99号土坑断面 南から
11. 91号土坑断面 南から
12. 92号土坑断面 南から
13. 93号土坑断面 北から
14. 94・96号土坑 南から
- PL. 13 1. 6号窓北の土坑 ピット 南から
2. 94・96号土坑断面 南から
3. 97号土坑断面 東から
4. 98・99号土坑断面 南から
5. 火葬跡007号土坑D上面 南から
6. 火葬跡007号土坑D上面 南から
7. 火葬跡007号土坑D上面断面 西から
8. 火葬跡007号土坑D下面断面 北東から
9. 火葬跡007号土坑断面B・骨出土地況 西から
10. 火葬跡007号土坑断面C・骨出土地況 近接 西から
11. 火葬跡007号土坑D集落下部 南から
12. 火葬跡007号土坑D断面 西から
- PL. 14 1. 100～104号土坑断面 南から
2. 105号土坑断面 北東から
3. 106号土坑断面 南から
4. 3区窓端部の土坑 ピット 南から
5. 107号土坑断面 西から
6. 108号土坑断面 西から
7. 109号土坑断面 南から
8. 110号土坑断面の土状況 北から
9. 110号土坑断面 南から
10. 111号土坑断面 南から
11. 112号土坑断面 南から
- PL. 15 1. 113号土坑断面 南から
2. 114号土坑断面 南から
3. 115号土坑断面 南から
4. 6号窓 南から
5. 6号窓 地上状況 西から
6. 6号窓断面Cライン 西から
7. 6号窓断面Dライン 西から
8. 1号窓穴建物 南から
- PL. 16 1. 1号窓穴建物断面 西から
2. 1号窓穴建物断面出土状況 北から
3. 1号窓穴建物断面 東から
4. 2号窓穴建物 南から
5. 2号窓穴建物断面A～C ライン 南西から
6. 2号窓穴建物断面D ライン 南東から
7. 2号窓穴建物断面出土状況 南西から
8. 2号窓穴建物断面出土状況 黏土部分 南から
- PL. 17 1. 2号窓穴建物断面 南から
2. 2号窓穴建物断面A～C ライン 南西から
3. 2号窓穴建物断面D～E ライン 南東から
4. 2号窓穴建物断面F ライン 南東から
5. 2号窓穴建物断面G ライン 南東から
6. 2号窓穴建物断面H 東から
7. 2号窓穴建物断面I 東から
8. 2号窓穴建物断面J 東から
- PL. 18 1. 2号窓穴建物断面 P 1面 南から
2. 2号窓穴建物断面 P 2面 南から
3. 2号窓穴建物断面上坑 断面 南西から
4. 3号窓穴建物断面A～C ライン 南から
5. 3号窓穴建物断面D～E ライン 西から
6. 3号窓穴建物断面F 西から
7. 3号窓穴建物断面G～H 下部(駆逐) 南側 東から
8. 3号窓穴建物断面I～J 下部(駆逐) 中央 東から
9. 3号窓穴建物断面K～L 下部(駆逐) 南から
- PL. 19 1. 3号窓穴建物断面A～C ライン(下部駆逐) 南から
2. 3号窓穴建物断面B～D ライン 南から
3. 3号窓穴建物断面E～F ライン 東から
4. 3号窓穴建物断面G 西から
5. 3号窓穴建物断面H～I ライン(東部) 南から
6. 3号窓穴建物断面J～K ライン(西部) 西から
7. 3号窓穴建物断面L～M ライン(中間) 西から
8. 3号窓穴建物断面N～O ライン(駆逐) 南から
- PL. 20 1. 4区土坑発掘部 北から
2. 4区土坑発掘部 南から
3. 4区土坑断面A ライン(15トレンチ北壁) 南から
4. 4区土坑断面B ライン(15トレンチ東壁) 西から
5. 4区土坑断面C ライン(16トレンチ北壁) 南から
6. 4区土坑断面D ライン(16トレンチ東壁) 西から
7. 191～192号土坑・283号ピット 東から
8. 191・192号土坑断面 東から
- PL. 21 1. 190号土坑断面 南から
2. 194号土坑 北から
3. 194号土坑断面 東から
4. 7号窓穴建物 南から
5. 7号窓穴建物断面 Aライン 南から
6. 7号窓穴建物断面 Bライン 西から
7. 7号窓穴建物断面 Cライン 西から
8. 7号窓穴建物断面 Dライン 西から
9. 7号窓穴建物断面 Eライン 西から
- PL. 22 1. 182号土坑 東から

2. 182号土坑断面 東から
 3. 183号土坑断面 東から
 4. 184号土坑 東から
 5. 184号土坑断面 東から
 6. 185号土坑断面 東から
 7. 185号土坑断面 東から
 8. 186号土坑 南から
 9. 186号土坑断面 東から
 10. 187号土坑 南から
 11. 188~190号土坑・260号ピット 南西から
 12. 188号土坑断面 南西から
 13. 189~190号土坑断面 南東から
 14. 260号ピット断面 南から
- PL.23 1. 6号穴建設面 西から
 2. 6号穴建設面Aライン 南から
 3. 6号穴建設面Bライン 東から
 4. 6号穴建設面 西から
 5. 6号穴建設面Cライン 南から
 6. 6号穴建設面Dライン 西から
 7. 6号穴建設面Eライン 西から
 8. 5区 南から
- PL.24 1. 5区 北から
 2. 1号坑 北東から
 3. 1号坑断面Aライン 西から
 4. 1号坑断面Bライン 東から
 5. 1号坑断面Cライン・17号土坑断面 西から
 6. 1号坑断面Dライン・58号ピット断面 西から
 7. 1号土坑・8号ピット 東から
 8. 1号土坑・8号ピット断面 南から
 9. 2~3号土坑 南から
- PL.25 1. 2号土坑東面 断面 南から
 2. 2号土坑断面内部 南から
 3. 4号土坑 西から
 4. 4号土坑断面 西から
 5. 5号土坑 西から
 6. 5号土坑断面 南から
 7. 6号土坑 北から
 8. 6号土坑断面 南から
 9. 7号土坑 西から
 10. 7号土坑断面 南から
 11. 8号土坑 東から
 12. 8号土坑断面 南から
 13. 9~10号土坑断面 南から
 14. 9号土坑断面 東から
 15. 10号土坑断面 東から
- PL.26 1. 11号土坑 北西から
 2. 12号土坑・4号ピット 南東から
 3. 12号土坑 調出土状況 南東から
 4. 12号土坑・4号ピット断面 東から
 5. 13号土坑 東から
 6. 13号土坑断面 東から
 7. 14号土坑 西から
 8. 15~16号土坑周辺 西から
 9. 15号土坑 西から
 10. 16号土坑断面 西から
 11. 17号土坑・57号ピット 北東から
 12. 18号土坑 南から
 13. 18号土坑断面 南から
 14. 19号土坑断面 南から
 15. 20~22号土坑 西から
- PL.27 1. 20~21号土坑断面 真から
 2. 22号土坑断面 南から
 3. 23~24号土坑 南から
 4. 23~24号土坑断面 東から
 5. 25~29号土坑断面 南西から
 6. 25号土坑断面 南北から
 7. 26号土坑断面 南北から
 8. 29号土坑 南から
 9. 29号土坑断面 南から
 10. 30~45号土坑断面 北西から
- PL.28 1. 30号土坑断面のコット 南から
 2. 30号土坑断面 南から
 3. 31~36号土坑断面 西から
 4. 37~38号土坑断面 西から
 5. 40~42号土坑断面 西から
 6. 43号土坑 東から
- PL.29 1. 1号穴穴状構造物土状況 東から
 2. 1号穴穴状構造物土状況 東から
 3. 1号穴穴状構造物土状況 南西から
 4. 1号穴穴状構造物土状況(裏洋) 南から
 5. 1号穴穴状構造物土状況(裏洋・壁土) 北から
 6. 1号穴穴状構造物土状況(壁土) 東から
 7. 1号穴穴状過溝P1・2 南から
 8. 1号穴穴状過溝P1 南から
 9. 1号穴穴状過溝P2 南から
- PL.30 1. 6区 南から
 2. 6区 北から
 3. 6区穴状断面Aライン(トレンチ北側) 南から
 4. 6区穴状断面Bライン(トレンチ東側) 西から
 5. 6区穴状断面Cライン(6トレンチ北側) 南から
 6. 6区穴状断面Dライン(6トレンチ東側) 西から
 7. 6区穴状断面Eライン(5トレンチ南側) 北から
 8. 6区穴状断面Fライン(5トレンチ西側) 東から
- PL.31 1. 116号土坑断面 南から
 2. 117号土坑 西から
 3. 118号土坑 南のり
 4. 118号土坑断面Aライン 西から
 5. 119号土坑 北のり
 6. 120号土坑 南のり
 7. 121号土坑 南のり
 8. 121号土坑断面 南から
 9. 122号土坑 南のり
 10. 122号土坑断面 南から
 11. 123号土坑 南のり
 12. 123号土坑断面 南から
 13. 124~125号土坑断面 西から
 14. 126号土坑 北から
 15. 126号土坑断面 南から
- PL.32 1. 127号土坑 西から
 2. 128号土坑 東のり
 3. 128号土坑断面 東から
 4. 129号土坑 南のり
 5. 129号土坑断面 東から
 6. 130号土坑 東のり
 7. 130号土坑断面 西から
 8. 131号土坑 東のり
 9. 132号土坑・7号坑断面 西から
 10. 133~134号土坑 南から
 11. 133~134号土坑断面 西から
 12. 135~136・139号土坑周辺 東から
- PL.33 1. 135~136号土坑断面 東から
 2. 137号土坑 南のり
 3. 138号土坑 西のり
 4. 7号坑東部 西から
 5. 7号坑西側 東から
 6. 7区 南から
 7. 7区 北から
- PL.34 1. 7区穴状断面Aライン(14トレンチ北側) 南から
 2. 7区穴状断面Bライン(14トレンチ東側) 西から
 2. 7区穴状断面Cライン(13トレンチ北側) 南から
 3. 7区穴状断面Dライン(13トレンチ東側) 西から
 4. 7区穴状断面Eライン(1トレンチ北側) 南から
 5. 7区29~26号土坑周辺 南から
 6. 7区24~26号土坑周辺 北から
 7. 23号土坑断面 北から
 8. 24号土坑断面 北西から
 9. 24号土坑断面 南西から
 10. 24号土坑断面 東から
 11. 24号土坑断面 東から
- PL.35 1. 242号土坑断面 南西から
 2. 243号土坑断面 南西から
 3. 244号土坑断面 南から
 4. 244~250号土坑周辺 東から
 5. 245号土坑断面 東から
 6. 246号土坑断面 東から
 7. 247号土坑断面Aライン 東から
 8. 249号土坑断面 南から
 9. 250号土坑断面 北西から
 10. 251号土坑 西から
 11. 251号土坑断面 西から

12. 252号土坑 南から
PL.36 1. 252号土坑断面 南から
2. 253・254号土坑 東から
3. 253・254号土坑断面 東から
4. 8区北兎棚面 南から
5. 8区北兎棚面 北から
6. 8区北土棚断面A ライン(11トレンチ北壁) 南から
7. 8区北土棚断面B 5イン(10トレンチ北壁) 南から
8. 8区北土棚断面C 5イン(10トレンチ東壁) 東から
13. 140号土坑断面 南から
PL.37 1. 140号土坑断面 南から
2. 141号土坑 南から
3. 141号土坑断面 南から
4. 142号土坑 東から
5. 142号土坑断面 南から
6. 143・145号土坑 南から
7. 143・154号土坑断面 南から
8. 144~146・148号土坑 南西から
9. 144号土坑断面 南から
10. 145・146号土坑断面 南東から
11. 147号土坑断面 南から
12. 148号土坑断面 南から
13. 147・149号土坑/205号ピット 南から
14. 149号土坑断面 南から
15. 150号土坑 西から
PL.38 1. 151号土坑 東から
2. 152号土坑 南から
3. 152号土坑断面 南から
4. 153号土坑 東から
5. 153号土坑断面 東から
6. 154号土坑 西から
7. 154号土墳土・埴土・炭化物 西から
8. 155号土坑・243号ピット断面 南から
9. 156号土坑断面 南から
10. 152・157~159号土坑 東から
11. 157~159号土坑断面 東から
12. 4号窓穴建物 南から
13. 4号窓穴建物A 西から
PL.39 1. 4号窓穴建物断面A ライン 南から
2. 4号窓穴建物断面B ライン 東から
3. 4号窓穴建物断面C ライン 南から
4. 4号窓穴建物断面D ライン 東部 南から
5. 4号窓穴建物断面E ライン 東部 東から
6. 4号窓穴建物断面F ライン 東部 南から
7. 4号窓穴建物断面G ライン 南部 南から
8. 4号窓穴建物断面H 土状況 西から
PL.40 1. 4号窓穴建物断面H 土状況 部分 西から
2. 4号窓穴建物断面H 土状況 №7 南から
3. 4号窓穴建物断面I 西から
4. 4号窓穴建物断面J 土状況 西から
5. 4号窓穴建物断面K 西から
6. 4号窓穴建物断面L ライン 南から
7. 4号窓穴建物断面M ライン 西から
8. 4号窓穴建物断面N 土状況 西から
PL.41 1. 4号窓穴建物P1 南面 北から
2. 4号窓穴建物P2 新面 南東から
3. 4号窓穴建物断面P1 ライン 南から
4. 4号窓穴建物断面P2 ライン 西から
5. 4号窓穴建物断面P3 ライン 西から
6. 4号窓穴建物断面P4 ライン 東から
7. 5号窓穴建物 東から
8. 5号窓穴建物断面 南から
9. 5号窓穴建物断面A ライン 東から
10. 5号窓穴建物断面B ライン 南から
PL.42 1. 5号窓穴建物 土上面の炭化物 土 南から
2. 5号窓穴建物 土上面の炭化物 土断面 南東から
3. 5号窓穴建物 がれ縁の灰・土上断面 南東から
4. 5号窓穴建物 P1 南から
5. 5号窓穴建物 P1 南面 南から
6. 5号窓穴建物 P2 南から
7. 5号窓穴建物 P2 新面 南から
8. 5号窓穴建物 P3 南から
9. 5号窓穴建物 P3 新面 南から
10. 5号窓穴建物 P4 南から
11. 5号窓穴建物 P4 新面 南から
12. 5号窓穴建物 P5 南から
13. 5号窓穴建物 P5 新面 南から
14. 5号窓穴建物P 6 南から
PL.43 1. 5号窓穴建物 P 6 新面 南から
2. 8区北発掘面 南から
3. 8区北土棚断面 D ライン(21トレンチ北壁) 南から
4. 8区北土棚断面 E ライン(21トレンチ北壁) 西から
5. 8区北土棚断面 F ライン(20トレンチ北壁) 南から
6. 8区北土棚断面 G ライン(20トレンチ北壁) 西から
7. 8区北土棚断面 H ライン(基本土棚採取地点) 北から
8. 274号土坑南辺 東から
PL.44 1. 273号土坑 南から
2. 273号土坑断面 南西から
3. 274号土坑断面 東から
4. 275号土坑 南から
5. 275号土坑断面 南から
6. 276号土坑 南から
7. 276号土坑断面 南から
8. 277号土坑・2号竪立柱建物P 8 南から
9. 277号土坑断面 南から
10. 278号土坑 南から
11. 279号土坑断面 南から
12. 279・280号土坑/465号ピット 南東から
13. 279・280号土坑/465号ピット断面 東から
14. 280号土坑・2号竪立柱建物 P 2(47号ピット)断面 南西から
15. 282号土坑南辺 南から
PL.45 1. 282号土坑・2号竪立柱建物 P 7(48号ピット)断面 南から
2. 283号土坑断面 南から
3. 284号土坑 南から
4. 285号土坑 南から
5. 285号土坑断面 南から
6. 286号土坑南辺 南から
7. 286号土坑断面 南から
8. 287号土坑 南から
9. 287号土坑断面 南から
10. 288号土坑 南から
11. 288号土坑断面 南東から
12. 289号土坑 南から
13. 289号土坑断面 南から
14. 290号土坑 西から
15. 290号土坑断面 南から
PL.46 1. 2号竪立柱建物 南から
2. 2号竪立柱建物 P 1(669号ピット)断面 南から
3. 2号竪立柱建物 P 2(477号ピット)断面 西から
4. 2号竪立柱建物 P 3(523号ピット)断面 東から
5. 2号竪立柱建物 P 4(503号ピット)断面 南から
6. 2号竪立柱建物 P 5(502号ピット)断面 南から
7. 2号竪立柱建物 P 6(684号ピット)断面 南から
8. 2号竪立柱建物 P 7(878号ピット)断面 南から
9. 2号竪立柱建物 P 8(277号土坑W) 南から
10. 5号窓P 1(899号ピット)断面 南から
PL.47 1. 5号窓 南から
2. 5号窓 P 2(849号ピット)断面 南から
3. 5号窓 P 3(897号ピット)・408号ピット断面 南から
4. 9号窓穴建物 西から
5. 9号窓穴建物断面A ライン 東から
6. 9号窓穴建物 南から
7. 9号窓穴建物断面 西から
PL.48 1. 9号窓穴建物断面H 土状況 西から
2. 9号窓穴建物断面I ライン 南から
3. 9号窓穴建物断面C ライン 東から
4. 9号窓穴建物断面F 南から
5. 9区北発掘面 南から
6. 9区北発掘面 北から
7. 9区北面断面 A ライン(19トレンチ北壁) 南から
8. 9区北面断面 B ライン(19トレンチ北壁) 西から
PL.49 1. 9区北面断面 C ライン(18トレンチ北壁) 南から
2. 9区北面断面 D ライン(18トレンチ北壁) 西から
3. 10号窓 東から
4. 10号窓断面 東から
5. 253号土坑 南から
6. 253号土坑断面 東から
7. 256・257号土坑 東から
8. 256号土坑断面 東から
9. 257号土坑断面 東から
10. 258・259号土坑 東から
11. 258・259号土坑断面 東から

- PL.50 1. 260号土坑 東から
 2. 260号土坑断面 南から
 3. 261号土坑 南から
 4. 261号土坑断面 南から
 5. 262号土坑周辺 南から
 6. 262号土坑断面 南から
 7. 263号土坑 南から
 8. 263号土坑断面 南から
 9. 264号土坑 東から
 10. 265号土坑 南から
 11. 265号土坑断面 南から
 12. 266号土坑周辺 南から
 13. 266号土坑断面 南から
 14. 267号土坑 南から
 15. 267号土坑断面 南から
 PL.51 1. 268号土坑 南から
 2. 268号土坑断面 南から
 3. 269・271号土坑／(33)ビット 南から
 4. 269号土坑断面 南から
 5. 270号土坑・440号ビット 南西から
 6. 270号土坑・440号ビット断面 南から
 7. 271号土坑 南から
 8. 271号土坑断面 南から
 9. 272号土坑周辺 西から
 10. 272号土坑断面 西から
 11. 272号土坑・439号ビット断面 南から
 12. 291号土坑 東から
 13. 3・4号溝／10号溝 南から
 14. 3・4号溝／10号溝 東から
 PL.52 1. 9区土堀断面 南から
 2. 9区土堀断面 Eライン／(9トレシチ東壁) 南から
 3. 9区土堀断面 Fライン／(9トレシチ東壁) 西から
 4. 9区土堀断面 Gライン／(8トレシチ東壁) 南から
 5. 9区土堀断面 Hライン／(8トレシチ東壁) 西から
 6. 8号土坑周辺 東から
 7. 160号土坑 南から
 8. 160号土坑断面 南から
 9. 161号土坑 南から
 PL.53 1. 161号土坑断面 西から
 2. 162・163号土坑 西から
 3. 162号土坑断面 西から
 4. 163号土坑断面 西から
 5. 164・165号土坑 南から
 6. 164号土坑断面 東から
 7. 165号土坑断面 南から
 8. 166号土坑 西から
 9. 167号土坑 西から
 10. 168号土坑 東から
 11. 169・174号土坑周辺 東から
 12. 169号土坑断面 南から
 13. 170・171号土坑 西から
 14. 170・171号土坑断面 西から
 15. 172・173号土坑 西から
 PL.54 1. 172・173号土坑断面 南西から
 2. 174号土坑 南から
 3. 174号土坑断面 南から
 4. 175号土坑 東から
 5. 175号土坑断面 東から
 6. 176号土坑 南から
 7. 176号土坑断面 東から
 8. 178号土坑 南から
 9. 178号土坑断面 東から
 10. 180号 北から
 11. 180号溝 東北から
 12. 180号溝 北から
 PL.55 1. 3・4号溝／63・66号土坑 西から
 2. 3・4号溝／66号土坑 北東から
 3. 3・4号溝断面 西から
 4. 3号溝断面Aライン 西から
 5. 3号溝断面Bライン 東から
 6. 3号溝断面Cライン 南西から
 7. 3号溝断面Cライン／東部 南東から
 8. 4号溝断面Aライン 西から
 9. 4号溝断面Bライン 東から
 10. 5号溝 東から
 11. 5号溝断面 東から
- PL.56 1. 63号土坑 南から
 2. 63号土坑断面 北東から
 3. 64号土坑 東から
 4. 64号土坑断面 南から
 5. 65号土坑 北東から
 6. 65号土坑断面 北から
 7. 66号土坑 南から
 8. 66号土坑断面 東から
 9. 出土遺物1(8号窓穴出土物出土器一括)
- PL.57 出土遺物2
- PL.58 出土遺物3
- PL.59 出土遺物4
- PL.60 出土遺物5
- PL.61 出土遺物6
- PL.62 出土遺物7
- PL.63 出土遺物8
- PL.64 出土遺物9
- PL.65 出土遺物10
- PL.66 出土遺物11
- PL.67 出土遺物12
- PL.68 出土遺物13
- PL.69 出土遺物14

第1章 小仁田遺跡の発掘調査

第1節 発掘調査に至る経過

主要地方道大間々世良田線バイパスは、太田市大原町の主要地方道桐生伊勢崎線と、国道50号前橋笠懸道路を南北につなぐ道路である。群馬県広域道路計画に基づき、北関東自動車道太田敷岡インターチェンジへのアクセス性を向上させ、高速道路網を活用した物流の効率化による産業立地の促進や観光振興などを図るとともに、現道の渋滞緩和、沿線地域住民の利便性や安全性の向上を図り、災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築することを目的とするものである。

本事業はこのうち、みどり市笠懸町鹿地内の、現国道50号から、国道50号前橋笠懸道路に向かう部分の整備事業である。バイパス建設に先立って、令和3年11月に群馬県地域創生文化財保護課による試掘・確認調査が行われた。試掘・確認調査では、縄文時代、平安時代、および中世の遺物が出土し、工事対象範囲の一部が埋蔵文化財包蔵地であることがわかった。路線変更等による埋蔵文化財保護が困難であったため、工事対象範囲に含まれる埋蔵文化財については、やむを得ず発掘調査を実施し、記録保存の措置を講じることとなった。これを受け、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が、群馬県土整備部桐生土木事務所の委託により、令和4年4月から発掘調査を開始した。

第2節 発掘作業・整理等作業の経過

発掘作業 担当者2名があつた。令和4年4月1日から開始し、同年7月31日に終了した。発掘調査対象面積は4020.54m²である。調査区が市道に沿って延びることから、安全対策として安全フェンスで調査区境を囲い、看板や旗を用いた危険個所の明示をした。調査区は北側から各筆に沿って1~10区を設定し、水田と接する1・5区を先行して調査着手した。

表土掘削は、遺構確認面であるローム漸移層まで掘削重機(0.5m³バックホー)を使用して行った。排土につい

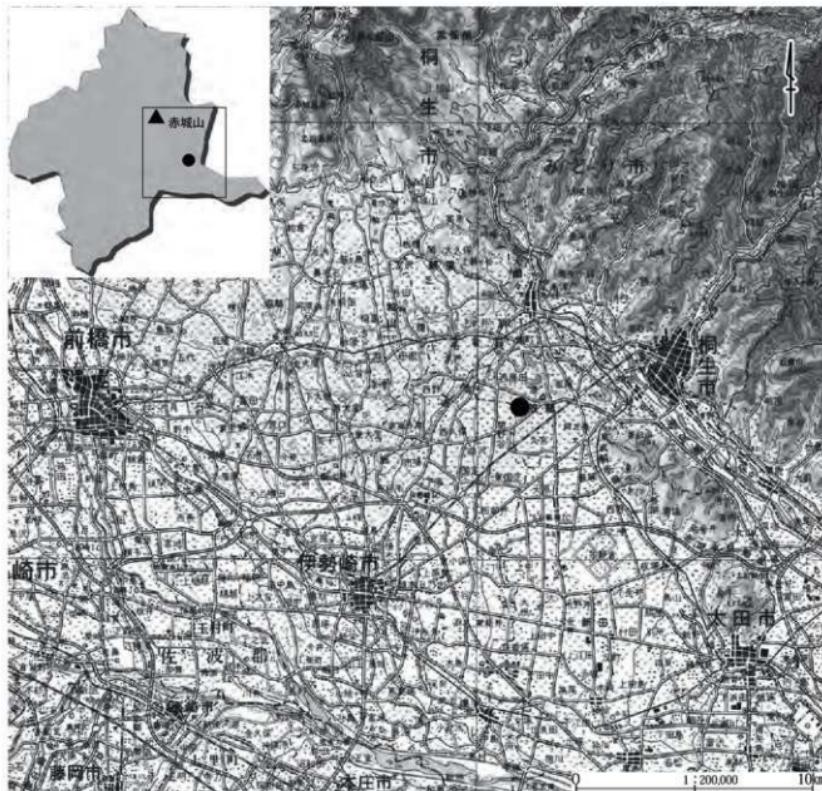
ては、6tクローラーダンプを使用して排土置き場に運搬し、バックホーによって転圧した。

遺構の検出や精査は発掘調査作業員(以下作業員)による人力掘削で行った。遺構掘り下げ作業や埋没土の土層観察用ベルト設定位置などの作業指示は、担当者が遺跡掘削技術者に指示し、作業員が行った。遺構掘り下げ作業は、遺物や埋没土観察用ベルトを残した状態で行い、埋没土や遺構・遺物の写真記録作業などは担当者が行った。全景撮影は高所作業車を用いて担当者が行った。遺構測量及び図化は測量会社に委託した。調査終了後、掘削重機を使用して調査区の一部を埋め戻した。

整理等作業 令和5年5月1日から同年12月31日まで、

調査日誌抄

- 4月7日 調査区を設定し、安全柵を設置。発掘作業に着手する。
4月12日 表土掘削を開始・5区遺構確認・遺構掘削開始
4月18日 3区遺構確認・遺構掘削開始
4月25日 1区遺構掘削・5区遺構掘削終了
4月25日 10区遺構掘削
5月11日 3区堅穴建物調査
5月12日 1区遺構掘削終了・3区火葬跡確認・10区全景写真撮影
5月18日 5区1号堅穴状遺構で、鉄滓等の出土を確認。鍛冶削削遺構と想定される。
5月20日 1区石器確認トレレンチ掘削
5月24日 6区遺構確認・遺構掘削開始
5月25日 高所作業車により道路全量写真撮影
5月30日 3区遺構掘削終了・臼石器確認トレレンチ掘削
5月31日 7区・8区遺構確認・遺構掘削開始
6月2日 6区全景写真撮影・9区南調査区遺構確認・遺構掘削開始
6月7日 8区堅穴建物調査・5号堅穴建物は弥生時代の所産と想定される。
6月8日 6区遺構掘削終了・旧石器確認トレレンチ掘削・9区南調査区全景写真撮影
6月10日 4区南・北調査区遺構掘削・堅穴建物調査
6月14日 8区北調査区全景写真撮影・9区南調査区遺構掘削終了・旧石器確認トレレンチ掘削
6月16日 8区北調査区臼石器確認トレレンチ掘削
6月17日 4区北調査区全景写真撮影
6月21日 2区遺構掘削・堅穴建物調査
6月22日 4区北調査区全景写真撮影・2区8号堅穴建物調査。多数の杯形が出土する。
6月27日 7区遺構掘削終了・旧石器確認トレレンチ掘削
6月28日 4区北調査区臼石器確認トレレンチ掘削
7月1日 9区北調査区遺構確認・遺構掘削開始
7月5日 4区南調査区臼石器確認トレレンチ掘削・8区堅穴建物調査
7月7日 9区北調査区全景写真撮影
7月8日 8区南調査区全景写真撮影・9区北調査区臼石器確認トレレンチ掘削
7月14日 8区南調査区臼石器確認トレレンチ掘削
7月31日 調査区の一部を埋め戻し、発掘作業を終了する。



第1図 小仁田遺跡の位置(国土地理院1/200000地図「宇都宮」平成18年4月1日発行)

担当者1名をあてて実施した。各発掘調査区の調査図面の整理、編集を行い、現場撮影写真的確認作業を実施した。調査区ごとの遺構の基本記載、遺構図面のレイアウト、報告書掲載用遺構写真的抽出、レイアウトを行い、併せて、出土遺物の選別、接合、復元、写真撮影、実測図作成およびトレース等を行った。金属製の遺物等については、必要な保存処理を行った。これらを併せて、報告書編集用デジタルデータを作成した。印刷、校正等を経て、令和6年2月に発掘調査報告書を作成・刊行し、配布した。

第3節 小仁田遺跡の位置と 地理的・歴史的環境

小仁田遺跡は群馬県みどり市笠懸町鹿にある。群馬県南東部の、赤城山南面に位置し、渡良瀬川が形成した大間々扇状地内にあたる。大間々扇状地は、みどり市大間々町付近を扇頂とする、関東有数の大規模扇状地である。第4紀更新世後期に形成され、形成時代の異なる複数の扇状地面で構成された合成扇状地である。本遺跡は、3万年前頃に形成された中位段丘面である藪塚面に属し、扇頂部近くの西端にあたる。西には上位段丘の桐原



第2図 小仁田遺跡周辺の主な遺跡(マッピングぐんま 遺跡マップ 1/25000利用 令和5年10月2日取得 縮尺は任意)

第1表 小仁田遺跡周辺の主な道路

番号	道路名	時代	内容	備考
1	小仁田遺跡	本道跡		本書
2	天神道跡	國文,奈良,平安	散布地,集落	
3	馬見回遊跡	旧石器,國文,奈良,平安	散布地,集落,生產道路	
4	大内山古墳群・癩穴庭採掘跡	國文,吉備,中世	散布地,城館,古墳,生産遺跡	3号墳はみどり市指定史跡
5	坊谷丘日置跡	旧石器	集落	
6	坊谷丘遺跡	國文,平安	散布地,集落	
7	和田道跡	旧石器,國文,弥生,古墳,近世	散布地,集落,古墳,生產道路	
8	神社裏遺跡	旧石器,國文,吉備,平安	散布地,集落	
9	内鹿山古墳道跡	國文	散布地	
10	内鹿遺跡・丘陵寺古墳・古古墳	旧石器,國文,吉備	散布地,集落,古墳	
11	山西道跡	不明	散布地	
12	内前山島遺跡	旧石器,國文,弥生,古墳,奈良,平安,中世,近世	散布地,集落,墓その他の	国指定史跡
13	内山道跡	國文,奈良,平安	散布地,集落	
14	清水北口遺跡	國文,吉備,平安,中世	散布地,集落,古墳,墓その他の	
15	清水寺道跡	國文,中世,近世	集落,城館,墓その他の	
16	北口道跡	奈良,平安	散布地,集落	
17	山鹿丘塁跡	奈良,平安	生産道路	
18	鹿田山古跡	小世	城跡	
19	清水西口遺跡	旧石器,國文,平安	散布地,集落	
20	福原山古墳跡	旧石器,國文,弥生,奈良,平安	散布地,集落,生產道路	
21	福原山古墳跡	國文	散布地,集落	
22	道原道跡	旧石器,國文,中世,近世	散布地,集落,城館	
23	清水山古跡	旧石器,國文	散布地,集落,墓その他の	
24	鶴山古跡	小世	城跡	
25	猪子野遺跡	國文	散布地	
26	人手山西遺跡	國文	散布地	
27	山野小山遺跡	奈良	集落	
28	鹿内道跡	國文	散布地,集落	
29	伊丹道跡	國文	散布地,集落	
30	引佐道跡	旧石器,國文,奈良,平安,中世	散布地,城館,土作遺跡	国指定史跡
31	奥の川遺跡	國文,弥生	散布地,墓その他の	
32	河上陣跡	近世	城跡	
33	別次道跡	國文	散布地	
34	阿門谷丘原遺跡	國文,古墳,奈良,平安	散布地,集落	
35	阿門谷丘原遺跡	國文,奈良,平安	散布地,集落,土作遺跡	
36	阿門谷のなくそ遺跡	古墳,奈良,平安	散布地,集落,土作遺跡	
37	新丘遺跡	旧石器	散布地	
38	一本松遺跡	旧石器	散布地	
39	一本松古村遺跡	平安,近世	社寺	
40	五反手遺跡	國文,奈良,平安	散布地	
41	兒取道跡	國文	散布地	
42	中曾鳥遺跡	國文	散布地,集落	
43	曾鳥町遺跡	平安	墓,その他の	
44	曾鳥上遺跡	國文	散布地	
45	南曾鳥遺跡	國文,古墳	散布地,集落	
46	あみだ坂遺跡	旧石器,國文,吉備,中世,近世	散布地,集落,社寺,古墳,墓その他の,生産道路	
47	曾沢道跡	國文,古墳,奈良	集落	
48	命沢II遺跡	國文,古墳,奈良,平安	集落	
49	東村51号-55号	古墳	古墳	
50	新田-44	不明	散布地	
51	新田-52	國文,奈良,平安	散布地	
52	新田-53	平安	散布地	
53	新田-54	國文,奈良,平安	散布地	
54	新田-55	國文	散布地	
55	新田-96	奈良,平安	散布地	
56	新田-57	國文	散布地	
57	新田-24	國文,古墳,奈良,平安	散布地	
58	新田-40	旧石器	散布地	
59	新田-03	旧石器,國文,古墳,奈良,平安	散布地,集落	
60	新田-04	國文,平安	散布地	
61	新田-05	旧石器,奈良,平安	散布地	
62	新田-07	旧石器,古墳,平安	散布地	
63	新田3号古墳	古墳	古墳	
64	新田-01 武井00・10・11号	旧石器,國文,古墳	散布地,古墳,墓その他の	
65	武井-06	旧石器	散布地	
66	武井-02	奈良	散布地	
67	新田-08	國文	散布地	
68	野-02	古墳	散布地	
69	野-06	旧石器	散布地	
70	野-01	國文,弥生,古墳,奈良,中世,近世	散布地,集落,古墳	
71	森戸川遺跡	國文,弥生,古墳,奈良,平安	集落	
72	植ノ谷遺跡	奈良,平安	散布地	
73	野野道跡	國文,古墳,奈良,平安	散布地,集落,生産道路	
74	曾鳥古墳	國文,弥生,古墳,奈良,平安	散布地,集落	
75	上仁丁遺跡	國文,弥生,古墳,奈良,平安	散布地,集落	
76	天神林遺跡	國文	散布地	
77	高瀬遺跡	國文,古墳,奈良	散布地	
78	曲川Ⅱ遺跡	國文,古墳,奈良,平安	集落	
79	田代遺跡	國文	散布地	
80	大神前1遺跡	國文,奈良,平安	散布地	
81	大神前2遺跡	國文,奈良,平安	散布地	

面があり、北東から北西にかけては、鹿田山や天神山の丘陵を望む。桐原面との境界には、南から北へ延びる狭い沖積地があり、西に幕末から明治期にかけて整備された岡登用水が流れる。本遺跡はこの沖積地内にある。沖積地の西には伊勢崎市赤堀町が接する。旧新田郡と佐波郡の境界にある地域でもある。周辺は水田や畑であり、微地形では起伏があるものの、およそ平坦な地形が広がっている。標高は124.0～127.5mである。周辺の遺跡を第2図に示した。遺跡の密度は必ずしも高くなく、特に本遺跡周辺では、発掘調査例が乏しいが、縄文・古代の集落遺跡や窯跡群、製鉄跡が知られている。上野国分寺に瓦を供給した山際瓦窯跡、鹿の川遺跡の瓦窯跡や製鉄跡、これらと関係が深いものと思われる馬見岡遺跡の集落は、本遺跡の竪穴建物や竪穴状遺構とした鍛冶関連遺構とも関連するものであろう。

第4節 発掘作業・整理等 作業の方法と本書の編集

遺跡名・略号 「小仁田遺跡」の名称は、群馬県の管理する、マッピングぐんま「遺跡マップ」(<https://mapping-gumma.pref.gumma.jp/pref-gumma-iseki/Portal> 最終閲覧2023年10月2日)に従った。出土遺物の注記等に使用した本遺跡の略号はKNTである。

発掘区の設定 発掘区は、地番ごとに、北から南に向けて1～10区を設定した。4区は発掘対象外地を挟んで南北に分かれる。5区は現道の西側にあって、4区の南部と向かい合う。8区、9区は工程上、南北の発掘区に分割して発掘している(第3図)。

発掘作業の方法 遺構確認面に達するまでの表土掘削及び調査後の埋め戻しは、掘削重機を用いて行った。重機を用いて表土掘削を行い、その後の遺構確認のための平面精査及び遺構の掘削は、作業員が行った。安全柵を設置するなど、安全対策を行いつつ作業を進めた。また、涌水対策及び降雨による排水対策のため水中ポンプを貸借した。

遺構埋没土観察や写真撮影等は発掘担当者が行った。遺構全景、遺物出土状態、土層断面の写真撮影は、中型カメラによるモノクロフィルム及びデジタルカメラによる撮影を行った。デジタルカメラはキャノン製EOS 6D

(35mm相当)を使用し、撮影データはRAW形式で保存した。

遺構の土層図や遺構平面図、出土遺物図等の図化は測量業者に委託して行った。遺構平面図は1/20図を原則とし、遺構断面図も平面図に合わせ、原則として1/20として作図し、個別遺構についても1/20を基本として作図した。発掘区の全体図は、1/100を作成し、竪穴建物の竪団は1/10で作成了。

出土遺物は遺構を重視し、遺構底面近くから出土したものに番号を付した。遺構外遺物は、発掘区と出土面を記録した。遺物の洗浄注記は専門業者に委託して行った。**標準的な土層と遺構確認面** 1区北端部東壁及び1区1トレンチ東壁(第4図)を本遺跡の標準的な土層とした。現状では畑、水田として利用されている土地であり、表土および水田床土の下面が遺構確認面である。耕作の状況により、確認面構成土がⅢ層の古代遺物包含層である暗褐色土層である場合と、ローム漸移層にあたるIV層、V層の、にぶい黄褐色土である場合の両者がある。

整理等作業の方法 整理等作業は令和5年5月1日に開始した。発掘時に採取された図面をPDF化して、各発掘区の図面編集、発掘面ごとの図面編集を行うとともに、報告書掲載用のレイアウトを行った。また、現場撮影写真データを確認し、撮影対象の特定を行って、報告書掲載用遺構写真を抽出した。出土遺物については、掲載遺物の選別、接合、復元、写真撮影、実測図作成を行った。遺物写真はEOS 5Dを使用し、撮影データはRAW形式で保存した。遺構、遺物の図面、写真とともにデジタル編集を行い、並行して各発掘区・遺構及び遺物の基本記載を行った。最終的な編集レイアウト作業を行って、発掘報告書を刊行・配布し、遺物、図面等の収納作業を行って、令和6年2月29日に整理等作業を終了した。

本書の編集 本報告書の編集に当たっては、原則として北端の1区から南端の10区へ、北から南に向かって、記載を進めた。各発掘区内の遺構については、遺構の種別ごとに、発掘区内での遺構番号順に記載した。なお、土坑、ピットについては紙幅の都合上、個別記載は行わず、調査区ごとの特徴を記すにとどめ、計測値等を遺構一覧表にまとめた。

第2章 発掘された遺構と遺物

第1節 概要

対象地の北側から各筆に沿って1~10区を設定し、調査を進めた。竪穴建物、竪穴状遺構、掘立柱建物、柱穴列・柵、土坑、ピット、溝、井戸、火葬跡がある。

中世～近世の溝、土坑、ピットが多数検出された。ピットの中には、掘立柱建物を構成するものや、柱穴列、柵などとされるように、列状をなすものがある。中世～近世の屋敷、民家の一部をなすものであろう。

竪穴建物は、各調査区に1~2棟が見られる程度の希薄な分布状況であった。8区の5号竪穴建物は炉を持つていて、明確に時期を示す遺物はないものの、弥生時代の所産と考えられた。竪穴状遺構を含め、他の多くの竪穴建物は、8~9世紀に比定される。8区の4号竪穴建物は、埋没土上層にAs-Bが堆積していた。出土遺物には須恵器や土師器のほか、平瓦や転輪、鉄滓、粘土塊なども見られ、周辺の遺跡と併せて、須恵器・瓦や鉄生産などの関わりが想起された。

また、少数ではあるが、4~8区で縄文時代後期初頭から前半期の土器が出土した。発掘作業対象地内では遺構は認められなかったが、周辺に該期集落の存在が予想される。

遺構調査後、 $2 \times 4\text{ m}$ の旧石器試確認トレーナーを各調査区に設け、人力による掘削、確認作業を行った。9区で、ローム漸移層から槍先形尖頭器が1点出土したため周辺の精査を重ねたが、石器の出土はこの1点に限られ、広がりは見られなかった。

第2表 発掘調査遺構の概要

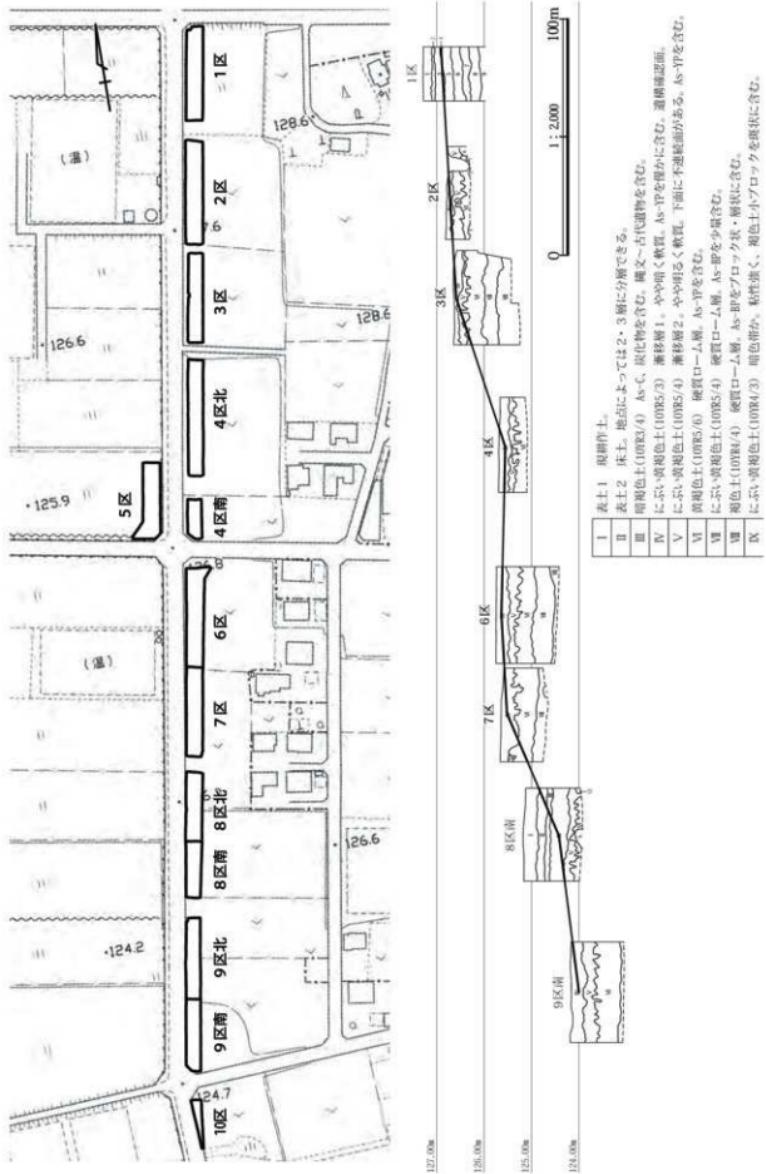
遺構	数量	時期
竪穴建物	9棟	弥生後期～古代
竪穴状遺構	1基	古代
掘立柱建物	2棟	中世～
柵・柱穴列	9条	中世～
土坑	296基	古代～
火葬跡	1基	中世～
ピット	528基	古代～
溝	11条	中世～
井戸	1基	中世～

第2節 1区

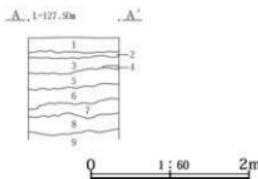
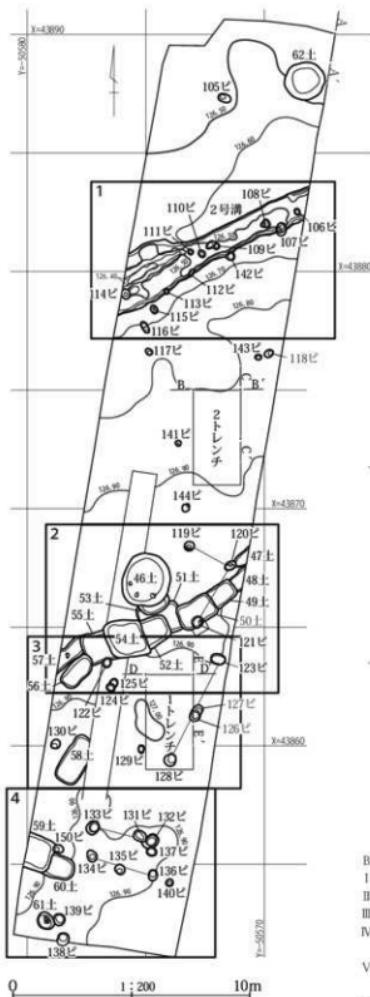
X=43850~43890・Y=-50580~-50565 調査区南北長39.54m、東西幅7.08m、面積277.0m²。確認面最高標高127.46m、最低標高127.02m。南が高く、北が低い。また、東がやや高く西に下る。最高標高は調査区南寄りの土坑群の南にある。調査区内の土層を第4図に示した。確認面構成土は、古代遺物包含層に相当する。褐色土ブロックを含む暗褐色土(IV層)である。土坑17基、ピット41基、溝1条、柱穴列4条を確認した。調査区北部に北東-南西に延びる2号溝があり、この北には土坑、ピット各1基があるのみで、遺構は乏しい。溝の南にはピットが散在し、やや距離を置いた調査区南部北寄りには、方形ないし長方形の平面形をもつ、48~57号土坑がある。長軸を北東-南西方向に向けて並ぶ土坑列で、この周辺以南には土坑やピットがやや多くみられる。柱穴列としてとらえられるピットもある。出土遺物は少なく、54号土坑から土師器杯片、57号土坑から土師器甕片、121号ピットから陶磁器片があるので、直接的な時期決定の手掛かりに欠ける。50号土坑が1号柱穴列の121号ピットに切られるところから見て、土坑列は柱穴列より古い段階の所産であるが、形状から見ると、これも近世以後と思われる。

1 溝

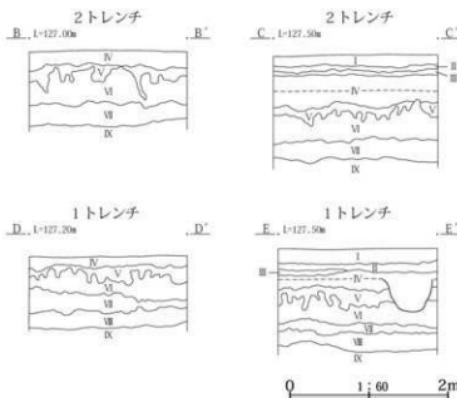
2号溝 調査区北部南寄りで2号溝を調査した。等高線とおおよそ並行するように、北東から南西に延びる。南の土坑列と類似した方向である。2条の溝が切りあっており、南側のa溝を北側のb溝が切る。a溝は東部が把握できないが、b溝は両端共に調査区外に延びる。確認面最高標高126.68m、最低標高126.56m。III層の古代遺物包含層に類似した層に被覆されるかに見えるが、ここでのIII層は火葬物が多く、乱れている。本来のIII層より上位から振り込まれたものであろう。溝底部に106・108~111・114号ピットがあり、南壁上端部を107・142・112・113号ピットが切る。109号ピットは溝が埋没した



第3図 小川田道路の調査区配置と標準土解・微地形

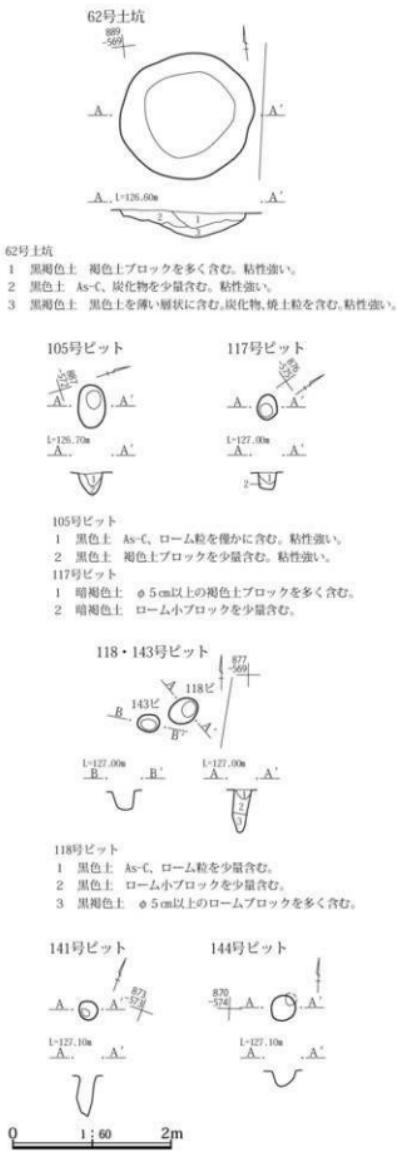


- A-A'
- 1 表土1 現耕作土。
 - 2 表土2 現水田土上。
 - 3 暗褐色土(10YR3/4) 旧表土。As-C・As-Bを少量含む。
 - 4 褐灰色土(10YR4/1) As-B混土層。As-Bをブロック状に含む。堆積は薄い。
 - 5 暗褐色土(10YR3/4) As-C、炭化物を含む。礫文～古代遺物を含む。
 - 6 黒褐色土(10YR3/2) 軟質でAs-YPを少量含む。漸移層相当か。
 - 7 褐色土(10YR4/6) 硬質。As-YPを含む。
 - 8 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 硬質。As-YPを少量含む。褐色土ブロックを含む。
 - 9 黄褐色土(10YR5/6) 硬質。As-YPを含む。ローム層に相当か。湧水。



- B-B'～E-E' (1・2トレンチ)
- I 表土1 現耕作土。
 - II 表土2 床土。
 - III 暗褐色土(10YR3/4) As-C、炭化物を含む。礫文～古代遺物を含む。
 - IV にぶい黄褐色土(10YR5/3) 漸移層1。やや暗く軟質。As-YPを僅かに含む。遺構確認面。
 - V にぶい黄褐色土(10YR5/4) 漸移層2。やや明るく軟質。下面に不連続面がある。As-YPを含む。遺構確認面。
 - VI 黄褐色土(10YR5/6) 硬質ローム層。As-YPを含む。
 - VII にぶい黄褐色土(10YR5/4) 硬質ローム層。As-Bを少量含む。
 - VIII 褐色土(10YR4/4) 硬質ローム層。As-Bをブロック状・層状に含む。
 - IX にぶい黄褐色土(10YR4/3) 暗色帶か。粘性強く褐色土小ブロックを斑状に含む。

第4図 1区の遺構配置と土層



第5図 1区土坑・ビット

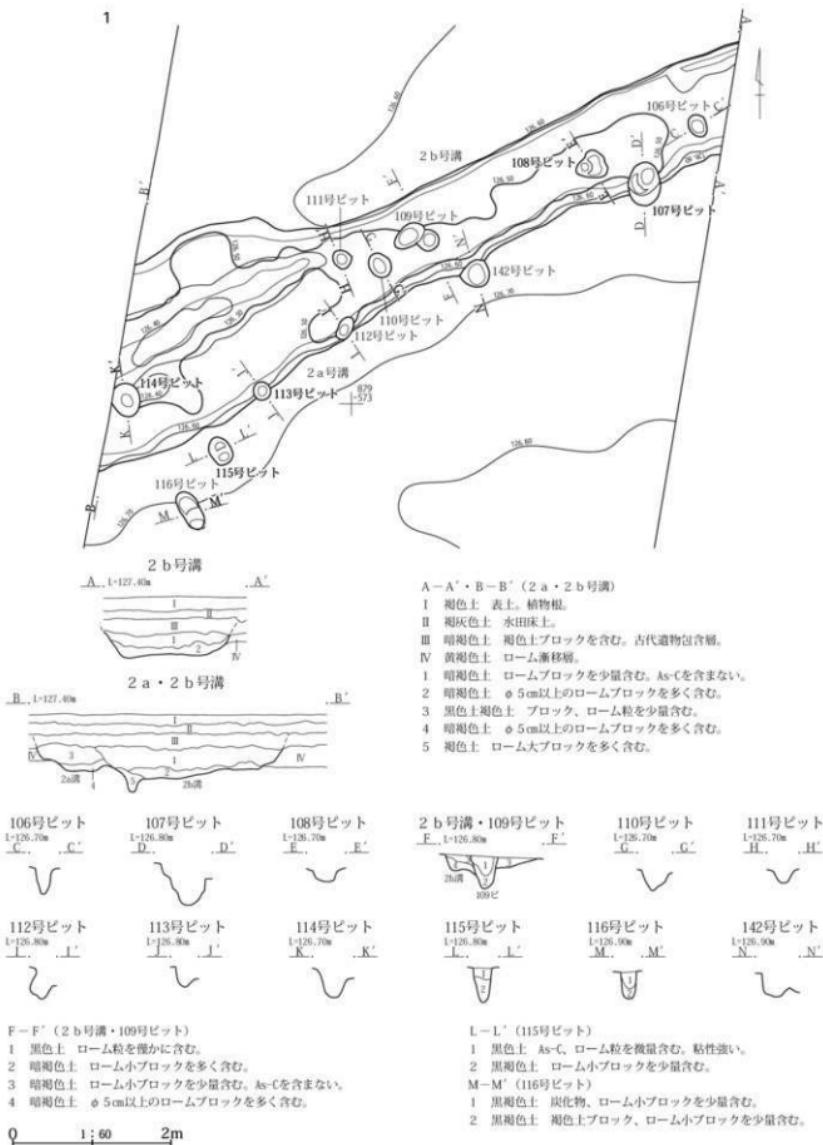
後に掘り込まれており、他のビットも同様にこの溝を切るものと思われる。

a溝 b溝に切られるが、中段を持つ鍋状の断面形を呈するものと思われる。覆土は上位が暗褐色土、下位が褐色土を主体とし、ともにロームの大型ブロックを含む。確認長4.60m、上端確認幅0.95m、方位はN-62°-E。底面最高標高126.55m、最低標高126.50m。確認面からの深さ35cm。底面の標高差は乏しく、最高位は中部にある。

b溝 鍋状の断面形を呈し、覆土下位が褐色土ブロックやローム粒を少量含む黒色土、上位がロームの大型ブロックを含む暗褐色土を主体とする。西壁部北側底面の落ち込みは、下位の倒木痕の流入土にあたる。確認長20.40m、上端幅は西壁部で2.47m、東壁部1.74m、方位はN-64°-E。底面最高標高126.56m、最低標高126.39m。確認面からの深さ41cm。最高位は中部があるが、西部底面には溝状の落ち込みがあり、ここでは北東から南西に下る。

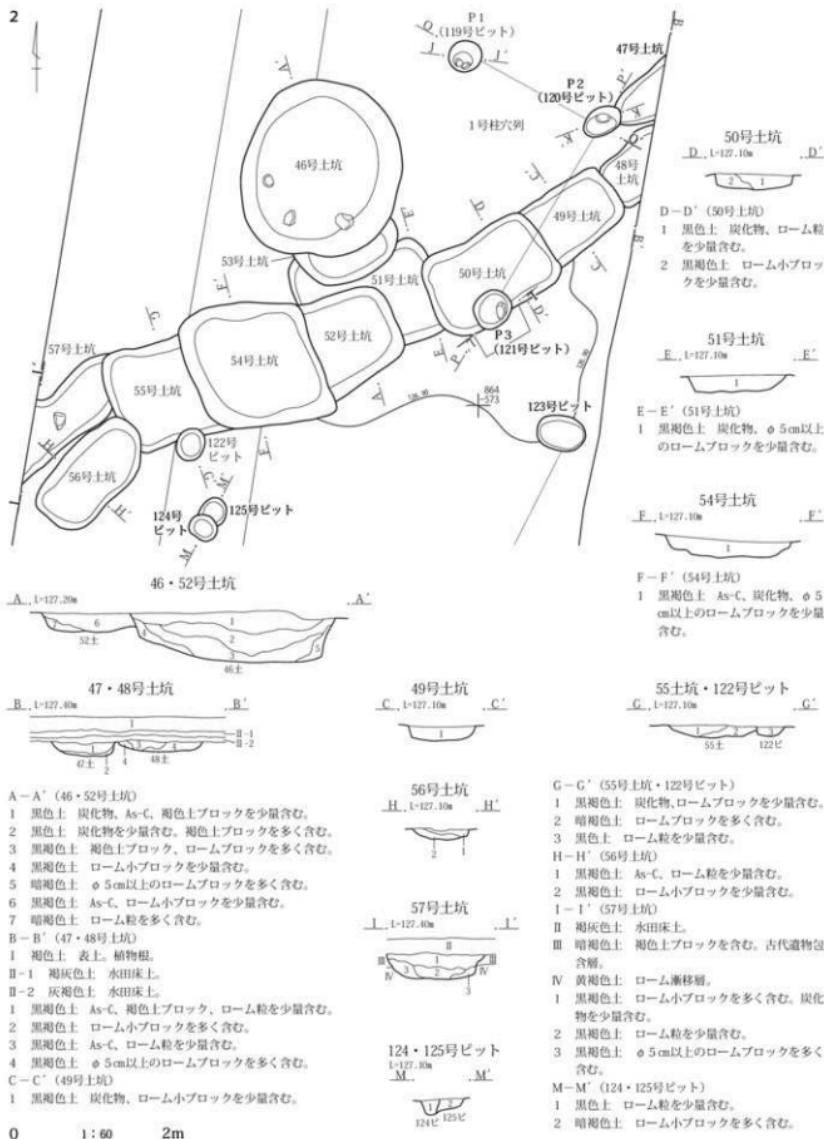
2 土坑

17基の土坑を調査した。円形に近い平面形の土坑と、長方形ないし長円形平面の土坑がある。46号、61号、62号土坑が円形平面の土坑である。46号土坑は南北にやや長い偏円形の平面形を呈し、南東部にステップ状の張り出しを有する。覆土中位から上位に炭化物やAs-C、褐色土ブロックを少量含む。円礫、亜角礫、土器器杯小片が出土している。62号土坑はほぼ円形の平面形を呈する土坑で、覆土には少量ながら炭化物、焼土粒を含む。調査区南西側の61号土坑は北西-南東に長い偏円形の平面形を呈する小土坑で、底面に亜角礫が3個置かれている。他は長方形ないし長円形平面の土坑で、調査区中部南寄りには47~57号土坑が、北東から南西に、直列した列状に並ぶ。東端の47号土坑と西端の57号土坑は長円形、中部の54号土坑はほぼ方形状の平面形を呈するが、他は長方形の平面形で、列の並びと同じく北東-南西に長軸を置く。土坑相互の重複が必ずしも明確ではないが、中央の51号土坑、東端の48号土坑、西端の57号土坑が古い段階にあり、54号、56号土坑が新しい。東部では48-49-50号土坑、西部は57-55-54号土坑の順で掘削されたものと思われる。北の2号溝とほぼ同じ方向を示していく、何等

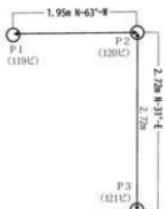


第6図 1区部分図1

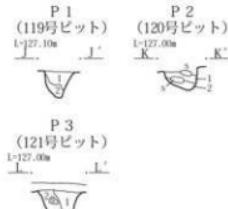
2



第7図 1区部分図2



1号柱穴列模式図



J-J' (P1 / 119号ビット)

1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロック、ローム小ブロックを多く含む。

2 黒褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

K-K' (P2 / 120号ビット)

1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。

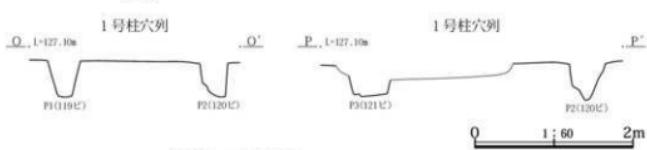
2 黒褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

L-L' (P3 / 121号ビット)

1 黄褐色土 ロームブロックによる擾乱土。

2 黒色土 ローム小ブロックを少量含む。

3 黑褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。



第8図 1号柱穴列

かの地割に沿って掘られたものであろう。58号土坑は上記土坑列の南にあって、北東-南西に長軸を置く。土坑列西端の56号土坑と近い方向を示す。59号、60号土坑はさらに南にあって、58号土坑と直交するように北西-南東方向の長軸を有する。

出土遺物は乏しく、46号土坑から土師器杯小片、54号土坑から土師器杯底部片、57号土坑から土師器甕小片が出土しているのみである。積極的な時期決定の根拠に欠けるが、いずれの土坑も近世以後の所産と思われる。

各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

3 ビット

ビット29基を調査した。調査区全体に散在する。2号溝や土坑列の周辺に多く見られるが、遺構相互の関係は認められない。複数のビットが組み合うものについては、次項で柱穴列として扱う。

各ビットの計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

4 柱穴列

調査区の南半で4か所の柱穴列を調査した。1号柱穴列は調査区中部にあって、L字形に柱穴が並ぶ。1間×1間の掘立柱建物が想定されるものだが、南北隅柱が確認できないため、調査時の呼称に従って柱穴列とした。2号柱穴列は調査区南部の東壁際にあって、南北方向に延び、1号柱穴列の東辺とは食い違う位置にあるが、近似した方向を探る。3号、4号柱穴列は調査区南端近く

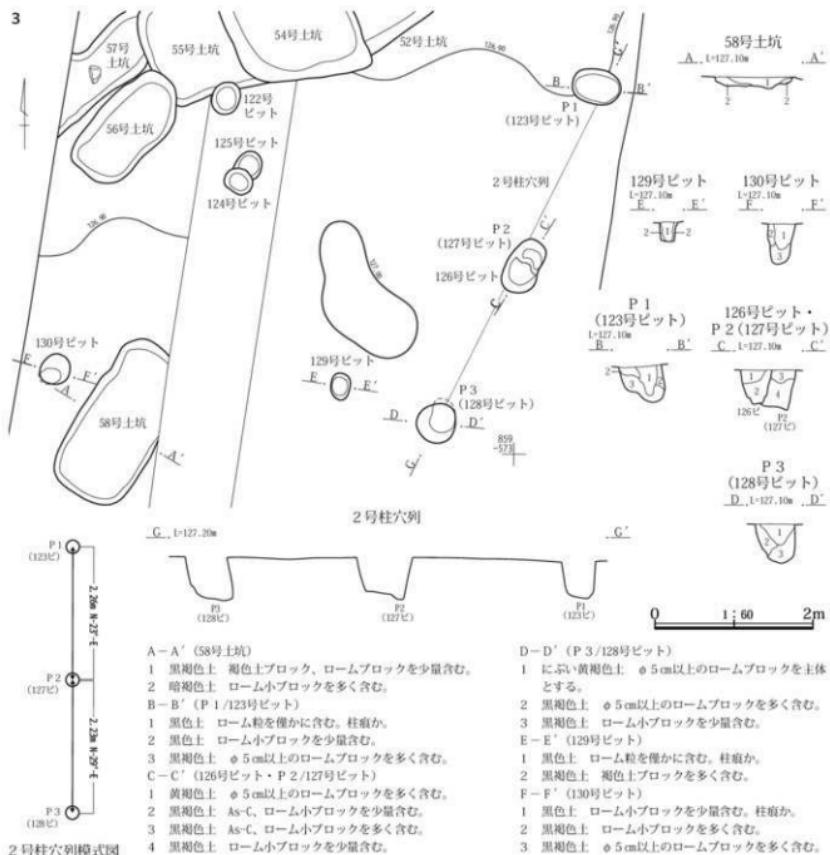
で、近接して並列し、東西方向に延びる。

各柱穴列の計測値等はそれぞれ模式図に示した。

1号柱穴列 確認面最高標高126.94m、最低標高126.89m。調査区南半の土坑・ビット群の北端にある。西のP1(調査時名称119号ビット)と東のP2(同120号ビット)間を北辺とし、これから直角に折れてP2-P3(同121号ビット)間を東辺とする。1間×1間の掘立柱建物が想定されるが、南北隅柱相当位置が46号土坑内にあたって確認できない。各ビットに柱痕は見られないが、各柱穴の底面標高は126.46~126.48mではほぼそろい、覆土に円礫を含む共通点がある。P3の覆土から陶磁器片が出土しており、近世以後の所産と判断される。また、P2が47号土坑を、P3が50号土坑を切っており、この柱穴列形成時にはすでに、土坑列が機能を停止した状態であったものと思われる。

2号柱穴列 確認面最高標高126.96m、最低標高126.91m。調査区南部中央の東寄りにあって、P1(調査時名称123号ビット)-P2(同126号ビット)-P3(同128号ビット)が南北に並ぶ。北端のP1には柱痕と見られる黒色土の陥入が見られる。P2・3は、覆土上位に黄褐色土、にぶい黄褐色土が乗る。底面の標高は両端のP1・3が126.41・126.42m、中央のP2はやや浅く126.51m。P1-P3間の芯々距離は4.51m、N-26°-Eを示していく。1号柱穴列のP2-P3間と類似した方向を探る。

3号柱穴列 確認面最高標高126.93m、最低標高126.85m。調査区南部東寄りにある。西のP1(調査時名称133

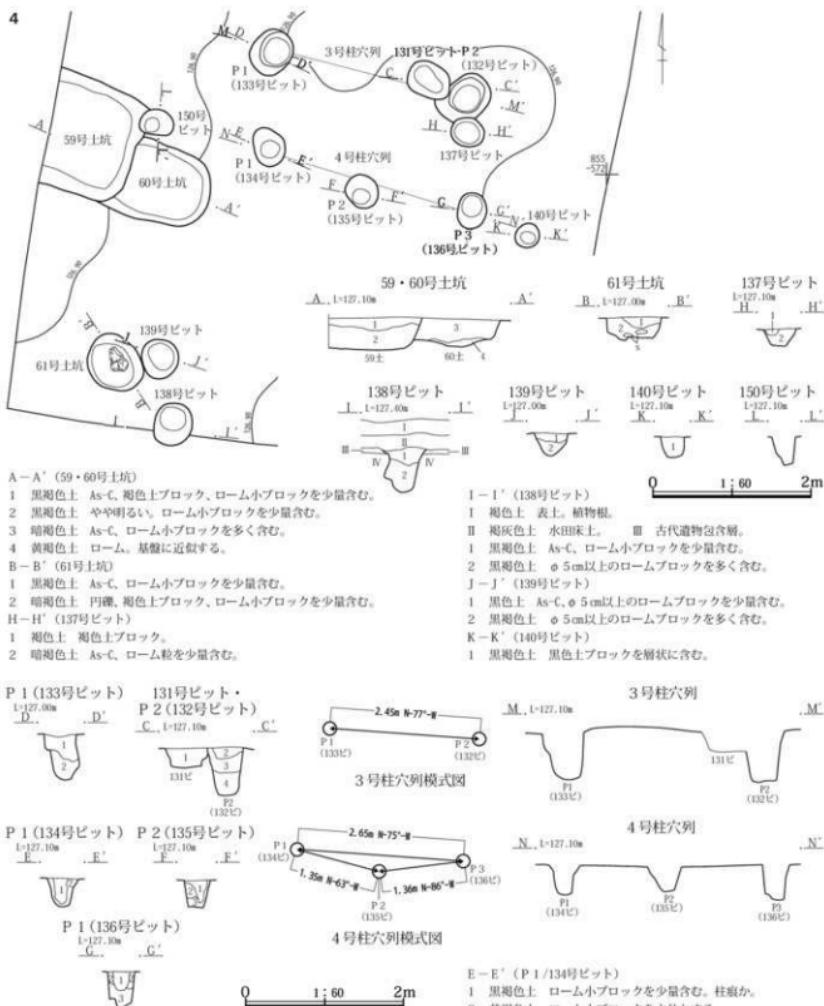


第9図 1区部分図3／2号柱穴列

号ビット)と東のP 2(同132号ビット)により構成される。底面標高はP 2が126.25m、西のP 3が126.27mと近似するが、覆土はP 1がローム小ブロックを少量含む黒褐色土を主体とし、P 2がロームブロックを多く含む暗褐色～黒褐色土を主体とする。両ビットとも、柱痕は認められていない。柱穴間2.49m、N-77°-W。南の4号柱穴列とは1.3mほどの間隔をあけてほぼ平行するが、4号柱穴列がやや東にずれている。

4号柱穴列 調査区南部東寄り、3号柱穴列の南に並行

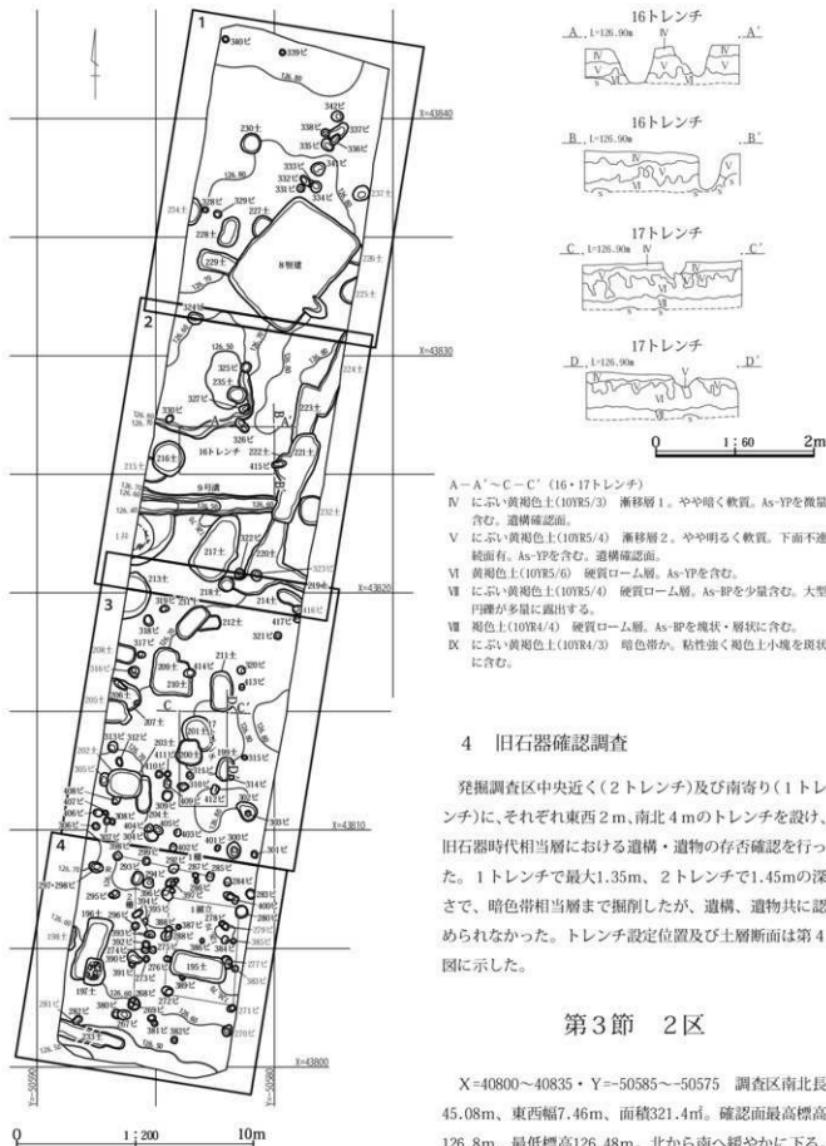
するようある。P 1(調査時名称134号ビット)・P 2(同135号ビット)・P 3(同136号ビット)が東西に並ぶ。確認面最高標高126.91m、最低標高129.86m。底面標高は東のP 3が126.40m、P 2が126.53m、P 1が126.48m。覆土はP 1・2が黄褐色土、P 3が暗褐色土を主体とするが、ともにロームブロックを多く含み、柱痕が認められている。P 1-P 3間は2.65m、N-75°-Wを示し、3号柱穴列とほぼ並行する。



- C-C' (131号ビット・P 2 / 132号ビット)
- 黒褐色土 As-C, ローム小ブロックを少量含む。
 - 褐色土 ローム粒を多く含む。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 黒褐色土 φ 5cm以上のローム粒を少量含む。
- D-D' (P 1 / 133号ビット)
- 黒褐色土 As-C, ローム小ブロックを少量含む。
 - 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

- E-E' (P 1 / 134号ビット)
- 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。柱痕か。
 - 黄褐色土 ローム小ブロックを主体とする。
- F-F' (P 2 / 135号ビット)
- 黒色土 ローム粒を僅かに含む。柱痕か。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 黄褐色土 φ 5cm以上のローム粒を主体とする。
- G-G' (P 3 / 136号ビット)
- 黒色土 ローム小ブロックを少量含む。柱痕か。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 暗褐色土 φ 5cm以上のローム粒を多く含む。

第10図 1区部分図4／3・4号柱穴列



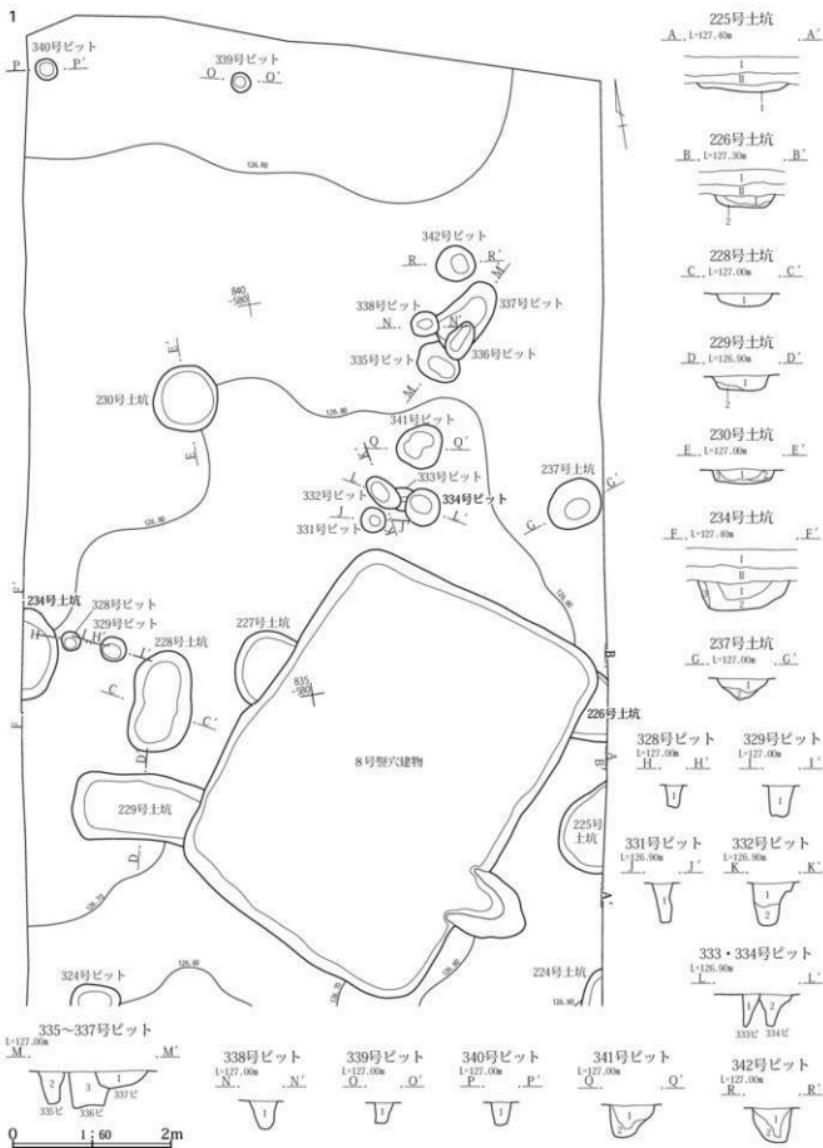
第11図 2区の遺構配置と土層

4 旧石器確認調査

発掘調査区中央近く(2トレンチ)及び南寄り(1トレンチ)に、それぞれ東西2m、南北4mのトレンチを設け、旧石器時代相当層における遺構・遺物の存否確認を行った。1トレンチで最大1.35m、2トレンチで1.45mの深度で、暗色帶相当層まで掘削したが、遺構、遺物共に認められなかった。トレンチ設定位置及び土層断面は第4図に示した。

第3節 2区

X=40800~40835・Y=-50585~-50575 調査区南北長45.08m、東西幅7.46m、面積321.4m²。確認面最高標高126.8m、最低標高126.48m。北から南へ緩やかに下る。調査区内の土層を第11図に示した。確認面構成土は、褐



第12図 2区部分図1

- A-A' (225号土坑)
 I 褐色土 表土。
 II 褐灰色土 水田土。
 1 黒褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 B-B' (226号土坑)
 I 褐色土 表土。
 II 褐灰色土 水田土。
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム小ブロックを少量含む。
 2 黒褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 C-C' (228号土坑)
 1 暗褐色土 As-C、褐色土ブロック、ローム粒を少量含む。
 D-D' (229号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 2 暗褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
 E-E' (230号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。
 2 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
 3 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 F-F' (234号土坑)
 I 褐色土 表土。
 II 褐灰色土 水田土。
 1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。
 2 黑褐色土 褐色土ブロック、ローム小ブロックを多く含む。
 3 暗褐色土 ローム粒を微量含む。地山に近似する。
 G-G' (237号土坑)
 1 暗褐色土 As-Cを少量含む。ローム粒を多く含む。
 2 暗褐色土 ロームブロックを多く含む。
 H-H' (328号ピット)
 1 黒褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

- I-I' (329号ピット)
 1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。
 J-J' (331号ピット)
 1 黒褐色土 As-C、φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 K-K' (332号ピット)
 1 黒褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 2 黑褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 L-L' (333・334号ピット)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。褐色土ブロックを多く含む。
 2 黑褐色土 ローム粒を少量含む。
 M-M' (335・337号ピット)
 1 黑褐色土 As-C、黒色土ブロック、ローム小ブロックを少量含む。
 2 黑褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 3 黑褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 N-N' (338号ピット)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 O-O' (339号ピット)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 P-P' (340号ピット)
 1 黑褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。
 Q-Q' (341号ピット)
 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 2 暗褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 R-R' (342号ピット)
 1 黑褐色土 As-C、φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 2 褐色土 ロームブロック主体。地山ロームに近似する。

色土ブロックを含む暗褐色土(IV層)で、古代遺物包含層に相当する。竪穴建物1棟、土坑42基、ピット99基、井戸1基、溝1条、掘立柱建物1棟、柵2条を確認した。竪穴建物は8世紀に比定され、出土遺物は杯・椀類に偏っている。また、「中郷長」 「奉」と読める刻文を付した石製紡輪が西壁際の埋土中位から出土した。調査区西壁にかかって、1号井戸が検出された。1m以上の深さがあり、湧水の安全上、底面までを確認するには至らなかつた。9号溝は1号井戸に切られる。東西に走向し、覆土下層からは円礫が出土している。

土坑、ピットは調査区南部に多く認められた。調査区中部から南部にかけて、北東-南西方向に延びる土坑列がある。また、掘立柱建物1棟、柵2条を調査区南東部で確認した。

1 溝

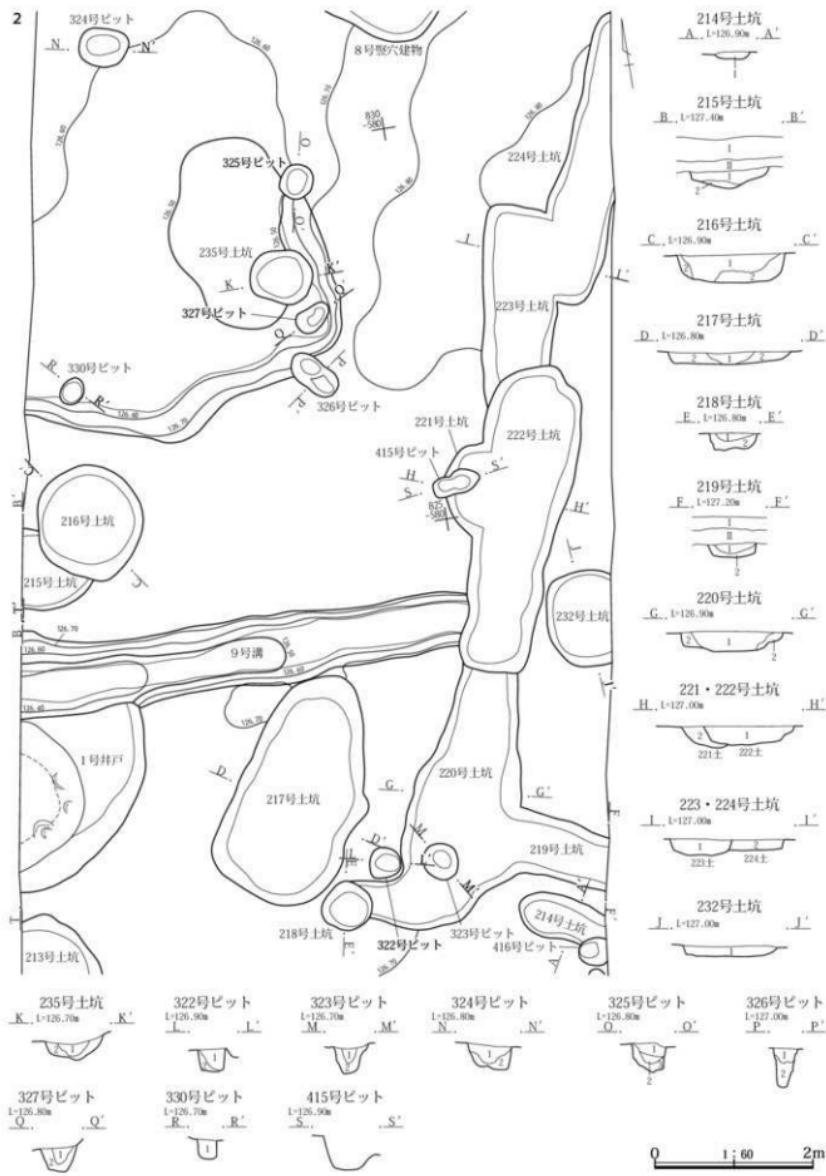
9号溝 調査区中部で9号溝を調査した。東西走するが、東は222号土坑に切られて、以東が把握できない。西は調査区外に延びる。確認長5.60m、上端幅0.33~0.58m、確認面からの深さ73cm。断面形は底面近くが錐状、中位以上は外方に大きく開く。覆土は下位が円礫やローム粒

を多く含む暗褐色土、上位はAs-C、ローム粒を少量含む黒褐色土。確認面最高標高126.78m、最低標高126.67m、底面最高標高126.63m、最低標高126.42m。方位はN-87°-W。全体としては西から東に下るが、最低位は中央西寄りにある。また、東壁際の232号土坑底面は9号溝底面東端の標高より高い位置にあり、土坑の土層断面ではこの溝が確認されていない。土坑の手前で溝が浅くなる、あるいは完結した可能性がある。須恵器の底部片や鉄鋤が出土しているが、直接的に溝の時期を示す遺物はない。中世~近世の所産と思われる。

2 土坑

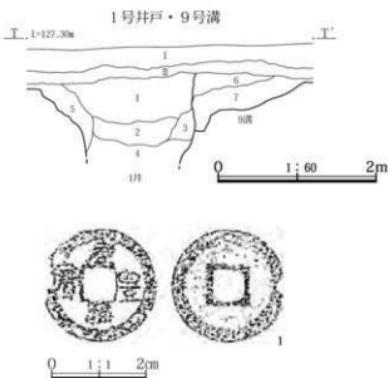
42基の土坑を調査した。平面形が方形に近いものや大小の円形土坑もあるが、狭長な長方形平面の土坑が多く認められた。調査区中部東壁際から南部にかけて、224-223-222-220土坑が、およそN-20°-E方向に長軸方位を備えた土坑列を形成する。220号土坑の南端には、この土坑列と直交する方向に長軸を持つ219号土坑が接続する。調査区南端の233号土坑は、西端が調査区外にあるが、確認長で既に3m近い狭長な平面形を有し、先の土坑列と直交する方向を示す。土坑列と233号土坑の間

2



第13図 2区部分図2

- A-A' (214号土坑)
 1 褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 B-B' (215号土坑)
 1 褐色土 表土。
 II 褐灰色土 水田土上。
 1 黒褐色土 ローム大ブロックを少量含む。
 2 黄褐色土 ロームブロックを主体とする。
 C-C' (216号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、褐色土ブロック、ローム粒を少量含む。
 2 にぶい黄褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 D-D' (217号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム小ブロックを少量含む。
 2 暗褐色土 ローム粒を多く含む。
 E-E' (218号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム小ブロックを少量含む。
 2 黑褐色土 ローム大ブロックを多く含む。
 F-F' (219号土坑)
 1 褐色土 表土。
 II 褐灰色土 水田土上。
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム粒を少量含む。
 2 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。



第14図 1号井戸・9号溝／1号井戸出土遺物

でも、195号土坑は東西方向、196号土坑は南北方向でこれらに近い長軸方位を示していて、何等かの地割を反映したかのような配置である。

出土遺物は多くないが、13基の土坑から土師器、須恵器等の破片が出土しており、200号土坑からは繩文土器小片、226号土坑からは石鏃も出土している。また、196号土坑と208号土坑からは鉄滓が出土しているが、いずれも機能や時期を示すものではない。円形平面の216号土坑からは、土師器の杯・甕、須恵器蓋摘部や瓦が、それぞれ小片ながら出土しており、やや古く位置付けられる印象がある。197号土坑は底面には礫が集積されてい

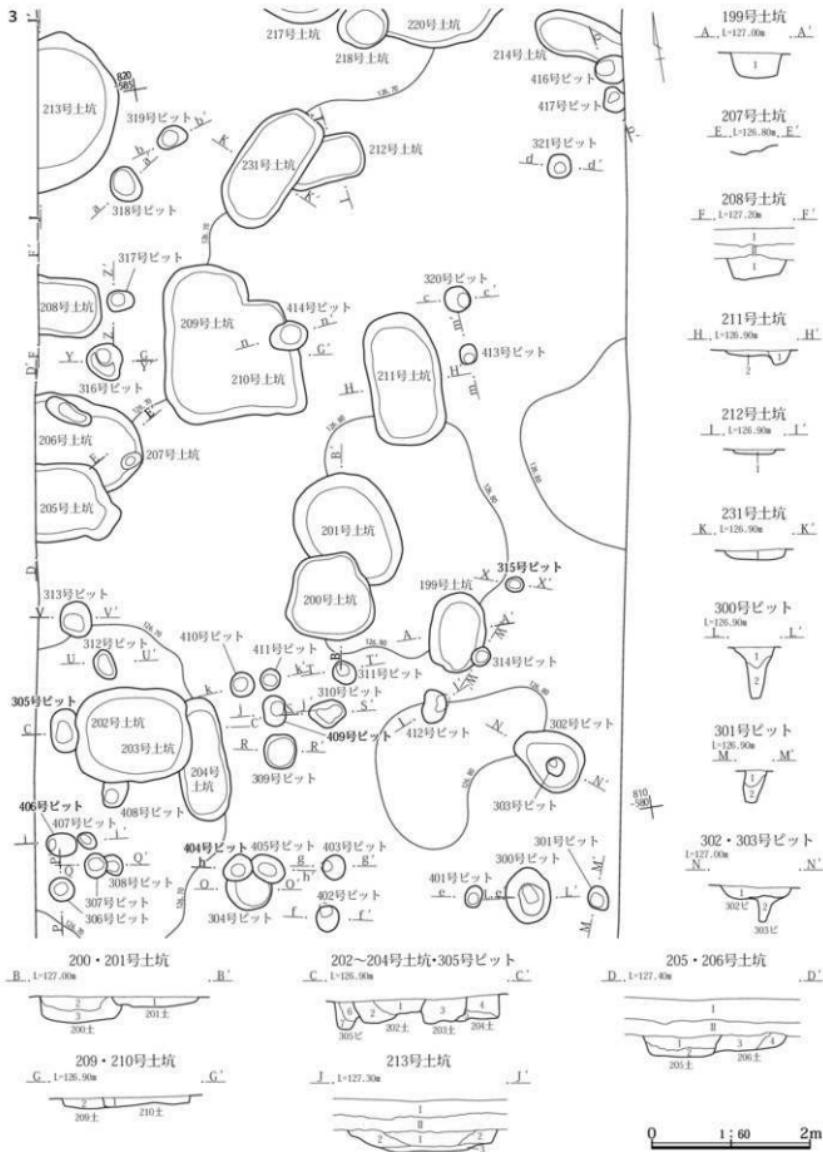
- G-G' (220号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム粒を少量含む。
 2 暗褐色土 ローム粒を多く含む。
 H-H' (221・222号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム粒を含む。
 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 I-I' (223・224号土坑)
 1 暗褐色土 As-C、φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 2 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 J-J' (232号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム粒を少量含む。
 K-K' (233号土坑)
 1 暗褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 L-L' (322号ビット)
 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 2 にぶい黄褐色土。
 M-M' (323号ビット)
 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 2 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 N-N' (324号ビット)
 1 暗褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 2 暗褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 O-O' (325号ビット)
 1 黒色土 やや砂質、As-C、小礫を含む。
 2 黑褐色土 ローム粒を多く含む。
 3 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 P-P' (326号ビット)
 1 暗褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 3 地山。
 Q-Q' (327号ビット)
 1 黑褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。
 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 R-R' (330号ビット)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む
 T-T' (1号井戸・9号溝)
 1 黑色土 やや砂質、As-C、ローム粒を少量含む。小礫を多く含む。
 2 黑色土 褐色土ブロックを少量含む。
 3 暗褐色土 小礫、砂礫土ブロックからなる。ローム粒を含む。
 4 暗褐色土 褐色土ブロック、円礫を多く含む。
 5 黑褐色土 炭化物、ローム小ブロックを含む。
 6 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 7 暗褐色土 円礫、ローム粒を多く含む。

ているが、他に出土遺物がなく、覆土もロームブロックを主体とし、As-Cを少量含む褐色土で、特定機能を窺うことができない。

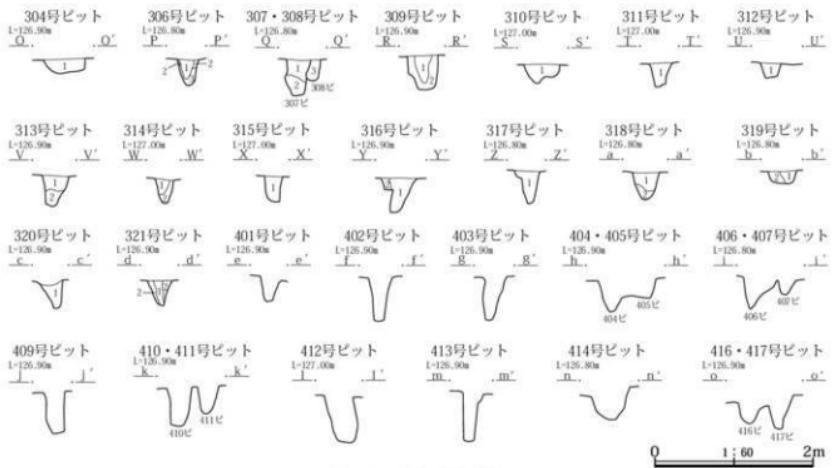
各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

3 井戸

1号井戸 調査区中部の西壁際にある。西半は調査区外にあって、全形は把握できない。北部は9号溝を切る。南北確認長2.20m、東西確認長1.52m。確認面から2.5mの深さまで掘削したが、底面には到達していない。湧水点は確認できない。上面での平面形はやや南北に長い



第15図 2区部分図3



第16図 2区部分図3断面

A - A' (199号土坑)

1 にふく黄色土 $As-C$ を少量含む。黒色土ブロック、ローム小ブロックからなる。

B - B' (200・201号土坑)

1 黒褐色土 $As-C$ 、炭化物、ローム小ブロックを少量含む。

2 黑褐色土 ローム粒を少量含む。

3 喀斯特土 ローム小ブロックを少量含む。

C - C' (202・204号土坑・303号ビット)

1 黑褐色土 $As-C$ 、炭化物、ローム小ブロックを少量含む。

2 喀斯特土 $\phi 5$ mm以上のロームブロックを多く含む。

3 喀斯特土 $As-C$ 少量含む。ローム小ブロックを多く含む。

4 喀斯特土 $As-C$ を多く含む。ローム粒を多く含む。

5 黑褐色土 ローム粒を少量含む。

6 黑褐色土 $As-C$ 、ローム小ブロックを少量含む。

7 喀斯特土 $\phi 5$ mm以下のロームブロックを含む。

D - D' (205・206号土坑)

1 喀斯特土 $As-C$ 、ローム小ブロックを少量含む。

2 喀斯特土 ローム小ブロックを多く含む。

3 喀斯特土 $As-C$ を少量含む。ローム粒を多く含む。

4 喀斯特土 ローム粒を少量含む。

F - F' (208号土坑)

1 喀斯特土 表土。

2 喀斯特土 水田灰土。

3 喀斯特土 $As-C$ 少量含む。ローム小ブロックを多く含む。

G - G' (209・210号土坑)

1 黑褐色土 $As-C$ 、炭化物、ローム粒を少量含む。

2 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

H - H' (211号土坑)

1 黑褐色土 $As-C$ 、炭化物を少量含む。 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

2 喀斯特土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

I - I' (212号土坑)

1 喀斯特土 $As-C$ を少量含む。 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

J - J' (213号土坑)

1 喀斯特土 表土。

2 喀斯特土 水田灰土。

3 黑褐色土 $As-C$ 、炭化物、ローム粒を少量含む。

4 喀斯特土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを少量含む。

K - K' (214号土坑)

1 喀斯特土 $As-C$ 、ローム粒を少量含む。

L - L' (200号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ を少量含む。ローム小ブロックを多く含む。

2 黑褐色土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを少量含む。

M - M' (301号ビット)

1 黑褐色土 $As-C$ 、ローム粒を少量含む。

2 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

N - N' (302・303号ビット)

1 黑褐色土 $As-C$ を少量含む。ローム小ブロックを多く含む。

2 黑褐色土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

O - O' (304号ビット)

1 黑褐色土 $As-C$ 、褐土土ブロック、ローム小ブロックを少量含む。

P - P' (306号ビット)

1 黑褐色土 ローム粒を少量含む。柱癩か。

2 黑褐色土 $As-C$ 、炭化物、ローム粒を含む。

3 にふく黄色土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

Q - Q' (307・308号ビット)

1 黑褐色土 $As-C$ を少量含む。ローム粒を多く含む。

2 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

3 喀斯特土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを少量含む。

R - R' (309号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ 、ローム粒を少量含む。

2 褐褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

S - S' - T - T' (310・311号ビット)

1 黑褐色土 $As-C$ を少量含む。 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

U - U' (312号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ を少量含む。 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

V - V' (313号ビット)

1 にふく黄色土 $As-C$ を少量含む。 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

2 喀斯特土 ローム粒を少量含む。

W - W' (314号ビット)

1 黑褐色土 $As-C$ 、ローム粒を少量含む。

2 喀斯特土 ローム小ブロックを多く含む。

X - X' (315号ビット)

1 黑褐色土 $As-C$ を少量含む。 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

Y - Y' (316号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ を少量含む。黑色土ブロック、ローム小ブロックを多く含む。

2 喀斯特土 ローム小ブロックを多く含む。

Z - Z' - a - a' (317・318号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ を少量含む。ローム小ブロックを多く含む。

2 黄褐色土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

d - d' (321号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ 、ローム粒を少量含む。

2 喀斯特土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

b - b' (322号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ 、ローム粒を少量含む。

2 喀斯特土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

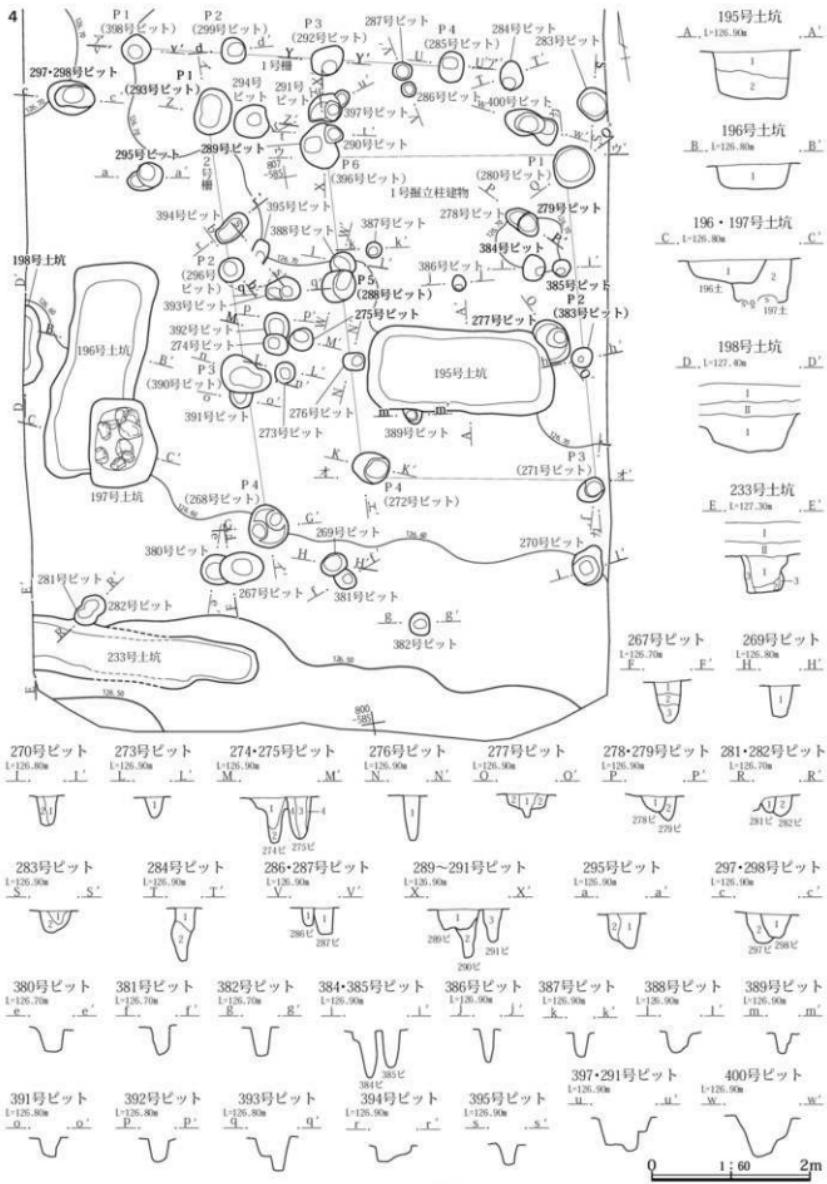
c - c' (323号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ を少量含む。 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。

d - d' (324号ビット)

1 喀斯特土 $As-C$ 、ローム粒を少量含む。

2 喀斯特土 $\phi 5$ cm以上のロームブロックを多く含む。



第17图 2区部分图4

A-A' (195号土坑)

- 1 黒褐色土 As-C、炭化物を少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 - 2 にぶい黄褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- B-B'・C-C' (196・197号土坑)
- 1 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - 2 褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを主体とする。
- D-D' (198号土坑)
- 1 褐色土 表土。
 - II 褐灰色土 水田土。
 - 1 黒褐色土 As-Cを少量含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- E-E' (233号土坑)
- 1 褐色土 表土。
 - II 褐灰色土 水田土。
 - 1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - 2 黒褐色土 ローム粒を多く含む。
 - 3 にぶい黄褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- F-F' (267号ビット)
- 1 黒褐色土 As-Cを少量含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 2 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 3 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- H-H' (269号ビット)
- 1 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - 1-I' (270号ビット)
 - 1 暗褐色土 As-Cを少量含む。ローム粒を多く含む。
 - 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- L-L' (273号ビット)
- 1 黒褐色土 As-Cを少量含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- M-M' (274・275号ビット)
- 1 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - 2 暗褐色土 ローム粒を多く含む。
 - 3 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 - 4 黄褐色土 ロームブロックを多く含む。

偏円形を呈し、井筒部は円形に近いものと思われる。断面形は上部が大きく聞く漏斗状を呈するが、9号溝との重複部では壁がほぼ直上に立ち上がる。肩部に数段の円礫が巡らされている。覆土下位は灰褐色土ブロックや円礫を多く含む褐色土、中位に黒色土が堆積し、上位には小礫を多く含み、As-Cやローム粒を少量含む砂質の黒色土が乗る。壁際には炭化物やロームブロックを含む黒褐色土が見られる。土師器表、須恵器表の小片、元豊通宝が出土している。中世～近世の所産であろう。

4 ビット

99基のビットを調査した。調査区北部では8号竪穴建物の周辺に小さなまとまりがあるものの散在的であり、南部に多くが見られる。複数のビットが組み合うものについては、次項で掘立柱建物、柵として扱う。

各ビットの計測値等は卷末の遺構一覧に示した。

5 掘立柱建物・柵

調査区南部で、掘立柱建物1棟、柵2条を調査した。1号掘立柱建物は1間×2間の南北棟の側柱建物で、1

N-N' (276号ビット)

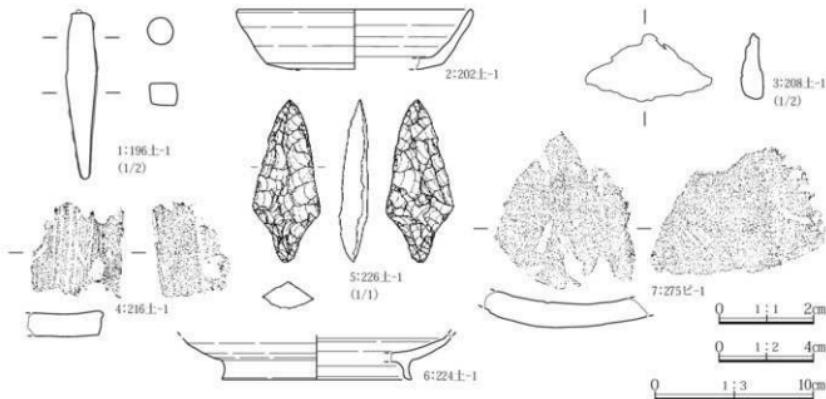
- 1 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - O-O' (277号ビット)
 - 1 暗褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 - 2 暗褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
- P-P' (278・279号ビット)
- 1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - 2 黒褐色土 As-Cを少量含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- R-R' (281・282号ビット)
- 1 暗褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 - 2 暗褐色土 As-Cを少量含む。黒色土ブロック、ローム小ブロックを多く含む。
- S-S' (283号ビット)
- 1 黒色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 - 2 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。
- T-T' (284号ビット)
- 1 暗褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 - 2 黑褐色土 ローム粒を多く含む。
- V-V' (286・287号ビット)
- 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。同一層。新旧不明。
 - X-X' (289～291号ビット)
 - 1 暗褐色土 As-Cを少量、ローム小ブロックを多く含む。
 - 2 黑褐色土 As-C、ローム大ブロックを少量含む。
 - 3 黑褐色土 As-Cを少量、ローム大ブロックを多く含む。
- a-a' (293号ビット)
- 1 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - 2 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- c-c' (297・298号ビット)
- 1 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

号柵はこの北辺と、2号柵はこの西辺とほぼ並行する。

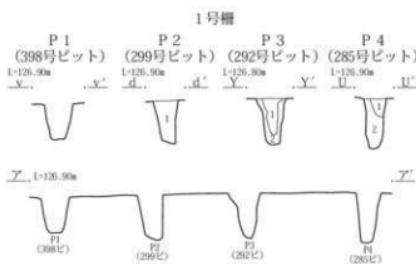
各柱穴列の計測値等はそれぞれ模式図に示した。

1号掘立柱建物 調査区南部にある。確認面最高標高126.75m、最低標高126.67m。東西1間、南北2間の側柱建物が想定されている。平行四辺形気味の平面形を呈する。南北の柱はほぼ直線的にそろうが、東西の柱通りは不均一で、柱間もそろわない。東辺は北からP1(調査時名称280号ビット)、P2(同383号ビット)、P3(同371号ビット)が並び、西辺は北からP6(同396号ビット)、P5(同288号ビット)、P4(同272号ビット)が並ぶ。いずれも幅が狭く深いU字状の断面形を有するビットである。底面標高は126.15m(P5)～126.32m(P4)で、中柱のP2・P5が深い。P3では黒褐色土が柱痕状に陥入する状況が見られる。

1号柵 確認面最高標高126.70m、最低標高126.78m。調査区南部。西端のP1(調査時名称398号ビット)から西へP2(同299号ビット)、P3(同292号ビット)、P4(同285号ビット)が並ぶ。いずれも幅が狭く深いビットで、P3断面では、柱痕状に入る黒褐色土が認められている。南に1号掘立柱建物、2号柵があり、1号掘



1・2号柵 1号掘立柱建物図



U-U' (P 4/285号ピット)

- 1 黒褐色上 As-Cを少量含む。φ 5 cm以上のロームブロックを多く含む。
- 2 にぶい黄褐色上 ローム小ブロックを主体とする。締まり弱い。

Y-Y' (P 3/292号ピット)

- 1 黒褐色上 As-C、ロームブロックを少量含む。
- 2 にぶい黄褐色上 φ 5 cm以上のロームブロックを主体とする。

d-d' (P 2/299号ピット)

- 1 暗褐色上 As-Cを少量含む。φ 5 cm以上のロームブロックを多く含む。

G-G' (P 4/268号ピット)

- 1 暗褐色上 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- 2 暗褐色上 ローム粒を多く含む。

Z-Z' (P 1/293・294号ピット)

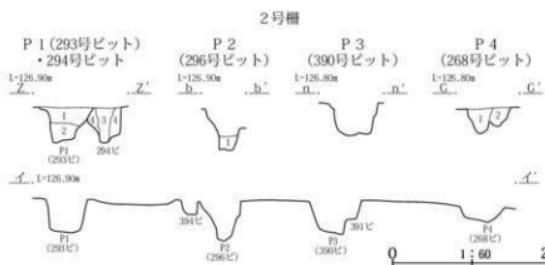
- 1 暗褐色上 As-Cを少量含む。φ 5 cm以上のロームブロックを多く含む。
- 2 黒褐色上 ローム小ブロックを少量含む。

暗褐色上 As-C、ローム粒を少量含む。

- 4 暗褐色上 φ 5 cm以上のロームブロックを多く含む。

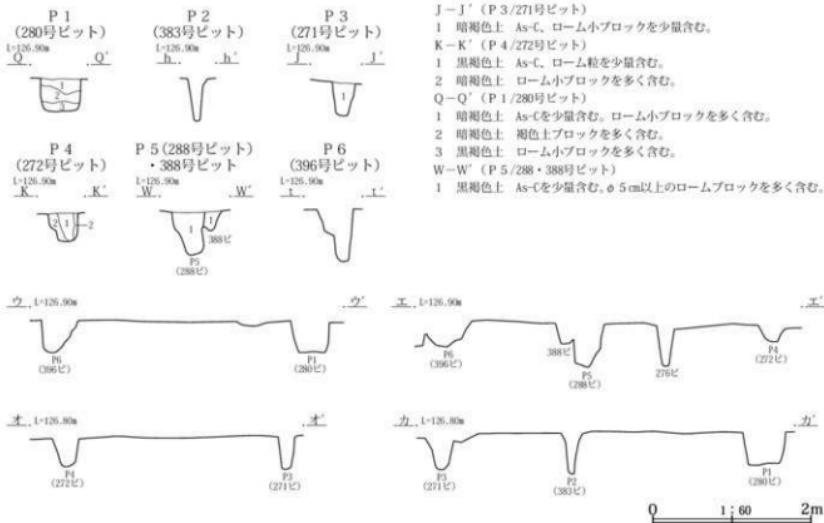
b-b' (P 2/296号ピット)

- 1 黒褐色上 φ 5 cm以上のロームブロックを多く含む。



第18図 2区出土遺物／1・2号柵／1号掘立柱建物1

1号掘立柱建物



第19図 1号掘立柱建物2

立柱建物の北辺とほぼ並行する。総長3.96m、方位はN-79°-W。

2号柵 確認面最高標高126.72m、最低標高126.62m。調査区南部、北端のP1(調査時名称293号ピット)から、南へP2(同296号ピット)、P3(同390号ピット)、P4(同268号ピット)が並ぶ。各柱穴は、1号柵に比して幅広の、逆台形に近い断面形を示し、明確に柱痕をとらえられるものはない。総長5.33m、方位はN-1°-E。東の1号掘立柱建物の西辺とほぼ並行する。

6 竪穴建物

8号竪穴建物 調査区北部で8号竪穴建物を調査した。周囲には中・近世の所産と思われる土坑、ピットがあるが、近接する同時代の遺構は認められない。また、この区では他の竪穴建物は確認されておらず、南にある3区の竪穴建物とは、やや距離を置く。

位 置 X=43831～43836・Y=-50589～-50576グリッド
226号、227号、229号土坑に切られる。確認面最高標高
126.87m、床面最高標高126.44m。

J-J' (P 3/271号ビット)

- 1 暗褐色上 As-C_x、ローム小ブロックを少量含む。
 K-K' (P 4/272号ビット)

1 黒褐色上 As-C_x、ローム粒を少量含む。

2 暗褐色上 ローム小ブロックを多く含む。
 Q-Q' (P 1/280号ビット)

1 暗褐色上 As-C_xを少含む。ローム小ブロックを多く含む。

2 暗褐色上 岩色上ブロックを多く含む。

3 黑褐色上 ローム小ブロックを多く含む。

W-W' (P 5/288・388号ビット)

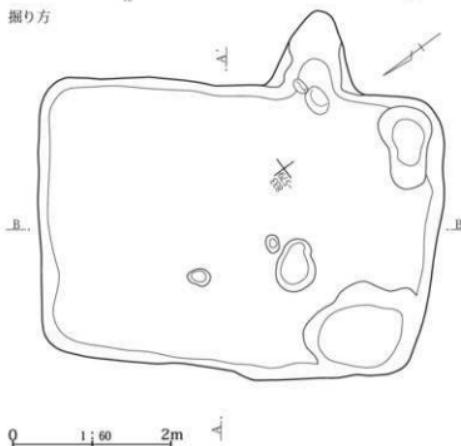
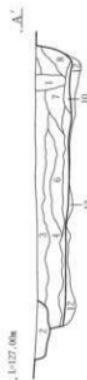
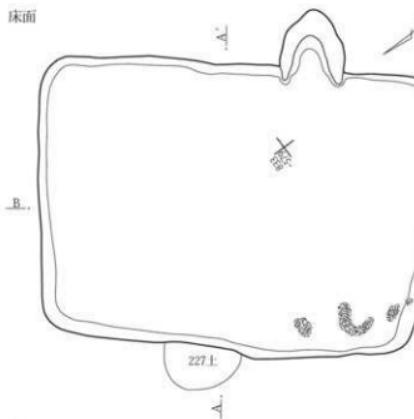
1 黑褐色上 As-C_xを量含む。約 5 cm 以上のロームブロックを多く含む。

規模・形状 床面長軸長5.04m 床面短軸長3.58m 最大壁高43cm、主軸方位はN-52°-W。平面形は北東-南西に長い、横長の隅丸長方形の平面形を呈す。各壁はあまり間かずに立ち上がる。

覆 土 大型のロームブロックや炭化物を含む暗褐色土が床面を覆い、この上にロームブロックや炭化物を含む黒褐色土が乗る。南北壁際には大粒の炭化物が含まれ、壁面に接して炭化材もみられた。

床・掘り方 掘り方に、黒色土ブロックやロームブロックからなるにぶい黄褐色土を充填して床面を構成する。壁周溝等は認められず、豊穴内全面が硬化している。西隅部には粘土が点在する。掘方では、西隅部および南隅部に不整な土坑状の掘り込みが見られるほか、豊穴中央部にも土坑状、ピット状の掘り込みが見られる。

竈 南東壁の南寄りに、燃焼部を壁外に掘り込んで構築される。壁際に袖の芯材と思われる礎があり、土層断面5層に大型の白色粘土ブロックが含まれている。礎を構造材、白色粘土を構築材としたものであろう。燃焼部内にも円礎があるが、竈構造との関連はとらえがたく、地



- A - A'・B - B' (8号竖穴建物)
- 1 黒色土(10YR2/1) 砂質、As-Cを含む。別ピットの覆土。締まり弱い。
 - 2 暗褐色土(10YR3/4) 227号土坑覆土。As-C、ローム小ブロックを少量含む。締まり弱い。
 - 3 黒褐色土(10YR3/2) As-C、ローム粒、炭化物を少量含む。締まり強い。
 - 4 黒褐色土(10YR2/3) やや明るい。ローム小ブロック、炭化物を少量含む。締まり強い。
 - 5 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土ブロック、ローム小ブロックを少量含む。締まり強い。
 - 6 黒褐色土(10YR3/2) やや暗い。大粒の炭化物、ローム小ブロックを多く含む。締まり強い。
 - 7 黒褐色土(10YR2/2) 硫上粒、ローム粒を少量含む。締まり弱い。
 - 8 暗赤褐色土(SYR3/6) ø 5cm以上の焼上ブロックを多く含む。竈の影響を受けている。締まり弱い。
 - 9 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物、ø 5cm以上のロームブロックを多く含む。締まり強い。
 - 10 暗褐色土(10YR3/3) 烧上小ブロック、炭化物、ロームブロックを含む。竈の影響を受けている。締まり弱い。
 - 11 黒褐色土(10YR2/2) 大粒の炭化物、ローム小ブロックを含む。締まり弱い。
 - 12 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 黑色土ブロック、ロームブロックからなる粘土床。床面全面に広がり硬化面を伴う。

第20図 8号竖穴建物 I

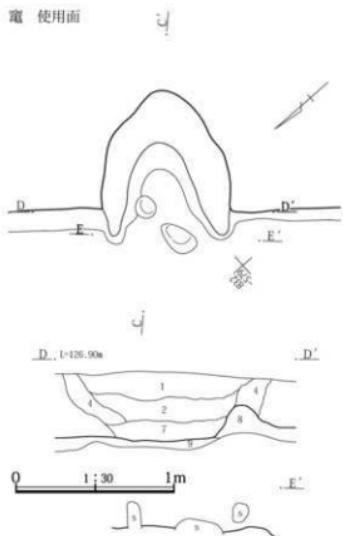
山廻とみられる。袖部窓の内側幅59.4cm。燃焼部底面および側壁は被熱して赤化し、硬く締まっている。

貯蔵穴 挖方では竈右手にある南隅部に土坑状の掘り込みがあるが、床面では認められない。遺物の分布も、この掘り込みとは相関しない。

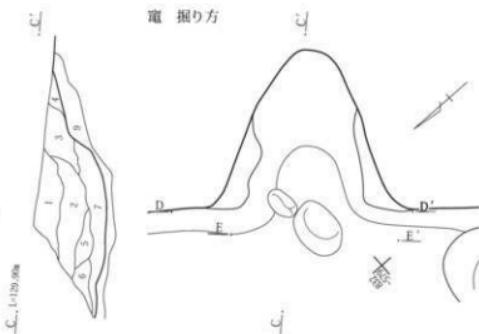
柱穴・ピット・土坑等 認められていない。

遺物出土状況 土器師の杯・甕、須恵器の杯・蓋・盤・壺、道具瓦、石製紡輪、炭化材など、多くの遺物が出土している。出土状況の概要を第21図に示したが、完形に近い杯類が、竪穴北西半を中心に数多く出土している。床からは浮いた位置にあるものの、覆土上位からの出土ではない。一方、通有の竪穴建物で多くみられるような、

竪 使用面



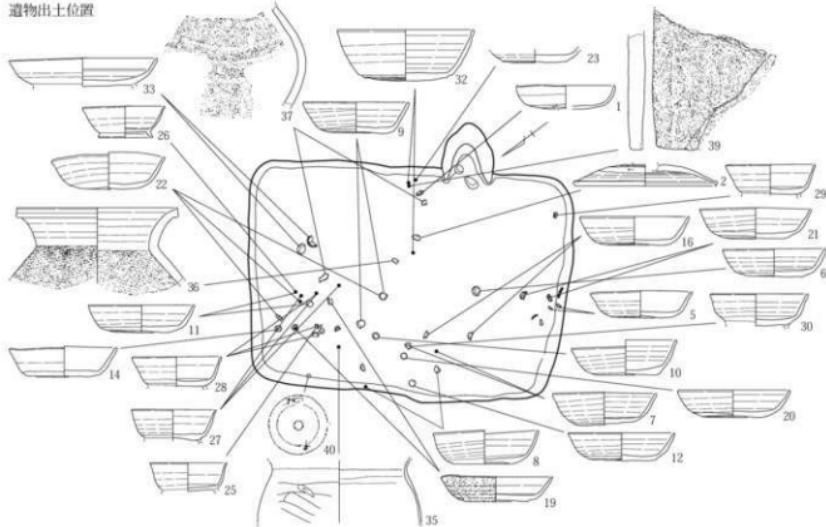
竪 掘り方



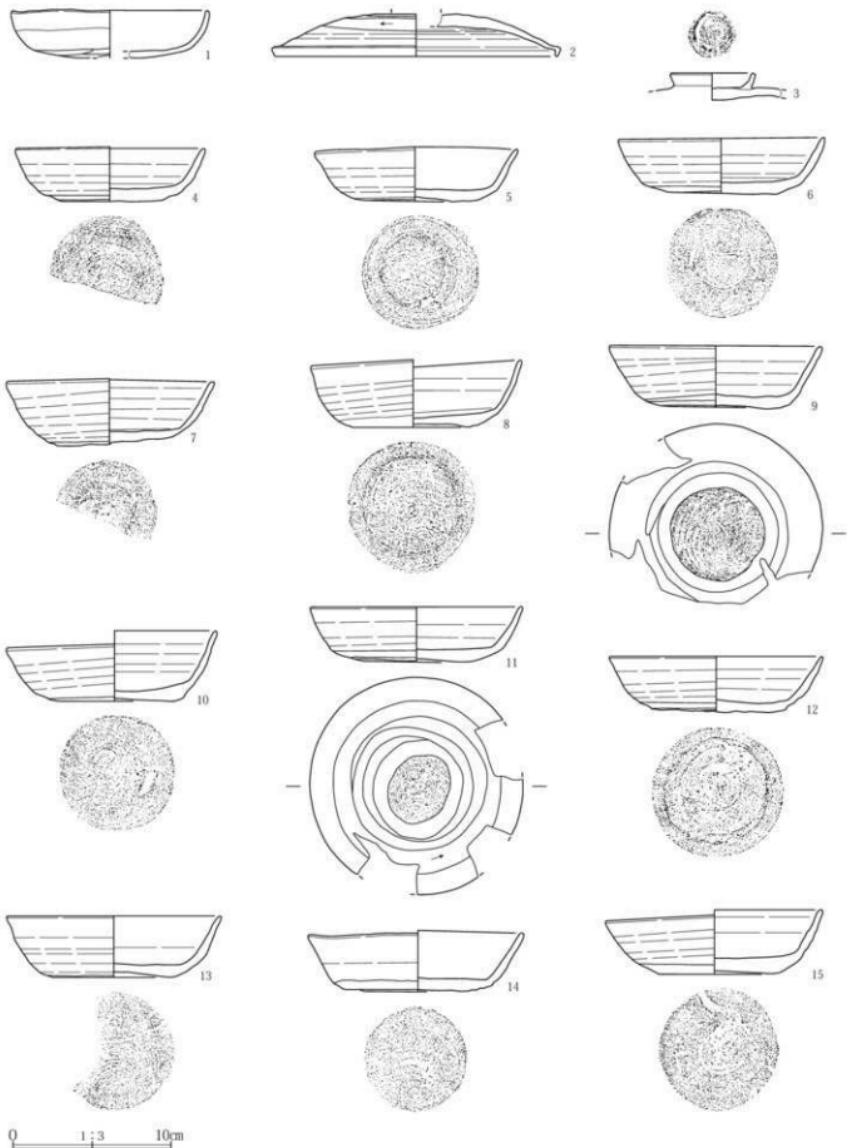
C-C'・D-D' (8号竪穴建物 竪)

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 焼上粒、ローム粒を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 焼上小ブロック、炭化物、ローム粒を少量含む。
- 3 暗赤褐色土(SYR3/6) 焼上小ブロック、炭化物を多く含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土ブロックを多く含む。締まり強い。
- 5 暗灰色土(10YR5/1) φ 5cm以上の白色粘土ブロックを主とする。
- 6 明赤褐色土(SYR3/4) 焼土粒、炭化物を多く含む。
- 7 暗赤褐色土(SYR3/6) 焼上小ブロックを多く含む。下位使用面。
- 8 暗灰色土(10YR6/1) 白色粘土粒、焼土小ブロックを多く含む。
- 9 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 焼土ブロック、褐色土ブロック、ローム小ブロックを含む。

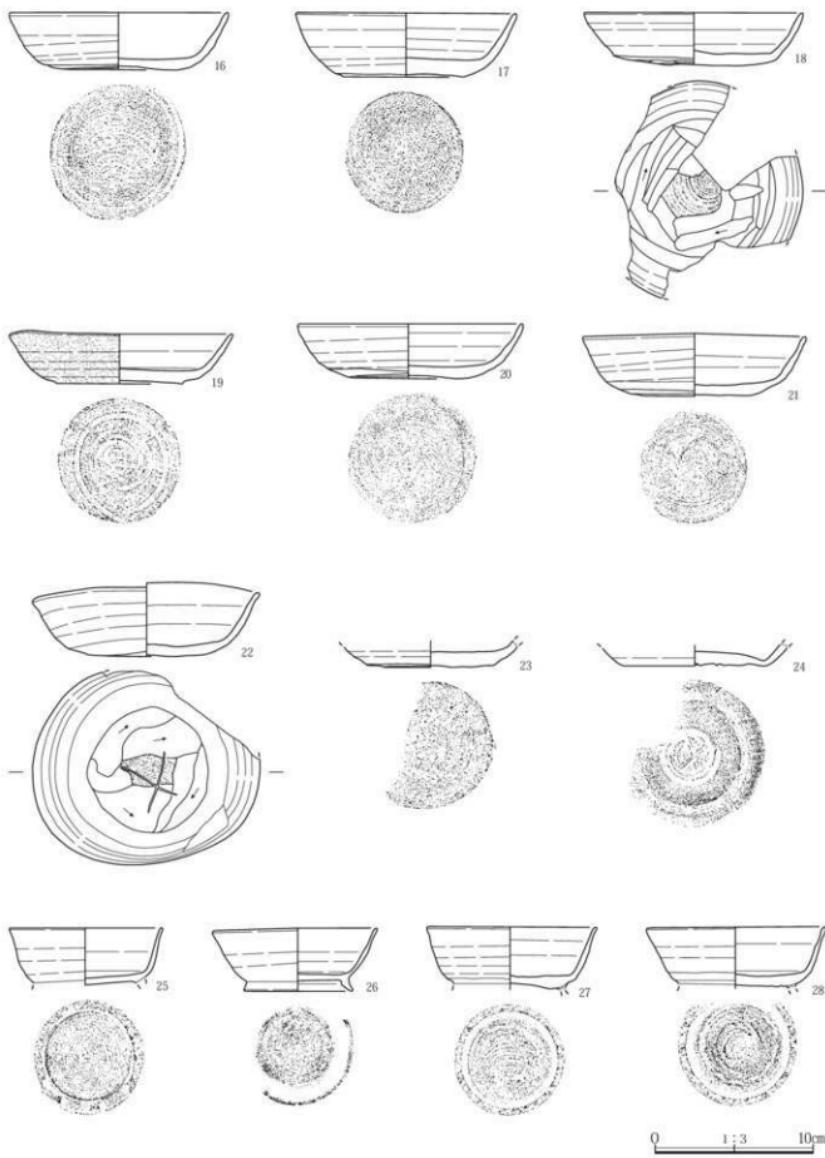
遺物出土位置



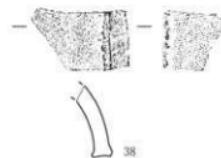
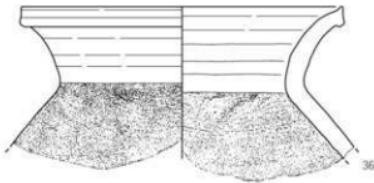
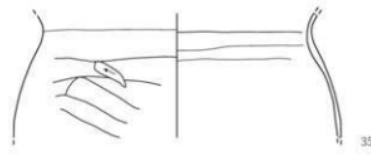
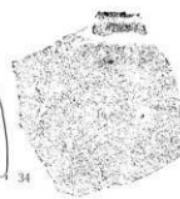
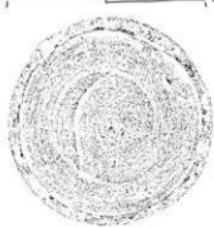
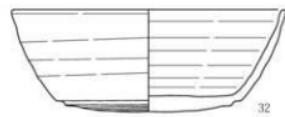
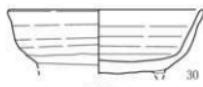
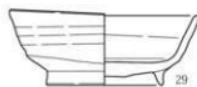
第21図 8号竪穴建物2



第22图 8号竖穴建筑3 出土遗物1

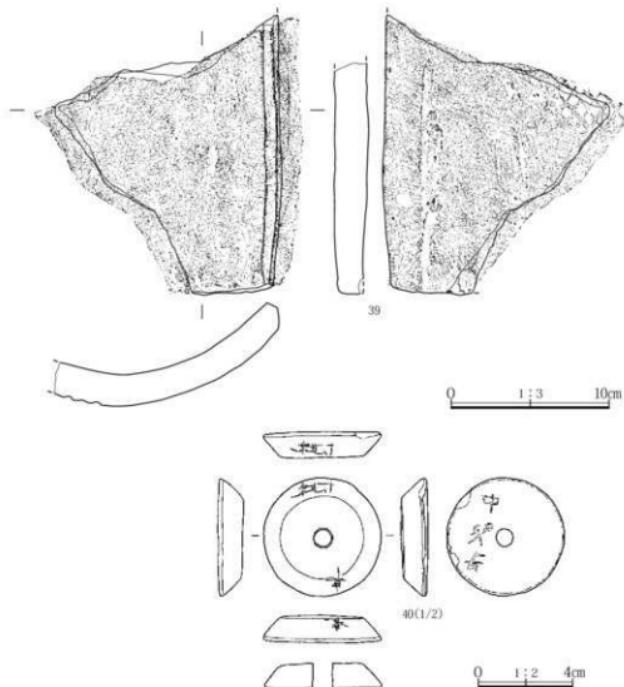


第23图 8号竖穴建筑4 出土遗物2



0 1:3 10cm

第24图 8号竖穴建物5 出土遗物3



第25図 8号竪穴建物6 出土遺物4

竈周辺や貯蔵穴相当位置からの土器出土は乏しい。破片も含めて、農類の煮沸具がごく少ない点も注意される。

時 期 須恵器杯から8世紀後半の年代観が与えられるが、底部切り離し技法が複数あり検討を要す。周辺遺跡例と比較した年代観について、第3章で詳述する。

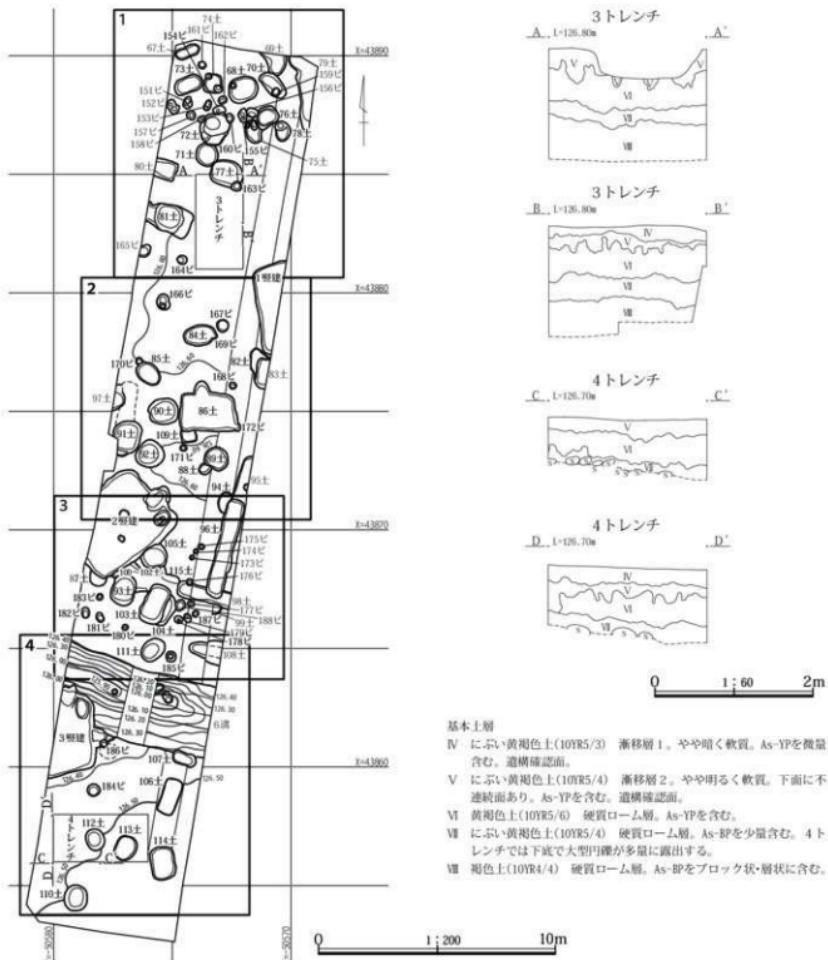
7 旧石器確認調査

調査区中央北に、東西4m、南北2mの16トレンチ、同南に東西2m、南北4mの17トレンチを設けて、旧石器時代相当層における遺構・遺物の存否確認を行った。17トレンチでは最大0.59mでVII層、16トレンチでは0.52mの深さでVI層中の、ともに礫を含む層位まで掘削したが、遺構、遺物共に認められなかった。トレンチ設定位置及び土層断面は第13図に示した。

第4節 3区

X=43755～43795・Y=-50615～-50605 調査区南北長37.73m、東西幅6.42m、面積234.13m²。確認面最高標高126.67m、最低標高126.38m。北から南へ緩やかに下る。現水田の床下を確認面とする。確認面構成土は、古代遺物包含層に相当する、褐色土ブロックを含む暗褐色土、あるいはローム漸移層に相当するにぶい黄褐色土である。竪穴建物3基、土坑49基、ピット38基、溝1条を調査した。

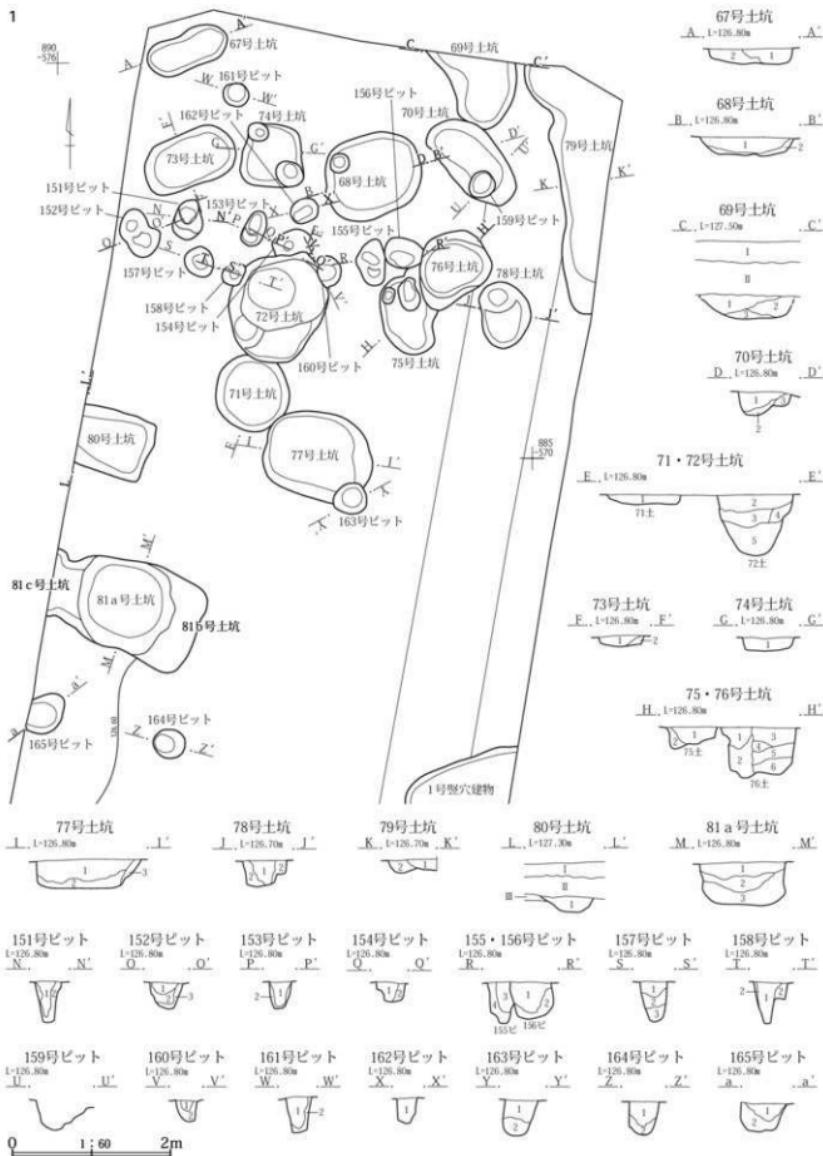
調査区南部に幅広の6号溝が東西走する。土坑、ピットは調査区全体にみられる。北端近くと中部南寄りにやまとまる部分が見られ、北部南寄りと南部では散在的



第26図 3区の遺構配置と土層

になる。ほとんどの土坑が中世から近世以後の所産と思われるが、110号土坑からは土師器、須恵器片や鉄製品が出土していて、古代に属する可能性がある。87号土坑からは炭化物とともに骨片が出土しており、時期の特定はできないものの、火葬跡と考えられる。竪穴建物3棟はいずれも古代に属する。土師器、須恵器のほか、3棟

ともに鉄滓を出し、1号竪穴建物からは石製紡輪、2号竪穴建物からは完形の平瓦が出土した。3号竪穴建物は東壁から北壁に竈が作り替えられている。



第27図 3区部分図1

- A - A' (67号土坑)
- 暗褐色土 As-C, ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 - 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- B - B' (68号土坑)
- 暗褐色土 As-C, 炭化物、ローム粒を多く含む。
 - 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- C - C' (69号土坑)
- 褐色土 表土。
 - 現水田床土。
 - 黑褐色土 As-C, 炭化物、ローム小ブロックを多く含む。
 - 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
- D - D' (70号土坑)
- 黑褐色土 As-C, 炭化物、 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- E - E' (71・72号土坑)
- 黑褐色土 As-C, 炭化物、黒色土ブロックを少量含む。
 - 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロック、褐色土ブロックを多く含む。
 - 褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 暗褐色土 ローム粒を少量含む。
 - 褐色土 黒色土ブロック、ロームブロックを多く含む。
- F - F' (73号土坑)
- 暗褐色土 As-C, 炭化物、ローム小ブロックを少量含む。
 - 黄褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- G - G' (74号土坑)
- 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- H - H' (75号土坑)
- 暗褐色土 As-C, 炭化物、ローム小ブロックを多く含む。
 - 褐色土 ロームブロックを主体とする。
- H - H' (76号土坑)
- 黑褐色土 As-C, ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。別ビットの覆土。
 - 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。別ビットの覆土。
 - 黑褐色土 As-C, 炭化物、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 黄褐色土 ロームブロックを主体とする。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
- I - I' (77号土坑)
- 黑褐色土 As-C, 炭化物、ローム粒を少量含む。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 黄褐色土 ロームブロックを主体とする。
- J - J' (78号土坑)
- 黑色土 ローム粒を僅かに含む。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- K - K' (79号土坑)
- 黑色土 As-C, ロームブロックを少量含む。
 - 暗褐色土 ローム粒を多く含む。
- L - L' (80号土坑)
- 褐色土 表土。
- II 現水田床上。
- III 暗褐色土。
- 黑褐色土 As-C, ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- M - M' (81号土坑)
- 黑褐色土 As-C, 炭化物、ローム粒を少量含む。
 - 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
- N - N' (151号ビット)
- 黑色土 As-C, ローム粒を僅かに含む。柱庭か。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- O - O' (152号ビット)
- 黑色土 As-C, ローム粒を僅かに含む。
 - 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 黄褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを主体とし黒色土ブロックを含む。
- P - P' (153号ビット)
- 黑褐色土 As-C, ローム粒を多く含む。
 - 褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- Q - Q' (154号ビット)
- 黑褐色土 As-C, ローム大塊を多く含む
 - 黄褐色土 ローム大塊を多く含む。
- R - R' (155・156号ビット)
- 黑褐色土 As-C, ローム大塊を少量含む。
 - 黄褐色土 ローム大塊を多く含む。
 - 黑褐色土 As-C, ローム粒を少量含む。
 - 黑褐色土 ローム大塊を多く含む。
- S - S' (157号ビット)
- 黑褐色土 As-C, ローム粒を少量含む。
 - 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
- T - T' (158号ビット)
- 黑褐色土 As-C, ローム粒を少量含む。
 - 褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
- V - V' (160号ビット)
- 黑色土 ローム粒を少量含む。
 - 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- W - W' (161号ビット)
- 黑褐色土 As-C, ローム粒を少量含む。
 - 褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- X - X' (162号ビット)
- 黑褐色土 As-C, ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
- Y - Y' (163号ビット)
- 暗褐色土 As-C, 炭化物、ローム小ブロックを含む。
 - 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- Z - Z' (164号ビット)
- 暗褐色土 As-C, ローム粒を少量含む。
 - 褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- a - a' (165号ビット)
- 黑褐色土 As-C, ローム小ブロックを少量含む。
 - 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

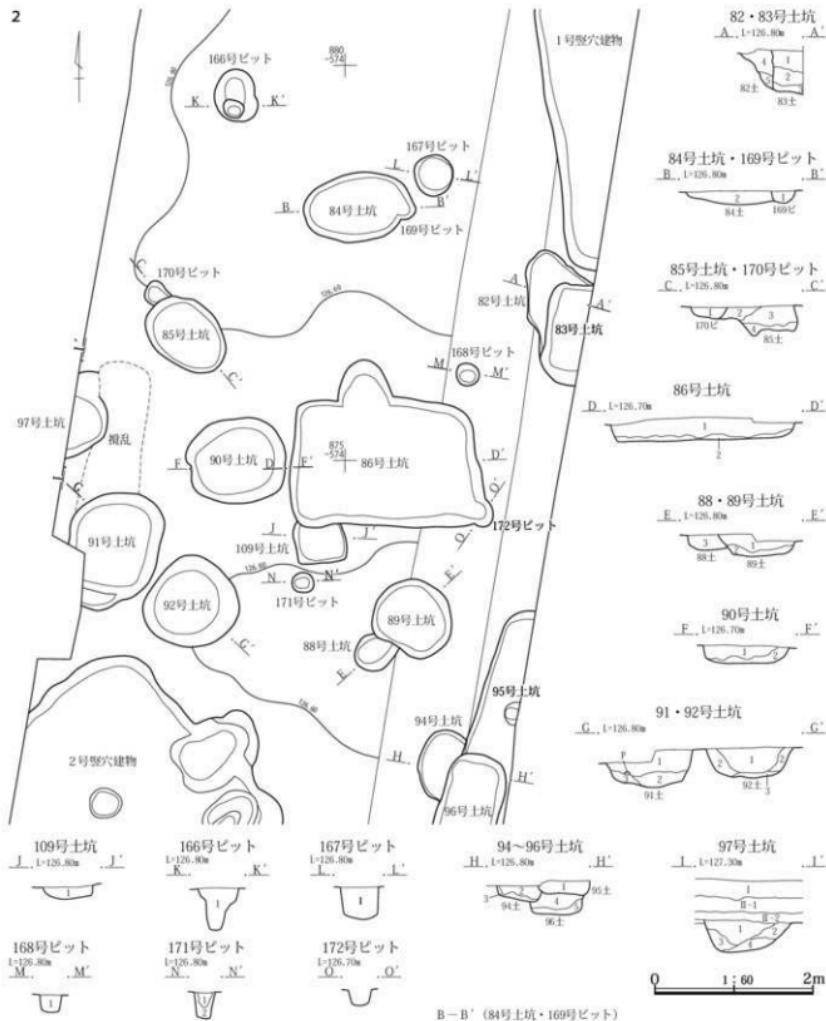
1 溝

6号溝 調査区中部にあって東西走する。東西とともに調査区外に延びる。確認長12.75m、上端幅3.11m、確認面からの深さ94cm。断面形は碗状に近い。中央部では底面が北に偏する。覆土は底面近くでは暗褐色土が主体で、中位以上は黒褐色～黑色土を主体とする。焼土粒や炭化物を含む。確認面最高標高126.41m、最低標高

126.38m、底面最高標高126.30m、最低標高125.90m。方位はN-78°-W。東から西へ下る。3号竪穴建物を切る。土師器杯・壺片、須恵器杯・壺片、灰釉陶器片、地場産の陶器的な壺の破片、石製品、鉄滓・瓦片などが出土している。中世～近世の所産である。

2 土坑

49基の土坑を調査した。前記1・2区で多数を占めた



- A - A' (82・83号土坑)
 1 黒褐色土 As-C. ローム小ブロックを少量含む。
 2 黒褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 3 黑褐色土 黒色上ブロック、φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 4 暗褐色土 褐色上ブロック、φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 5 褐色土 ロームブロックを多く含む。
- B - B' (84号土坑・169号ビット)
 1 暗褐色土 As-C. ローム小ブロックを多く含む。
 2 褐色土 As-C. φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 C - C' (85号土坑・170号ビット)
 1 黒褐色土 褐色上ブロックを多く含む。
 2 褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 3 暗褐色土 As-C. 褐色上ブロックを含む。
 4 黄褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを主体とする。

第28図 3区部分図2

- D-D' (86号土坑)
- 1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロック、炭化物を少量含む。
 - 2 黄褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを主体とする。
- E-E' (88・89号土坑)
- 1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。
 - 2 黑褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 3 喀褐色土 炭化物、ローム粒を少量含む。
- F-F' (90号土坑)
- 1 黑褐色土 As-C、炭化物、ローム粒を含む。
 - 2 褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- G-G' (91号土坑)
- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 - 2 黑褐色土 褐色土ブロック、炭化物を少量含む。
 - 3 黑褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- G-G' (92号土坑)
- 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を僅かに含む。
 - 2 喀褐色土 炭化物、ローム小ブロックを少量含む。
 - 3 黄褐色土 ロームブロックを主体とする。
- H-H' (94~96号土坑)
- 1 暗褐色土 As-C、炭化物、ローム粒を少量含む。
 - 2 黑褐色土 As-C、炭化物、褐色土ブロックを含む。
 - 3 黄褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 4 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
- I-I' (97号土坑)
- 1 黑褐色土 表土。
 - II-II' (98号土坑)
- 1 黑褐色土 現水田床上。
 - II-2 にぶい赤褐色土 熟化した水田床上。
- J-J' (109号土坑)
- 1 暗褐色土 炭化物、黒褐色土ブロック、ローム小ブロック・As-Cを含む。
 - 2 黑褐色土 炭化物、φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 3 黑褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 4 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- K-K' (166号ビット)
- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- L-L' (167号ビット)
- 1 黑褐色土 ローム粒を僅かに含む。柱痕か。
 - 2 黑褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- M-M' (168号ビット)
- 1 喀褐色土 As-C、φ 5cm以上のロームブロックを含む。
- N-N' (171号ビット)
- 1 黑褐色土 ローム粒を僅かに含む。柱痕か。
 - 2 褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

狭長な長方形平面の土坑は、調査区中部東壁沿いの95号、96号土坑やこれの南端にあって直交方向に延びる98号土坑があるものの、数は少ない。これらより遡る時期にあたると思われる、円形、偏円形平面の土坑が目立つ。繩文土器片や陶磁器片も混じっており、直接的に時期や機能を特定できないが、多くの土坑に土師器、須恵器片があって、周辺の竪穴建物と関連する可能性がある。86・88・92・94・96・98~100・105・107・109・113号土坑からは鉄滓が出土していて、こちらは鍛冶関係遺構と考えられる1号竪穴状遺構との関連を感じさせる。なお、87号土坑については、火葬跡として別に記載する。

各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

3 ビット

38基のビットを調査した。調査区北端部および南部の6号溝北側に小さなまとまりがあるものの散在的であり、複数のビットが組み合って掘立柱建物や柵などを構成するものは認められていない。

各ビットの計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

4 火葬跡

調査時名称87号土坑。調査区中部南寄りにある。2号竪穴建物の南隅部を切る。東に93号土坑、南に183号ビットがある。長軸長1.47m、短軸長1.02m、深さ29cm。底面最低標高126.21m。長軸方位N-18°-E。平面形は北

部が狭く、南部が幅広になる涙滴形に近い。中部に東方向への張り出しがあり、西側の対応位置も小さく張り出す。断面形は浅い碗状で、壁の立ち上がりは見られない。底面には薄い灰層があり、この上に炭化物、焼土ブロック、骨片を含む黒褐色土がある。焼土ブロックや炭化物を含む黒褐色土を挟んで、炭化材や骨片を多く含む黒色～黒褐色土が乗る。

土師器杯・甕小片、須恵器杯小片、金属片等が出土しているが、これらは時代や機能を示す出土状況ではない。竹を含む炭化木片や焼骨片が出土しており、銭等の副葬は見られない。土坑の形状や焼土の分布を併せ見ると、墓葬を目的とした土坑ではなく、火葬の場、荼毘所に相当する遺構と思われる。

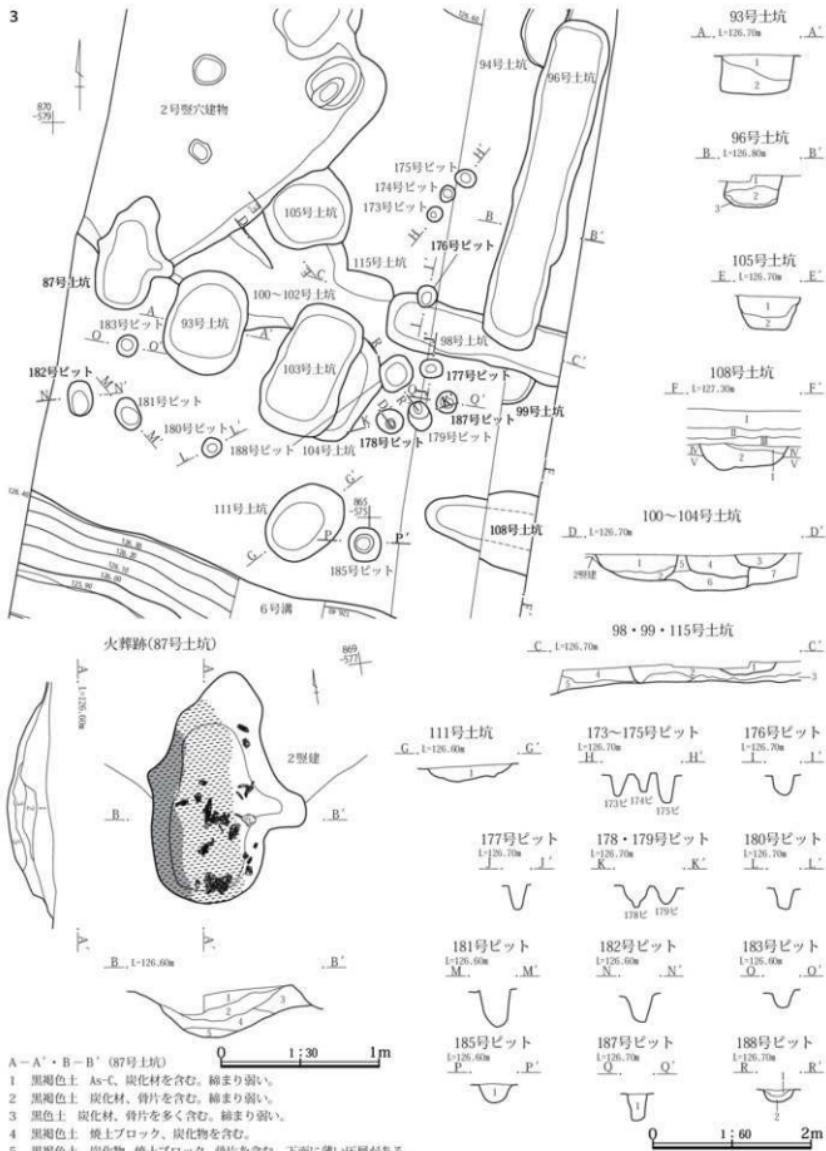
5 竪穴建物

竪穴建物3棟を調査した。調査区北部南寄りに1号、中部に2号、南部に3号竪穴建物がある。1号竪穴建物は西部の一部が認められたのみで、他の2棟も、調査区界にかかる。2号竪穴建物からは、須恵器杯・甕蓋等の土器のほか、完形の平瓦が出土した。3号竪穴建物は、東竈から北竈への作り替えが認められた。3棟ともに9世紀の所産と思われる。

1号竪穴建物

位 置 X=43783~43787・Y=-50586~-50585グリッド
調査区中央部の東壁際にある。過半が調査区外にあたり、

3



第29図 3区部分図3／火葬跡

- A - A' (93号土坑)
- 1 黒褐色土(10YR3/4) 黒褐色土塊・焼土粒少量含む。As-C僅かに含む。
 - 2 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒多量。黒褐色土粒・As-C僅かに含む。
 - B - B' (96号土坑)
 - 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム粒を多く含む。
 - 2 黑褐色土 ローム粒を少量含む。
 - 3 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。 - C - C' (98・99・115号土坑)
 - 1 褐色土 As-C、ローム粒を多く含む。98号土坑覆土。
 - 2 黑褐色土 褐色土ブロック、ローム粒を少量含む。99号土坑覆土。
 - 3 暗褐色土 ロームブロックを多く含む。99号土坑覆土。
 - 4 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。115号土坑覆土。
 - 5 黑褐色土 ローム・漸移層に近似する。115号土坑覆土。 - D - D' (100・104号土坑)
 - 1 暗褐色土(10YR3/4) ローム塊・焼土粒・As-C僅かに含む。100号土坑覆土。
 - 2 暗褐色土(10YR3/4) ローム混土。As-C僅かに含む。100号土坑覆土。
 - 3 暗褐色土(10YR3/4) As-C僅かに含む。
 - 4 暗褐色土(10YR3/4) ローム多量。炭化物粒僅かに含む。
 - 5 暗褐色土(10YR3/4) ローム塊少量。炭化物粒・焼土粒僅かに含む。
 - 6 暗褐色土(10YR3/4) ローム塊多量。炭化物粒僅かに含む。
 - 7 ローム層 地山を僅かに含む。 - E - E' (105号土坑)
 - 1 暗褐色土(10YR3/4) ローム塊多量。As-C、焼土粒僅かに含む。

西側の一部を調査した。南に82・83号土坑がある。確認面最高標高126.64m、床面最高標高126.59m。

規模・形状 床面長軸長3.39m、床面短軸確認長1.53m、最大壁高30cm。主軸方位はN-10°-W。過半が調査区外にかかるため、全形は捉えられない。隅丸の方形ないし長方形を呈するものと思われる。

覆土 床面上にはロームブロックを多く含む、締まった暗褐色土が堆積し、この上にAs-Cやローム小ブロック、ローム粒を少量含む黒褐色土が乗る。南壁際にはロームブロックを主体としたしまりの弱い黄褐色～にぶい黄褐色土が入る。

床・掘り方 掘り方に、大ぶりのロームブロックやにぶい黄褐色土を充填し、ロームブロックを主とした褐色土を全面に貼って床面を形成する。壁周溝は判然としない。

竪・貯蔵穴・柱穴・ピット・土坑等 確認されていない。

遺物出土状況 遺物は少ない。竪穴南西隅から、黒色土器碗片(1)、丸瓦片(2)、覆土中から、環状の石製品(3)が出土した。他に土師器・須恵器の小破片、鉄滓が出土している。

2号竪穴建物

位置 X=43723～43728・Y=50593～50588グリッド
調査区中部の西壁際にあって、南西隅が調査区外となる。火葬跡である87号土坑に切られる。105号土坑と重複する。確認面最高標高126.59m、床面最高標高126.13m。

規模・形状 床面長軸長4.16m、床面短軸長3.44m、最

- 2 黒褐色土(10YR2/2) ローム少量。As-C僅かに含む。礫含む。
- F - F' (108号土坑)
- I 表土 I 耕作土上。 II 表土2 土上。
- III 暗褐色土(10YR3/4) As-C、炭化物を含む。縄文～古代遺物を含む。にぶい黄褐色土(10YR5/3)
- IV 漸移層1。やや暗く軟質。As-YPを僅かに含む。遺構確認。
- V にぶい黄褐色土(10YR5/3) 漸移層2。やや暗く軟質。As-YPを僅かに含む。遺構確認。
- 1 暗褐色土(10YR3/3) As-Cを多量に含む。ロームを少量含む。焼土・黒褐色土を僅かに含む。
- 2 黑褐色土(10YR2/2) ローム少量。As-C僅かに含む。礫含む。
- G - G' (111号土坑)
- 1 暗褐色土(10YR3/3) As-Cを多量に含む。ロームを少量含む。焼土・黒褐色土を僅かに含む。
- P - P' (185号ピット)
- 1 暗褐色土(10YR3/4) ロームを多量に含む。As-Cを僅かに含む。
- Q - Q' (187号ピット)
- 1 暗褐色土(10YR3/4) As-Cを少量含む。ロームブロック・炭化物粒・焼土粒を僅かに含む。
- R - R' (188号ピット)
- 1 黑褐色土(10YR2/3) As-Cを少量含む。ロームを僅かに含む。
- 2 黑褐色土(10YR2/3) ローム混土。As-Cを僅かに含む。

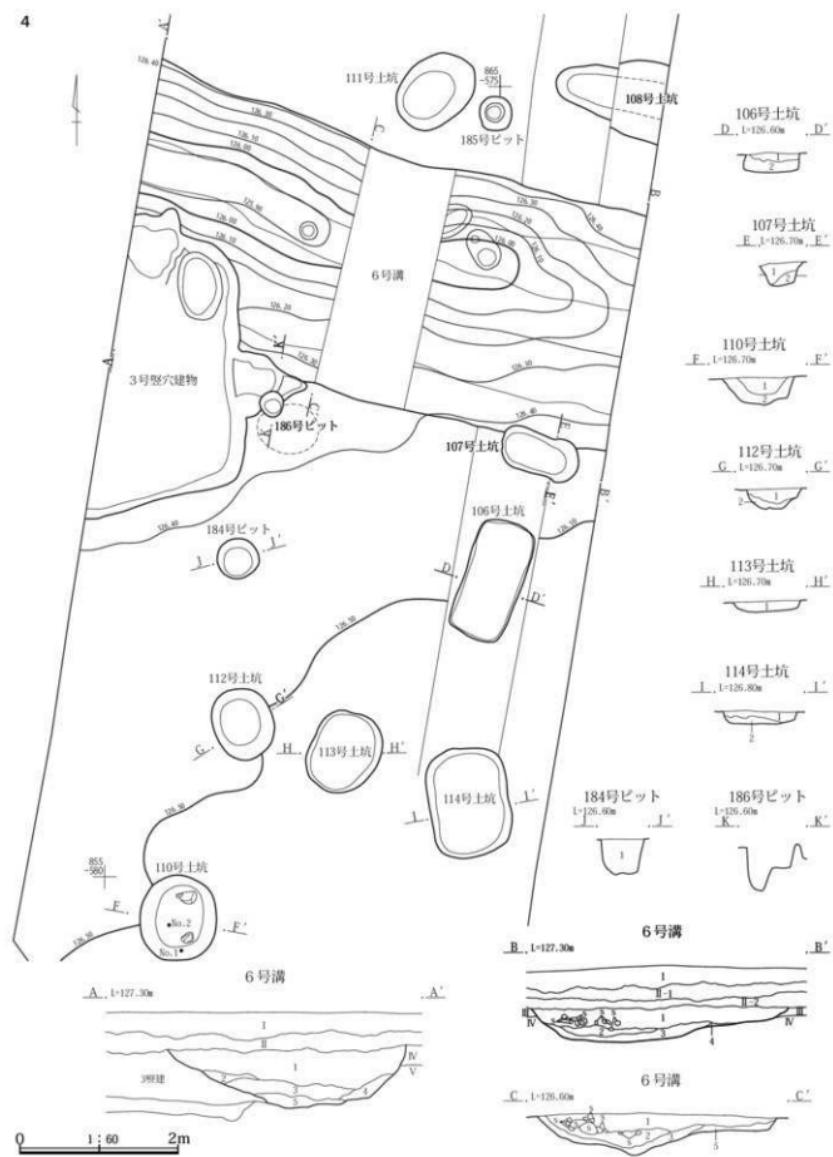
大型高46cm。主軸方位はN-53°-E。平面形は北東-南西に長い隅丸方形。各壁はあまり開かず立ち上がる。

覆土 上位は焼土を多量に含む暗褐色土、下位はローム粒、焼土を僅かに含む黒褐色土を主体とする。壁際には炭化物粒を僅かに含む黒褐色土が堆積する。中央部南西寄りに拳大の灰黄褐色粘土ブロックを含む黒褐色土がみられる。

床・掘り方 南東側がやや深い掘り方を有し、北西隅と南東隅に2基の床下土坑がある。これにロームを多く含む暗褐色土を充填して床面を構成する。北が高く東、南が低い。

竪 北東壁の中央や南寄りに、煙道部および燃焼部を壁外に掘り込んで構築する。燃焼部は壁外にある。確認長1.19m、主軸方位はN-54°-Eで、竪穴の長軸方位と等しい。覆土に含まれるロームブロックが構築材と見られる。構造材は残っていないが、壁との接合部の両側に袖石の痕跡と思われる窪みがある。向かって右手の窪みは20×14cm、直近床面からの深さ4cm、左手の窪みは19×14cm、深さ5cmで、窪みの内側間は45cmある。燃焼部底面には焼土が88×51cmの範囲にみられる。

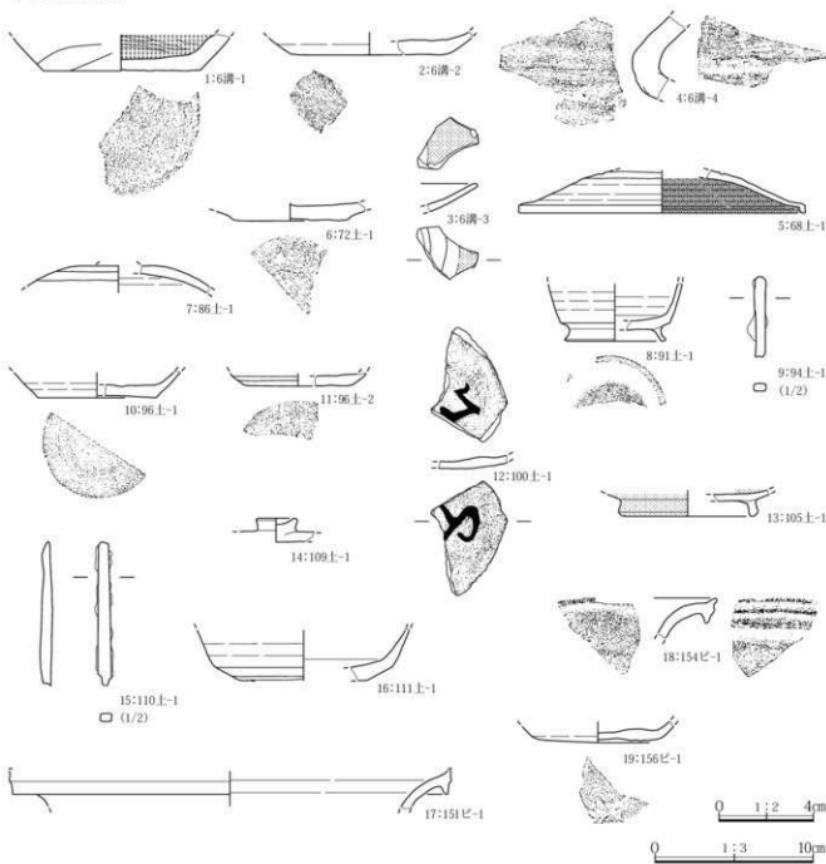
貯藏穴 竪穴北東隅にある。竪右手にあたる。北東-南西にやや長い偏円形で、長軸長75cm、短軸長57cm。断面形は逆台形に近く、直近床面からの深さ31cm。焼土ブロックや炭化物を少量含む暗褐色土で埋まっており、覆土最上位の、床面から連続するような位置から、完形の平瓦



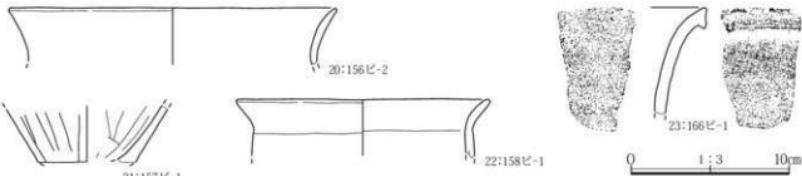
第30図 3区部分図4

- A - A' ~ C - C' (6号溝)
 I 黒褐色土 表土。植物根。
 II 褐灰色土 現水田床土。
 III-1 現水田床土1。
 III-2 現水田床土2。
 IV 黄褐色土 ローム漸移層。
 V 黄褐色土 ソフトローム。
 1 黒褐色土 小円礫を多く含む。As-C、炭化物、ローム粒を少量含む。
 2 喀褐色土 ローム粒、焼土粒を含む。炭化物を少量含む。
 3 喀褐色土 褐色土ブロック、ローム粒を多く含む。
 4 喀褐色土 ロームブロックを多く含む。
 5 喀褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 D - D' (106号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム小ブロックを少量含む。
 2 喀褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 E - E' (107号土坑)

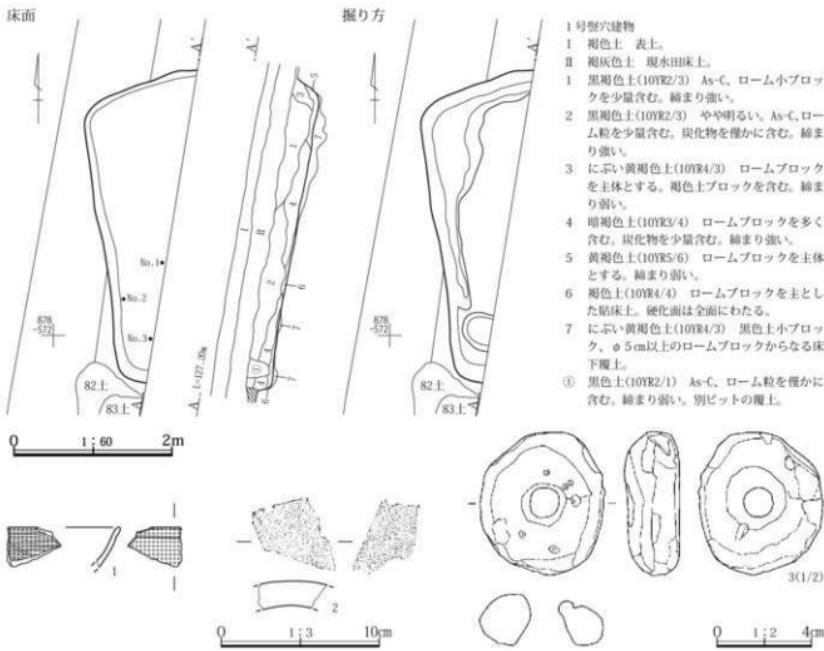
- I 黒褐色土 As-C、ø 5 cm以上のロームブロックを多く含む。
 2 黒褐色土 炭化物、ローム粒を少量含む。
 F - F' (110号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 2 黒褐色土 明るい。ローム小ブロックを少量含む。
 G - G' (112号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを多く含む。
 2 にぶく黄褐色土 ø 5 cm以上のロームブロックを多く含む。
 H - H' (113号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、ø 5 cm以上のロームブロックを含む。
 I - I' (114号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、炭化物、ローム粒を少量含む。
 2 黒褐色土 ø 5 cm以上のロームブロックを多く含む。
 J - J' (184号ビット)
 1 褐色土 As-C、褐色土ブロック、ローム粒を多く含む。



第31図 3区出土遺物Ⅰ



第32図 3区出土遺物2



第33図 1号竪穴建物

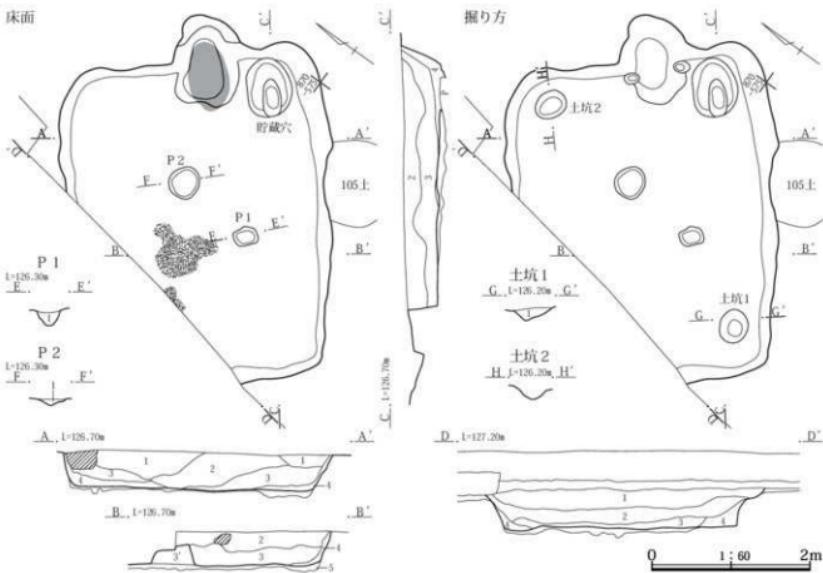
(16)、須恵器杯(11)が出土している。

柱穴・ピット・土坑等 床面でP1・2、掘り方で、土坑1・2が認められた。4基が竪穴建物の対角線上に並ぶようである。

1号ピット 竪穴中央近くにある。長軸長30cm、短軸長24cm、深さ21cm。底面最低標高125.87m。長軸方位N-47°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は碗状。覆土は少量のロームや僅かな炭化物を含む暗褐色土。

2号ピット 竪穴中央北寄りにある。竪穴口の手前にある。長軸長41cm、短軸長38cm、深さ8cm。底面最低標高126.01m。長軸方位N-82°-E。平面形は円形、断面形は浅いV字状に近い。覆土は少量のロームや焼土を含む暗褐色土。

土坑1 竪穴南東隅。床面下にある。長軸長42cm、短軸長35cm、深さ28cm。底面最低標高125.77m。長軸方位N-62°-E。平面形は長円形、断面形は浅いV字状に近い。



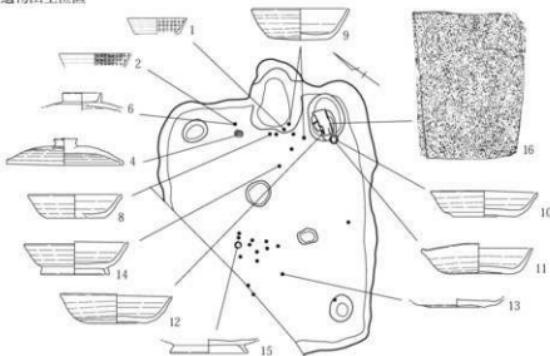
A - A' ~ D - D' (2号竪穴建物)

- 1 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロックを少量含む。黒褐色土粒・焼土粒を僅かに含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 焼土量多。ロームブロックを少量含む。炭化物粒・黒色土粒を僅かに含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒・焼土を僅かに含む。
- 3' 黒褐色土(10YR3/1) 拳大の灰黄褐色粘土を含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/1) 炭化物粒を僅かに含む。

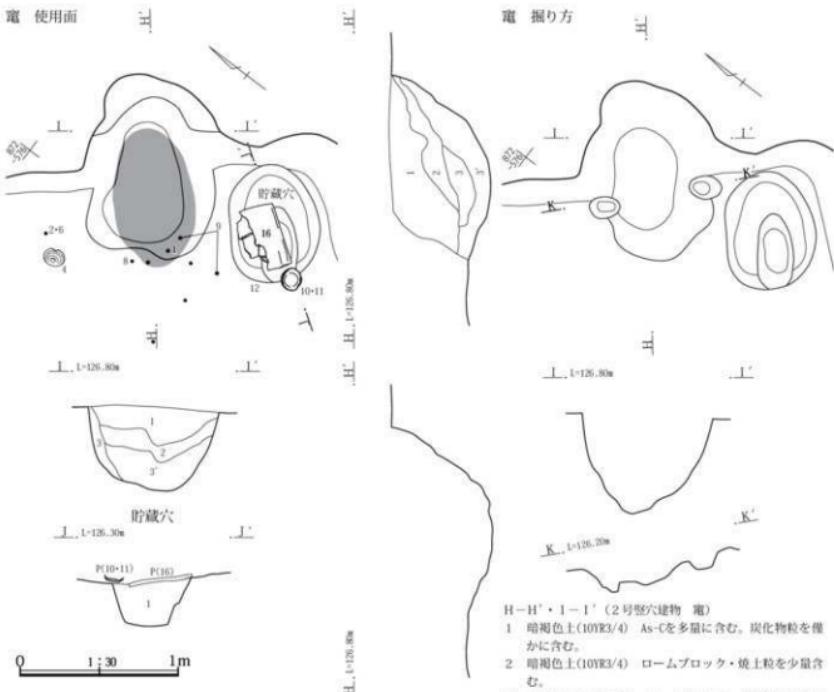
E - E' (2号竪穴建物)

- 1 暗褐色土(10YR3/3) ロームを少量含む。炭化物粒を僅かに含む。
- 2 F - F' (2号竪穴建物)
- 1 暗褐色土(10YR3/3) ローム・焼土を少量含む。黒褐色土を僅かに含む。
- 3 G - G' (2号竪穴建物)
- 1 暗褐色土(10YR3/3) As-Cを多量に含む。黒褐色土を僅かに含む。

遺物出土位置



第34図 2号竪穴建物I



第35図 2号竖穴建物2

覆土はAs-Cを多く含む暗褐色土。

土坑2 竪穴北西隅の床面下にある。長軸長41cm、短軸長33cm、深さ20cm。底面最低標高125.92m。長軸方位N-67°-W。平面形は長円形、断面形は碗状。

遺物出土状況 須恵器杯・蓋・高台碗・壺・甕、瓦片や鉄滓などがあり、竪穴中央近くの粘土分布範囲に、ややまとまる状況が見られる。土器器杯・甕もあるが、小片で数も少ない。貯蔵穴からは平瓦完形品(16)が出土している。

時期 床面や貯蔵穴から出土している須恵器杯の底部が全面回転ヘラ削りのものと回転糸切り後周囲を回転ヘラ削りするものの二通りがみられることから9世紀後半としたい。

H-H'・I-I' (2号竖穴建物 竪)

1 暗褐色土(10YR3/4) As-Cを多量に含む。炭化物粒を僅かに含む。

2 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロック・焼土粒を少量含む。

3 赤褐色土(2.5YR4/6) ロームブロック・暗褐色土を多量に含む。炭化物粒を僅かに含む。

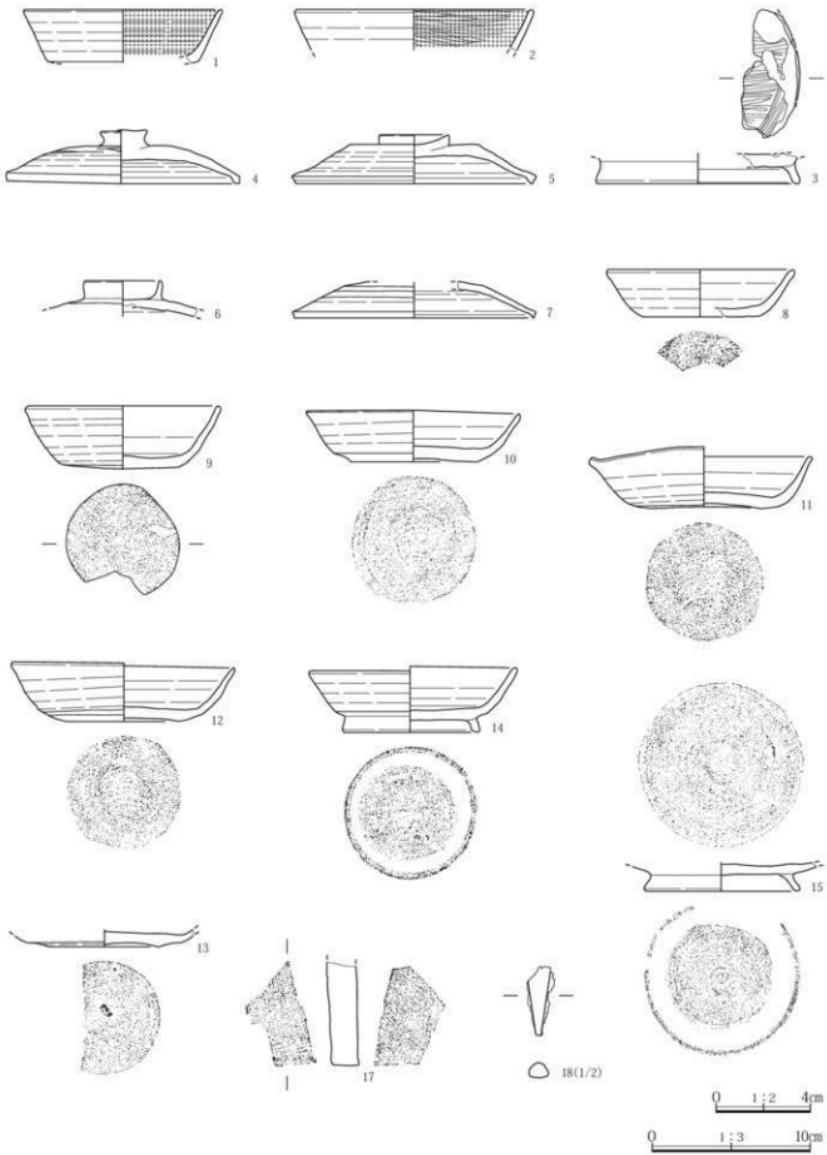
3' 赤褐色土(10YR3/4) ローム混土・焼土粒を少量含む。As-Cを僅かに含む。

3号竖穴建物

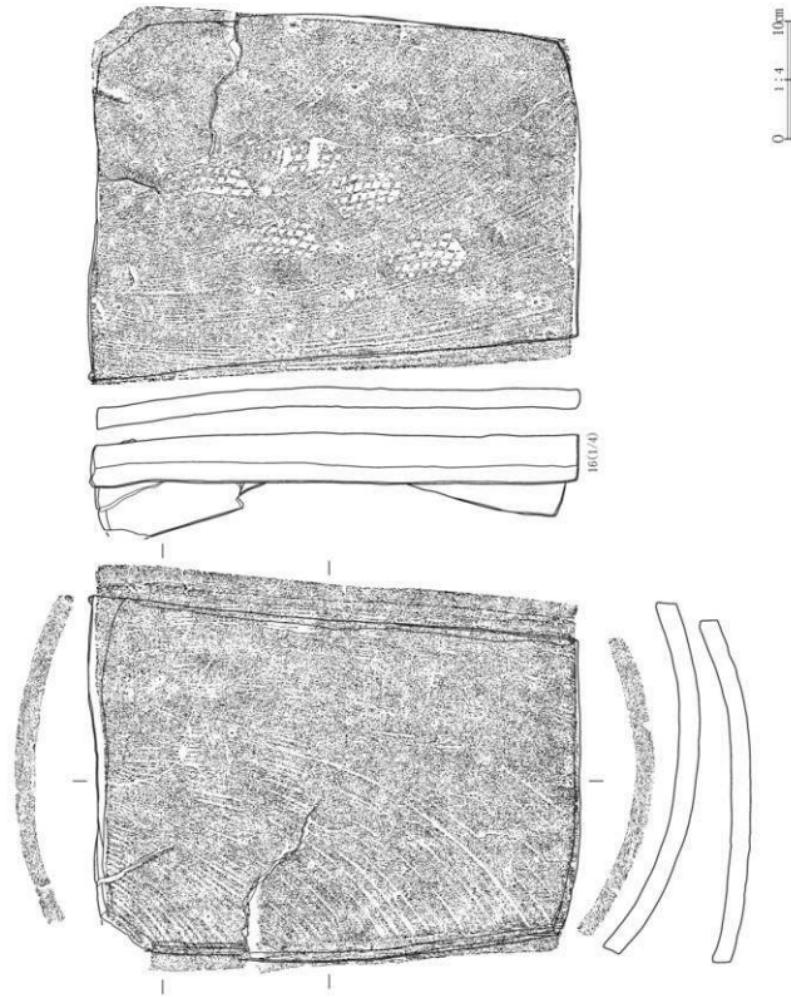
位 置 X=43765~43769・Y=-50595~-50592グリッド 調査区南西よりの西壁際にあって、西半が調査区外となる。北側を6号溝に切られるが、形状を把握することは可能である。竪が東壁(以下東竪)と北壁(以下北竪)の2か所にあり、東竪が古いものと考えられた。竪の作り替えに伴って床も2面が認められた。確認面最高標高126.39m、床面最高標高125.92m。

規 模・形 状 床面長軸長3.25m、床面短軸長2.03m、最大壁高47cm。主軸方位はN-2°-W。平面形は丸い方形ないし長方形を呈するものと思われる。

覆 土 上位はローム粒や焼土粒、炭化物粒を少量含む黒色~黒褐色土、下位は焼土粒、炭化物粒を多く含む黒



第36图 2号竖穴建物3 出土遗物1



第37回 2号窯の建物4 出土遺物2

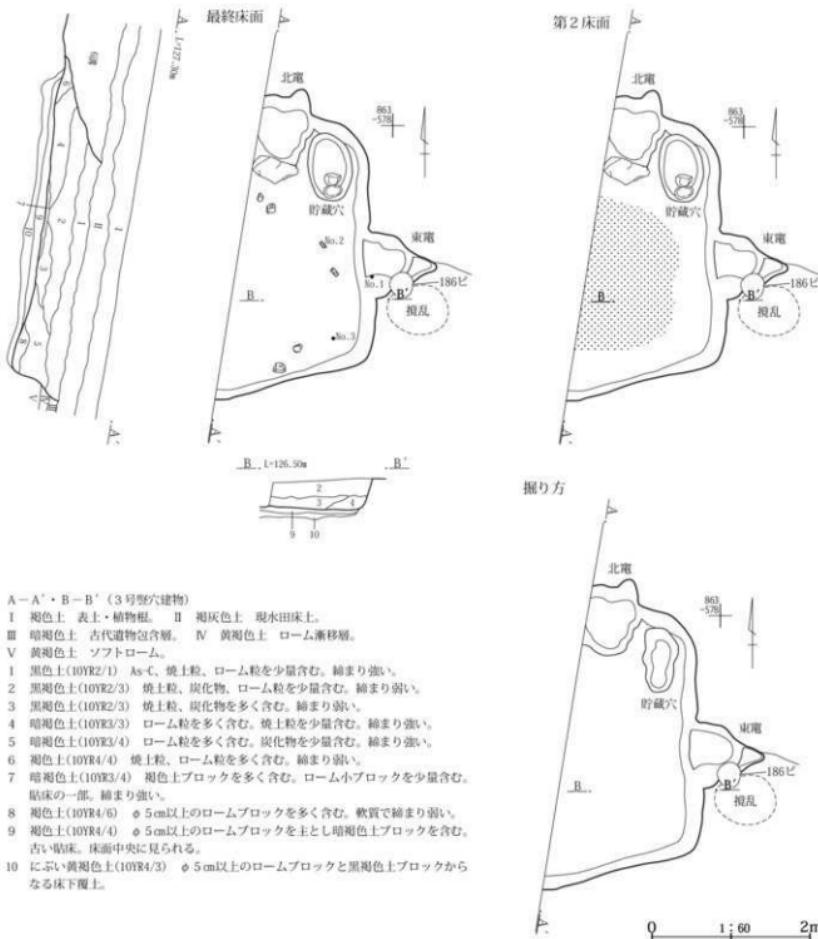
褐色土やローム粒を多く含む暗褐色土が堆積する。壁際にはロームブロックを多く含む褐色土がある。

床・掘り方 東竈に伴う古い床面は、掘り方に、ロームブロックを多く含むにぶい黄褐色土を充填し、ロームブロックと暗褐色土ブロックを混じた褐色土を貼る。この上位に、褐色土ブロックを主体とする暗褐色土が貼られ

て、北竈に伴う新しい床面が作られている。

竈 東壁中央やや南寄りと北壁の東寄りにある。東竈が古く、竪穴廃絶時には北竈が使われていた。

東竈 燃焼部と煙道を壁外に掘り込んで構築される。袖部は残っておらず、袖石の据え方等も確認できない。覆土中の褐色土ブロックが構築材と思われる。確認長1.07



第38図 3号竖穴建物 1

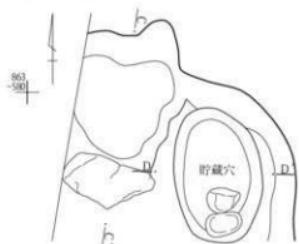
m、主軸方位はN-86°-W。燃焼部は確認長0.67m、壁での掘方幅0.88m。燃焼部の奥壁部で底面から22cmほど立ち上がって煙道に連続する。

北竈 燃焼部と煙道を壁外に掘り込んで構築している。

上部を6号溝に切られて形状の詳細が把握できないが、焼土、炭化物の堆積が顕著であった。確認長1.24m、主

軸方位はN-28°-E内外と思われる。焚口相当位置の手前に長58cm、幅30cmほどの板石があって、焚口に架けられていたものかと思われる。貯藏穴内にある円碟は、袖石の候補に挙げられるかもしれない。

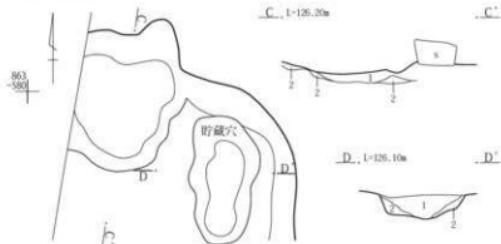
北竈 使用面



C-C' (3号堅穴建物 北竈)

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 焼土粒、炭化物、ローム粒を少量含む。締まり弱い。
- 2 暗褐色土(10YR4/4) 焼土小ブロック、ローム小ブロックを多く含む。炭化物を少量含む。擬方覆土。

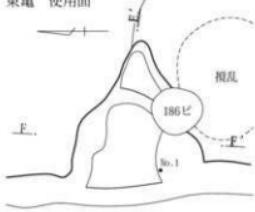
北竈 掘り方



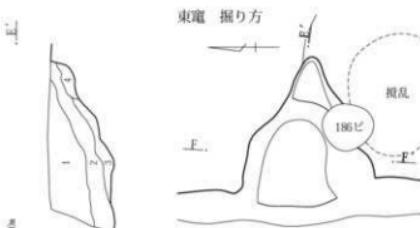
D-D' (3号堅穴建物 貯藏穴)

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 焼土粒、炭化物、ローム粒を少量含む。締まり弱い。
- 2 ふるい 黃褐色土(10YR3/3) ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。締まり強い。

東竈 使用面



$E-E'$
E-1-126.60m
86.5m
 E'



東竈 掘り方

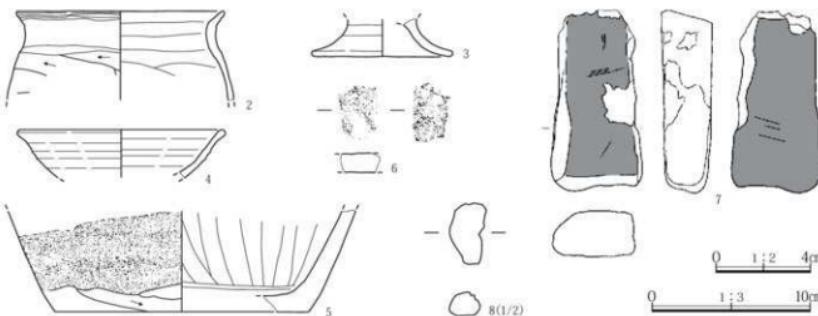


E-E'・F-F' (3号堅穴建物 東竈)

- 1 黒褐色土(10YR3/2) As-C. 焼土粒、ローム粒を微量含む。締まり弱い。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) 焼土粒・ローム粒を微量含む。締まり弱い。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 褐色土ブロックを多く含む。締まり強い。
- 4 暗褐色土(10YR3/4) 褐色土ブロック、ロームブロックを含む。締まり弱い。



0 1:30 1m



第39図 3号堅穴建物

貯藏穴 北竪の右手にある、竪穴北東隅にある。長軸長87cm、短軸長57cm、深さ26cm。底面最低標高125.68m。長軸方位N-14°-W。平面形は南北に長い偏円形、断面形は鍋状。覆土は焼土粒、炭化物、ローム粒を少量含む黒褐色土。底面からやや浮いた位置で、円礫2点が出土している。

柱穴・ピット・土坑等 確認されていない。

遺物出土状況 土師器杯、壺、灰釉碗などの小片のほか、砥石、鉄滓、瓦小片、陶磁器片、繩文土器片が出土している。

時期 確実に竪穴建物と共存する土器が見られないが、須恵器楕(2)や土師器楕(1)から9世紀後半に比定できる。

7 旧石器確認調査

調査区中央北に、東西4m、南北2mの、同南に東西2m、南北4mのトレンチを設けて、旧石器時代相当層における遺構・遺物の存否確認を行った。南側の17トレンチでは最大0.59m、北側の16トレンチでは0.52mの深さで礫層にあたるまで掘削したが、遺構、遺物共に認められなかった。トレンチ設定位置及び土層断面は第32図に示した。

第5節 4区

X=43755～43675・Y=-50610～-50590 調査区南北長75.39m、東西幅6.49m。調査対象外地を挟んで南北の調査区に分かれる。調査面積405.8m²。確認面標高は北区が125.95～125.54mで北から南へ下り、南区は125.74～125.51mで南から北へ下る。現水田の床土下を確認面とするが、確認面構成土は、ローム漸移層にあたり、上層土が失われている。竪穴建物2基、土坑13基、ピット13基を確認した。北調査区中部に7号竪穴建物があり、北調査区南部から南調査区の北部にかけて、6号竪穴建物と土坑、ピットのまとまりがあるが、上層土が失われているためか、遺構数は少ない。竪穴建物以外からの出土遺物は乏しい。

1 土坑

13基の土坑を調査した。北調査区の南部、南調査区の

北部でまとまって確認されている。円形、長円形平面の土坑と隅丸長方形平面の土坑がある。やや深い鍋状の断面形状を示すものが多い。191号土坑からは須恵器碗、灰釉陶器長頸壺、185号土坑からは龍泉窯系青磁碗が出土している。他に、土師器、須恵器や繩文土器、陶磁器等の小片を出土する土坑もあるが、直接的に時期や機能を示す遺物は見当たらない。

各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

2 ピット

13基のピットを調査した。土坑と同様、北調査区の南部、南調査区の北部にあるが、さらに散在的である。比較的深い掘り方を持つものが多く、259号ピットでは柱痕状の陥入土もみられるが、複数のピットが組み合って掘立柱建物や柵などを構成するものは認められていない。

各ピットの計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

3 竪穴建物

北調査区の中央近くに7号竪穴建物、南調査区の北西隅にかかって6号竪穴建物がある。

6号竪穴建物

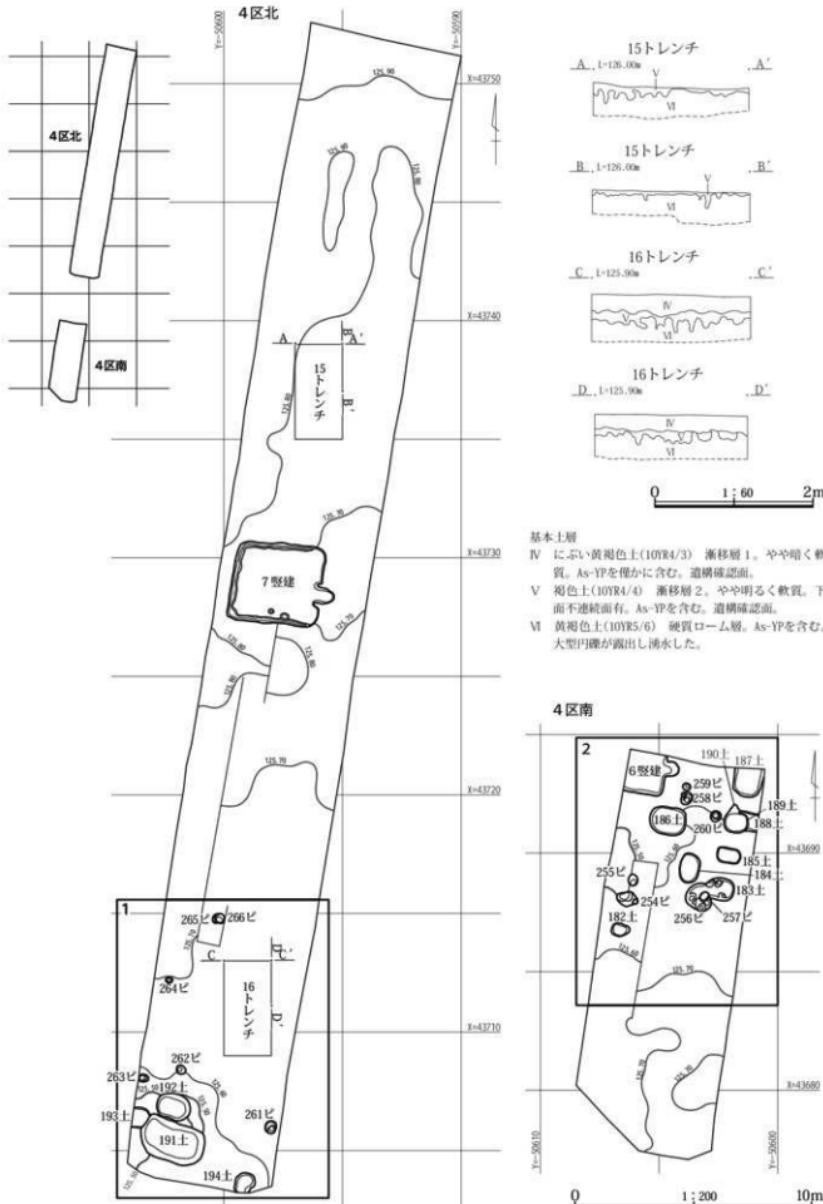
位置 X=43692～43694・Y=-50596～-50594グリッド 南調査区北西隅にあって、北及び西は調査区外となる。竪を含む南東四半相当部を確認した。確認面最高標高125.55m、床面最高標高125.22m。

規模・形状 東西確認長1.64m、南北確認長1.73m、最大壁高39cm。方位南壁でN-79°-W。方形ないし長方形の平面形を呈するものと思われる。

覆土 床近くに褐色土やロームの小ブロックを含む、締まりの強い黒褐色土があり、壁際には暗褐色土や褐色土が流れ込む。上位は外周に褐色土ブロックや焼土粒を含む黒褐色土が堆積し、中央部には締まりの弱い黒色土が入る。

床・掘り方 掘り方に、褐色土ブロックやローム小ブロックを含む、にぶい黄褐色土を充填する。

竪 燃焼部および煙道を東壁壁外に掘り込んで構築される。壁の延長上にあたる位置に左右の袖石が置かれる。袖石から燃焼部奥壁までの長0.72m、主軸方位N-84°-W。使用面は判然としないが、土層断面図3層



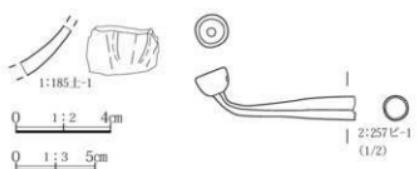
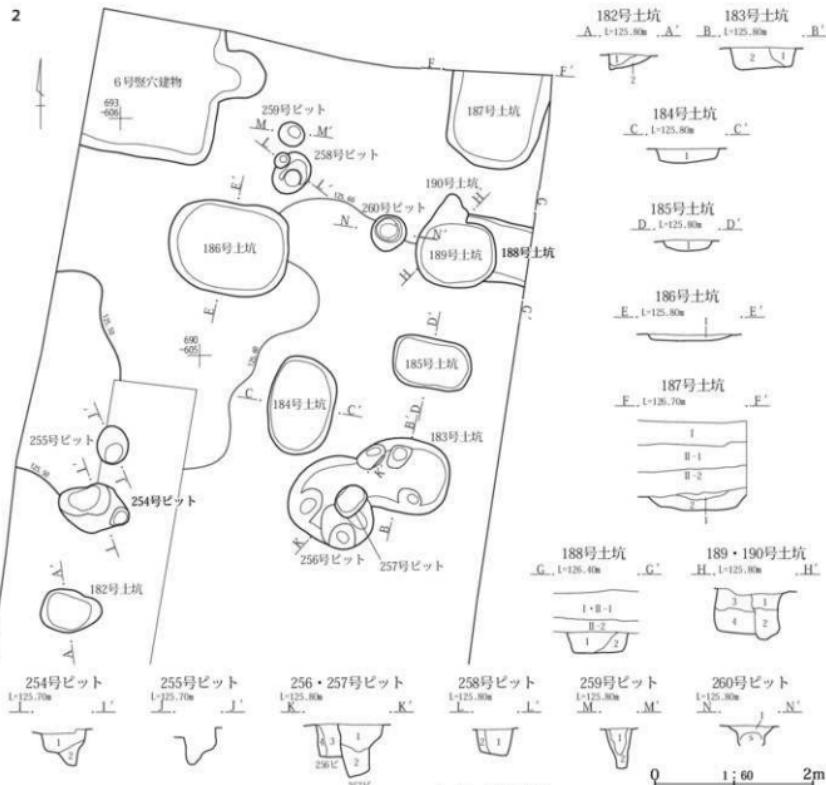
第40図 4区の遺構配置と土層



- D - D' (261号ピット)
1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
E - E' (262号ピット)
1 黒褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上の褐色土ブロック、ローム小ブロックを多く含む。
F - F' (263号ピット)
1 褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

- G - G' (264号ピット)
1 黒色土 As-C、褐色土小ブロックを少量含む。
H - H' (265・266号ピット)
1 黑褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
2 黑褐色土 ローム粒を僅かに含む。

第41図 4区部分図1／191号土坑出土遺物

**A-A' (182号土坑)**

1 黒褐色上 As-C, ローム粒を少量含む。

2 黄褐色上 ローム小ブロックを多く含む。

B-B' (183号土坑)

1 黒褐色上 φ 5cm以上のローム小ブロックを多く含む。As-Cを少量含む。

2 黑褐色上 φ 5cm以上の褐色上ローム小ブロックを少量含む。

C-C' (184号土坑)

1 暗褐色上 As-C, ローム小ブロックを少量含む。

D-D' (185号土坑)

1 黑褐色上 As-C, ローム粒を少量含む。

E-E' (186号土坑)

1 黒褐色上 As-C, ローム小ブロックを少量含む。

F-F' (187号土坑)

1 褐色上 表土。

II-1 褐灰色上 現水田床土。**II-2** 灰色上 現水田床土。

1 黒褐色上 As-C, ローム粒を少量含む。

2 暗褐色上 ローム小ブロックを多く含む。

G-G' (188号土坑)

1 褐色上 表土。 II-1 褐灰色上 現水田床土。

II-2 灰色上 現水田床土。

1 暗褐色上 ローム小ブロックを多く含む。 As-Cを少量含む。

2 黑褐色上 黑色上小ブロック、ローム粒を少量含む。

H-H' (189・190号土坑)

1 暗褐色上 ローム小ブロックを多く含む。 As-Cを少量含む。

2 暗褐色上 ローム小ブロックを少量含む。

3 黑褐色上 As-C, ローム小ブロックを少量含む。

4 黑褐色上 やや明るい。 ローム小ブロックを僅に含む。

I-I' (254号ピット)

1 黑褐色上 ローム小ブロックを多く含む。 As-Cを少量含む。

2 黄褐色上 ローム小ブロックを主体とする。

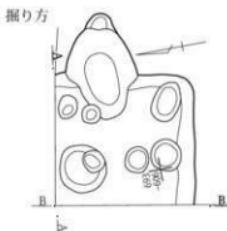
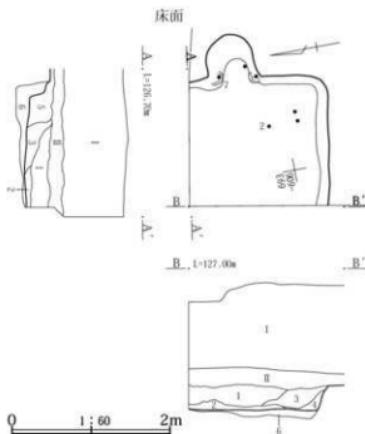
第42図 4区部分図2／185号土坑・257号ピット出土遺物

K-K' (256・257号ビット)

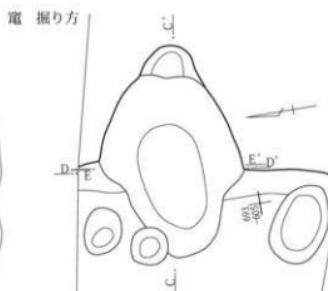
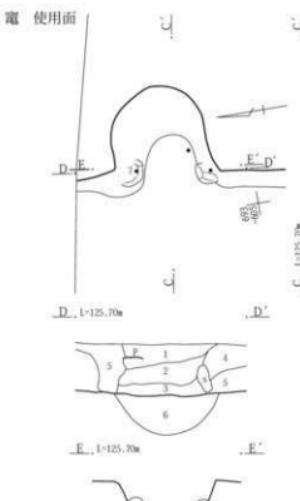
- 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。As-Cを少量含む。キセル雁首を出土する。
- 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。環状鉄製品が出土した。
- 黒色土 As-Cを少量含む。ローム粒を僅かに含む。
- 黄褐色土 ロームブロックを主体とする。

L-L' (258号ビット)

- 黒褐色土 $\phi 5\text{cm}$ 以上のロームブロックを多く含む。As-Cを少量含む。
 - 黒褐色土 ローム粒を少量含む。
- M-M' (259号ビット)
- 黒色土 ローム粒を僅かに含む。
 - 黄褐色土 ロームブロックを多く含む。
- N-N' (260号ビット)
- 黒色土 炭化物。ローム粒を含む。大型円礫を含む。



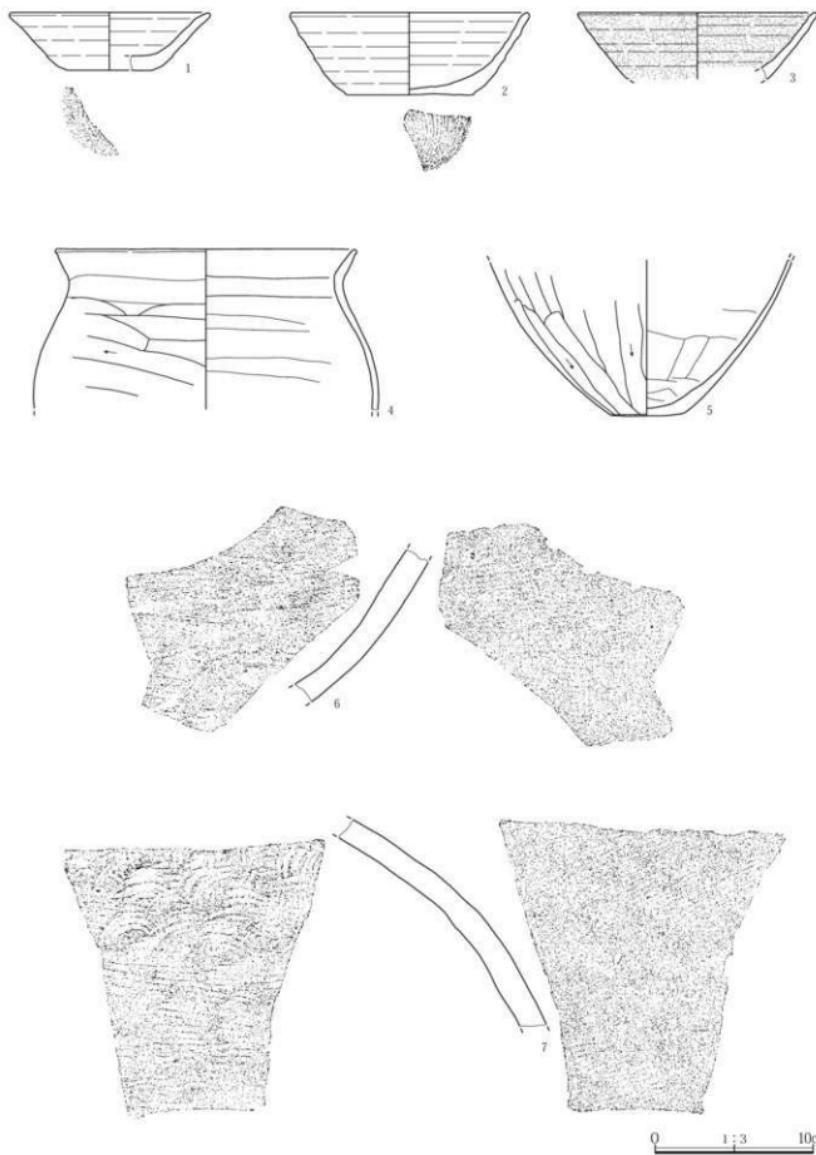
- 表土1 現耕作土。
- 表土2 現水田土
- 黒色土(10YR2/1) As-C, 炭化物、ローム粒を僅かに含む。締まり弱い。
- 黒褐色土(10YR3/2) 褐色土ブロック、ローム小ブロックを少量含む。締まり強い。
- 黒褐色土(10YR2/2) 褐色土ブロック、施土粒を含む。締まり強い。
- 暗褐色土(10YR3/4) 褐色土小ブロックを少量含む。締まり強い。
- 褐色土(10YR4/2) 塵土小ブロック、ローム小ブロックを多く含む。にぶい黃褐色土(10YR5/3) 褐色土ブロック、ローム小ブロックを少量含む。掘方覆土。



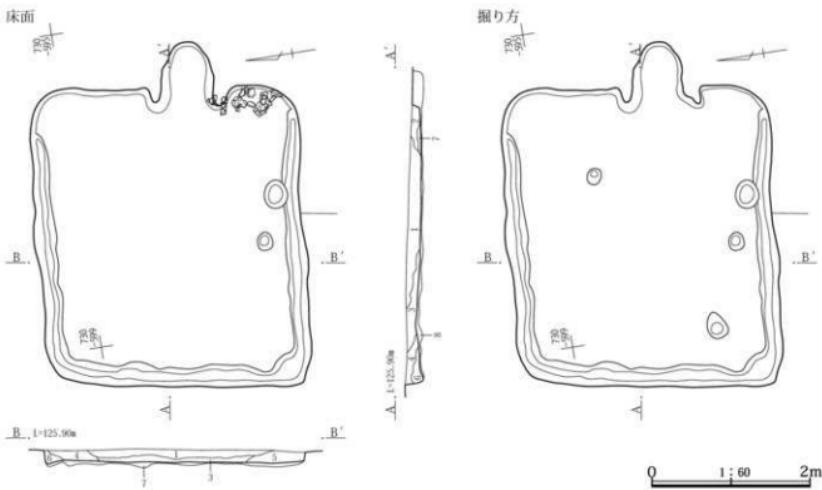
- 黒褐色土(10YR3/1) 塚土ブロック、炭化物を少量含む。
- 黒褐色土(10YR3/2) 塚土小ブロック、炭化物を僅かに含む。
- 暗褐色土(10YR3/4) 褐色土ブロック、施土粒を少量含む。下位使用面。
- にぶい黃褐色土(10YR5/4) ローム小ブロックからなる。塚上ブロック、炭化物を少量含む。袖構築材。
- にぶい黃褐色土(10YR4/3) $\phi 5\text{cm}$ 以上のロームブロックからなる。袖構築材。
- にぶい黃褐色土(10YR5/3) 炭化物、褐色土ブロックを少量含む。掘方覆土。

0 1:30 1m

第43図 6号竪穴建物 I

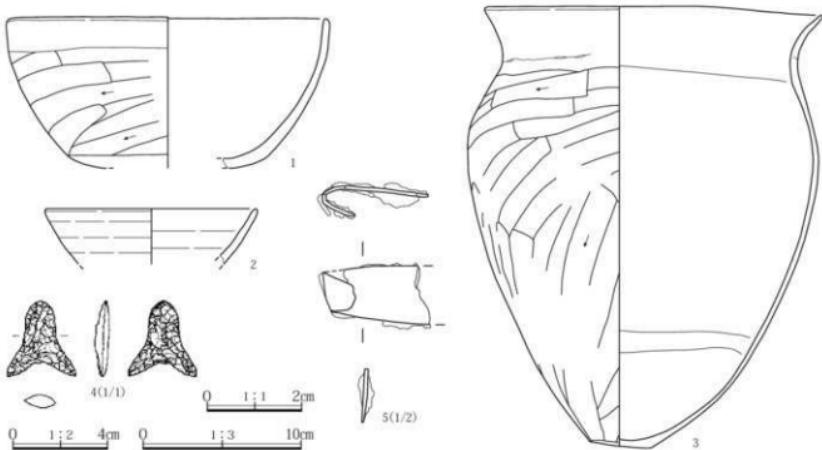


第44图 6号竖穴建物2



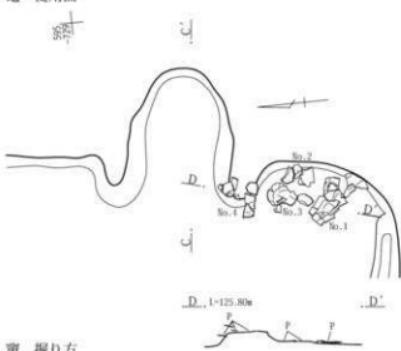
A - A' • B - B' (7号竖穴建物)

- 1 黒褐色土(10YR2/3) やや明るい。As-C、炭化物を少量含む。ローム小ブロックを多く含む。締まり強い。
- 2 暗赤褐色土(2,5YR3/6) 硫土小ブロック、炭化物を含む。電刷塗上か。締まり強い。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 炭化物を少量含む。ローム小ブロックを多く含む。締まり強い。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 均質。ローム小ブロックを僅かに含む。締まり強い。
- 5 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物、ローム小ブロックを多く含む。締まり強い。
- 6 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒を多く含む。締まり弱い。
- 7 褐色土(10YR4/4) 硫土粒、炭化物を多く含む。締まり弱い。
- 8 に似た黄褐色土(10YR5/3) 黒褐色土ブロック、ロームブロックからなる貼床土。床面全体に広がり、硬化面を持つ。

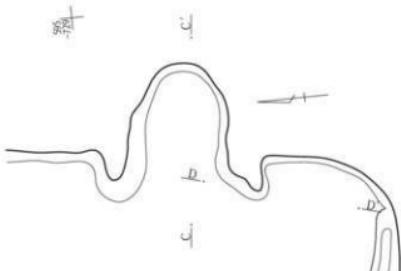


第45図 7号竖穴建物 I

竪 使用面

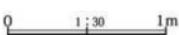


竪 挖り方



C-C' (7号竪穴建物 竪)

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物、焼土小ブロックを多く含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒、φ 5 cm以上のロームブロックを少額含む。
- 3 にぶい赤褐色土(5YR4/3) 焼土小ブロック、粘土小ブロックを多く含む。崩壊上。
- 4 暗赤褐色土(5YR3/6) 焼土粒、炭化物を多く含む。下位使用面。
- 5 にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム小ブロック、黒色土ブロックからなる。掘方覆土。



第46図 7号竪穴建物2

下面があてられ、床面と同じか、僅かにくぼむ程度の高さにある。燃焼部奥壁は急角度で立ち上がり、煙道へ続く。両袖石の内側間34cm。左側袖石の上に須恵器壺の胴部片があつて、これも構造材としての機能を有したかもしぬれない。土層断面図4・5層に含まれる、にぶい黄褐色土が構築材である。覆土から土師器壺や須恵器碗の破片が出土している。

貯蔵穴 認められていない。掘方では、竪右手にあたる貯蔵穴相当位置に52×34cmの長円形の窪みが認められているが、ごく浅いものである。

柱穴・ピット・土坑等 竪周辺に円形の浅いくぼみがあるが、柱穴等の機能を認められるものではない。

遺物出土状況 竪内及び竪右手にあたる竪穴南東隅部から、図示した土師器壺、須恵器杯・椀・壺が出土している。掘方ピットからは、炭化材が出土している。

時期 床面から出土した須恵器無台椀(2)から、9世紀第4四半期に比定できる。

7号竪穴建物

位置 X=43727~43730・Y=-50599~-50595グリッド北調査区の中部にある。周辺に他の遺構はなく、孤立的な位置にあたる。確認面最高標高125.80m、床面最高標高125.60m。

規模・形状 床面長軸長3.75m、床面短軸長3.40m、最大壁高24cm。主軸方位はN-85-W。平面形は、やや縦長の長方形。

覆土 黒褐色土～暗褐色土を主体とし、壁近くにはローム粒を多く含む黒褐色土やローム小ブロック、炭化物を含む暗褐色土が流入する。

床・掘り方 掘り方に黒褐色土やロームのブロックを主体とする。にぶい黄褐色土を充填し、この上面を床面と

する。硬化している。東壁を除く3面に、幅30cm内外、床面からの深さ6~8cmの壁周溝が廻る。

竈 東壁中央近くに、燃焼部を壁外に掘り込んで構築する。覆土に、赤化した粘土ブロックが含まれるところから、これを構築材としたものであろう。袖石などの構造材は認められていない。

貯蔵穴 認められていない。竈右手にあたる東壁南部は竈以北に比してやや膨らみをもって南壁に接続し、遺物もこの部分に集中する。

柱穴・ピット・土坑等 南壁中央近くに東西に並ぶ小ピットがある。東のピットは35×28cm、直近床面からの深さ23cmで、壁周溝を切る位置にある。西のピットはやや内側に入った位置にあって、23×19cm、深さ21cm。位置的には入口構造に関連するものとも思われる。掘り方では豎穴北東部と南西部に小ピットが認められている。北西部のピットは21×17cm、掘り方底面からの深さ32cm。南西部のピットは34×24cm、深さ21cm。

遺物出土状況 竜右手に集中する。図示した土師器鉢、甕、須恵器碗、石鑓のほか、縄文土器片が出土している。

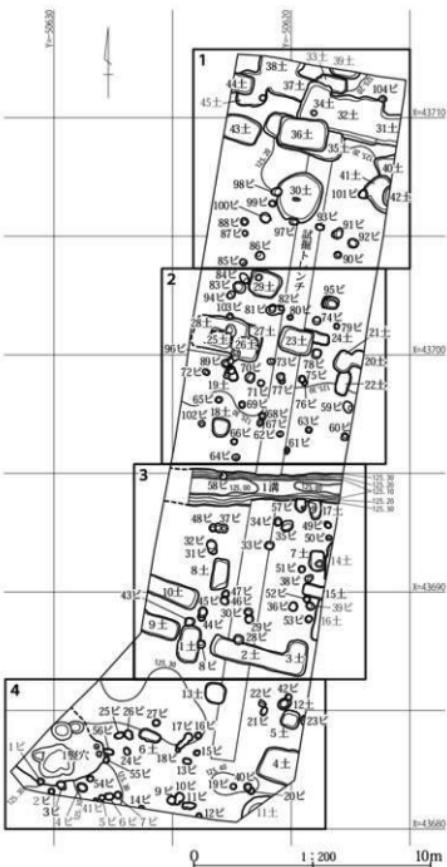
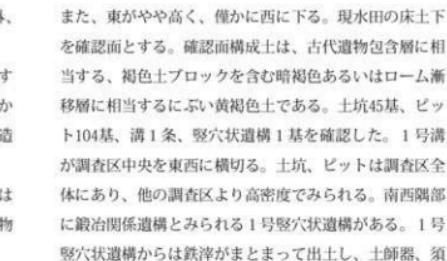
時期 竜から出土した土師器鉢(1)には8世紀後半、土師器壺(3)は8世紀第4四半期の年代が与えられるが、共伴しても齟齬はない。

4 旧石器確認調査

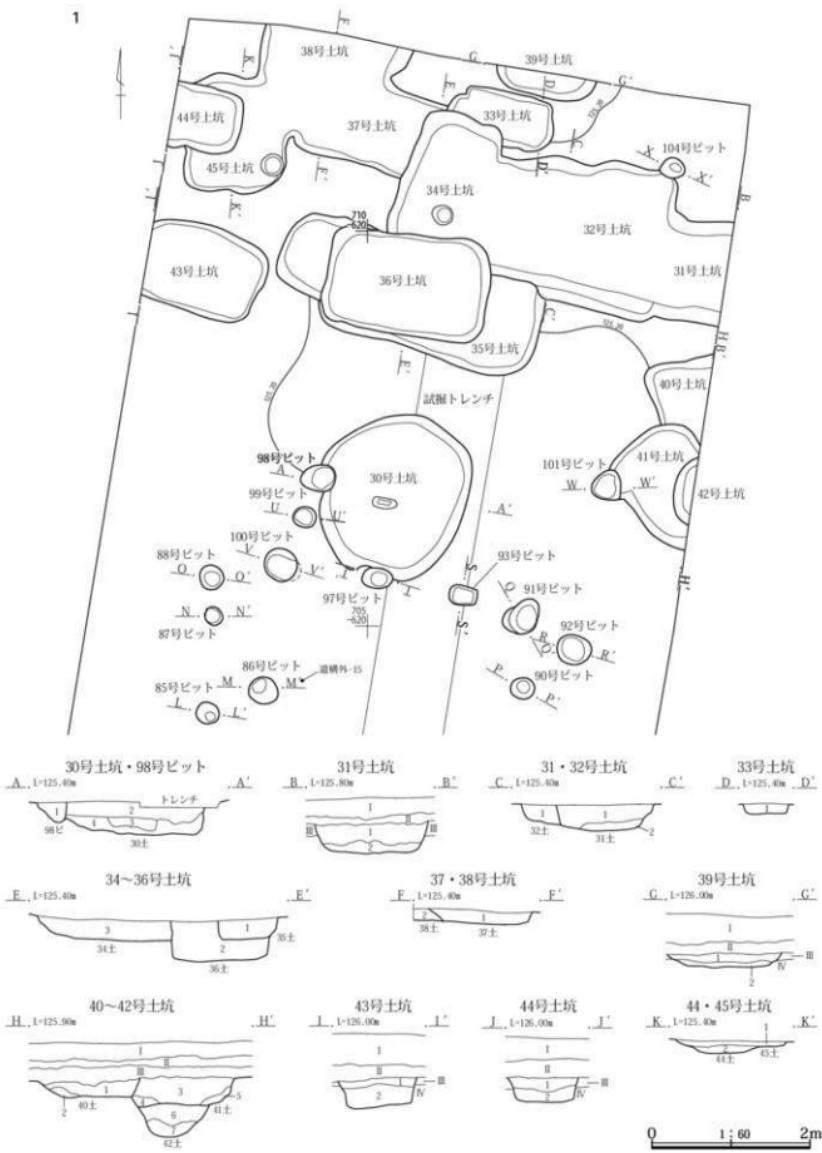
東西4m、南北2mのトレンチを、調査区中部北寄り(15トレンチ)と南部(16トレンチ)に、設けて、旧石器時代相当層における遺構・遺物の存否確認を行った。15トレンチでは0.42m、16トレンチでは最大0.60mの深さで、VI層の硬質ローム中まで掘削した。湧水が見られ、遺構・遺物共に認められなかった。トレンチ設定位及び土層断面は第40図に示した。

第6節 5区

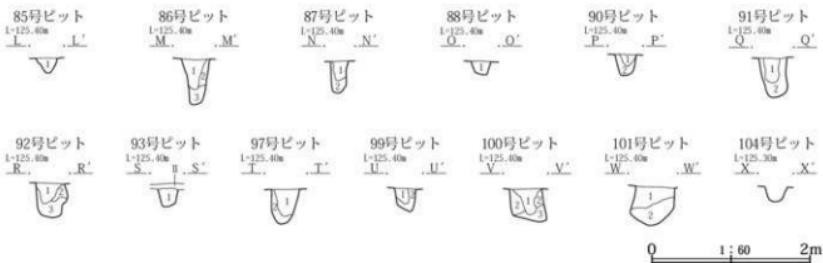
X=43675～43710・Y=-50630～-50615 現道を挟んで4区南部の西に並行する。調査区南北長32.1m、東西幅7.33～11.94m、面積249.4m²。確認面最高標高125.28m、最低標高125.14m。南が高く、北が低い。



第47図 5区の遺構配置



第48図 5区部分図1



A - A' (30号土坑・98号ピット)

- 1 黒褐色土 As-C. ローム小ブロックを少量含む。
- 2 暗褐色土 As-C. 黒色上ブロック、ローム粒を少量含む。白色灰、炭化物を僅かに含む。
- 3 暗褐色土 明るい。軟質。ローム小ブロックを少量含む。
- 4 暗褐色土 硬質。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

B - B' (31号土坑)

- 1 褐色土 表上。
- 2 黑灰色土 現水田床上。
- 3 暗褐色土 古代遺物包含層。
- 1 黑褐色土 As-C. ローム粒を少量含む。
- 2 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 3 暗褐色土 ローム粒を少量含む。
- C - C' (31・32号土坑)
- 1 黑褐色土 As-C. ローム粒を少量含む。
- 2 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 3 暗褐色土 As-C. ローム小ブロックを多く含む。

D - D' (35号土坑)

- 1 褐色土 As-C. ローム小ブロックを多く含む。
- E - E' (34~36号土坑)
- 1 暗褐色土 色調暗い。As-C. ローム小ブロックを含む。
- 2 にぶい黄褐色土 As-C. ローム小ブロックを主体とする。
- 3 暗褐色土 As-C. ローム小ブロックを多く含む。

F - F' (37・38号土坑)

- 1 黄褐色土 As-C. ローム小ブロックを多く含む。
- 2 暗褐色土 As-C. ロームブロックを多く含む。

G - G' (39号土坑)

- 1 褐色土 表上。
- 2 黑灰色土 現水田床上。
- 3 暗褐色土 古代遺物包含層。
- 1 暗褐色土 As-C. ローム粒を多く含む。
- 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

H - H' (40~42号土坑)

- 1 褐色土 表上。
- 2 黑灰色土 現水田床上。
- 3 暗褐色土 褐色上ブロックを含む。古代遺物包含層。
- 1 褐色土 As-C. ローム小ブロックを少額含む。40号土坑覆土。
- 2 黄褐色土 ロームブロックを主体とする。40号土坑覆土。
- 3 黑褐色土 As-C. ローム小ブロックを少量含む。41号土坑覆土。
- 4 暗褐色土 ローム粒を多く含む。41号土坑覆土。
- 5 黄褐色土 ロームブロックを多く含む。41号土坑覆土。
- 6 暗褐色土 As-C. ローム小ブロックを多く含む。42号土坑覆土。
- 7 黑褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。42号土坑覆土。
- I - I' (43号土坑)
- 1 褐色土 表上。
- 2 黑灰色土 現水田床上。
- 1 暗褐色土 As-C. ローム粒を僅かに含む。
- 2 暗褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

J - J' (44号土坑)

- 1 黑褐色土 表上。
- II 黑灰色土 現水田床上。
- 1 暗褐色土 As-C. ローム小ブロックを少量含む。
- 2 黑褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- K - K' (44・45号土坑)
- 1 暗褐色土 As-C. ローム小ブロックを多く含む。
- 2 黑褐色土 As-C. φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

L - L' (85号ピット)

- 1 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。
- M - M' (86号ピット)

 - 1 黑褐色土 As-C. ローム粒を少量含む。
 - 2 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 3 黑褐色土 ローム大ブロックを多く含む。

N - N' (87号ピット)

- 1 黑褐色土 As-C. ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

O - O' (88号ピット)

- 1 黑褐色土 As-C. ローム小ブロックを多く含む。

P - P' (90号ピット)

- 1 黑色土 ローム粒を微量含む。柱痕か。
- 2 黑褐色土 As-C. ローム大ブロックを多く含む。

Q - Q' (91号ピット)

- 1 黑褐色土 やや明るい。ローム小ブロックを僅かに含む。柱痕か。
- 2 暗褐色土 As-C. ローム大ブロックを多く含む。

R - R' (92号ピット)

- 1 黑褐色土 As-C. ローム小ブロックを少量含む。
- 2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- 3 黑褐色土 ローム大ブロックを多く含む。

S - S' (93号ピット)

- II 黑灰色土 現水田床上。

1 黑褐色土 As-C. 黑色上ブロックを多く含む。

T - T' (97号ピット)

- 1 黑褐色土 As-C. ローム小ブロックを少量含む。

2 暗褐色土 ローム粒を多く含む。

U - U' (99号ピット)

- 1 黑褐色土 As-C. 黑色上ブロックを多く含む。

2 褐色土 ローム粒を少量含む。

V - V' (100号ピット)

- 1 黑褐色土 As-C. ローム小ブロックを少量含む。

2 黑褐色土 黑色上ブロック、ローム小ブロックを少量含む。

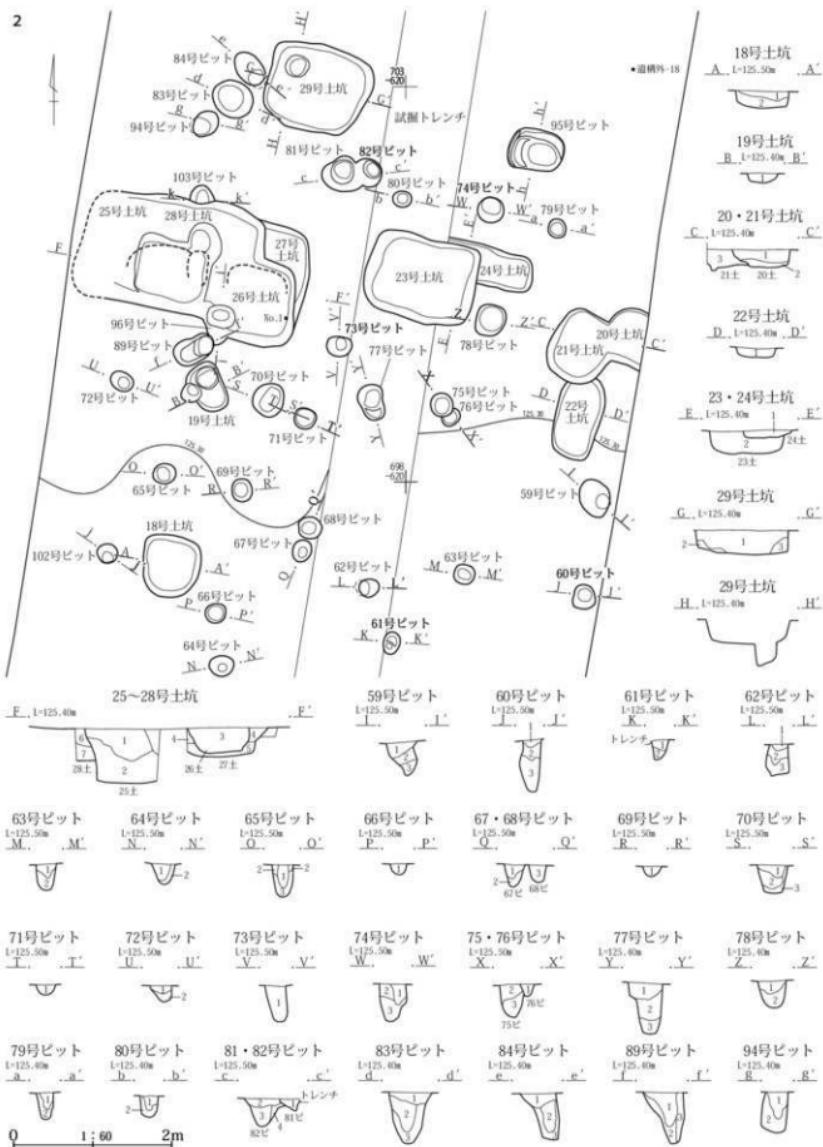
3 黑褐色土 ローム大ブロックを多く含む。

W - W' (101号ピット)

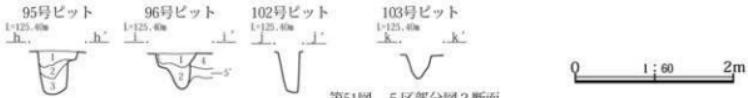
- 1 暗褐色土 As-C. 褐色上ブロックを含む。

2 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

第49図 5区部分図1断面



第50図 5区部分図2



第51図 5区部分圖2断面

A-A' (18号土坑)

- 1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロック、ローム粒を含む。
- 2 品褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。
- B-B' (19号土坑)
- 1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。
- C-C' (20・21号土坑)
- 1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロック、ローム小ブロックを多く含む。
- 2 黄褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く。
- 3 褐色土 ローム小ブロックを主体とする。As-C、黒色土ブロックを少量含む。

D-D' (22号土坑)

- 1 品褐色土 品褐色土ブロックを多く含む。
- E-E' (23・24号土坑)
- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- 2 褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。
- F-F' (25・28号土坑)
- 1 黑褐色土 As-C、炭化物、ローム小ブロックを少量含む。
- 2 品褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- 3 黑褐色土 As-C、ローム粒を少々含む。
- 4 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- 5 黑褐色土 ローム粒を少々含む。
- 6 品褐色土 As-C、ローム粒を多く含む。
- 7 黄褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。

G-G' (29号土坑)

- 1 品褐色土 As-C、褐色土ブロック、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 褐色土 ロームブロックを多く含む。
- 3 品褐色土 黑色土ブロックを多く含む。

H-H' (59号ビット)

- 1 黑褐色土 やや中空のい。As-C、ローム粒を少々含む。
- 2 品褐色土 ローム粒主体。
- 3 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。

J-J' (60号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。
- 2 品褐色土 ローム粒主体。
- 3 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。

K-K' (61号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少々含む。
- 2 品褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを含む。

L-L' (62号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少々含む。
- 2 品褐色土 ローム粒を多く含む。
- 3 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。

M-M' (63号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少々含む。
- 2 品褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

N-N' (64号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 品褐色土 ローム粒を多く含む。

O-O' (65号ビット)

- 1 黑褐色土 炭化物、ローム粒を少々含む。柱頭か。
- 2 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 3 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを少々含む。

P-P' (66号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。
- 2 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。

Q-Q' (67・68号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを少々含む。
- 3 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。

R-R' (69号ビット)

- 1 品褐色土 As-C、φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。

S-S' (70号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを少々含む。

T-T' (71号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを含む。

U-U' (72号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少々含む。

V-V' (73号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを含む。

W-W' (74号ビット)

- 1 黑褐色土 ローム粒を僅かに含む。
- 2 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 3 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを少々含む。

X-X' (75・76号ビット)

- 1 褐色土 ロームブロックを含む。
- 2 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 3 褐褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを少々含む。

Y-Y' (77号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを少々含む。
- 3 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。縛まり強い。

Z-Z' (78号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。

a-a' (79号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 品褐色土 ローム粒を多く含む。

b-b' (80号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少々含む。
- 2 褐褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

c-c' (81・82号ビット)

- 1 褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 褐褐色土 As-C、褐色土ブロックを多く含む。

d-d' (83号ビット)

- 1 褐色土 ローム小ブロックを含む。
- 2 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 3 褐褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。

e-e' (84号ビット)

- 1 褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。
- 2 黑褐色土 ローム粒を少々含む。柱頭か。

f-f' (85号ビット)

- 1 黑褐色土 ローム粒を僅かに含む。柱頭か。
- 2 褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。

g-g' (89号ビット)

- 1 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。
- 2 褐褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを少々含む。

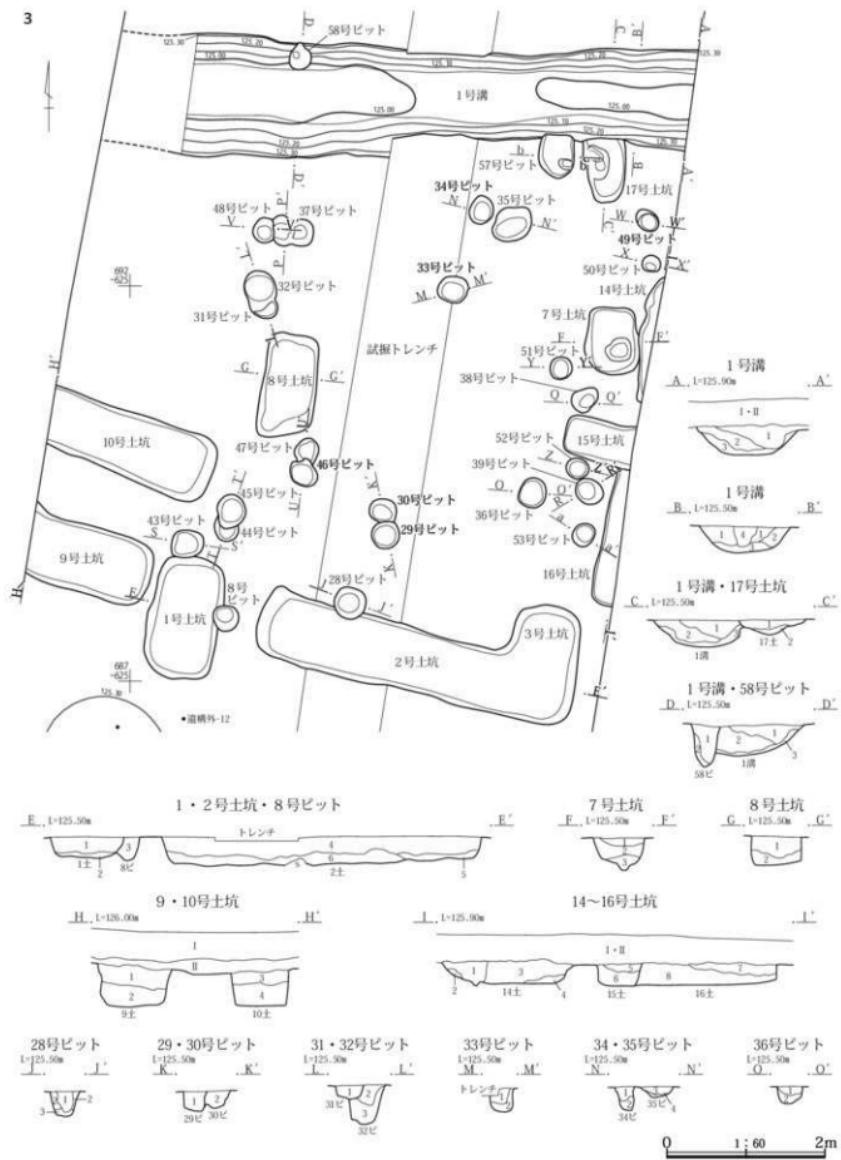
h-h' (95号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。
- 2 品褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを多く含む。
- 3 黑褐色土 φ 5mm以上のロームブロックを主体とする。縛まり強しく無い。

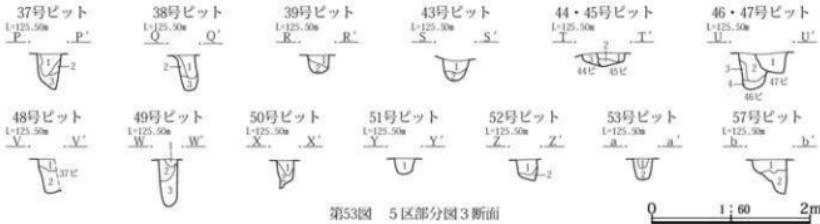
i-i' (96号ビット)

- 1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。
- 2 黑褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- 3 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少々含む。27号土坑覆土。
- 4 黑褐色土 ロームブロック主体。基盤ローム層に近似する。27号土坑覆土。

3



第52図 5区部分図 3



第53図 5区部分3断面

A - A'・B - B' (1号溝)

- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロック、炭化物を少量含む。
- 黒褐色土 やや明るい、ローム小ブロックを多く含む。
- 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- 黒色土やや砂質。ローム粒を僅かに含む。別ビットの覆上。
- C - C' (17号土坑)
- 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを含む。
- 暗褐色土 ロームブロックを多く含む。
- D - D' (58号ビット)
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを含む。
- 黄褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを主体とする。
- E - E' (1・2号土坑・8号ビット)
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- 暗褐色土 As-C、小型のロームブロックを多く含む。縛り強い。
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- 黒褐色土 ローム粒、ローム小ブロックを含む。

F - F' (7号土坑)

- 黒褐色土 As-C、ローム粒、炭化物を少量含む。
- 黒褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- G - G' (8号土坑)
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロック、炭化物を少量含む。
- H - H' (9・10号土坑)
- 褐色土 表土。
- 褐灰色土 現水田床土。
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。
- 黒褐色土 ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- I - I' (14~16号土坑)
- J - II 表土・現水田床土。
- 暗褐色土 ローム粒を多く含む。As-C、炭化物を少量含む。
- 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
- 暗褐色土 黑褐色土ブロック、ローム小ブロックを多く含む。
- 黒褐色土 ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 As-C、炭化物。ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
- 黒褐色土 As-C、黑色土ブロック、ローム小ブロックを少量含む。
- 黒褐色土 炭化物。ローム小ブロックを多く含む。
- J - J' (28号ビット)
- 黒褐色土 ローム粒を僅かに含む。柱痕か。
- 黒褐色土 As-C、ロームブロックを少量含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- K - K' (29・30号ビット)
- 黒褐色土 やや砂質。As-C、ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- L - L' (31・32号ビット)
- 黒褐色土 やや砂質。As-C、ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

M - M' (33号ビット)

- 黒褐色土 やや砂質。ローム粒を少量含む。

N - N' (34・35号ビット)

- 黒褐色土 やや砂質。As-C、ローム粒を少量含む。
- 褐色土 ロームブロック主体。
- 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
- 暗褐色土 ローム粒を多く含む。

O - O' (36号ビット)

- 黒褐色土 As-C、ローム粒を多く含む。
- 黒褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

P - P' (37号ビット)

- 黒褐色土 やや砂質。ローム粒を僅かに含む。柱痕か。
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

Q - Q' (38号ビット)

- 黒褐色土 ローム粒を僅かに含む。柱痕か。
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

R - R' (39号ビット)

- 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

S - S' (43号ビット)

- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロック、褐色土ブロックを含む。
- 黄褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

T - T' (44・45号ビット)

- 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを多く含む。
- 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
- 黒褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- U - U' (46・47号ビット)
- 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを多く含む。
- 黒褐色土 As-C、ローム粒を多く含む。
- 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- 暗褐色土 ローム粒を多く含む。

V - V' (48号ビット)

- 黒褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上の褐色土ブロックを含む。
- 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

W - W' (49号ビット)

- 褐色土 褐褐色土ブロック主体
- 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

X - X' (50号ビット)

- 黒褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
- Y - Y' (51号ビット)

- 黒褐色土 As-C、黒褐色土ブロック、ローム小ブロックを含む。
- Z - Z' (52号ビット)

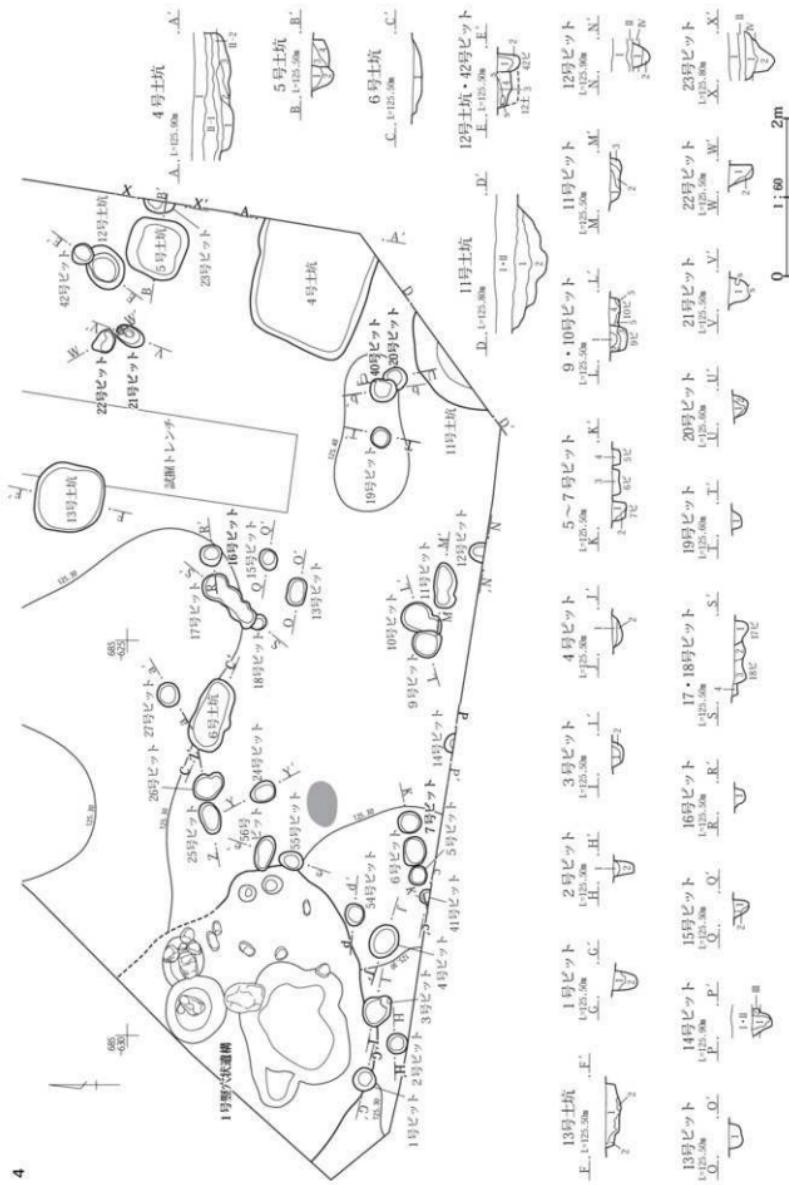
- 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。

a - a' (53号ビット)

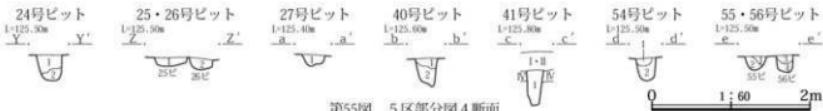
- 暗褐色土 褐褐色土ブロックを含む。
- 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを含む。

b - b' (57号ビット)

- 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
- 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。



第54回 5区部分圖 4



第55図 5区部分図4断面

A-A' (4号土坑)

I 褐色土 表土。

II-1 暗灰色土 現水田床土。

II-2 灰色土 現水田床土。

1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。

2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

3 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。縋まり強い。

B-B' (5号土坑)

1 黒褐色土 As-C、褐色土ブロックを含む。別ピットの覆土。

2 褐色土 ローム小ブロックを多く含む。別ピットの覆土。

3 にぶい黃褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

4 暗褐色土 ローム粒を多く含む。縋まり強い。

C-C' (6号土坑)

1 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロック、炭化物を少量含む。

D-D' (11号土坑)

I 褐色土 表土。

II 暗灰色土 現水田床土。

1 黒褐色土 色調暗い。As-C、ローム粒を少量含む。

2 黒褐色土 明るい。ローム粒を多く含む。

E-E' (12号土坑、42号ピット)

1 黒褐色土 As-C、黒色土ブロック、ロームブロックを含む。

2 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを含む。

3 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。

4 黒褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

F-F' (13号土坑)

1 暗褐色土 均質。褐色土小ブロックを含む。

2 黄褐色土 ロームブロックを多く含む。

G-G' (1号ピット)

1 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。

2 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

H-H' (2号ピット)

1 黑褐色土 やや砂質。As-C、ローム粒を少量含む。

2 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

I-I' (3号ピット)

1 黑褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

2 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを含む。縋まり強い。

J-J' (4号ピット)

1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを含む。

2 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを含む。縋まり強い。

K-K' (5~7号ピット)

1 黑褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。

2 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

3 黑褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

4 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。

L-L' (9~10号ピット)

1 黑褐色土 ローム粒を少量含む。柱痕か。

2 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。

3 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

4 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。

5 暗褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

M-M' (11号ピット)

1 黑褐色土 As-C、やや砂質。ローム粒を少量含む。

2 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

3 暗褐色土 ローム粒を多く含む。縋まり強い。

N-N' (12号ピット)

I 褐色土 表土。植物根。

II 暗灰色土 現水田床土。

IV 黄褐色土 ローム漸移層。

1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。

2 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

O-O' (13号ピット)

1 黑褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上の褐色土ブロック、ロームブロックを含む。

P-P' (14号ピット)

I 褐色土 表土。植物根。

II 暗灰色土 現水田床土。

III 暗褐色土 褐色土ブロックを含む。古代遺物包含層。

1 黑褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のローム粒を僅に含む。柱痕か。

2 黑褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

Q-Q' (15号ピット)

1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。柱痕か。

2 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。縋まり強い。

R-R' (16号ピット)

1 黑褐色土 As-C、ローム粒を多く含む。

S-S' (17~18号ピット)

1 暗褐色土 ローム粒を多く含む。

2 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

3 暗褐色土 ローム粒、黒色土小ブロックを含む。

4 暗褐色土 ローム粒を含む。

T-T' (19号ピット)

1 褐色土 As-C、ロームブロックを多く含む。

U-U' (20号ピット)

1 黑褐色土 As-C、ローム粒を僅に含む。柱痕か。

2 黑褐色土 As-C、ロームブロックを多く含む。

V-V' (21号ピット)

1 褐色土 As-C、ロームブロックを多く含む。

W-W' (22号ピット)

1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。

2 黄褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを主体とする。

X-X' (23号ピット)

I 褐色土 表土。植物根。

II 暗灰色土 現水田床土。

IV 黄褐色土 ローム漸移層。

1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。

2 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。

Y-Y' (24号ピット)

1 黑褐色土 やや砂質。As-C、ローム粒を僅に含む。

2 褐色土 As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

Z-Z' (25~26号ピット)

1 黑褐色土 浅い。基盤ロームを含む。

2 黑褐色土 As-C、ローム粒を少額含む。

a-a' (27号ピット)

1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。

b-b' (40号ピット)

1 暗褐色土 As-C、ローム小ブロックを多く含む。

2 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。

c-c' (41号ピット)

I 褐色土 表土。植物根。

II 暗灰色土 現水田床土。

IV 黄褐色土 ローム漸移層。

1 黑褐色土 As-C、褐色土ブロック、 ϕ 5cm以上のロームブロックを含む。

d-d' (54号ピット)

1 褐色土 褐色土ブロックを主体とする。

2 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。

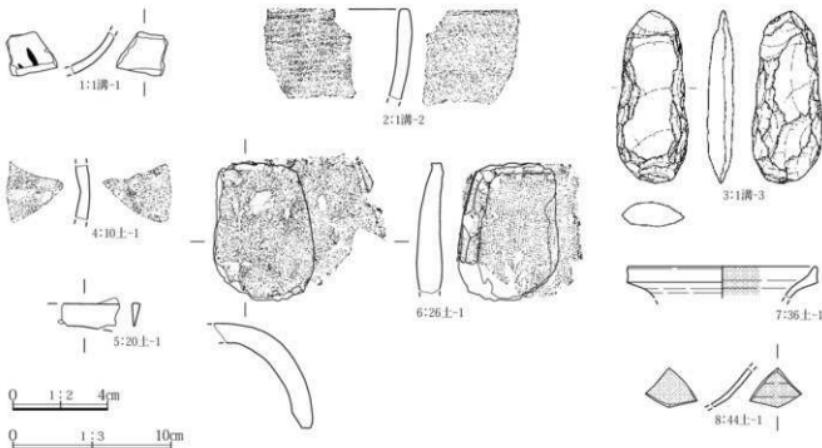
e-e' (55~56号ピット)

1 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。

2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

3 黑褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。

4 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。



第56図 5区出土遺物

恵器も出ているが、他の遺構からの遺物量は少ない。遺構に伴うものではないが、完形の石匙が見つかっている。

1 溝

1号溝 調査区中央近くにあって東西走する。両端共に調査区外に延びる。中央部のトレンチの東西で上端幅が異なる。確認長14.64m、上端幅1.05/1.56m、確認面から深さ42cm。断面形は碗状ないし上部が開く鉗状。底面近くにはロームブロックを多く含む暗褐色土があり、上位にはローム小ブロックを含む黒褐色土が乗る。確認面最高標高125.34m、最低標高125.31m、底面最高標高125.00m、最低標高124.92m。方位はN-87°-W。僅かに東から西へ下る。17号土坑、58号ピットに切られる。57号ピットと重複する。図示した墨書き作の土師器环片(1)、黒色土器の鉢(2)、打製石斧(3)のほか、土師器、須恵器杯片、繩文土器片等が出土しているが、いずれも小片である。中世～近世の所産であろう。

2 土坑

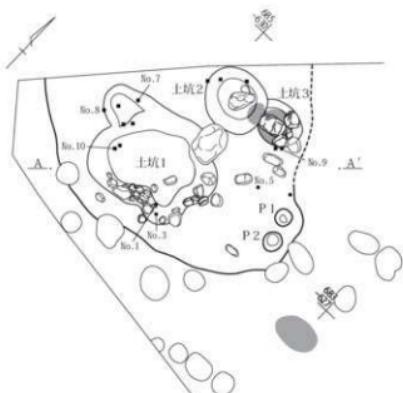
45基の土坑を調査した。1号溝とは方位をやや違えるが、長軸を北西-南東方向に置く長方形平面の土坑が主体を占め、これと直交方向を示す、長方形ないし方形平面の土坑が介在する。長方形平面の土坑は調査区北端近

くと、中部、南部にあって、かなり近似した方向を示す。北端部には幅広の長方形土坑が多く掘られていて、重複が激しい。中部にも長方形土坑の重複が見られるが、ここではやや小型の方形土坑もある。南部では幅の狭い溝状の土坑が、直列、並列するように並ぶ、いずれも地割に沿って掘られたものであろう。円形平面の土坑は少ない。10号土坑、36号土坑から灰釉陶器長頸壺、44号土坑からは灰釉陶器椀、26号土坑からは平瓦が出土している。土師器、須恵器や繩文土器が出土する土坑も多いが、いずれも小片であり、時期や機能を特定できるものではない。

各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

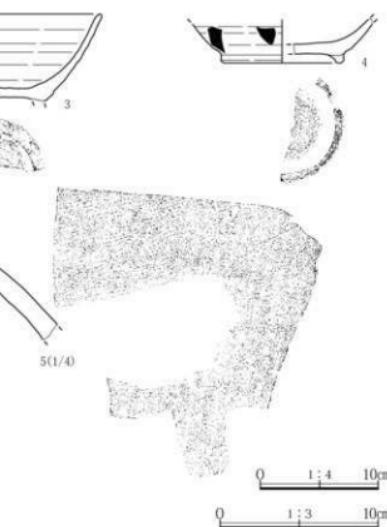
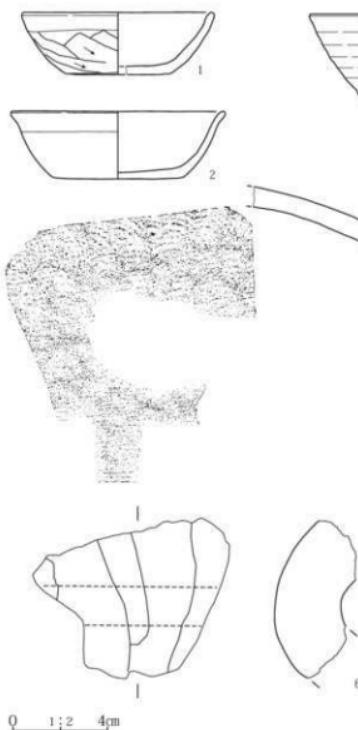
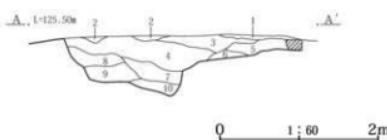
3 ピット

104基のピットを調査した。また、個別のピット番号を付していないが、1号溝、5号土坑、19号土坑で、それぞれ重複するピットの断面調査を行った。調査区全体に散在する。8号ピットが1号土坑に切られるが、他の多くは土坑を切る状態が観察されており、土坑の形成よりピットの形成が新しい傾向がある。9号、14号、15号、20号、28号、38号、65号及び89～91号土坑には、柱穴とみられる黒色ないし黒褐色土の陥入が見られるが、複数のピットが組み合って掘立柱建物や柵などを構成するも



1号竖穴状遺構

- 1 褐色土(10YR4/4) 褐色土ブロックを主体とする。混乱。
- 2 黒色土(10YR2/1) As-B混土層。純まり弱い。
- 3 黒色土(10YR2/1) As-C、ローム粒を少量含む。
- 4 黒色土(10YR2/1) As-C、褐色土ブロック、ローム小ブロックを含む。
- 5 黑褐色土(10YR3/1) As-C、 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- 6 暗褐色土(10YR3/4) ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
- 7 暗褐色土(10YR3/3) As-C、褐色土ブロック、ローム粒を含む。
- 8 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物、 ϕ 5cm以上のロームブロックを含む。
- 9 黑褐色土(10YR3/2) やや明るい、As-C、ローム粒、小円錐を含む。
- 10 暗褐色土(10YR3/3) ローム小ブロック、円錐を含む。



第57図 1号竖穴状遺構

のは認められていない。30号、57号、61号、63号、64号、90号ピットからは縄文土器細片が、34号、59号、72号、83号、90号、97号、99号ピットからは土師器小片が出土している。82号ピットは1号竖穴状遺構からはやや離れた位置にあるが、須恵器杯の小片とともに鉄漿が出土している。

各ピットの計測値等は卷末の遺構一覧に示した。

4 穴状遺構

1号 穴状遺構

位 置 X=43680～43685・Y=-50630～-50625グリッド
調査区南西隅にある。西部は調査区外となる。確認面最高標高125.31m、床面最高標高125.18m。

規模・形状 調査区北西壁での確認長3.38m、確認幅2.56m。不整円形に近い浅い掘り込み(外周掘り込み)の内部に、不整形の深い土坑1と、円形平面の土坑状の窪み(土坑2・3)がある。外周掘り込みの壁内外にはピットが多く見られるが、外周掘り込みの内側にある2基について、P1・2として記載する。この2基のピットの部分では、外周掘り込みがやや膨らみを持つ。鉄滓が多く出土しているところから、鍛冶関係遺構であることは確かだが、直接火熱を受けた痕跡は後述する土坑2・3部分と、外周掘り込みの外にあって、掘り込みの覆土には、焼土、炭化物が少ない。流動滓や鍛造剝片等が採取されていないところから見ると、上屋施設を作った、製錬にかかる遺構が、放棄時に破壊されたものと考えられるのではないか。

覆 土 大小のロームブロックを多く含む黒褐色～暗褐色土を主体とする。土層断面の写真記録を参照すると、断面図6・7層には焼土ブロックが含まれ、8・9層にも焼土粒が見えるほか、6・8層には締まった粘質土のブロックが混じるかに見える。

土坑1 外周掘り方の南北を占める。1.64m×1.30m、N-52°-Eに長軸を持つ長円形を基本に、東西が張り出すような形状で、外周の掘り込みの底面から、最大54cmほどの深さがある。断面形は鍋状に近いが、北東側に傾斜をもって深くなる。南側の立ち上がりには、円礫が傾斜部に積みかれたような状態で出土している。

土坑2 外周掘り方の北部にあって、東の土坑3を切る。平面形は東西長0.83m、南北長0.76mの偏円形で東部壁際に土坑3から連続する焼土がある。底面から僅かに浮いた位置に亜角礫が入る。

土坑3 土坑2の東にある。東西長0.61m、南北長0.53mの偏円形で、底面には焼土があり、この上にやや大ぶりの円礫が4個置かれる。

P1 外周掘り方の東部壁際にある。径20～22cmの円形平面で、確認面からの深さは29cm。断面形はV字状に近

い。南のP2との間は芯々で30cmほどである。

P2 外周掘り方の東部壁際にある。東西長23cm、南北長26cmの偏円形の平面形で、確認面からの深さは39cm。断面形はV字状に近い。

遺物出土状況 土師器杯、墨書のある須恵器碗、須恵器甕片のほか、写真図版に掲載した鉄滓や金属片が多く出土している。鉄滓は西部に多く、須恵器甕片などは土坑2・3の周辺にまとまる。

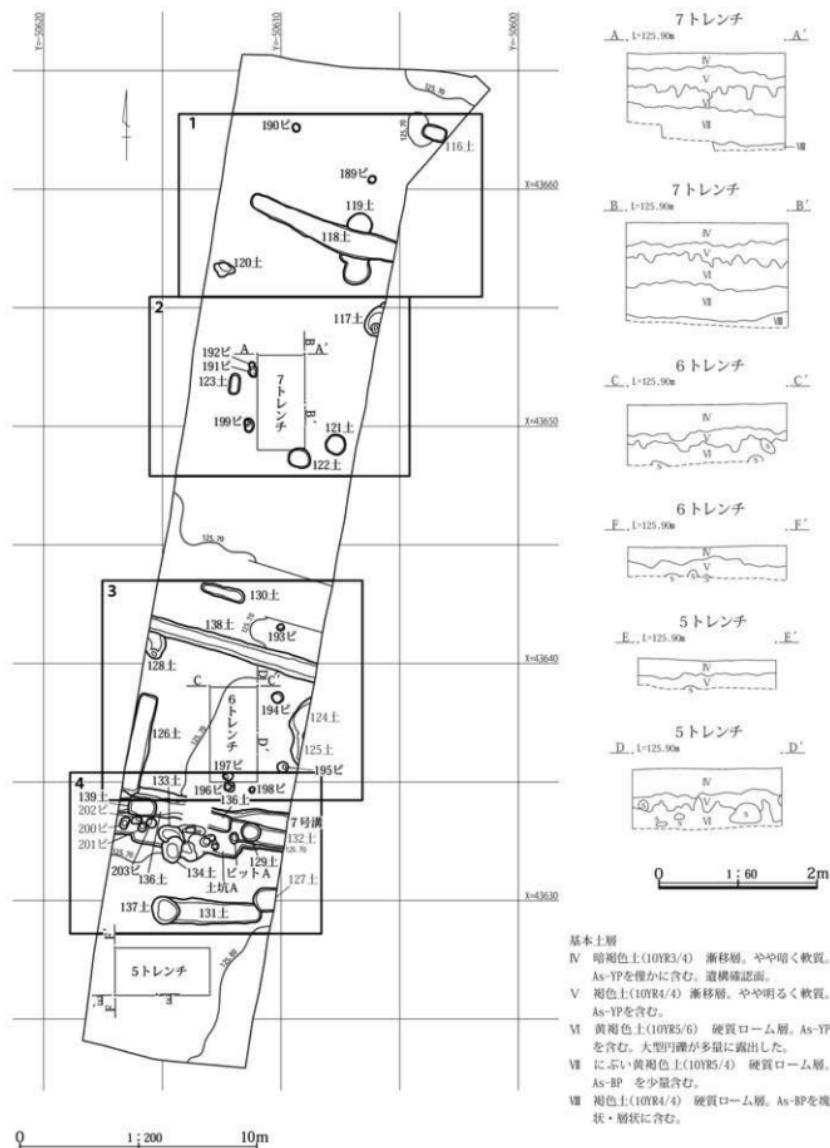
時 期 土師器杯(1・2)から見ると、8世紀第3四半期の年代が与えられる。

第7節 6区

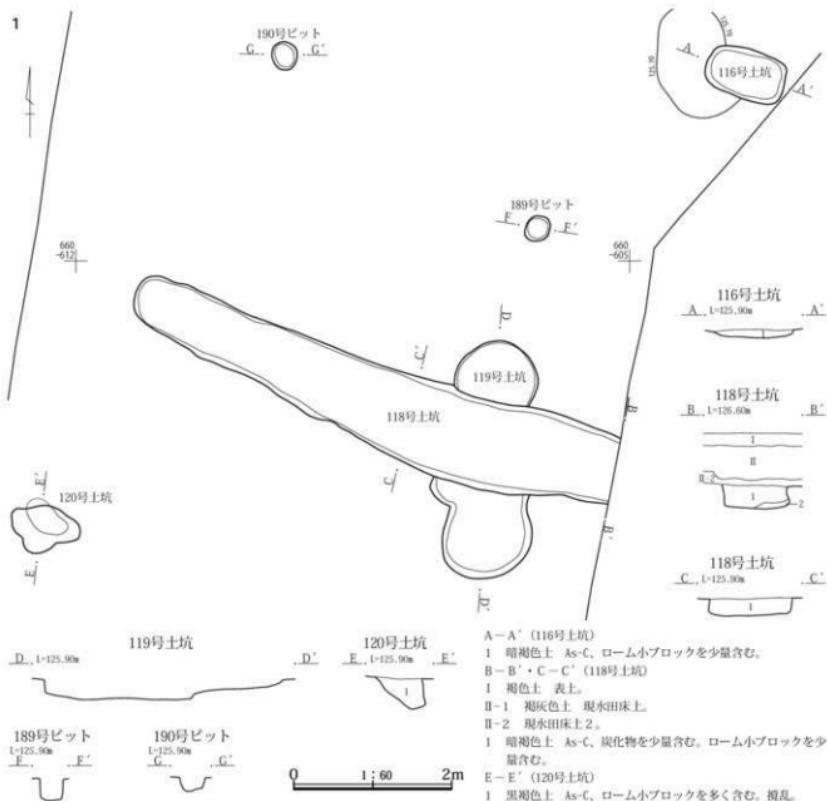
X=43620～43665・Y=-50615～-50600 調査区南北長42.80m、東西幅7.14～10.55m、面積320.3m²。7区とは特定の境界なく連続する。確認面最高標高125.80m、最低標高125.67m。南北が高く、最高位は調査区南東隅部、最低位は中央近くにある。現水田の床土下を確認面とする。確認面構成土は、ローム漸移層に相当する暗褐色土であり、上位の土壤が削られて、遺構の残りは悪い。土坑23基、ピット16基、溝1条を確認した。土坑は褐色～暗褐色の覆土で、浅いものが多い。124・125号土坑は、古代から中世、137号土坑は縄文時代の所産としたが、詳細な時期は不明である。他は中～近世以後のものであろう。ピットは大型のローム塊を含む褐色～黒褐色土を覆土とするが、締まりが著しく弱く、搅乱に近いものが多い。これも中～近世以後の所産であろう。

1 溝

7号溝 調査区南部にあって東西走る。東西ともに調査区外に延びる。確認長14.27m、上端幅1.70m、確認面からの深さ28cm。断面形は碗状～皿状。覆土は黄褐色土ブロックを含む暗褐色土を主体とする。確認面最高標高125.80m、最低標高125.64m、底面標高125.59m。方位はN-82°-W。126号、129号、132～136号、139号土坑や200～203号ピット、さらには土坑A～C、ピットAとした遺構や、搅乱などと重複していて、溝全体の形状詳細や流下方向が把握できない。132号土坑を切り、136号土坑、土坑Aに切られるが、いずれの土坑も、この溝と同一方位を探る。北の118号土坑や138号土坑も近似した



第58図 6区の遺構配置と土層



第59図 6区部分図 1

方向を示していく、何等かの地割に沿って掘削されたものと思われる。中・近世の所産であろう。

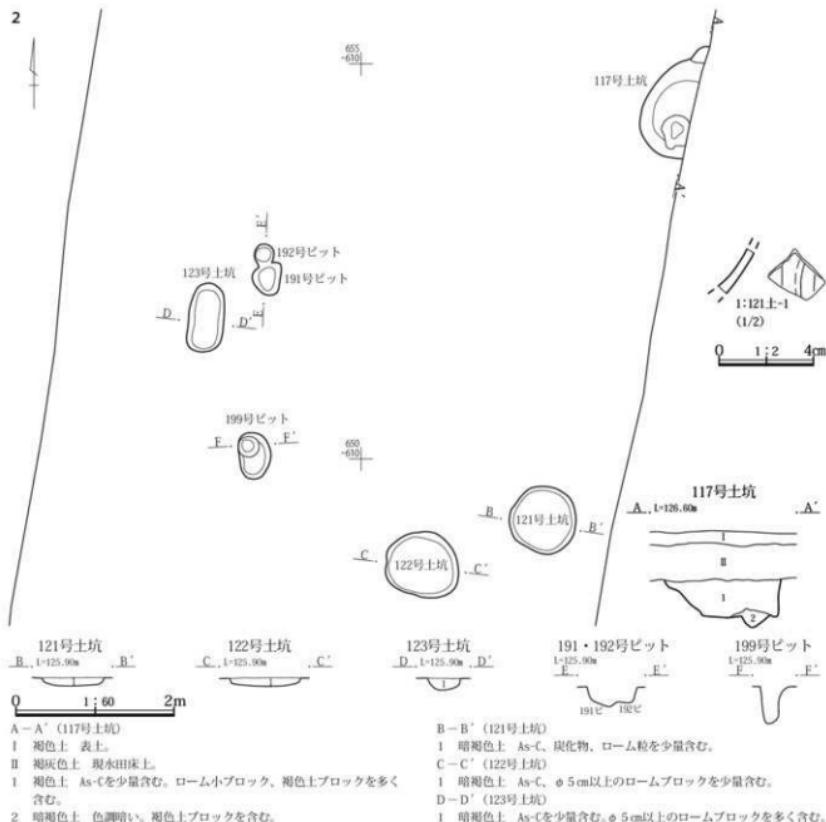
2 土坑

23基の土坑を調査した。調査区北部の118号土坑、中部南寄りの138号土坑や、7号溝と重複する132号、136号土坑など、東西に長軸を持つ狭長な平面形の土坑が目立つ。118号土坑は確認長が6.48mあって、さらに東に延び、長軸方位はN-68°-W、138号土坑は確認長7.32mで、東西ともに調査区外に延びている。長軸方位はN-73°-W。139号土坑と接する125号土坑はこれと直交

するようにN-13°-Eを示している。調査区南部にある131号土坑はN-88°-Wとやや方位を異にするが、これも何等かの地割に沿って掘削されたものであろう。このほか、円形～長円形平面の土坑が点在する。多くの土坑が中・近世およびそれ以後の所産とみられる。

円形平面の小型土坑である121号土坑出土の龍泉窯系青磁碗片を図示したが、他には118号土坑から土師器小片、126号土坑から陶磁器小片、130号土坑から須恵器、陶磁器、繩文土器の小片が出土している程度で、ごく乏しい。

このなかで、調査区南部東壁際の124号、125号土坑は



第60図 6区部分図2／121号土坑出土遺物

黒褐色色を覆土としていて、古代から中世のもの、137号土坑は形状および覆土から縄文時代に帰属するものと考えられた。

各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

3 ピット

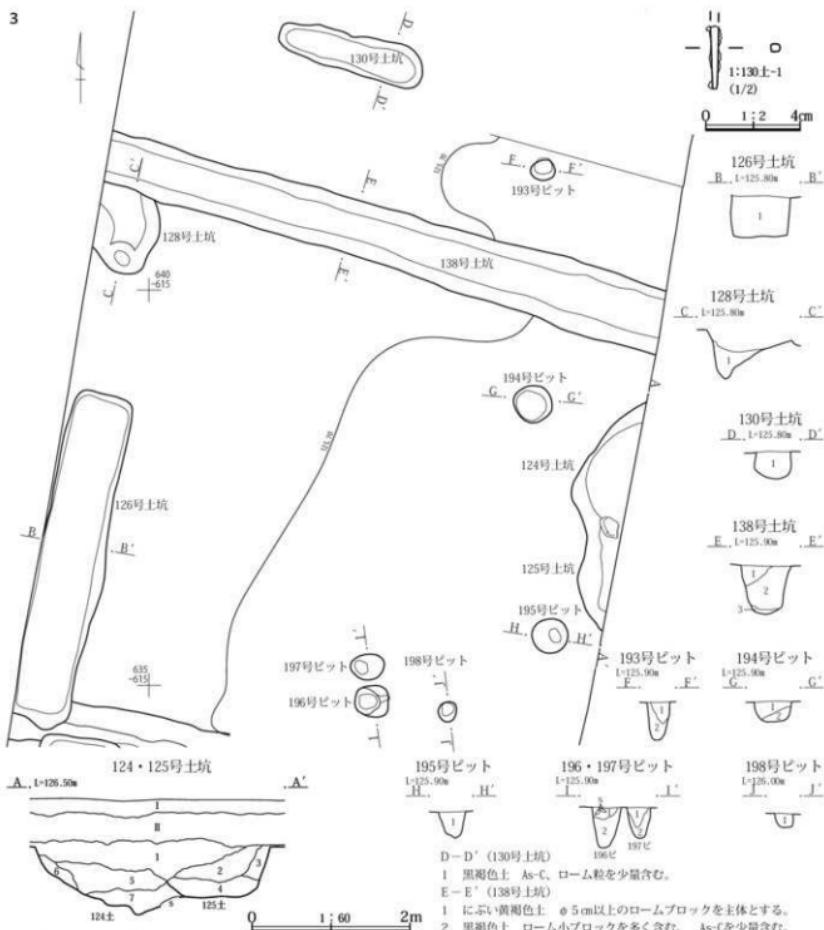
16基のピットを調査した。調査区全体に点在する。7号溝内に200～203号ピットとピットA、北東に195～198号ピットがまとまる。ピットAは内部に礫があるが、溝や周辺土坑との関連は把握できない。明確な柱痕を持

つるものもなく、複数のピットが組み合って掘立柱建物や柵などを構成するものも認められない。遺物は乏しく、18号ピットから陶器小片が出土している程度である。

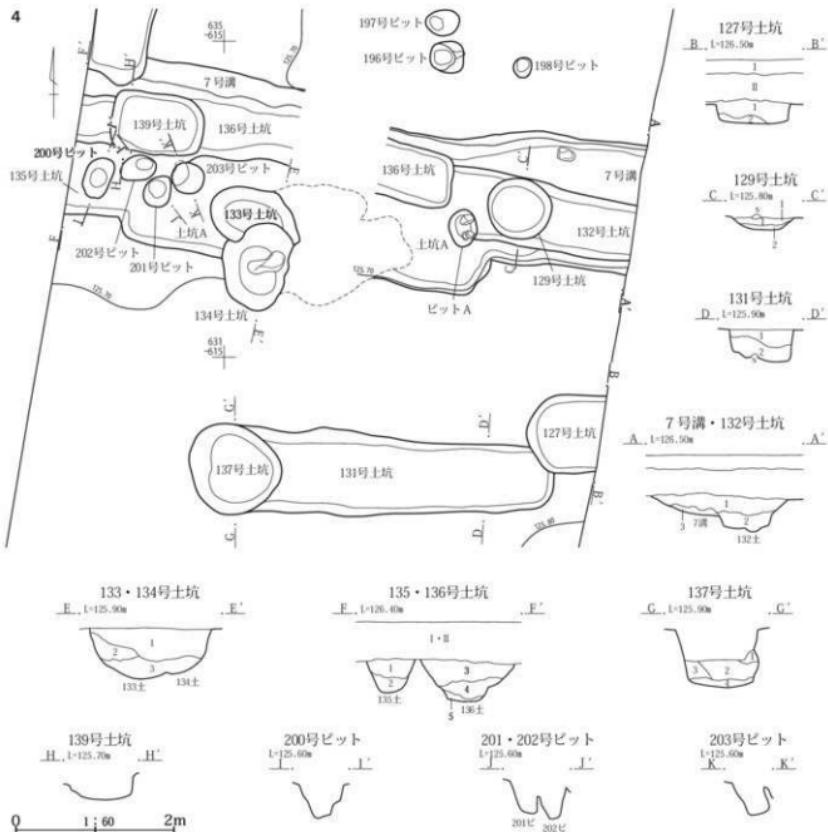
各ピットの計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

4 旧石器確認調査

調査区北寄り(7トレンチ)と南寄り(6トレンチ)に東西2m、南北4mの、調査区南端近く(5トレンチ)に東西4m、南北2mのトレンチを設けて、旧石器時代相当層における遺構・遺物の存否確認を行った。5トレンチ



第61図 6区部分図3

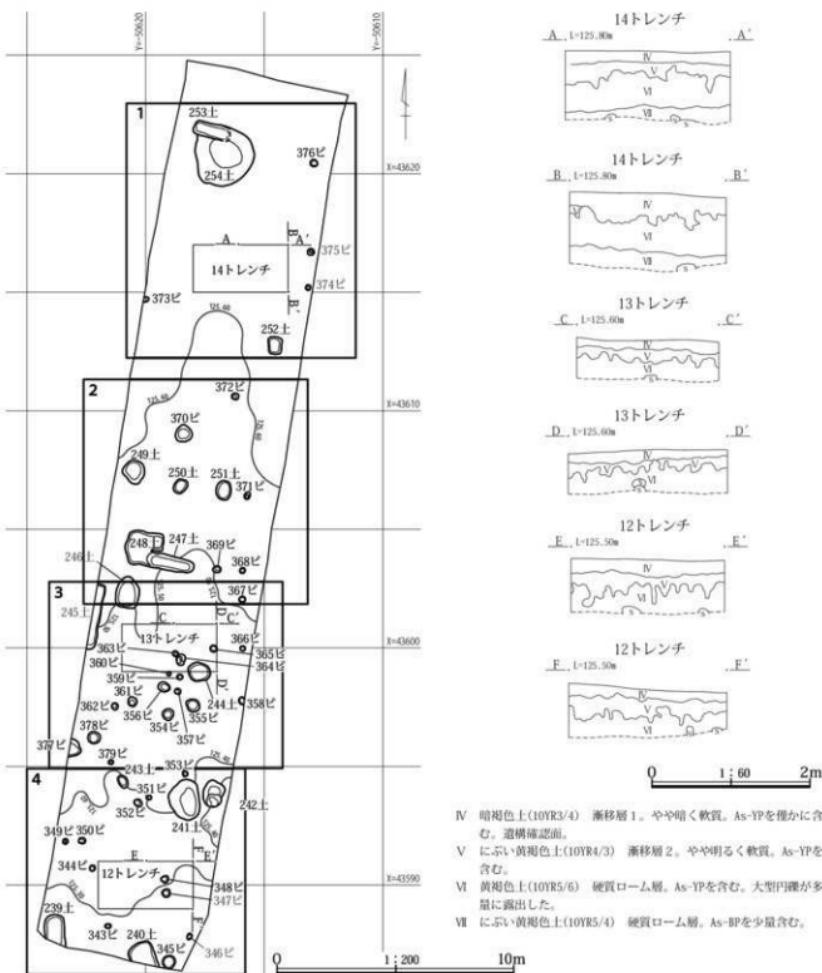


第62図 6区部分図4

では0.44m、6トレンチでは0.79mの深さで、VI層の硬質ロームまで掘削した。7トレンチではより深く、VII層のAs-BPを含む褐色の硬質ローム層中にあたる、深さ1.32mまで掘削したが、遺構、遺物共に認められなかつた。トレンチ設定位置及び土層断面は第58図に示した。

第8節 7区

X=43585～43620・Y=-50625～-50610 調査区南北長37.74m、東西幅6.92m、面積259.9m²。確認面最高標高



第63図 7区の遺構配置と土層

125.68m、最低標高125.22m。北が高く、南へ下る。6区とは特定の境界なく連続する。現水田の床土下を確認面とする。確認面構成土は、ローム漸移層に相当する暗褐色土である。土坑16基、ピット37基を調査した。全体に遺構は乏しく、土坑、ピットが中部以南を中心に散在する。遺物は乏しい。下記土坑から出土した陶器片、石器のほか、確認面から出土した常滑陶器の甕片と旧石器時代面確認トレンチから出土した石礫を図示した。

1 土坑

16基の土坑を調査した。調査区北部には平面形が長方形の253号土坑と不整円形の254号土坑、方形平面の252号土坑が点在する。254号土坑は長軸長2.55m、短軸長2.40m、深さ77cm。土層断面図1～3層の様態からは、南北方向に転倒した倒木の痕跡が起される。53号土坑は北西～南東に長い長方形平面の土坑で、長軸長1.58m、幅0.58m、深さ34cm。壁が直立するような、深い鍋状の断面形を有する。長軸方位はN-75°-Wで、6区の132号土坑、138号土坑などと近い。また、調査区中部にある247号土坑は、確認長2.01m、幅0.65mの規模で、長円形の平面形を示すが、長軸方位はN-78°-Wとこれも近似していて、断面形も類似する。247号土坑の南、調査区西壁に沿ってある245号土坑は、長2.78m、西半が調査区外となるが、確認幅37cm、深さ69cm。N-10°-Eを示す、長方形ないし長円形平面の土坑で、断面形は深い鍋状。254・247号土坑と形状が類似し、ほぼ直交方向を示す。やや離れた位置にあるが、6区の126号土坑とも方位が近い。これらは、何らかの区画に沿って掘られたものであろう。中部にはほかに、249～251号土坑、246

号土坑など、円形、不整円形平面の土坑がある。南部では円形から不整円形の241～243号土坑があるほか、狭長な長円形平面を呈すると思われる239号、240号土坑が、調査区南端部にかかるて認められた。238号土坑から土師器甕小片、239号土坑から常滑陶器の甕片と縄文土器小片、250号、254号土坑からは土師器片、縄文土器片と石礫が出土している。

各土坑の計測値等は卷末の遺構一覧に示した。

2 ピット

37基のピットを調査した。土坑と同様に、調査区北部には少数が点在するのみであり、中部から南部にかけて散在する。明確な柱痕を持つものはない。244号土坑周辺に、やや大径のものも含めて、ピットの集中が見られるが、複数のピットが組み合って掘立柱建物や柵などを構成するものは認められない。顯著な遺物もない。

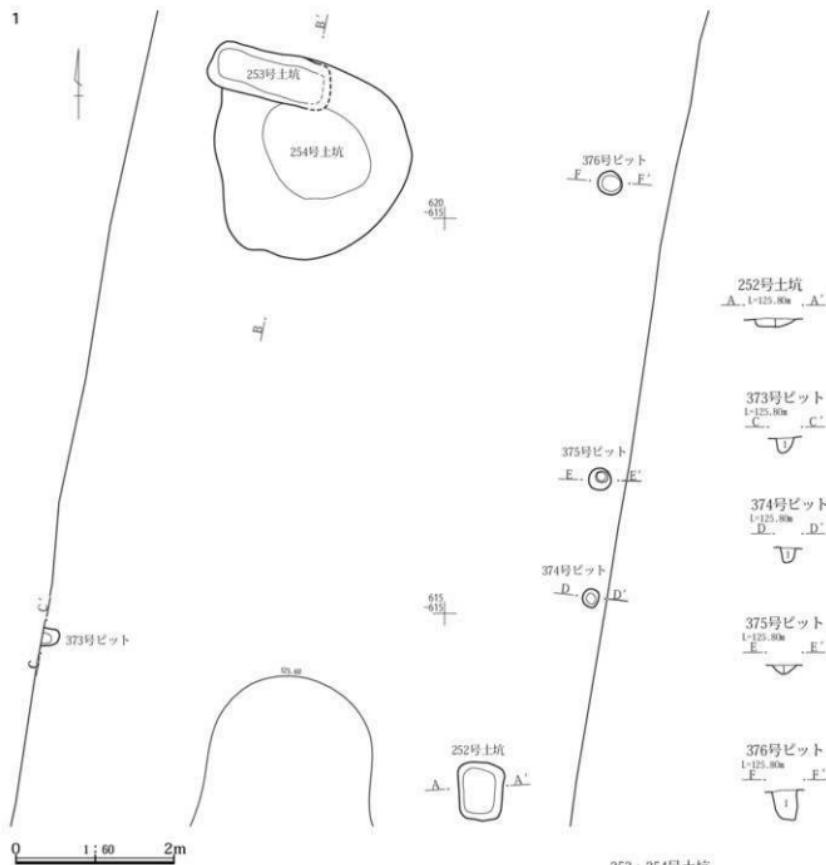
各ピットの計測値等は卷末の遺構一覧に示した。

3 旧石器確認調査

調査区北部(14トレンチ)、中部(13トレンチ)、南部(12トレンチ)にそれぞれ東西4m、南北2mのトレンチを設けて、旧石器時代相当層における遺構・遺物の存否確認を行った。12トレンチでは最大0.68m、13トレンチでは0.56mの深さで、VI層の礫を含んだ硬質ローム中まで掘削した。14トレンチではより深く、VII層のAs-BPを少量含む、にぶい黄褐色の硬質ローム層中にあたる、0.92mまで掘削したが、遺構、遺物共に認められなかった。トレンチ設定位置及び土層断面は第63図に示した。



第64図 7区出土遺物



A - A' (252号土坑)

1 に赤い黄褐色土(10YR5/3) 小礫を含む。ロームブロックを少量含む。
縦りなし。

B - B' (253・254号土坑)

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロックを含む。

2 暗褐色土(10YR3/3) ローム混土を含む。

3 黄褐色土(10YR5/4) に赤い黄褐色土ブロックを含む。

4 に赤い黄褐色土(10YR5/4) 暗褐色土ブロックを含む。

5 黑褐色土 崩れたローム斑を南半に多く含む。

6 に赤い黄褐色土 汚れたローム斑を主体とし、黒色斑を多く含む。

7 暗褐色土 黒褐色土粒とローム斑の混土。細粒。

8 黄褐色土 汚れたローム。

9 黄褐色土 亂れた地山。砂礫を多く含む。

C - C' (373号ビット)

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロックを含む。

D - D' (374号ビット)

1 暗褐色土 ローム粒・ローム斑を多く含む。

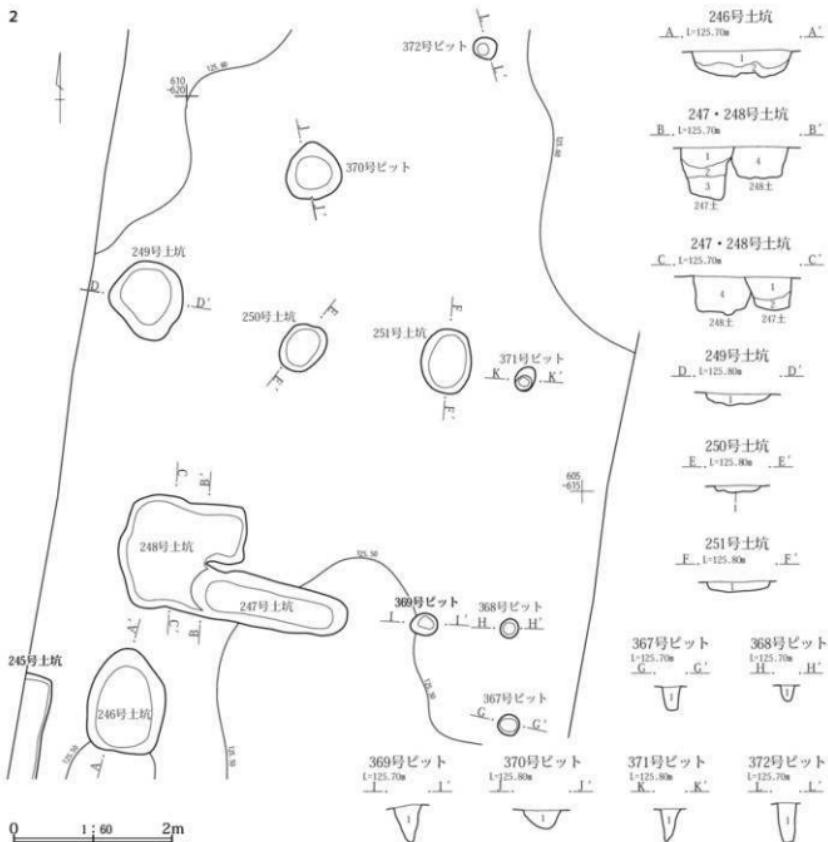
E - E' (375号ビット)

1 暗褐色土 ローム粒を多く含む。

F - F' (376号ビット)

1 暗褐色土 崩れたローム斑を含む。

第65図 7区部分図1



A-A' (246号土坑)

1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ロームブロック、黒褐色土を僅かに含む。

2 明黄褐色土(10YR6/8) にぶい黄褐色土ブロックを多量に含む。ロームブロックを少量含む。黒褐色土を僅かに含む。

B-B'・C-C' (247・248号土坑)

1 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 黄褐色土ブロックを含む。砂質。

2 暗褐色土(10YR3/3) にぶい黄褐色土ブロック、ロームブロックを含む。

3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 暗褐色土・ロームブロックを含む。

4 暗褐色土 上位は編状のローム斑と互層をなし、下位はローム小斑を含む。

D-D' (249号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) にぶい黄褐色土ブロックを多量に含む。炭化物粒を少量含む。ロームブロックを僅かに含む。

E-E' (250号土坑)

1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム粒、黒褐色土粒を僅かに含む。

F-F' (251号土坑)

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。炭化物粒、にぶい黄褐色土ブロックをわずかに含む。粒子が粗い。

G-G' (367号ビット)

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロックを多量に含む。粒子が粗い。

H-H' (368号ビット)

1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ロームブロックを多量に含む。

I-I' (369号ビット)

1 暗褐色土 ローム粒を含む。

J-J' (370号ビット)

1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ロームブロックを少量含む。

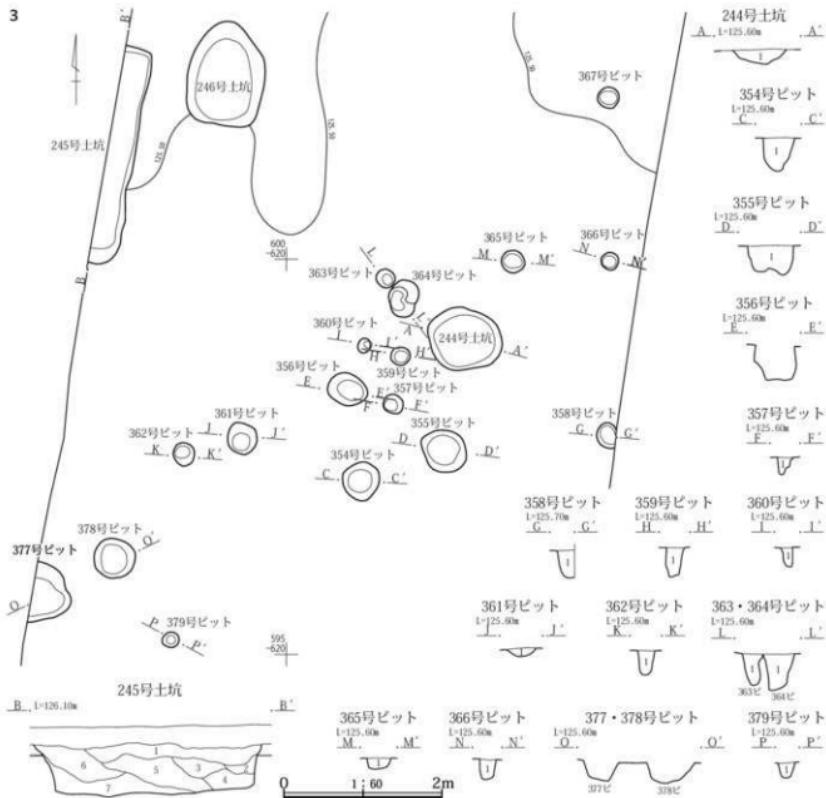
K-K' (371号ビット)

1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム粒、黒褐色土粒を僅かに含む。

L-L' (372号ビット)

1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを含む。

第66図 7区部分図2



A-A' (244号土坑)

- 1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ロームブロック、黒褐色土ブロックを僅かに含む。

B-E' (450号ピット)

 - 1 黄褐色土(10YR3/3) ロームブロック・黒褐色土ブロックを少量含む。
 - 2 黄褐色土(10YR5/6) 黑褐色土ブロックを僅かに含む。
 - 3 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを僅かに含む。
 - 4 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを僅かに含む。
 - 5 黑褐色土(10YR3/2) ロームが帯状に入る。
 - 6 黑褐色土・ローム混入
 - 7 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。

C-C' (354号ピット)

 - 1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。As-Cを僅かに含む。

D-D' (355号ピット)

 - 1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ロームブロックを少量含む。As-Cを僅かに含む。

F-F' (357号ピット)

 - 1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム粒を多量に含む。炭化物粒僅かに含む。

G-G' (358号ビット)

- 1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック、黒褐色土ブロックを僅かに含む。

H-H'・I-I' (359・360号ビット)

1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。黒褐色土ブロックを僅かに含む。

J-J' (361号ビット)

1 にぶい黄褐色土(10YR5/3)

K-K' (362号ビット)

1 黄褐色土(10YR5/6) 黒褐色土、小礫を含む。

L-L' (363・364号ビット)

1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。

M-M' (365号ビット)

1 暗褐色土(10YR3/3) ローム混土。黒褐色土ブロックを僅かに含む。

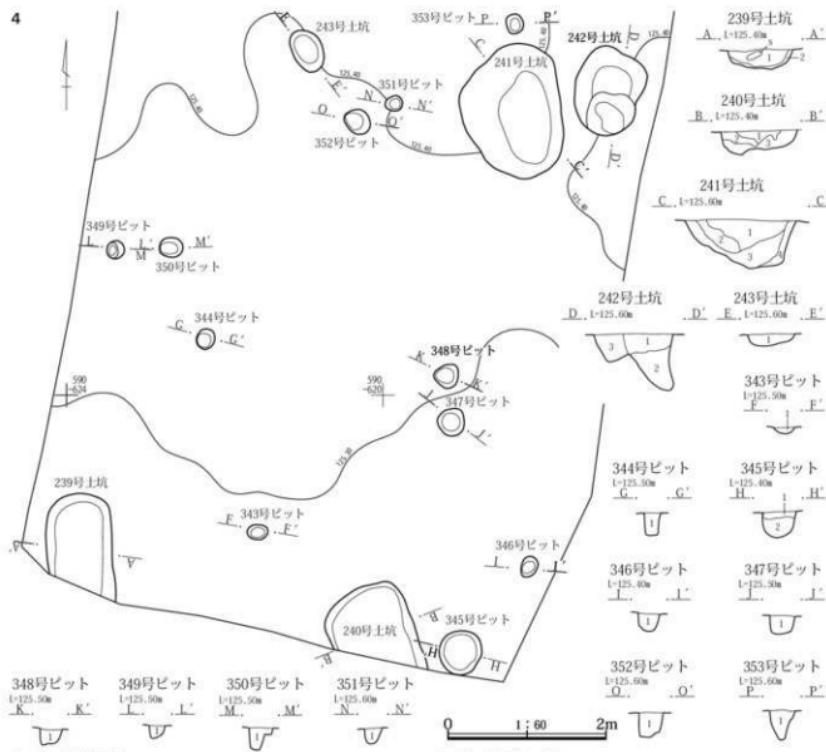
N-N' (366号ビット)

1 黑褐色土(10YR2/2) ロームブロックを多量に含む。粒子が粗い。

P-P' (379号ビット)

1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。炭化物粒を多量に含む。

第67図 7区部分図3



A-A' (239号土坑)

1 黒褐色土(10YR3/2) 炭化物粒、拳大的礫を含む。ロームブロックを少量含む。

2 黄褐色土(10YR5/6) 黑褐色土ブロックを少量含む。

B-B' (240号土坑)

1 黒褐色土(10YR3/2) 砂質上ロームブロックを僅かに含む。

2 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。

3 黄褐色土(10YR5/6) 黑褐色土ブロックを少量含む。

C-C' (241号土坑)

1 黒褐色土(10YR3/2) As-Cを含む。ロームブロック、炭化物粒を僅かに含む。

2 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを多量に含む。As-Cを含む。

3 に似る黄褐色土(10YR5/3) ロームブロックを多量に含む。黒褐色土を僅かに含む。

4 明黄褐色土(10YR6/8) 黑褐色土を僅かに含む。

D-D' (242号土坑)

1 黑褐色土とロームの混土。As-Cを含む。

2 黑褐色土とロームの混土。As-Cを含む。結りなし。

3 黑褐色土とロームの混土。

E-E' (243号土坑)

1 に似る黄褐色土(10YR5/3) ロームブロックを僅かに含む。

F-F' (343号ビット)

1 噴褐色土(10YR3/3) ロームブロックを大量に含む。

G-G' (344号ビット)

1 黒褐色土(10YR3/2) ローム混土。

H-H' (345号ビット)

1 に似る黄褐色土(10YR5/6) 小礫を含む。

2 明黄褐色土(10YR6/8) に似る黄褐色土を少量含む。

I-I' (346号ビット)

1 黄褐色土(10YR5/6) 黑褐色土ブロックを少量含む。

J-J' (347号ビット)

1 黄褐色土(10YR5/6) ロームブロック、炭化物を少量含む。

K-K' (348号ビット)

1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。炭化物粒を僅かに含む。

L-L' (349号ビット)

1 黑褐色土(10YR5/6) 黑褐色土粒を含む。

M-M' (350号ビット)

1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを多量に含む。

N-N' (351号ビット)

1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。

O-O' (352号ビット)

1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。炭化物粒を僅かに含む。

P-P' (353号ビット)

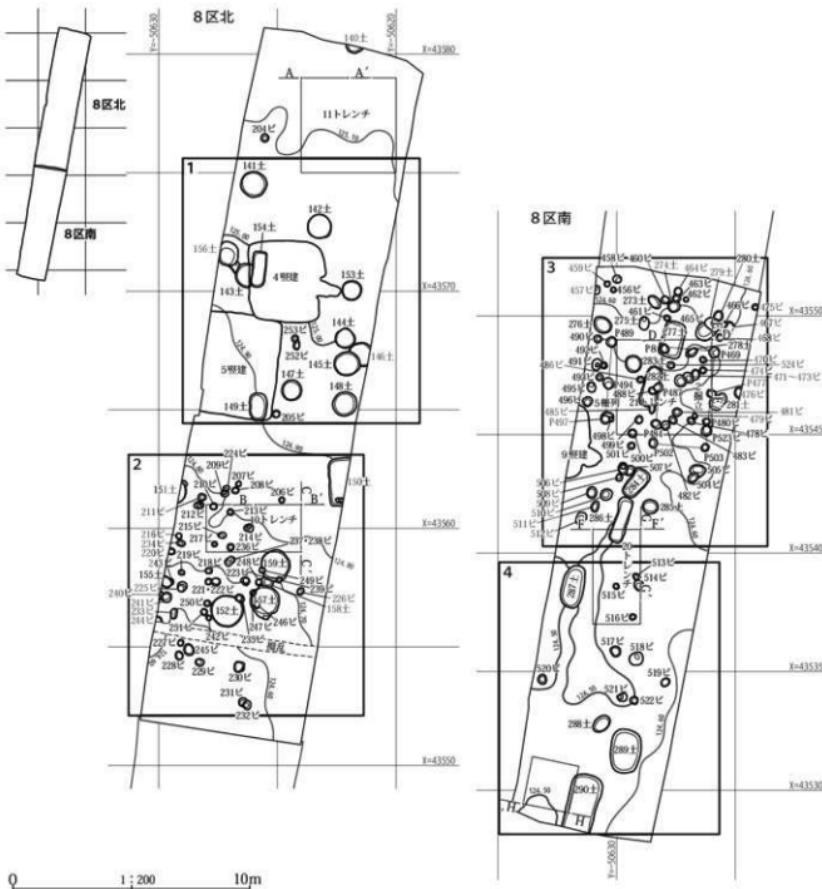
1 黑褐色土(10YR3/2) ロームブロック、炭化物粒を少量含む。

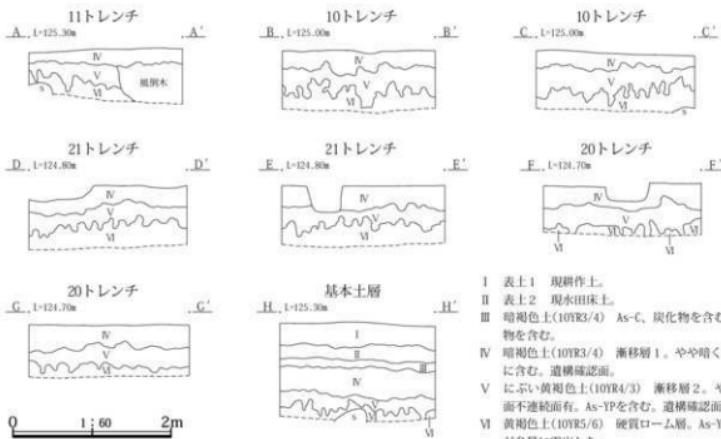
第68図 7区部分図4

第9節 8区

X=43525～43580・Y=-50635～-50615 調査区南北長53.14m、東西幅7.00m、面積355.9m²。確認面最高標高125.13m、最低標高124.41m。竪穴建物3基、土坑38基、ピット109基、掘立柱建物1棟、柵1条を確認した。工程の都合上、南北の調査区に分けて作業を進めたもので、

一連の地条であるのだが、微地形や遺構の内容においても、南北でやや差が見られる。北調査区では北と東が高く、南へ下る。北調査区の南端近くからやや傾斜が変わり、南調査区では、僅かに北が高いが、南北の高低差は乏しく、東から西に下る傾斜のほうが強い。北調査区には古代の竪穴建物1棟、弥生時代に属すると思われる竪穴建物1棟があり、南調査区では古代の竪穴建物1棟を確認している。土坑、ピットも多く確認されているが、





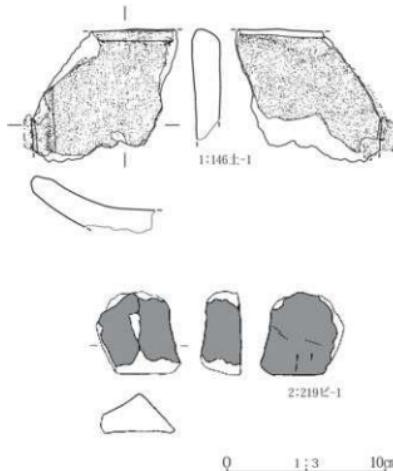
第70図 8区の土層

北調査区では円形平面の土坑、南調査区では長円形平面の土坑が目立つ。北調査区南部から南調査区北部にピットが多くみられ、南調査区では複数のピットで構成された掘立柱建物、櫛も確認されている。

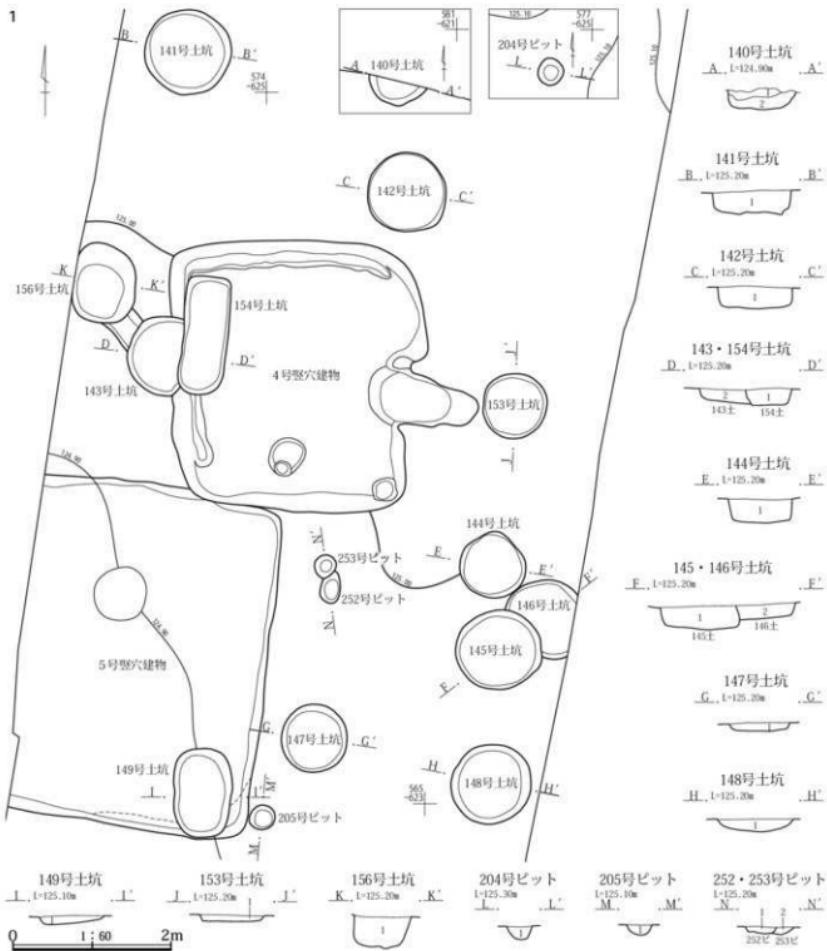
4・9号竖穴建物からは須恵器杯、土師器甕などが出土している。5号竖穴建物では遺物が乏しく、時期決定が難しい。土坑からは土師器、須恵器の破片に混じて、陶磁器や繩文土器の小片も混在して出土している。時期や遺構の機能を特定できるものではないが、157・159号土坑からの鉄滓出土が注目される。

1 土坑

38基の土坑を調査した。北調査区には20基の土坑があり、このうちの15基が円形平面の土坑が占める。調査区北端の140号土坑がやや外れた位置にあるが、他の14基が環状配置の一部をなすかのように、弧状に並ぶ。直径80~100cm内外の規模で、錐状の断面形も類似する。覆土は他の形状の土坑も含めて、ロームブロックを含む暗褐色土で、覆土中には土師器、須恵器片や陶磁器片、繩文土器片が含まれる。北調査区南部の157号、159号土坑は、近接する152号土坑とともに、径1.3mを超える大型の円形土坑で、157号土坑からは土師器の杯、甕片、159号土坑からは須恵器の杯片とともに、鉄滓が出土している。



第71図 8区出土遺物



A - A' (140号土坑)

1 暗褐色土 ローム粒を多く含む。

2 黒褐色土 亂れたローム面を多く含む。

B - B' (141号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを少量含む。黒褐色土粒、焼土粒を僅かに含む。

C - C' (142号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土粒を少量含む。ロームブロック、焼土粒を僅かに含む。

D - D' (143・154号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒を少量含む。炭化物粒、黒褐色土粒を僅かに含む。

2 黒褐色土 ローム粒を含む。

E - E' (144号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒を少量含む。黒褐色土粒を僅かに含む。

F - F' (145・146号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。

2 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック、燒土粒を僅かに含む。

G - G' (147号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを少量含む。黒褐色土粒を僅かに含む。

H - H' (148号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物粒、燒土粒を含む。ロームブロック、黒褐色土ブロックを少量含む。

第72図 8区部分図1

1-1' (149号土坑)

1 黒褐色土(10YR2/3)に似い黄褐色土(10YR5/4)を多量に含む。

J—J' (153号土坑)

1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。

K—K' (156号土坑)

1 暗褐色土 ローム粒を多く含む。ロームブロックを含む。炭化物を少量含む。

L-L' (204号ビット)

1 黒褐色土(10YR2/3) ロームブロックを多量に含む。

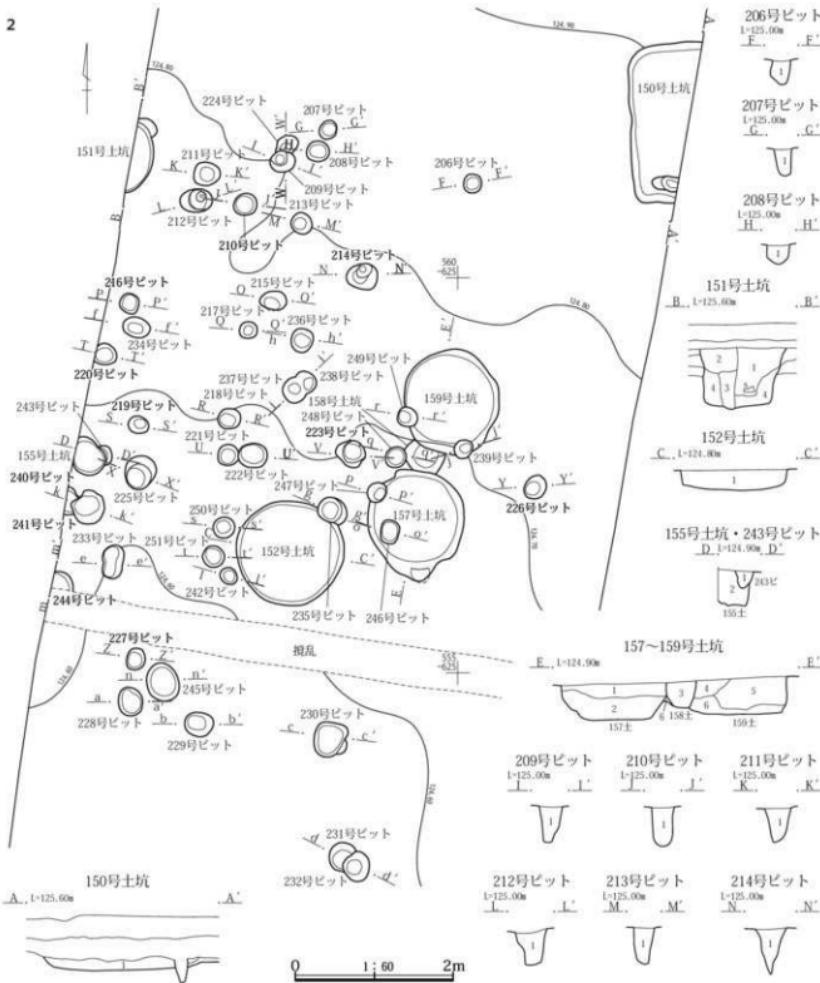
M-M' (205号ビット)

1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。焼土粒を僅かに含む。

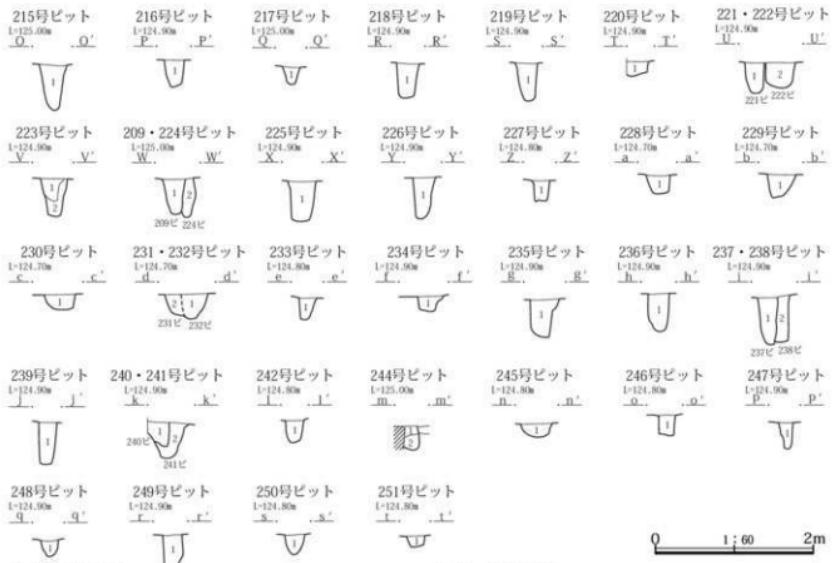
N-N' (252・253号ピット)

1 にふい黄褐色土(10YR5/3) 黒褐色土ブロックを僅かに含む

2



第73図 8区部分図2



M-M' (213号ピット)
1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒を多量に含む。黒褐色土ブロックを少量含む。炭化物粒、焼土粒を僅かに含む。

O-O' (215号ピット)
1 黒褐色土(10YR2/3) 黒褐色土、暗褐色土、ロームブロックの混上。

P-P' (216号ピット)
1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒を多量に含む。焼土を含む。

R-R' (218号ピット)
1 黒褐色土 ローム粒を含む。上位にロームブロックを含む。

S-S' (219号ピット)
1 暗褐色土 ローム粒を含む。上位にロームブロックを含む。

T-T' (220号ピット)
1 黑褐色土 ローム粒を含む。

U-U' (221・222号ピット)
1 黑褐色土 ぼけたローム斑を多く含む。

V-V' (223号ピット)
1 黑褐色土(10YR2/3) ローム粒を多量に含む。焼土粒を僅かに含む。

W-W' (209・224号ピット)
1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒を多量に含む。

Z-Z' (225号ピット)
1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック、黒褐色土粒を少量含む。柱痕か。

X-X' (226号ピット)
1 黑褐色土(10YR2/3) ローム粒を含む。

Y-Y' (227号ピット)
1 黑褐色土(10YR2/3) ローム粒を僅かに含む。

Z-Z' (228号ピット)
1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒を多量に含む。

a-a' (229号ピット)
1 暗褐色土(10YR3/3) ローム混上。黒褐色土粒を少量含む。

第74図 8区部分図2断面

- b - b' (229号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) ローム混土。黒褐色土粒を多量に含む。
 c - c' (230号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。黒褐色土ブロックを少量含む。
 d - d' (231・232号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) 黒褐色土ブロックを多量に含む。ロームブロックを少量含む。
 2 暗褐色土上(10YR3/3) ロームブロック、黒褐色土を少量含む。
 e - e' (233号ピット)
 1 黒褐色土上(10YR3/2) ロームブロックを少量含む。
 f - f' (234号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) ロームブロックを僅かに含む。
 g - g' (235号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) ローム粒を多量に含む。黒褐色土ブロックを少量含む。
 h - h' (236号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。黒褐色土粒、焼土粒を僅かに含む。
 i - i' (237・238号ピット)
 1 黑褐色土上(10YR2/3) 砂質。ロームブロックを多量に含む。
 2 黑褐色土上(10YR2/3) 砂質。ロームブロックを多量に含む。1層より多い。
 j - j' (239号ピット)
 1 黑褐色土上(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。

149号、154号土坑は後述する南区に多い長方形・長円形平面の土坑と同種であるが、長軸はほぼ南北を示していく、南調査区の土坑列とは方位を異にする。150号土坑は他の土坑とは形態が大きく異なり、1辺2mの方形平面を呈するかに見える。

南調査区には18基の土坑があつて、うち7基が北東-南西に長い長円形ないし剛丸長方形の平面形を有し、同方向の土坑列をなす。他区の同種土坑と同じく、何等かの地割に沿って掘られたものと思われるが、他区例に比して、長軸方位や列の並びが不揃いであり、かつ土坑同士の重複もない。断面形状は錐状で、黒褐色土を覆土の主体とする。遺物は乏しく、277号、282号、287号、290号土坑から土師器や須恵器の小片が出土するにとどまる。

各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

2 ピット

109基のピットを調査した。北調査区には50基のピットがあつて、調査区南部に多くがまとまる。細く深い、U～V字形の断面を持つもののが多いため、明確な柱痕が残るものはなく、複数のピットが組み合って掘立柱建物や柵などを構成するものも認められない。遺物は乏しく、247号ピットからは土師器、須恵器の小片と鉄滓、249号

- k - k' (240・241号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) ローム粒を多量に含む。炭化物粒を含む。
 2 暗褐色土上(10YR3/3) ローム粒を少量含む。炭化物粒を僅かに含む。
 l - l' (242号ピット)
 1 黑褐色土・ローム小塊、ロームブロックを含む。
 m - m' (243号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) ロームブロックを少量含む。にふい黄褐色土ブロックを僅かに含む。
 2 暗褐色土上(10YR3/3) ローム混土。黒褐色土ブロックを僅かに含む。
 n - n' (245号ピット)
 1 にふい黄褐色土上(10YR3/3) ロームブロックを少量含む。
 o - o' (246号ピット)
 1 黑褐色土上(10YR3/3) ローム粒を少量含む。炭化物粒を僅かに含む。
 p - p' (247号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) 黑褐色土を多量に含む。ロームブロックを少量含む。
 q - q' (248号ピット)
 1 暗褐色土上(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。黒褐色土ブロックを少額含む。
 r - r' (249号ピット)
 1 黑褐色土上(10YR3/3) ロームブロックを少量含む。
 s - s' (250号ピット)
 1 黑褐色土上(10YR3/3) 砂質。ロームブロックを多量に含む。
 t - t' (251号ピット)
 1 にふい黄褐色土上(10YR3/3) 黑褐色土ブロックを少額含む。ローム粒を僅かに含む。

ピットからは須恵器裏の小片が出土しているが、これは下位の157・159号土坑の影響であろう。他には204号、214号、221号、229号、232号、246号ピットから土師器小片が出土している。

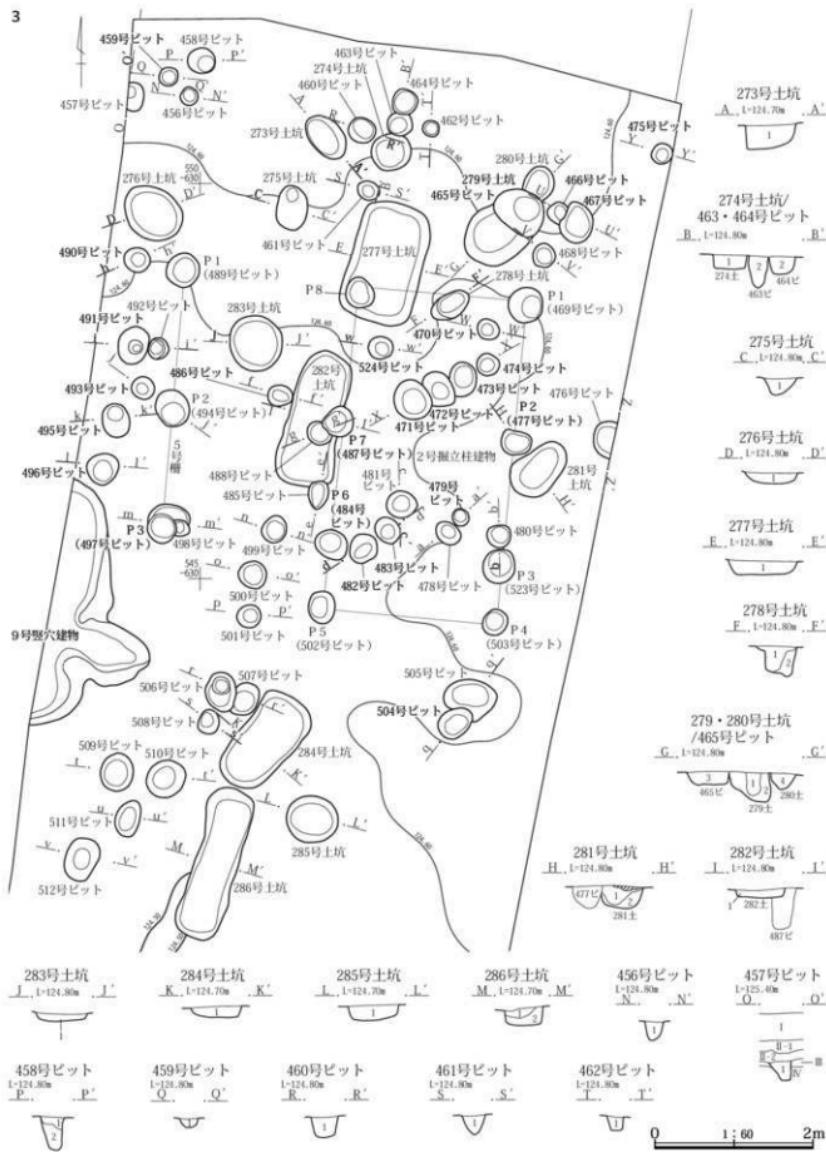
南調査区では59基のピットを調査した。ほかに、後述する掘立柱建物や柵として組み合うピット11基があつて、このうち10基には発掘時点でのピット番号が振られている。またピット番号が付されていないが、279号土坑の断面調査時にもピット1基が確認されている。調査区南部にもピットが点在するが、大半のピットは調査区の北部に集中し、掘立柱建物や柵も北部にある。471～474号ピットや481～483号ピットなど、複数のピットが接するように連続するところもみられる。

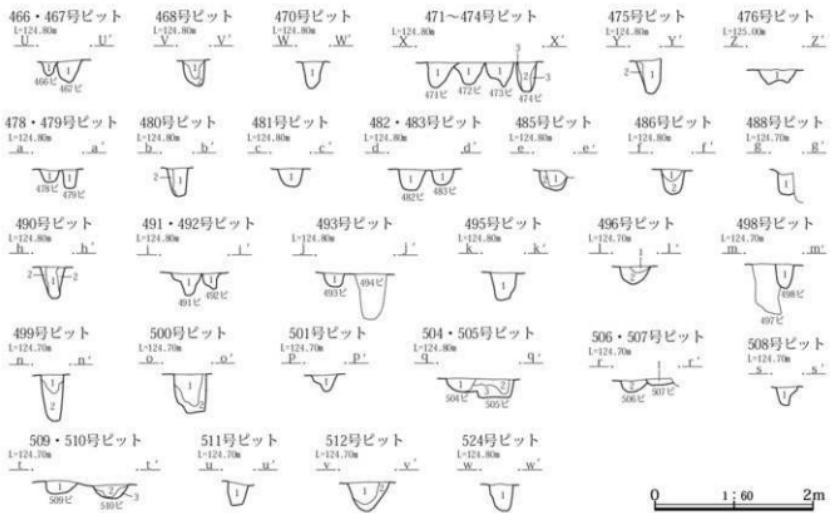
456号ピットから土師器小片、464号ピットから須恵器杯底部の小片、493号、495号ピットからは須恵器杯口縁片、524号ピットからは土師器小型甕の口縁片が出土しているが、いずれも図示に堪えない。

各ピットの計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

3 掘立柱建物・柵

南調査区の北部で、掘立柱建物1棟、柵1条を調査した。2号掘立柱建物は南妻側に庇を持つ、1間×2間の南北棟の側柱建物で、5号柵がこの建物の西辺とほぼ並





第76図 8区部分図3断面

A-A' (273号土块)

- 1 黄褐色土 As-C を含まない。褐土小ブロックを少量含む。緑色土。

B- B' - C- C' - E- E' (274, 275, 277号土壌/463, 465号ビット)

1 黑褐色土 As-C を少し含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

2 褐褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

D- D' (276号土壌)

1 黄褐色土 As-C を含まない。褐土小ブロックを少量含む。

F- F' (278号土壌)

1 黑褐色土 やや砂乳。 $\text{h}-\text{c}$ 。ローム小ブロックを少量含む。

2 黃褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

G- G' (279 - 280号土壌/463号ビット)

1 黑褐色土 As-C を含む。褐土小ブロックを多く含む。別記の覆土。

2 黄褐色土 As-C を含まない。ロームブロックを少含む。

3 黑褐色土 As-C を少含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

4 黄褐色土 As-C を含まない。褐土小ブロックを多く含む。

H- H' (281号土壌)

1 黄褐色土 As-C を含まない。ローム小ブロックを少含む。

2 褐褐色土 As-C を含まない。ローム小ブロックを多く含む。

3 黑褐色土 As-C を含まない。ローム小ブロックを多く含む。

I- I' (282号土壌)

1 黑褐色土 砂質。 $\text{h}-\text{c}$ 。ローム小ブロックを少含む。

J- J' (283号土壌)

1 黄褐色土 As-C を少含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

K- K' (284号土壌)

1 黄褐色土 As-C を少含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

L- L' (285号土壌)

1 黄褐色土 As-C を含まない。ローム小ブロックを多く含む。

M- M' (286号土壌)

1 黑褐色土 As-C 。ローム粒を少含む。

2 黄褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

1 黑褐色土 As-C を少含む。 ϕ 5cm以上の褐土小ブロックを多く含む。

2 褐褐色土 ローム大ブロックを多く含む。

V- V' (468号ビット)

1 黑褐色土 $\text{h}-\text{c}$ 。ローム小ブロックを少含む。

2 黑褐色土 As-C 。ローム小ブロックを少含む。

W- W' (469号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。ローム粒を少含む。

X- X' (471-474号ビット)

1 黄褐色土 As-C を含まない。ローム小ブロックを少含む。

2 黑褐色土 As-C 。ローム粒を少含む。

3 褐褐色土 褐色土小ブロックを多く含む。

Y- Y' (475号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。ローム粒を少含む。

2 黑褐色土 As-C 。羅浮層に近似する。

Z- Z' - u- u' (476 - 478, 479号ビット)

1 黄褐色土 As-C を少含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

b- b' (480号ビット)

1 黄褐色土 As-C 。ローム粒を少含む。

2 黑褐色土 ローム大ブロックを少含む。

c- c' - d- d' (481-483号ビット)

1 褐褐色土 As-C を少含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

e- e' (485号ビット)

1 黄褐色土 As-C 。ローム土ブロックを少含む。

2 黑褐色土 As-C 。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

f- f' (486号ビット)

1 褐褐色土 As-C を含まない。褐土小ブロックを少含む。

2 黑褐色土 羅浮層に近似する。

g- g' - j- j' (488 - 493号ビット)

1 黑褐色土 As-C を少含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

h- h' (490号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。ローム土ブロックを少含む。

2 ローム小ブロックを多く含む。

i- i' (491, 492号ビット)

1 黄褐色土 As-C を含まない。ローム小ブロックを少含む。

j- j' (493号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。ローム大ブロックを少含む。

k- k' (494号ビット)

1 黄褐色土 As-C 。ローム小ブロックを少含む。

l- l' (495号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。ローム大ブロックを少含む。

m- m' (496号ビット)

1 黄褐色土 As-C 。ローム小ブロックを少含む。

n- n' (497号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。褐色土小ブロックを少含む。

o- o' (499号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。褐色土小ブロックを少含む。

p- p' (501号ビット)

1 黄褐色土 As-C を含まない。ローム粒を主地とする。緑色土。

q- q' (504, 505号ビット)

1 黄褐色土 As-C を含まない。褐土小ブロックを少含む。

2 黄褐色土 As-C 。褐色土小ブロックを少含む。

r- r' (506 - 507号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。褐色土小ブロックを少含む。

s- s' (508号ビット)

1 黑褐色土 As-C を少含む。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

t- t' (509 - 510号ビット)

1 黄褐色土 As-C を含まない。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

2 黄褐色土 As-C を含まない。褐土小ブロックを多く含む。

3 明褐色土 ϕ 5cm以下のロームブロックを多く含む。

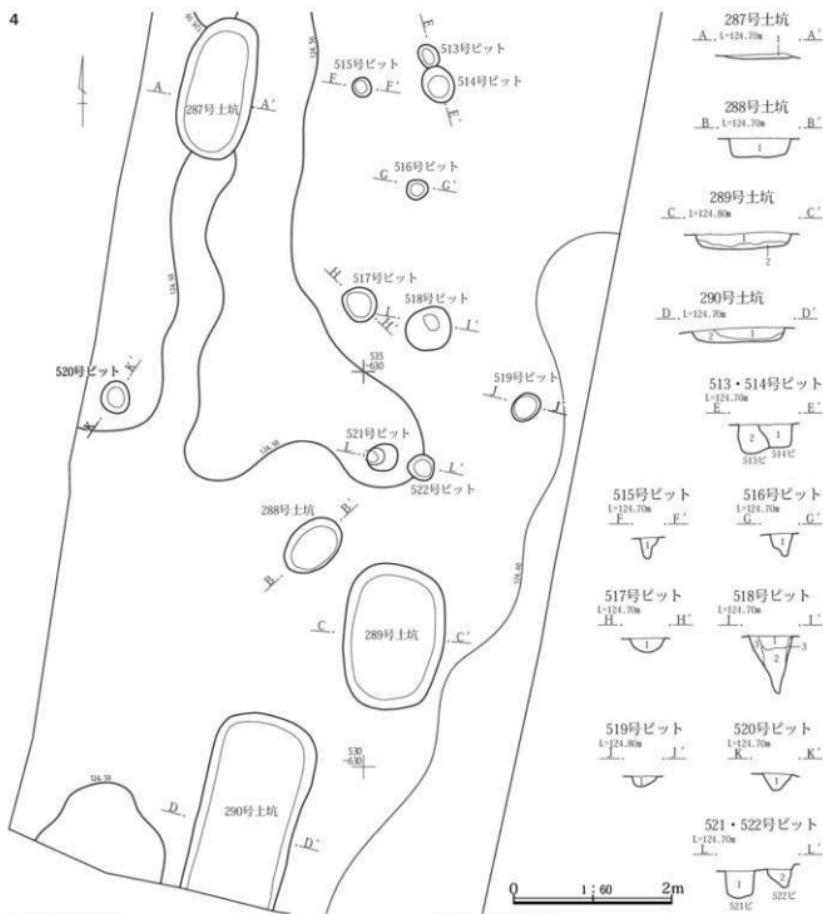
v- v' (512号ビット)

1 黄褐色土 As-C を含まない。ローム粒を少含む。

2 黄褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

w- w' (524号ビット)

1 黑褐色土 As-C 。 ϕ 5cm以上のロームブロックを少含む。



A - A' (287号土坑)

1 黒褐色土 As-C, ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。

B - B' (288号土坑)

1 褐色土 As-Cを含まない。ローム小ブロックを多く含む。

C - C' • D - D' (289・290号土坑)

1 黒褐色土 褐色土小ブロックを多く含む。As-C、炭化物を少量含む。

2 黒褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

E - E' (513・514号ピット)

1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを多く含む。

2 暗褐色土 As-Cを含まない。ローム小ブロックを少量含む。

F - F' (516号ピット)

1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。

G - G' (516号ピット)

1 暗褐色土 As-Cを含まない。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。

H - H' (517号ピット)

1 暗褐色土 As-Cを含まない。 ϕ 5cm以上のロームブロックを少量含む。

I - I' (518号ピット)

1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。

2 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

3 黒色土 滅移層に近似する。

J - J' (519号ピット)

1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを少量含む。

K - K' (520号ピット)

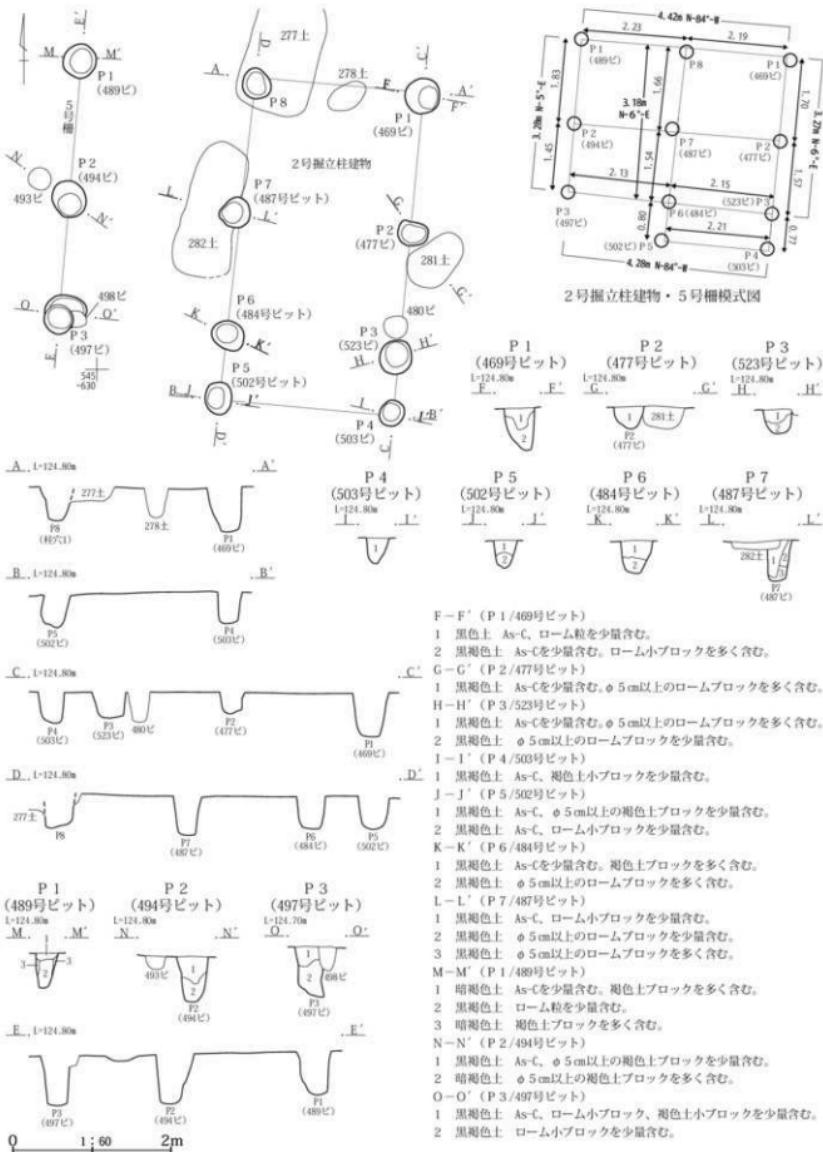
1 暗褐色土 As-C、褐色土小ブロック、黒色土ブロックを少量含む。

L - L' (521・522号ピット)

1 黑褐色土 As-Cを少量含む。褐色土ブロックを多く含む。

2 暗褐色土 As-Cを含まない。ローム粒を少量含む。

第77図 8区部分図4



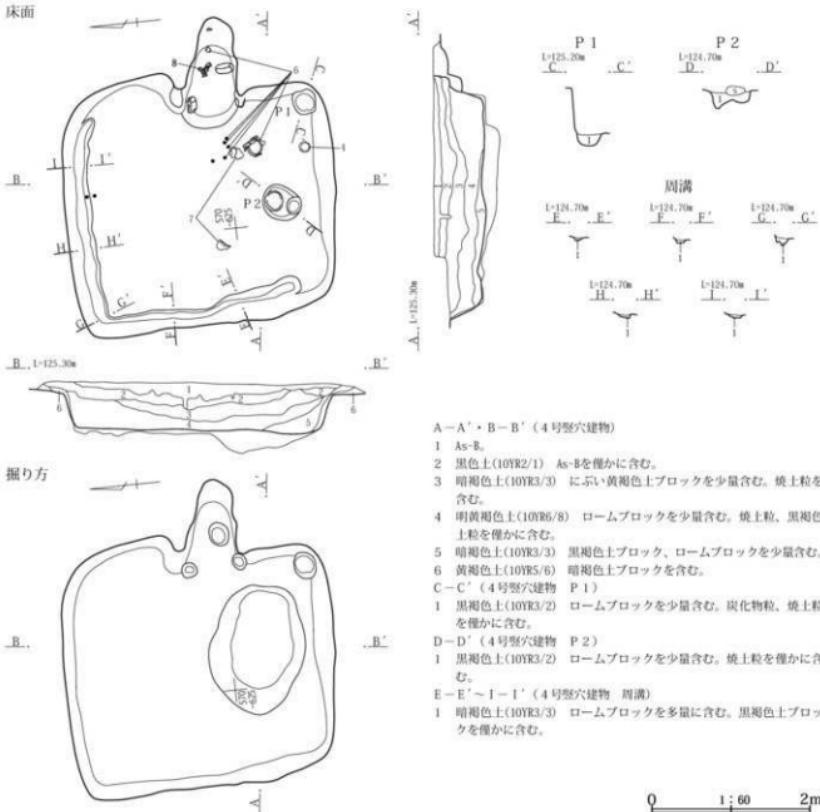
第78図 2号掘立柱建物・5号棚

行するようにある。

5号柵北端のP 1と2号掘立柱建物P 8との間は芯々で2.23m、P 2と同P 7との間は2.17m、P 3と同P 6との間は2.13mで、柵と掘立柱建物を一体のものとしても、柱の通りは良く、両者を併せて2間×2間の総柱建物と解しても良いかもしれない。この場合、東辺3.27m、西辺3.28m、北辺4.42m、南辺4.28mが得られる。

各柱穴間の距離等の計測値は、総柱建物の可能性も加味しつつ、模式図にまとめた。

2号掘立柱建物 確認面最高標高124.63m、最低標高124.57m。南調査区北部にある。母屋は東西1間、南北2間の南北棟で南側の妻に庇が付属する。東辺は北から南に東辺は北から南にP 1(調査時名称469号ピット)、P 2(同477号ピット)、P 3(同523号ピット)が並び、総長は芯々で3.27m、西辺は北から南にP 8(調査時名称なし)、P 7(同487号ピット)、P 6(同484号ピット)が並び、総長3.18m、方位はともにN-6°-Eを示している。P 3-P 6で構成される南辺の南に張り出でて、P 4、



第79図 4号竖穴建物 I

P 5が東西に並び、庇を構成する。P 3-P 4間0.77m、P 6-P 5間0.80m。P 5から土師器小型窓口縁小片が出土している。

5号柵 確認面最高標高124.61m、最低標高124.54m。調査区北部西寄りで、2号掘立柱建物の西邊に並行するようある。総長3.28m、方位はN-5°-E。

4 竪穴建物

北調査区中部に4号竪穴建物、5号竪穴建物があり、南調査区の中部北寄りに9号竪穴建物がある。4号竪穴建物と9号竪穴建物は古代、5号竪穴建物は明確ではないものの、弥生時代に属するものとみられる。

4号竪穴建物

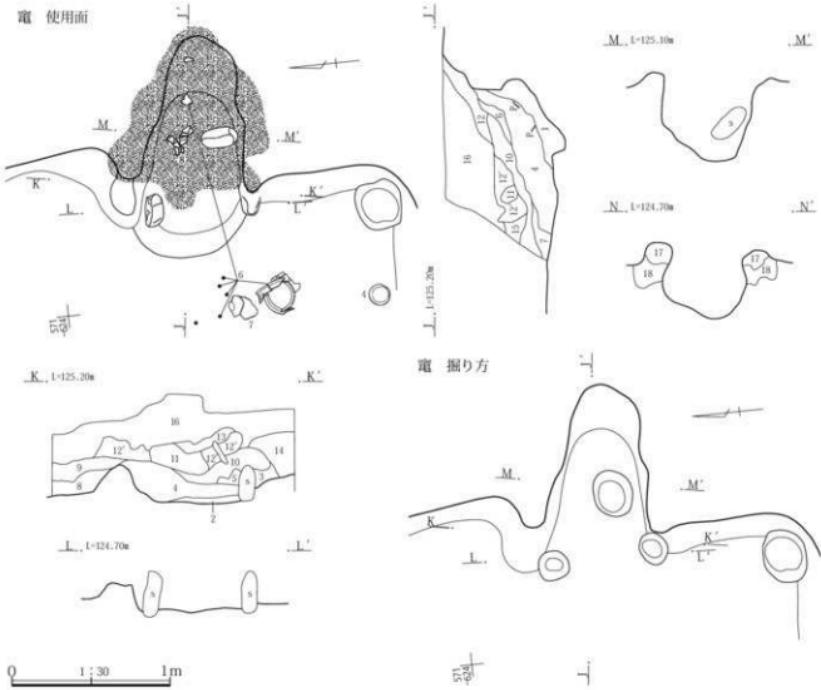
位 置 X=43568～43572・Y=-50626～-50622グリッド

北調査区の中部にある。143・154・156号土坑に切られる。確認面最高標高125.03m、床面最高標高124.52m。

規模・形状 床面長軸3.41m、床面短軸2.95/3.23m、最大壁高51cm。主軸方位はN-90°。僅かに南北に長い、横長の隅丸方形の平面形を呈する。竪左手にあたる東壁北部はふくらみをもって張り出し、北東隅は丸みを持つ。

覆 土 壁際から床面上にかけて黒褐色土ブロックやロームブロックを少量含む暗褐色土が堆積し、その上をロームブロック、焼土粒を含む明黄褐色土が覆う。

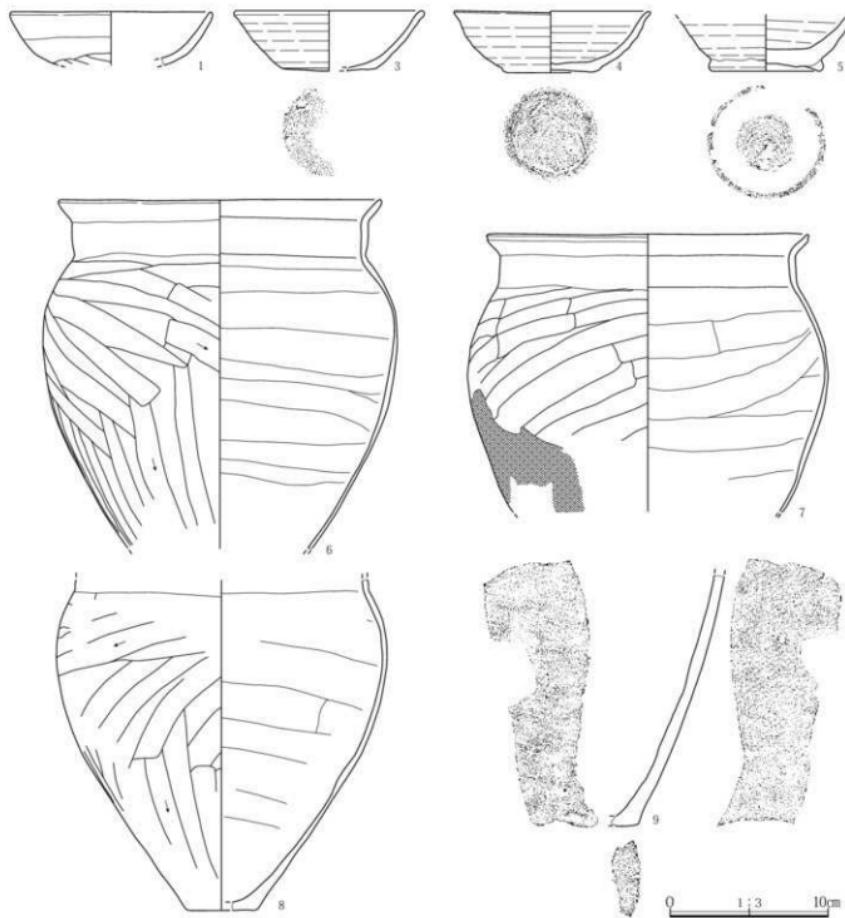
床・掘り方 掘り方はローム層内に達し、特にP 2を含む竪穴建物南部には、長軸長1.63m、短軸長1.19m、深さ20cm、長軸方位N-80°-Wの不整長円形平面の土坑状の掘り方がある。ロームブロックを多く含む褐色土を充



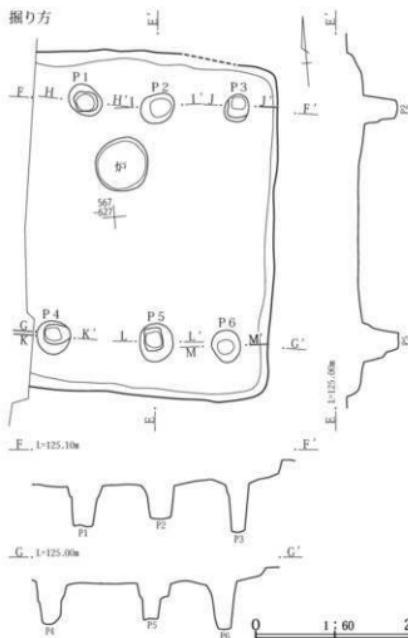
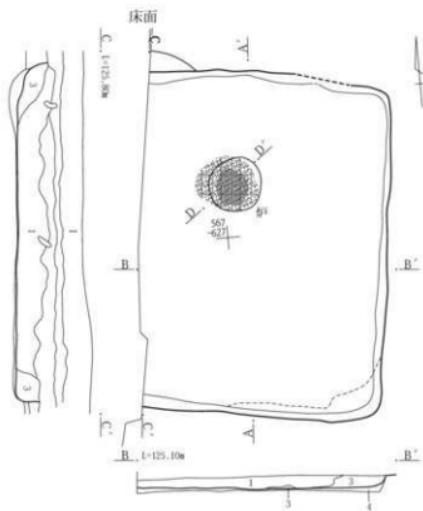
第80図 4号竪穴建物 2

- J-J'・K-K'・M-M'・N-N' (4号堅穴建物 宛)
- 1 黒褐色土 支脚限え方土を含む。
 - 2 灰黄褐色粘質土 烧土小プロックを含む。
 - 3 にぶい黄褐色土 ローム粒を主体とする。
 - 4 暗赤褐色土 烧土ブロックを多く含む。炭化物粒を少量含む。
 - 5 赤褐色土 烧土ブロックを主体とする
 - 6 灰白色粘質土。
 - 7 暗褐色土 烧土粒を多く含む。
 - 8 にぶい赤褐色土と黄褐色粘質土の混土。
 - 9 暗褐色土 ローム小斑を含む。
 - 10 にぶい黄褐色土 暗褐色土小斑を含む。焼土小斑を含む。

- 11 にぶい黄褐色土 晴褐色土斑を含む。
- 12 にぶい黄褐色～にぶい黄褐色粘質土 烧褐色土ブロック、同斑を含む。燒土小プロックを少量含む。
- 12' 暗褐色土～灰黄褐色粘質土 汚れが少ないブロックや斑。
- 13 暗褐色土 にぶい黄褐色～にぶい黄褐色粘質土斑、焼土小プロックを含む。
- 14 暗褐色土 ローム小斑やローム粒を多く含む。焼土粒を含む。
- 15 暗褐色土 ローム小斑やローム粒を多く含む。焼土粒を含む。
- 16 暗褐色～暗褐色土 住居覆土。
- 17 暗褐色～灰黄褐色粘質土 12' 層同相。
- 18 暗褐色土 烧土粒を含む。



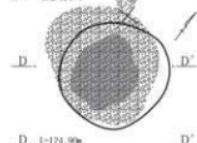
第81図 4号堅穴建物3



A-A' ~ C-C' (5号竖穴建物)

- 1 表上1 現耕作土。
- 1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒、炭化物粒を少量含む。黒褐色土粒微かに含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒、炭化物粒を少量含む。黒褐色土粒微かに含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) ロームと黒褐色土の混土。As-Cを含む。
- 4 ローム層 黒褐色土ブロックを少量含む。

が 用面



か 挖り方



D-D' (5号竖穴建物 か)

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 灰を多量に含む。ロームブロック、炭化物粒を少量含む。焼土粒を僅かに含む。
- 2 烧土 黄褐色土上、灰を少量含む。炭化物粒を僅かに含む。

0 1:30 1m

P 1



P 2



P 3



P 4



P 5



P 6



H-H' ~ I-I' (5号竖穴建物 P 1・2)

- 1 に赤い黄褐色土(10YR5/3) ローム小ブロックを多く含む。締まり弱い。

J-J' (5号竖穴建物 P 3)

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物、ローム小ブロックを少量含む。締まり弱い。

K-K' (5号竖穴建物 P 4)

- 1 黒色土(10YR2/1) ローム大ブロックを少量含む。締まり弱い。柱痕か。
- 2 黄褐色土 ローム小ブロックを多く含む。締まり強い。

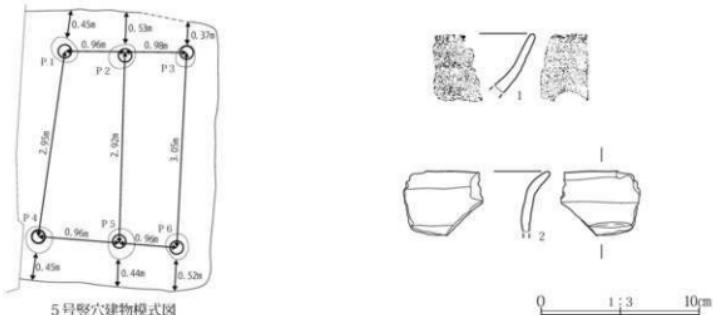
L-L' (5号竖穴建物 P 5)

- 1 暗褐色土(10YR3/3) ローム小ブロックを少量含む。締まり弱い。柱痕か。
- 2 に赤い黄褐色土(10YR5/3) ローム小ブロックを多く含む。締まり強い。

M-M' (5号竖穴建物 P 6)

- 1 黄褐色土 ローム小ブロックを多く含む。締まり弱い。

第82図 5号竖穴建物 1



第83図 5号竪穴建物2

填し、床面を構成する。上面は強く硬化している。北壁から西壁にかけて、深さ2~10cmの壁周溝がめぐる。

竈 東壁の南寄りにある。燃焼部の過半は壁外に掘り込まれ、地山を削り出して左右に短い袖を作る。柱状の亜角礫を袖部先端の左右に据えて焚口を形成し、粘土を貼って構築している。焚口部の天井にあたる礫は見られない。燃焼部奥壁寄りに、被熱した棒状の円礫があつて、支脚に使用されたものと思われる。燃焼部内の覆土中には焼土ブロックが多くみられるが、焼土が面的に残る部分や明確な灰層は確認されていない。焚口部前端から煙道確認端部までの長1.40m、方位はN-82°-W。両袖石の内側間0.49m。燃焼部の底面は直近の床面より7cm程度み、煙道部端の確認面から60cmほど低い位置にある。燃焼部内及び竈手前に土師器甕の大型破片がまとめて出土している。

貯蔵穴 竪穴南東隅にP1があるが、貯蔵穴としては小さい。遺物の集中出土などは見られないが、竈左手の壁が膨らみを持っており、ここが貯蔵機能を有する空間であった可能性もある。

柱穴・ピット・土坑等 竪穴南東隅にP1、南壁中央近くにP2がある。P2は上位に平坦な円礫が置かれている。

P1 竪穴南東隅にある。長軸長32cm、短軸長30cm、深さ17cm。底面最低標高124.27m。長軸方位N-71°-E。平面形は圓丸方形。断面形は碗状。覆土はロームブロック、炭化物粒、焼土粒を含む黒褐色土。

P2 竪穴南壁寄り中央にある。長軸長50cm、短軸長

42cm、深さ23cm。底面最低標高124.23m。長軸方位N-39°-W。平面形は長円形。北東部には平坦な円礫が乗る。南西部の落ち込みは植物性の土壤擾乱によるものか。覆土はロームブロック、焼土粒を含む黒褐色土。

遺物出土状況 竈燃焼部内から竈前にかけて、土師器甕(6・7・8)の破片がまとまっており、写真図版に示した墨書のある土師器小片(2)も出土している。また、南壁際の東寄りから須恵器杯(4)、北壁際中央近くから須恵器碗(5)が出土している。覆土からも、図示した土師器、須恵器の杯や須恵器甕片のほか、縄文土器片や鉄滓が出土している。

時期 床面出土の須恵器杯(4)、竈出土の土師器甕(8)から、9世紀第3四半期に比定される。

5号竪穴建物

位置 X=43564~43569・Y=-50627~ -50624グリッド北調査区の中部西寄りにあって、西壁部は調査区外にあたる。北東隅を4号竪穴建物に切られる。南東隅部を149号土坑に切られる。確認面最高標高124.97m、床面最高標高124.74m。

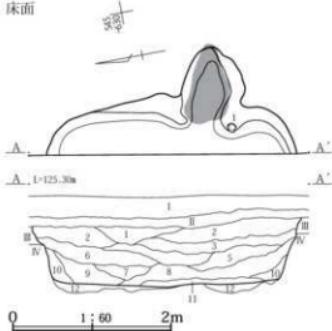
規模・形状 床面長軸長4.31m、短軸確認長3.13m、最大壁高23cm。主軸方位はN-8°-E。平面形は南北に長い縱長の長方形を呈するものと思われる。

覆土 上位は炭化物やローム粒を含む暗褐色土を主体とし、竪穴中央部には黒褐色土が堆積する。

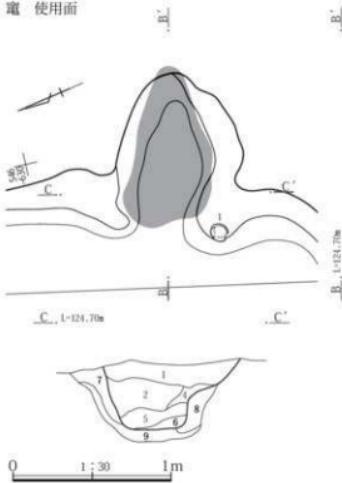
床・掘り方 掘削底面はローム漸移層にあって、これを踏み固めて床面としたものらしい。

炉 竪穴北部の中央付近に炉が設けられる。長軸長70cm、

床面



竈 使用面



A-A' (9号竖穴建物)

1 表土 I 現耕作土。

2 表土 II 床土。

- 1 明褐色土(10YR3/4) やや明るく褐色土ブロックを含む。硬質。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 均質。ローム粒を僅かに含む。締まり弱い。
- 3 黑褐色土(10YR3/2) 均質。ローム粒を少量含む。締まり弱い。
- 4 黑褐色土(10YR2/3) 焼土粒。黒褐色土小ブロック。ローム小ブロックを含む。締まり弱い。

5 にふい、黄褐色土(10YR4/3) 焼土小ブロック、ロームブロックを多く含む。締まり弱い。

6 褐色土(10YR4/4) 焼土小ブロック、ロームブロックを少量含む。締まり弱い。

7 褐色土(10YR4/6) 白色粘土ブロック、焼土粒を多く含む。締まり強い。竈の影響を受けている。

8 暗褐色土(10YR3/3) 均質。褐色土小ブロック、ローム粒を少量含む。締まり強い。

9 明褐色土(10YR3/3) 均質。褐色土小ブロック、ローム粒を含む。締まり強い。

10 褐色土(10YR4/6) ロームブロックを多く含む。締まり強い。

11 にふい、黄褐色土(10YR4/3) 褐色土ブロック、ローム小ブロックを含む。締まり強度。

12 にふい、黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土ブロック、φ 5cm以上のロームブロックからなる床下覆土。

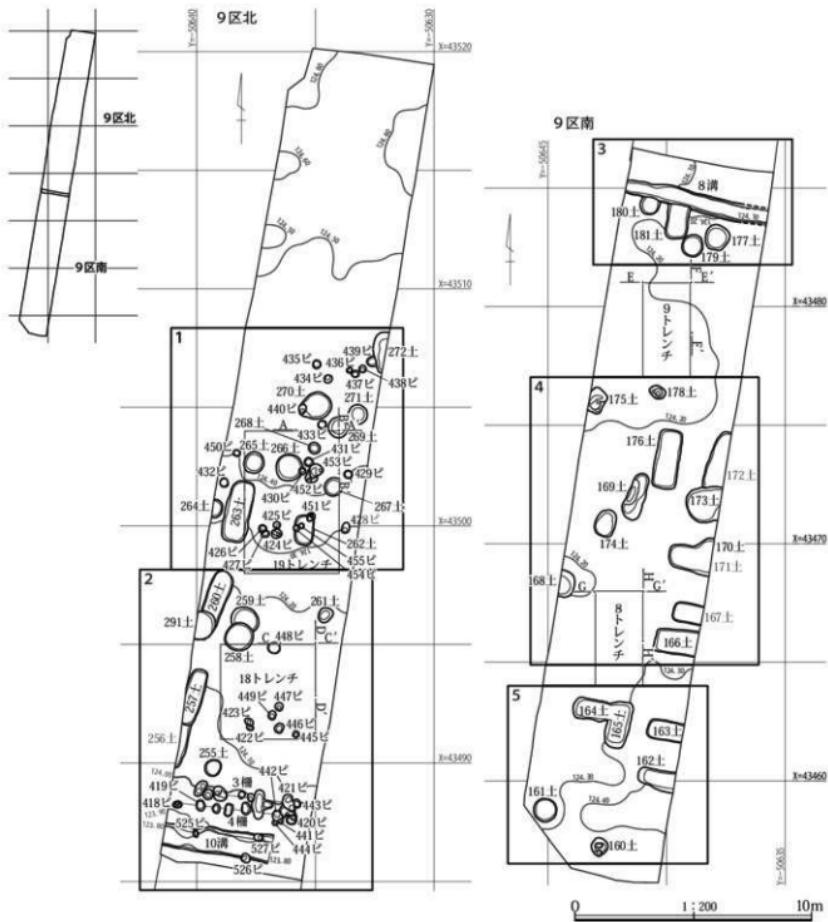
竈 掘り方



B-B' C-C' (9号竖穴建物 竈)

- 1 暗赤褐色土(5YR3/4) 焼土小ブロック、粘土粒、炭化物を含む。
- 2 明褐色土(5YR7/2) 白色粘土ブロックを多く含む。焼土粒、炭化物を少量含む。
- 3 にふい、赤褐色土(5YR4/4) 焼土小ブロックを多く含む。炭化物を少量含む。
- 4 灰褐色土(5YR4/2) 白色粘土ブロックを主体とする。
- 5 にふい、赤褐色土(5YR4/4) 焼土ブロック、粘土ブロックを多く含む。
- 6 にふい、赤褐色土(5YR4/3) 焼土粒、炭化物を多く含む。
- 7 灰褐色土(5YR4/2) 白色粘土ブロックによる電油機器材。
- 8 赤褐色土(5YR4/6) 焼土小ブロックを多く含む。炭化物を少量含む。
- 9 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒、ローム粒を少量含む。
- 10 赤褐色土(5YR4/8) 焼土化した地山。

第84図 9号竖穴建物



第85図 9区の遺構配置

短軸長67cmの僅かにゆがんだ円形の窪み中の、南北50cm、東西40cmなどの範囲が強く焼土化する。また、窪みや焼土の範囲からやや西にずれて、東西80cm、南北68cmなどの範囲には厚い灰層が分布する。顯著な炭化物は見られない。

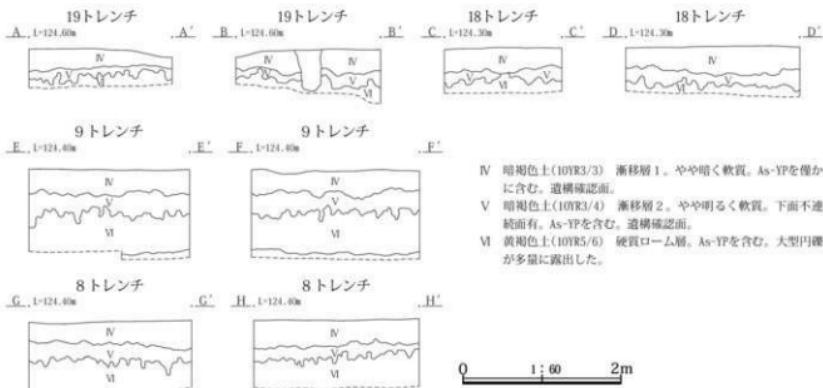
貯藏穴 認められていない。

柱穴・ピット・土坑等 柱穴が6基認められた。北壁沿

いに西からP1～3が並び、南壁沿いに西からP4～6が並ぶ。各柱穴間の距離等は模式図に示した。

P1 長軸長45cm、短軸長35cm、深さ55cm。底面最低標高124.13m。長軸方位N-43°-W。平面形は長円形。断面形は狭い逆台形。覆土はローム小ブロックを含む鈍い黄褐色土。

P 2 長軸長45cm、短軸長38cm、深さ48cm。底面最低標



第86図 9区の土層

高124.22m。長軸方位N-53°-E。平面形は長円形。断面形は狭い逆台形。覆土はローム小ブロックを含む鈍い黄褐色土。

P 3 長軸長35cm、短軸長30cm、深さ68cm。底面最低標高124.05m。長軸方位N-29°-E。平面形は長円形。断面形は深い筒状。覆土はローム小ブロックを含む暗褐色土。炭化物を含む。

P 4 長軸長43cm、短軸長42cm、深さ54cm。底面最低標高124.13m。平面形は円形。断面形は深いU字状。覆土はローム小ブロックを含む褐色土中に、柱痕と思われる、縦まりの弱い暗褐色土が入る。

P 5 長軸長48cm、短軸長43cm、深さ47cm。底面最低標高124.22m。長軸方位N-0°。平面形は長円形。柱痕は南北長29cm、東西幅23cmの方形を呈する。断面形は深い箱状に近く、上位に小段がつく。覆土はローム小ブロックを多く含む鈍い黄褐色土中に、柱痕と思われる、縦まりの弱い暗褐色土が入る。

P 6 長軸長41cm、短軸長36cm、深さ65cm。底面最低標高124.08m。長軸方位N-0°。平面形はゆがんだ円形。断面形は深いU字状に近いが上部がやや開く。覆土はローム小ブロックを多く含む、縦まりの弱い褐色土。

遺物出土状況 覆土から出土した須恵器碗(1)、土師器甕(2)があるが、竪穴に伴うであろう遺物としては、時期判定の困難な土器片2点があるに過ぎない。

時 期 竪穴建物や炉の形状からは弥生時代の所産とみ

られる。

9号竪穴建物

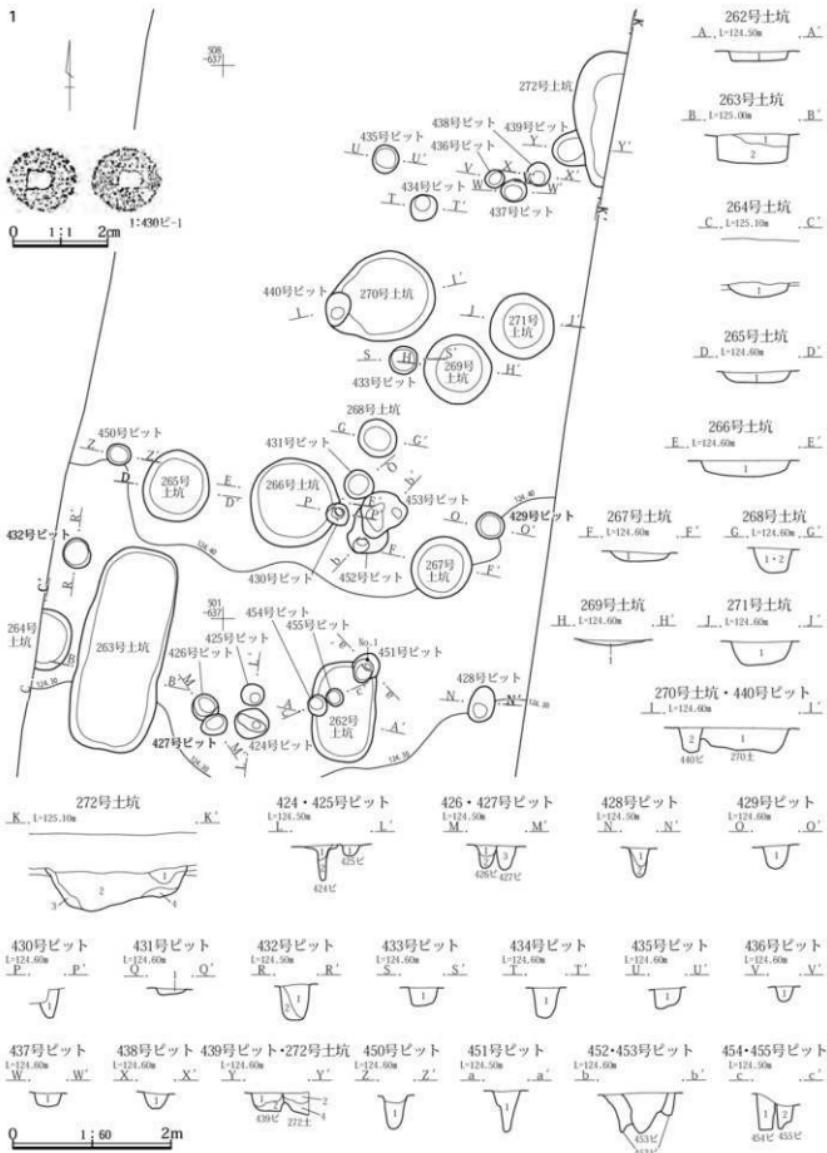
位 置 X=43543～43546・Y=-50631～-50630グリッド南調査区北部の西壁際で、竪穴を含む東壁部分のみが調査された。496号ピットや5号柵南端の497号ピットが近接するが、直接重複する遺構は認められない。確認面最高標高124.57m、床面最高標高124.06m。

規 模・形 状 南北長3.16m、東西確認長0.58m、最大壁高83cm。主軸方位はN-77°-W。北壁部のみの確認であるため、全形は不明。壁高が高く、確認面では、壁が崩れて不整形をなすが、方形ないし長方形の平面形を呈するものと思われる。

覆 土 ロームブロックを含む褐色～黒褐色土を主体とする。壁際には壁の崩落土と見られる褐色土が堆積し、この上に暗褐色土が乗る。南側の竪穴近くでは、にぶい黄褐色土が、北側では褐色土がこの上位に流入する。覆土上位はローム粒を含む、縦まりの弱い黒褐色土が主体をなす。

床・掘り方 掘り方に、にぶい黄褐色土を充填して、この上面を床とする。硬く締まっている。

竪 東壁の南寄りにある。地山を削り出して左右に短い袖を作る。燃焼部の過半は壁外に掘り込まれる。灰白色的粘土を貼って構築しており、礎などの構造材は認められない。袖前端から確認面での煙道部端まで109cm、主軸方位N-72°-W。袖内側幅42cm。使用面底部と周辺床



第87図 9区部分図1／430号ピット出土遺物

- A-A' (262号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、褐色土小ブロックを少量含む。
 B-B' (263号土坑)
 1 黒色土 砂質。As-C、褐色土小ブロックを少量含む。
 2 黒褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 C-C' (264号土坑)
 1 黒褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 D-D' (265号土坑)
 1 黒褐色土 As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 E-E' (266号土坑)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 F-F' (267号土坑)
 1 黑褐色土 As-C、φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 G-G' (268号土坑)
 1 暗褐色土 As-Cを含まない。ローム粒を少量含む。
 2 褐色土 ロームブロックを多く含む。
 H-H' (269号土坑)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。
 I-I' (270号土坑・440号ピット)
 1 暗褐色土 As-Cを含まない。大型の褐色土ブロックを多く含む。
 2 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを多く含む
 J-J' (271号土坑)
 1 褐色土 As-Cを含まない。ロームブロックを多く含む。
 K-K' (272号土坑)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。褐色土小ブロックを多く含む。
 2 黑褐色土 大型の褐色土ブロックを多く含む。
 3 褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 4 黄褐色土 φ 5cm以上のロームブロックを主体とする。
 L-L' (424・425号ピット)
 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 2 暗褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
 M-M' (426・427号ピット)
 1 暗褐色土 As-Cを含まない。ローム粒を少量含む。
 2 褐色土 ローム粒を多く含む。
 3 暗褐色土 As-Cを含まない。ローム小ブロックを少量含む。
 N-N' (428号ピット)
 1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを少量含む。
 2 褐色土 ローム小ブロックを主とする。
 O-O' (429号ピット)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 P-P'・U-U'・V-V' (430・433・436号ピット)
 1 黑褐色土 As-C、φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。
 Q-Q' (431号ピット)
 1 褐色土 As-Cを少量含む。ロームブロックを多く含む。
 R-R' (432号ピット)
 1 暗褐色土 黒色土ブロック、As-C、ローム小ブロックを少量含む。
 2 暗褐色土 黑色土小ブロック、ローム小ブロックを少量含む。
 S-S' (433号ピット)
 1 黑色土 やや砂質。As-C、褐色土ブロックを少量含む。
 T-T' (434号ピット)
 1 黑褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 W-W' (437号ピット)
 1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを少量含む。
 X-X' (438号ピット)
 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 Y-Y' (439号ピット・272号土坑)
 1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを少量含む。
 2 褐色土 ロームブロックを主体とする。
 Z-Z' (450号ピット)
 1 暗褐色土 As-Cを少量含む。ローム小ブロックを多く含む。
 a-a'・c-c' (451・454・455号ピット)
 1 暗褐色土 As-Cを少量含む。φ 5cm以上の褐色土ブロックを多く含む。
 b-b' (452・453号ピット)
 1 黑褐色土 As-C、φ 5cm以上のロームブロックを少量含む。

面との高低差はない。確認面から使用面底面までの比高は53cm。使用面から掘り方までは5~8cmある。掘方底面では、焼土化した地山が見られ、粘土を貼る前に加熱していたことが窺われる。

貯藏穴 認められないが、竈右手にあたる竪穴東南隅はわずかに張り出すような膨らみを持っていて、貯藏の場としての機能を有した可能性があろう。

柱穴・ピット・土坑等 床面では土坑、ピット共に確認できない。掘方では竪穴東南隅と東北隅近くに、浅い土坑状の掘り込みが見られる。

遺物出土状況 竈内からは、図示した表片のほか顕著な遺物の出土はないが、右袖部に完形に近い土師器杯がある。また、覆土から鉄滓が出土している。

時 期 竈から出土した土師器杯(1)・甕(2)から、9世紀第1四半期に比定できる。

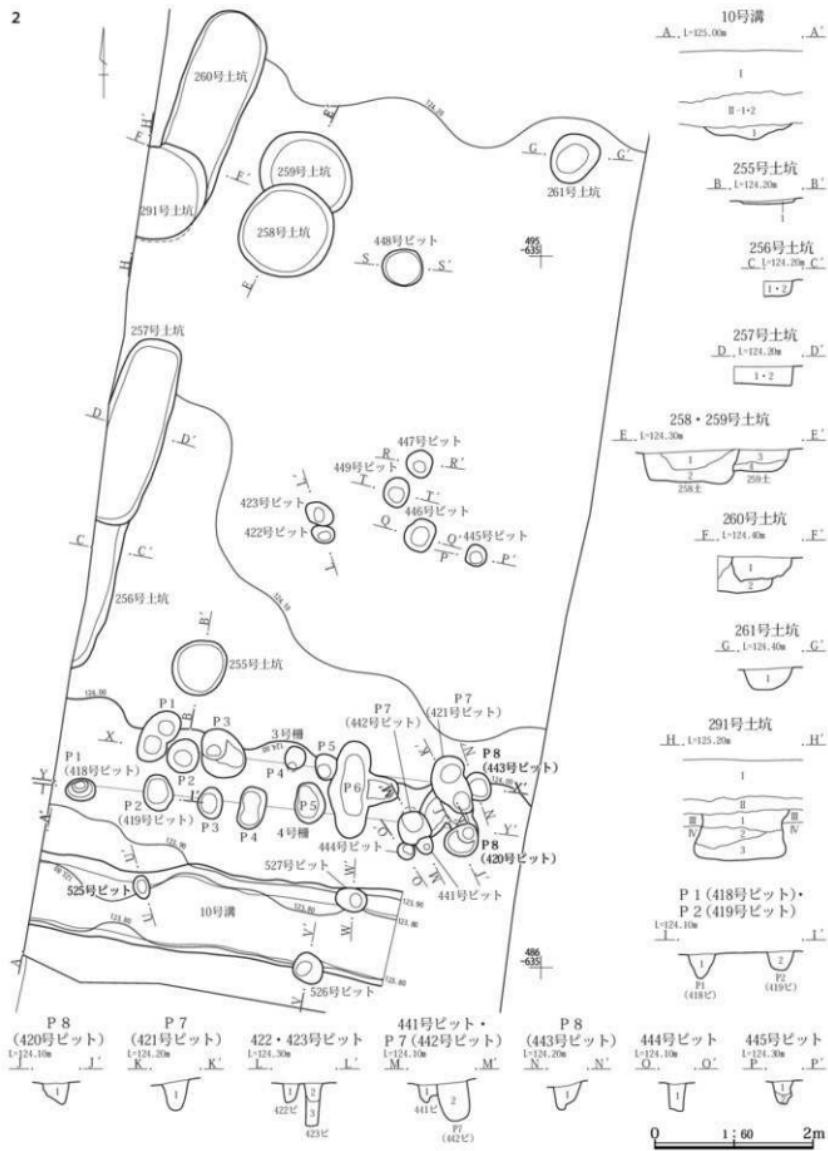
3 旧石器確認調査

北調査区北部(11トレンチ)、南調査区北部(21トレンチ)に4×4m、北調査区南部(10トレンチ)には東西4

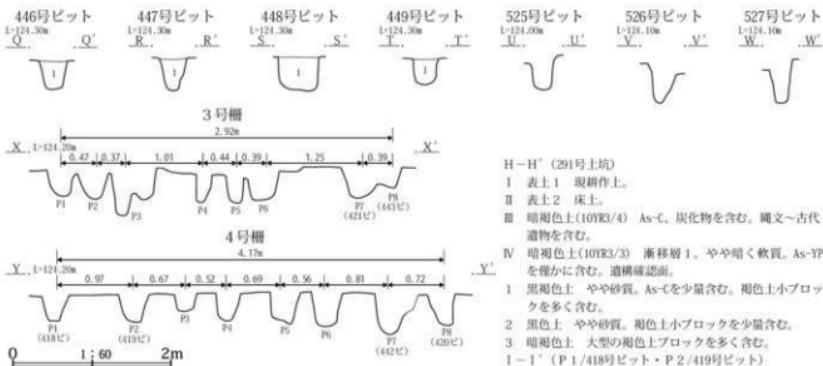
m、南北2m、南調査区中部(20トレンチ)には東西2m、南北4mのトレンチを設けて、また、南調査区南端に設けた基本土層確認用トレンチにおいても、旧石器時代相当層における遺構・遺物の存否確認を行った。10トレンチでは0.80m、11トレンチでは0.70m、20トレンチでは0.68m、21トレンチでは0.79m、基本土層確認トレンチでは現地表から1.25mの深さで、いずれもVI層の礫を含んだ硬質ローム中まで掘削した。いずれのトレンチでも遺構・遺物共に認められなかった。トレンチ設定位及び上層断面は第70図に示した。

第10節 9区

X=43455~43520・Y=-50645~-50625 調査区南北長65.40m、東西幅12.47m、面積393.5m²。確認面最高標高124.60m、最低標高123.87m。工程の都合上、南北の調査区に分けて作業を進めたもので、一連の地条であるのだが、微地形や遺構の内容においても、南北でやや差が見られる。南北の境界部には2条の溝と2条の柵が



第88図 9区部分図2



A-A' (10号溝)

- I 褐色土 表土。
- II-1 褐灰色土 現水田床土。
- II-2 黑褐色土 現水田床土。
- III 暗褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。やや硬質。
- B-B' (255号土坑)
 - 1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土ブロックを少量含む。
- C-C' (256号土坑)
 - 1 黒褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 - 2 黑褐色土 褐色土ブロックを少量含む。
 - D-D' (257号土坑)
 - 1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 - 2 暗褐色土 褐色土ブロックからなる。
 - E-E' (258・259号土坑)
 - 1 黒褐色土 As-Cを少量含む。ローム粒を多く含む。
 - 2 黑褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
 - 3 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。
 - 4 暗褐色土 褐色土ブロックを多く含む。
 - F-F' (260号土坑)
 - 1 黑褐色土 やや砂質。As-C、褐色土小ブロックを少量含む。
 - 2 黑褐色土 As-C、大型の褐色土ブロックを少量含む。別土坑の覆土。
 - G-G' (261号土坑)
 - 1 褐色土 As-Cを含まない。ローム小ブロックを少量含む。

H-H' (291号土坑)

I 表土 I 現耕作上。

II 表土 II 床土。

III 暗褐色土(10YR3/4) As-C、炭化物を含む。縦文~古代遺物を含む。

IV 暗褐色土(10YR3/3) 減移層 I。やや暗く軟質。As-YPを僅かに含む。道構確認。

1 黑褐色土 やや砂質。As-Cを少量含む。褐色土小ブロックを多く含む。

2 黑褐色土 やや砂質。褐色土小ブロックを少量含む。

3 暗褐色土 大型の褐色土ブロックを多く含む。

I-I' (P 1/418号ビット・P 2/419号ビット)

1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを多く含む。

2 黑褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロック、ロームブロックからなる。

J-J' (P 8/420号ビット)

1 黑褐色土 As-C、ローム粒少量含む。

K-K' (P 7/421号ビット)

1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを多く含む。

L-L' (422・423号ビット)

1 黑褐色土 As-Cを少量含む。褐色土ブロックを多く含む。

2 黑褐色土 As-C、褐色土ブロックを少量含む。

3 暗褐色土 褐色土ブロックを多く含む。

M-M'・N-N' (441号ビット・P 7/442号ビット・P 8/443号ビット)

1 黑褐色土 As-C、ローム粒を少量含む。

2 暗褐色土 As-Cを含まない。ローム粒を多く含む。

O-O' (444号ビット)

1 黑褐色土 ローム斑を多く含む。

P-P' (445号ビット)

1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを少量含む。

2 黄褐色土 ロームブロックを主体とする。

Q-Q'・R-R'・T-T' (446・447・449号ビット)

1 黄褐色土 ロームブロックを主体とする。軟質。

S-S' (448号ビット)

1 暗褐色土 As-Cを含まない。褐色土小ブロックを多く含む。

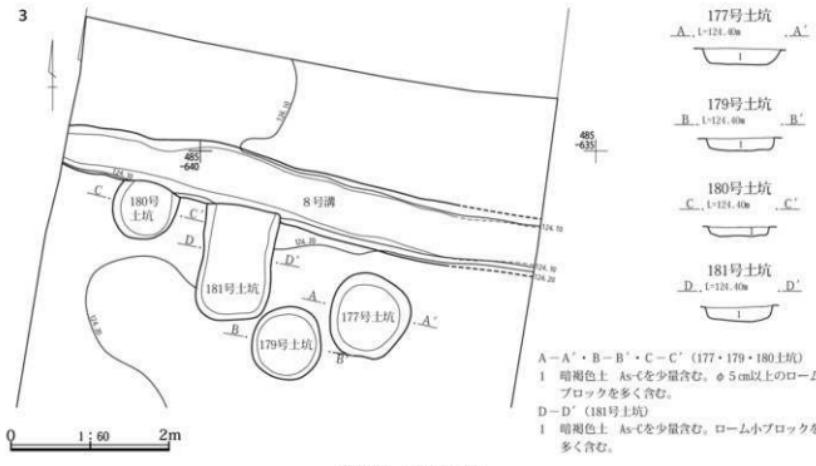
第89図 9区部分圖2断面

あって、この付近が最も低い位置にある。南調査区では、僅かながら東から西への傾斜もある。現水田の床土下を確認面とする。確認面構成土は、古代遺物包含層に相当する、褐色土ブロックを含む暗褐色あるいは、ローム漸移層に相当する暗褐色土である。土坑41基、ビット35基、溝2条、発掘時にビットとされたもの6基を含む樋2条を調査した。北調査区では南北方向に直列する土坑が、南調査区では東西方向で並列する土坑が目立つ。また、南調査区ではビットが確認されていない、道構に伴う顯著な遺物はないが、北調査区の旧石器確認用トレンチ内で完形の尖頭器1点が出土した。

1 溝

北調査区の南端に10号溝、南調査区の北端に8号溝がある、ともに東西走る。9区の最も低い部分にある。

8号溝 南調査区の北端にあって東西走る。東西ともに調査区外に延びる。180号、181号土坑と重複する。北の10号溝との間は芯で2.03~2.33m、上端の最短距離は1.09mで、ほぼ並行する。確認長6.11m、上端幅0.41m、確認面からの深さ20cm。確認面最高標高124.23m、最低標高124.09m、底面最高標高124.06m、最低標高124.03



第90図 9区部分図3

m。方位はN-77°-W。東から西に流下するが、標高差は乏しく、最低位は中央近くにある。縄文土器片が出土しているが、中世～近世の所産であろう。

10号溝 北調査区の南端にあって東西走する。発掘工程上、西壁から4.56mまでを掘削した。西壁までの間は6.04mある。上端幅1.21m、確認面からの深さ20cm。断面形は皿状に近いが、底面は乱れる。覆土はAs-Cやローム粒を含む暗褐色土で、やや硬質。確認面最高標高123.94m、最低標高123.89m、底面最高標高123.79m、最低標高123.74m。方位はN-81°-W。東から西に流下する。525～527号ピットに切られる。4号柵の柱穴中央から溝北辺まで1.7～1.8m。中世～近世の所産であろう。

2 土坑

北調査区で19基、南調査区で22基の土坑を調査した。長方形ないし長円形平面の土坑と、円形平面の土坑が多く、不整な円～長円形の土坑もある。北調査区では、256号、257号、260号、263号土坑が北東-南西に長軸をもって直列する。また、やや大ぶりの円形平面を持つ258・259号、266号、270号土坑とこれよりやや小径の267号、269号、271号土坑や255号土坑が北東-南西方向に、ゆるい弧状を描いて並ぶかに見える。南調査区では、165号、176号、181号土坑および176号土坑の東に並行する172号

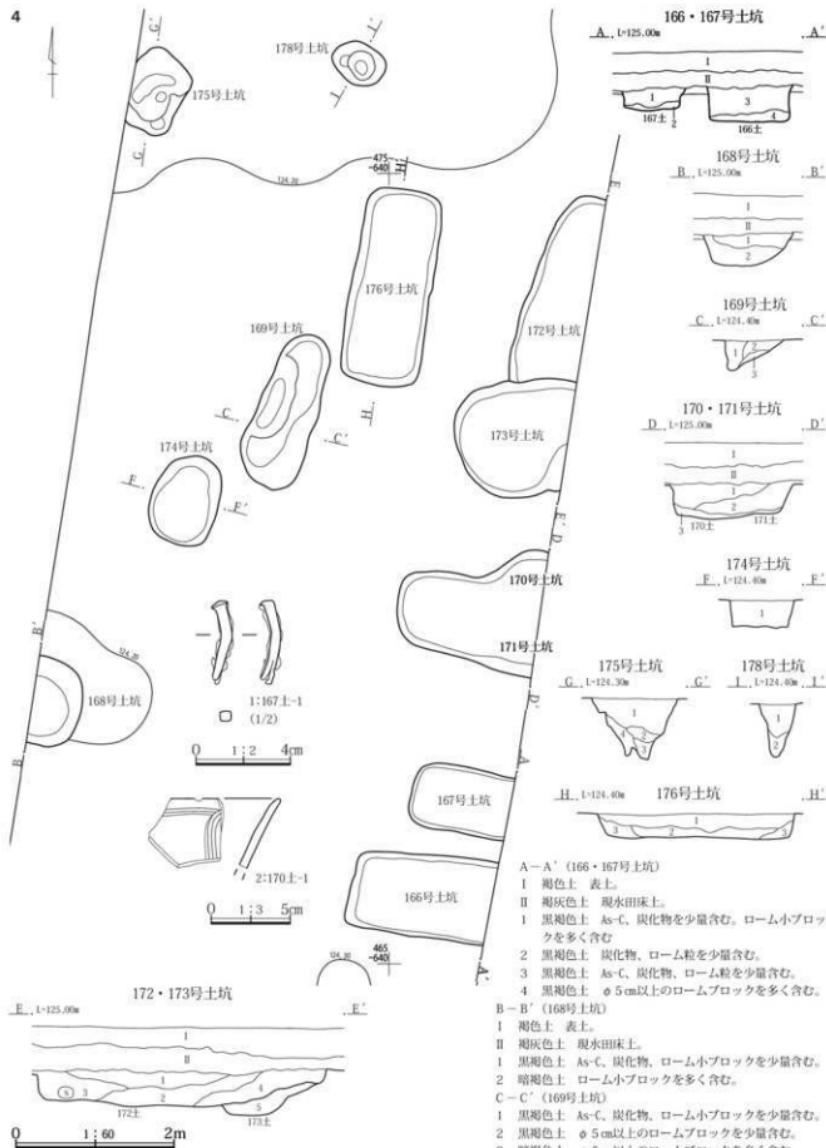
土坑は、北調査区の土坑列とはやや方向を違え、各土坑間も距離を持ちつつも直列する。また、調査区中部の東壁際にあって、過半が調査区外とはなるものの、これと直交方向に長軸を持つと思われる、162号、163号、166号、167号、170・171号土坑が連続して並列する。165号土坑と重複する164号土坑も同種の土坑であろう。北部の8号溝の南にある177号、179号、180号土坑と、調査区南西隅の161号土坑が円形平面の土坑だが、北調査区に比して数は少ない。長方形、円形平面の土坑とともに、比較的深い鍋状の平面形を有するものが多く、ロームブロックを含む黒褐色～暗褐色土を覆土とする。土師器、須恵器、繩文土器や陶磁器が出土しているが、時期や機能を特定できる産状ではない。いずれも中～近世の所産と思われる。

各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

3 ピット

北調査区で35基のピットを調査した。調査区中部以南にあって、円形平面の土坑に近い分布状況を示す。後述する柵を除くと、複数のピットが組み合って構造をなすものはない。

各ビットの計測値等は巻末の遺構一覧に示した。



第91図 9区部分図4

- D-D' (170号土坑)
- I 褐色土 表土。
 - II 褐灰色土 現水田床上。
 - 1 黒褐色土 As-C₁ 岩化物、褐色土ブロックを少量含む。
 - 2 黒褐色土 色調暗い。ローム小ブロックを少量含む。
 - 3 黒褐色土 色調暗い。ローム小ブロックを多く含む。
- E-E' (172・173号土坑)
- I 褐色土 表土。
 - II 褐灰色土 現水田床上。
 - 1 黑褐色土 As-C₁ 岩化物、ローム粒を少量含む。
 - 2 黑褐色土 岩化物、褐色土ブロックを含む。
 - 3 黑褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 4 黑褐色土 岩化物、褐色土ブロックを多く含む。
 - 5 暗褐色土 均質。ローム粒を微量含む。

4 檻

北調査区南端近くに、3号、4号檻列が並行して東西走する。10号溝の北側に沿っている。檻間は芯で57~58cmほどしかなく、柱穴掘り方が両檻にまたがるようなものもある。各柱穴間の芯距離等は、第89図中の高低図に付記した。また、各柱穴の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

3号檻 北調査区南端近くにある。南に並行して4号檻があり、さらにその南に10号溝が並行する。P 1~8からなるが、西端のP 1から西壁までは1.15mあって、以東の柱穴間隔より広く、何らかの区切りをなす可能性がある。東端のP 8(発掘時名称443号ピット)から調査区東壁までは71cmほどで、さらに東に連続する可能性をなしとしない。確認面最高標高124.07m、最低標高123.94m。P 1-P 8間4.20m。方位はN-81°-W。P 3以外は底面標高が近いものの、形状、間隔共に不揃いである。土層断面の観察所見を欠くものが多いが、隣接するP 7とP 8でも覆土の様相が若干異なる。狭いU字形断面のものが多いが、柱痕が記載されたものはない。

4号檻 確認面最高標高123.96m、最低標高123.90m。北調査区の南端近くにある。南を走る10号溝の北側に並行するようにあり、北には3号檻がある。P 1~8からなるが、西端のP 1は調査区西壁近くにあって、さらに西に延びる可能性がある。東端のP 8(発掘時名称420号ピット)も調査区東壁から70cm程の位置にあって、こちらも東への連続が想定される。P 1-P 8間4.92m。方位はN-81°-W。P 7が深いが、他は底面標高が近い。3号檻に比すれば、柱穴間隔も揃っている。土層断面の観察所見を欠くものが多いが、隣接するP 7とP 8でも

- F-F' (174号土坑)
- 1 黒褐色土 As-C₁ 岩化物を少量含む。褐色土ブロックを多く含む。
 - G-G' (175号土坑)
 - 1 黒褐色土 やや明るい。As-C₁、 ϕ 5cm以上のロームブロックを含む。
 - 2 黒褐色土 色調暗い。ローム小ブロックを少量含む。
 - 3 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 4 暗褐色土 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。別土坑の覆土上。
 - H-H' (176号土坑)
 - 1 黒褐色土 明るい。As-C₁、岩化物、ローム粒を少量含む。
 - 2 黑褐色土 色調暗い。 ϕ 5cm以上のロームブロックを多く含む。
 - 3 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。
 - 1-I' (178号土坑)
 - 1 黑褐色土 As-C₁を少量含む。ローム小ブロック、褐色土ブロックを多く含む。
 - 2 暗褐色土 褐色粘質土ブロックを多く含む。

覆土の様相が若干異なる。断面形はU字形から逆台形のものが多く、柱痕が記載されたものはない。

3 旧石器確認調査

北調査区の南部に4×4mの18トレンチ、同中部に東西4m、南北6mの19トレンチ、南調査区には東西2m、南北4mのトレンチを南部(8トレンチ)と北部(9トレンチ)に設けて、旧石器時代相当層における遺構・遺物の存否確認を行った。18トレンチでは0.64m、19トレンチでは0.69m、8トレンチでは0.93mの深さで、いずれもVI層の礫を含んだ硬質ローム中まで、また9トレンチでは1.13mの深さでVI層の下面まで掘削した。19トレンチではローム漸移層にあたるV層(As-YPを含む暗褐色土)の下位から、両面調整の木葉形尖頭器が出土したため、トレンチを拡張して精査に勤めたが、他のトレンチも含めて、これ以外の遺構、遺物は認められなかった。トレンチ設定位置及び土層断面は第86図に示した。

第11節 10区

X=43420~43440・Y=-50645~-50640 調査区南北長20.68m、東西幅4.41m、面積52.5m²。確認面最高標高124.30m、最低標高124.09m。北が高く、南が低い。標準土層と対応できないが、耕土下にあるローム混じりの暗褐色土下面を確認面とする。細長い三角形状の狹小な調査区で、遺構数は少ない。土坑4基、ピット6基、溝3条を確認した。南北に東西走する溝がある。土坑、ピットは両溝の外側にあって、溝間に遺構が乏しい。遺構に伴う顯著な遺物はないが、いずれも中近世の所産であろう。

5



第92図 9区部分図5

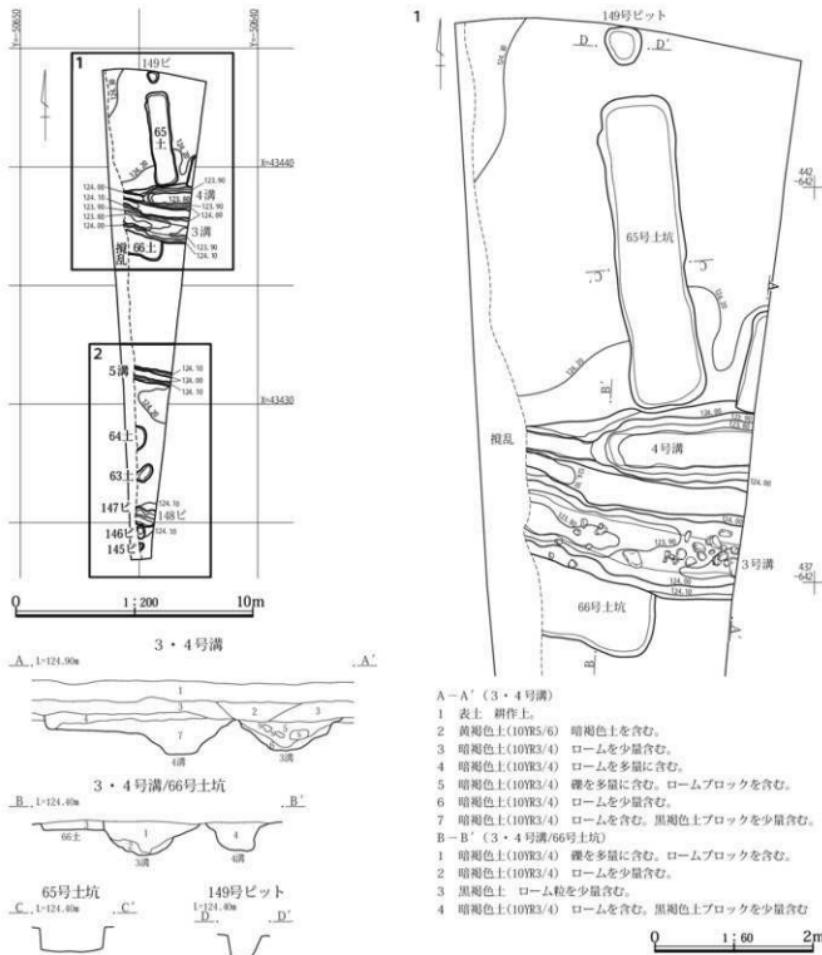
1 溝

調査区北部に3号、4号溝、南部に5号溝があって、それぞれ東西走する。3号、5号溝は東から西へ流下するが、4号溝は西が高く、かつ狭く、東が深く、幅広い構造を示す。

3号溝 調査区の北寄りにあって、やや南に膨らみながら東西走する。西部が複雑に切られるが、東西ともに調査区外に延びる。北に4号溝があって、ほぼ並行する。南の66号土坑を切る。東から西に流下する。確認長3.31m、上端幅0.97~1.08m、確認面からの深さ43cm。断面

形は上方に大きく開く碗状。覆土は暗褐色土を主体とし、底面からやや浮いた位置にロームブロックや礫が多く含まれる。確認面最高標高124.18m、最低標高124.09m、底面最高標高123.90m、最低標高123.78m。方位はN-78°W。須恵器杯底部~体部と在地系の培縁片が出土している。中世~近世の溝であろう。

4号溝 調査区の北寄りにあって東西走する。西部が複雑に切られるが、東西ともに調査区外に延びる。西部の狭く浅い溝に東部の深く、広い溝が接続する呼応溝で、西から東に流下する。確認長3.45m、上端幅西端部0.50m、東端部1.16m。確認面からの深さ、西部35cm、東部



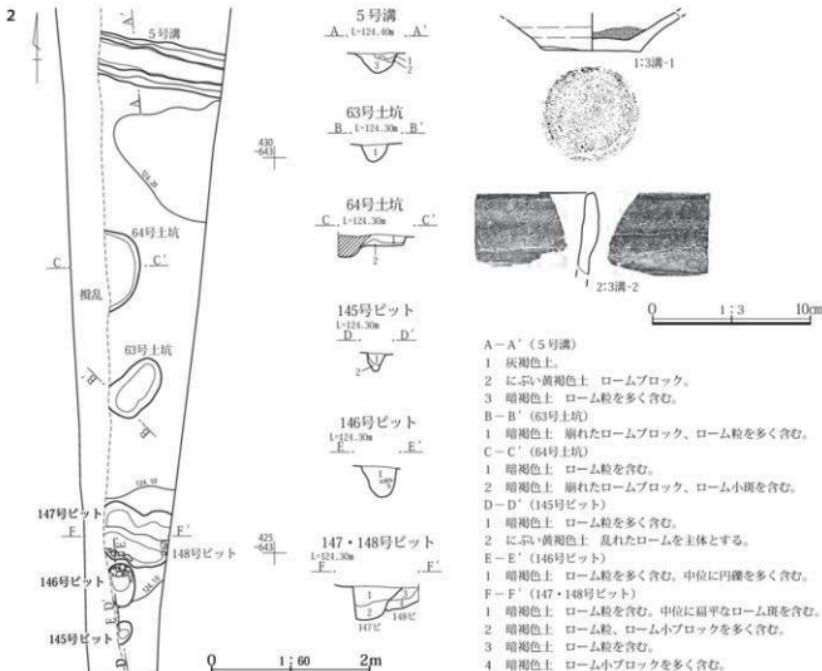
第93図 10区の遺構配置/10区部分図1

52cm。断面形は上位が外方に開く鍋状。覆土は、底部近くにローム粒を含む暗褐色土があり、この上に崩れたロームや黒褐色土の大小のブロックを含む暗褐色土が乗る。確認面最高標高124.19m、最低標高124.09m、底面最高標高西部で123.95m、最低標高東部西寄りで123.76m。方位はN-90°。南に3号溝があって、ほぼ並行する。

東壁部で土坑状の擾乱と重複する。中世～近世の所産とみられる。

2 土坑

調査区北部、3・4号溝の北には、ほぼ南北に長軸を持つ長方形平面の65号土坑がある。他区でみられた、地



第94図 10区部分図2／10区出土遺物

割を想起させるものである。3号溝南の66号土坑はやや幅広の方形平面を持つものと思われる。調査区南端近くには円形平面の64号土坑と、ゆがんだ長円形の63号土坑があるが、北部の土坑とは距離も離れており、機能も異なるものであろう。

各土坑の計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

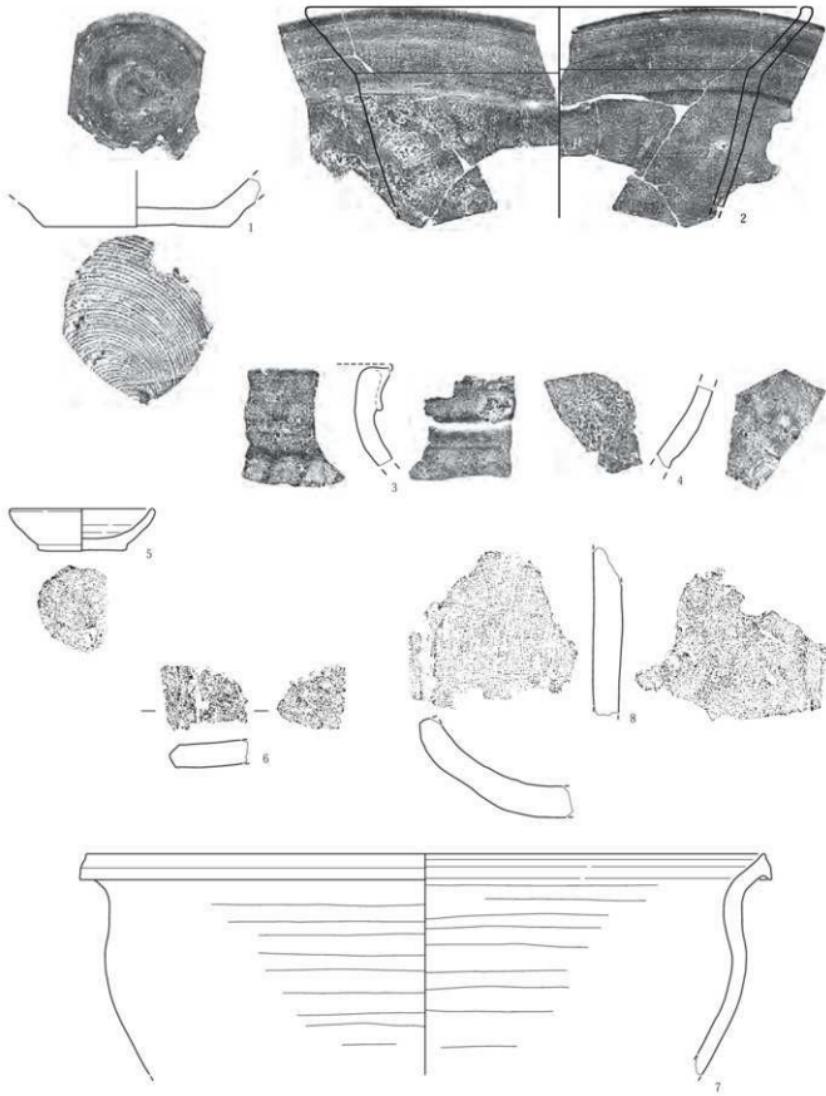
3 ピット

調査区北端に149号ピットが孤立的であり、覆土から陶磁器片が出土している。調査区の南端に145~148号ピットが接するようある。複数のピットが組み合う構造は認められないが、146号ピットは覆土中位に円碟がまとまっており、この北にある147号ピットでは南壁際に碟がまとまる。

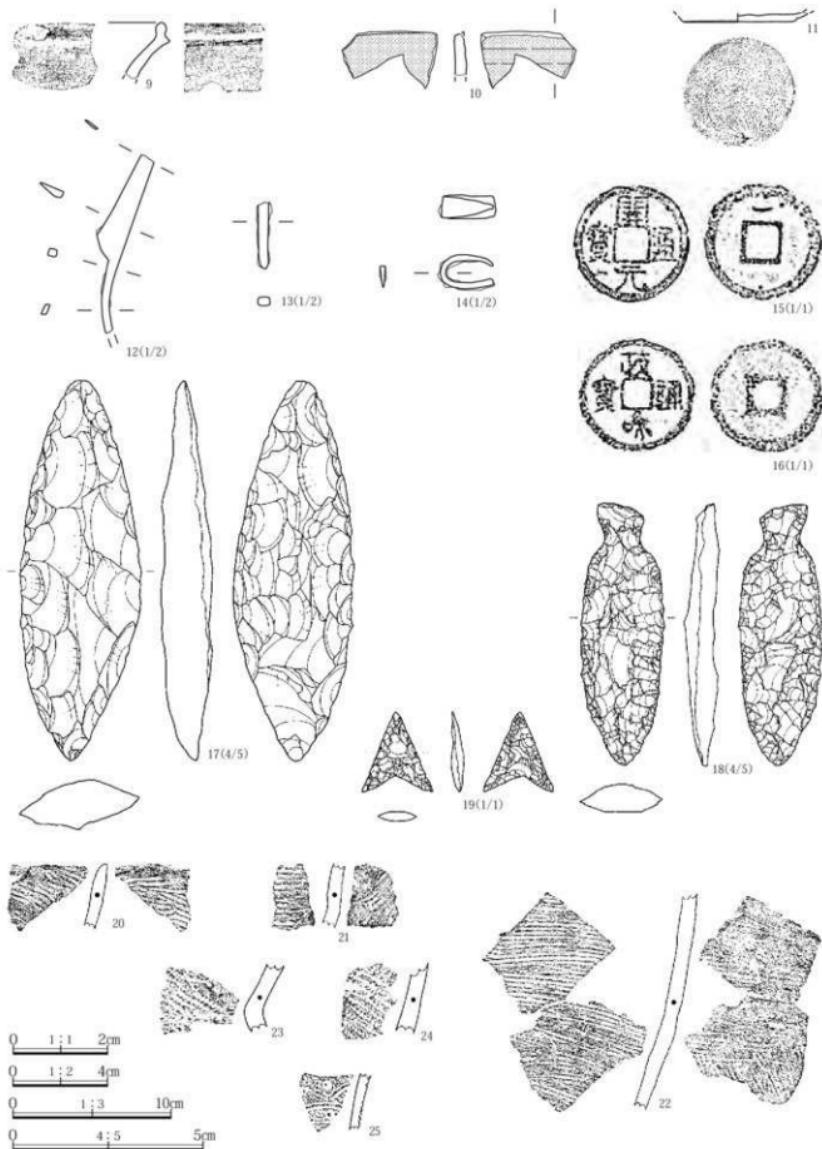
各ピットの計測値等は巻末の遺構一覧に示した。

第12節 遺構外出土遺物

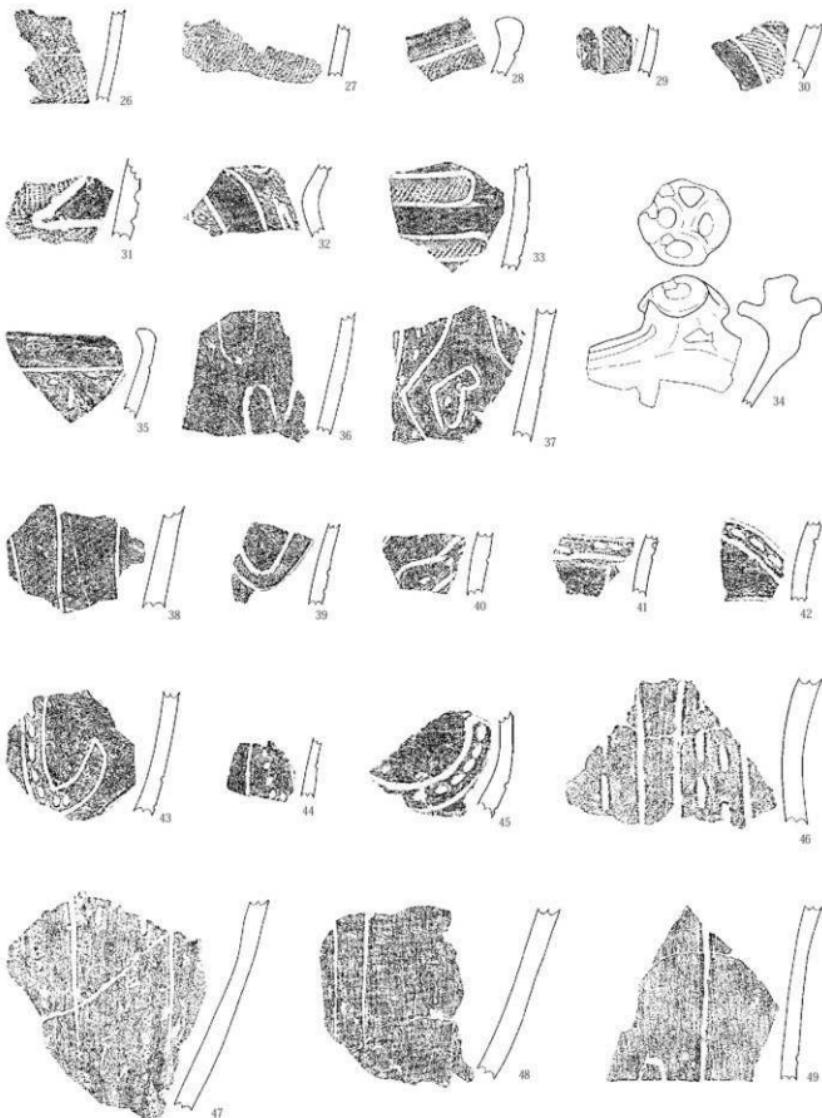
本節では、特定の遺構に伴わない遺物を扱う。時期別の遺構・遺物の出土状況を第99図にまとめた。上位の土壤が削削されていることも多く、遺物の分布が遺構の存在とリンクするものではないが、図示できない破片を含めて、縄文時代早期から後期と、8世紀から10世紀の遺物が多くを占めた。弥生時代、古墳時代の遺物は見られない。また、中世ないしそれ以後の時代の遺物も多く得られている。縄文時代に帰属すると判断される遺構がないため、縄文土器については、時期・型式ごとの分布状況を重視して、ここに集約して掲載した。称名寺1式～堀之内1式の後期前葉期が主体をなす。これに早期後葉条痕文系、前期中葉期がわずかに混じる。



第95図 道構外出土遺物 1

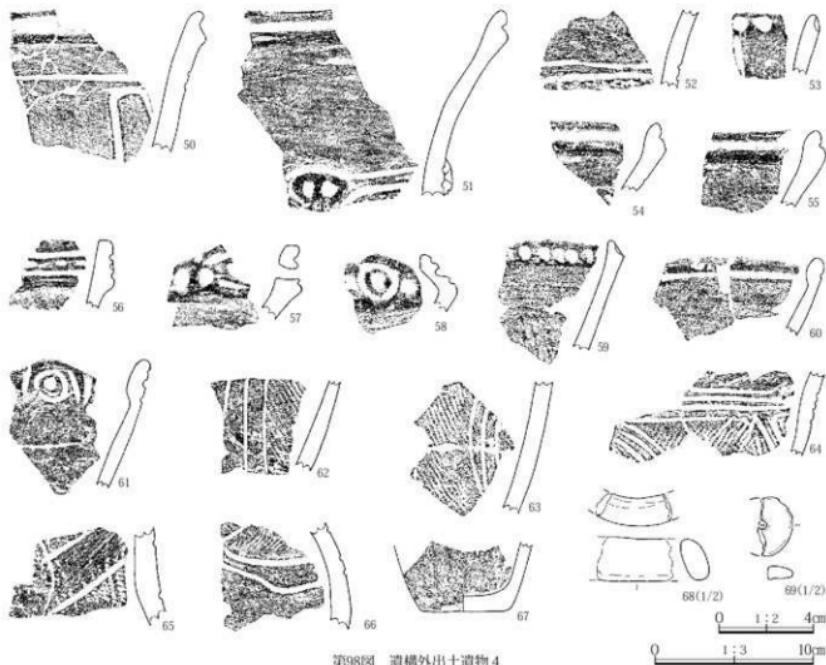


第96図 道構外出土遺物2



第97図 道構外出土遺物3

0 1:3 10cm



第98図 遺構外出土遺物 4



第99図 時期別の遺構・遺物出土状況

第3章 発掘調査のまとめと成果

第1節 発掘調査のまとめ

みどり市内には、著名な史跡岩宿遺跡をはじめとして、268件の埋蔵文化財包蔵地が登録されている。この中にあって、小仁田遺跡の立地する沖積地では、遺跡が乏しい。当遺跡では、本事業に伴う試掘・確認調査以前にも平安時代遺物の散布が知られていたが、具体的な内容は把握されていなかった。今回の発掘調査によって、遺跡の内容やありかたが明らかになり、地域の歴史を追う手掛かりが得られた。

旧石器時代の遺物は出土せず、縄文時代でも遺構は確認されなかつたが、完形の尖頭器、石匙のほか、早期・前期および後期の土器が出土した。8区の5号竪穴建物は、弥生時代後期の所産と思われる。みどり市内では弥生時代遺跡の確認数は乏しく、本遺跡の周辺では、鹿田山の西に西鹿田中島遺跡、向山遺跡、和田遺跡、稲荷山V遺跡があり、東1.7kmほどに鹿野川遺跡がある程度である。古墳時代の遺構・遺物は見られなかつたが、沖積地開発の起点が弥生時代にさかのぼることが示された。

2区224号土坑出土の須恵器盤が8世紀前半を示していく、古代における居住の開始がこの頃からであったことが示される。2区8号竪穴建物については次節で詳述されるが、8世紀第3四半期があてられており、鐵治関連遺構である1号竪穴状遺構も、同時期のものと想定されている。本遺跡に近接する笠懸古窯跡群は、上野国分寺の建立に直結した性格を持つ瓦陶兼業窯と想定されている。また、本遺跡の西に隣接する馬見岡遺跡は、50棟を超える竪穴建物や多くの掘立柱建物に加えて、須恵器窯や灰窯が見つかり、粘土塊や獸脚鋏型も出土していて、国分寺造営にかかる工人集団の拠点的な集落と見られている(『みどり市内遺跡2』みどり市教委2011)。小仁田遺跡も同様に、鹿の川窯、山際窯を含めた瓦生産の拡大と密接に関連した集落として形成されたものとの想定が可能となった。

第2節 小仁田遺跡8号竪穴建物 出土の須恵器杯について

はじめに

8号竪穴建物で図示した土器(第22~24図)は、土師器が杯と甕の各1点の計2点に対して、須恵器は杯蓋2点、無台杯21点、有台杯7点、椀1点、有台盤1点、鉢・壺・甕各1点の計35点と圧倒的に多い状態であった。また、この状態は、図示していない土器でも同様であった。こうした状態は同様な時期とみられる2号竪穴建物でも黒色土器杯・椀の3点と須恵器杯蓋・無台杯・有台杯12点、平瓦1点と圧倒的に須恵器が多い状態で、土師器は細片が若干出土しただけで図示可能なものは残存していなかった。こうした須恵器食膳具の多さは、西側に近接して位置するみどり市馬見岡遺跡須恵器窯からの供給を受けたことが大きな要因であったとみられる。なお、馬見岡遺跡の須恵器窯は、8号竪穴建物や2号竪穴建物と同様な時期に操業していたとみられるが、詳細は不明である。

図示した須恵器杯は、口径11.8~14.1cm、底径6.8~10.3cm、底径/口径の値は平均0.57と8世紀前半代のものに比べやや小型化している。さらに、底部の切り離し技法や整形は、回転ヘラ起こし後回転ヘラ削り、回転糸切り後全面回転ヘラ削り(中央にかすかに糸切りを残す個体を含む)、回転糸切り後周囲を手持ちヘラ削り、回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り、回転ヘラ削りが全面に施され切り離し技法の不明なものが観察できた。須恵器底部の切り離し技法や整形の変化は、今まで県央地域の土器編年において回転糸切りの出現を8世紀第3四半期前後とする時期に設定している。これは8世紀第2四半期に位置付けられる前橋市上大屋櫛越八ヶ峰古窯跡の発掘調査で、ここから出土している須恵器杯底部はすべて回転ヘラ起こしによることからも裏付けられている。

回転糸切り導入段階では回転糸切り後回転ヘラ削りを施すものが圧倒的に多いが、その中にわずかではあるが

回転糸切り無調整のものが共存することも確認されている。しかし、小仁田遺跡8号竪穴建物や2号竪穴建物からは図示できなかった須恵器杯を含め、回転糸切り無調整が確認されず、今までの成果とは異なる結果になっている。

小仁田遺跡で検出した8号竪穴建物の存続していた年代は、出土遺物から概ね8世紀後半の年代観が想定できる。しかし、出土している土器には存続年代の比定に重要な土師器杯や甕がわずかで断定するには至らないため、ここで多く出土している須恵器杯について周辺遺跡の状況を含め検討を行うことにした。

小仁田遺跡では、8号竪穴建物や2号竪穴建物の次の段階に比定できる竪穴建物として、8世紀第4四半期の7号竪穴建物が存在する。しかし、7号竪穴建物には土師器鉢、甕、須恵器碗の各1点ずつしか図示できるものが存在せず、須恵器碗も口縁部片で、底部切り離し技法や整形を窺い知ることはできなかった。さらにその次の段階は9世紀第3四半期の4号竪穴建物で、年代観に半世紀以上の開きが生じてしまう。このような状態から、調査対象範囲で検出された竪穴建物に連続性がなく、隔絶した時期の竪穴建物が存在することになり、小仁田遺跡の発掘成果では須恵器杯における底部の切り離し技法や整形の変化の推移を追うことができない状態であった。

第3表 小仁田遺跡8号竪穴建物須恵器杯(単位cm)

No.	口径	底径	底径/口径比	器高	底部切り離し技法及び整形	体部ヘラ削り
4	11.8	6.8	0.576	3.5	回転糸切り後全面を回転ヘラ削り。	
5	12.8	7.2	0.563	3.5	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
6	13.0	7.0	0.538	3.8	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	○
7	13.0	6.6	0.508	4.3	回転ヘラ起こし後全面を回転ヘラ削り。	
8	13.6	8.2	0.603	4.3	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
9	13.3	7.8	0.586	4.0	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
10	13.3	7.3	0.549	4.6	回転ヘラ起こし後全面を回転ヘラ削り。	○
11	13.4	6.4	0.478	3.5	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	○
12	13.3	8.4	0.632	3.6	全面を回転ヘラ削り、切り離し技法不明。	
13	13.4	7.7	0.575	3.9	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
14	13.5	6.5	0.481	3.7	回転糸切り後全面を回転ヘラ削り。	
15	13.6	7.7	0.566	4.1	回転ヘラ起こし後全面を回転ヘラ削り。	○
16	13.7	9.1	0.664	3.6	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
17	13.8	8.5	0.616	4.2	回転糸切り後全面を回転ヘラ削り。	
18	13.8	10.3	0.746	3.4	回転糸切り後周囲を手持ちヘラ削り。	○
19	14.0	8.0	0.571	3.4	回転糸切り後ほぼ全面を回転ヘラ削り。	
20	14.0	8.1	0.579	3.5	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	○
21	14.0	7.3	0.521	4.0	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	○
22	14.1	7.7	0.546	4.7	回転糸切り後ほぼ周囲を手持ちヘラ削り。	○
平均	13.4	7.7	0.574	3.9	全面を回転ヘラ削り、切り離し技法不明。	
23	—	8.8	—	—	回転ヘラ起こし後全面を回転ヘラ削り。	
24	—	9.0	—	—		

8号竪穴建物出土の須恵器杯

8号竪穴建物では、無台杯21点、有台杯7点の28点を図示している。これらの杯のうち、無台は切り離し技法とその後の整形を観察することが可能である。なお、23・24は口縁部が欠損し底部だけの個体である。この2点を含め、無台杯の底部の切り離し技法や整形を観察すると、次のようになる。回転ヘラ起こし後回転ヘラ削りによる個体4点(第22・23図7・10・15・24)。全面回転ヘラ削りが施された個体は10点あるが、これら個体は切り離し技法が明確でない個体もある。そのうち、ほぼ全面に回転ヘラ削りが施され、切り離し技法が想定できない個体2点(第22・23図12・23)、中央にわずかに回転糸切り痕が残るものや、回転糸切りの痕跡は確認できないが底部中央が周縁より弧状にくぼむことから回転糸切りを想定できる個体4点(第22・23図4・14・17・19)。回転糸切り後周囲に手持ちヘラ削りを施した個体2点(第23図18・22)。回転糸切り後周囲を回転ヘラ削りした個体9点(第22・23図5・6・8・9・11・13・16・20・21)である。

これらの須恵器杯の大きさの平均は、口径13.4cm、底径7.7cm、器高3.4~4.7cmで平均3.9cmである。なお、器高4.7cmを測る22は焼成時に歪みが発生したとみられ、本来は4.0cmを測る21と同様な器高とみられる。

これらの杯のうち、23・24を除く19点の底径/口径値を技法・整形別に表したのが第1表である。底径/口径値は8世紀から9世紀代の須恵器杯・椀の変化として一般的に大→小と縮小することが示されている。また、底部の切り離し技法も回転ヘラ起こしから回転糸切りへと移行し、切り離し後の整形も底部全面を持ちヘラ削りまたは回転ヘラ削りする個体から中央の回転糸切りを残し周縁を回転ヘラ削り、そして回転ヘラ削りなどの整形を行わない回転糸切り無調整と簡略化する。しかし、これらの技法や整形は段階を示すものではなく併存していることも確認されている。そうしたなか、8号竪穴建物では、底部整形の簡略化、底径/口径値の縮小化は第4表のように一般論とは一致していない。底径/口径値の最大は、0.75の値を示した回転糸切り後持ちヘラ削りを施した18である。最少は0.49の値を示した回転糸切り後周縁回転ヘラ削りの11である。ただし、底径については底部のヘラ削りから続けて体部下位にヘラ削りが施されている個体もあるため、底部周縁が不鮮明になり底径の値に影響しているとみられる。そのため、整形が底部だけにとどまる個体より小さい値を示してしまうのが要因とみられる。

8号竪穴建物の遺構としての年代観

小仁田遺跡のなかで、8号竪穴建物に近い時期とみられる土師器杯や甕が出土し、年代観が与えられる竪穴建物に7号竪穴建物と9号竪穴建物がある。

7号竪穴建物では、土師器鉢・甕・須恵器椀を各1点図示している(第45図)。9号竪穴建物では、土師器杯と甕を各1点図示している(第84図)。7号竪穴建物から出土した土師器甕は、胴部の最大径が上位にあり、胴部上位は横方向のヘラ削り、中位が斜め方向のヘラ削りが施され、頭部が明晰な屈曲を呈しておらず、口縁部下半から緩やかに開くことから、8世紀第4四半期の年代観が与えられる。

9号竪穴建物から出土した土師器甕は、胴部上位がわずかに残存しているだけであるが、その胴部は横方向のヘラ削り、口縁部は中ほどで下半よりさらに開く形態である。土師器杯は器高が比較的低く、口唇部がわずかに内傾した形態で、整形は口縁部がヨコナデ、体部はナデ、底部に手持ちヘラ削りが施されている。

こうした形態や整形から、甕・杯とも7号竪穴建物より後出とみられ、8世紀第4四半期から9世紀第1四半期にかけての年代観が与えられる。

8号竪穴建物から出土した土師器杯は、9号竪穴建物出土の杯より器高は低いが、口唇部は直線的に立ち上がり、前出とみられる。土師器甕は7号建物から出土した甕と形態・整形ともほぼ類似しているが、残存状態が悪いため断定するには至らない。

7号竪穴建物や9号竪穴建物との比較では8世紀第3四半期から9世紀第1四半期と幅広い年代観が想定されるが、75年の長期間にわたって竪穴建物が存続していたと想定することは難しく、年代観をより絞り込む必要がある。

周辺の遺跡との比較

8号竪穴建物は、前記のように8世紀第3四半期から9世紀第1四半期にかけてと、やや長期間に及ぶ年代観が与えられるが、これは土師器杯・甕の残存が悪く今一つ明確な年代観を与えるには至っていないためである。こうした状況から、遺跡周辺で比較的近い時期で、8号竪穴建物と同様に多くの須恵器食膳具を出土している遺跡・遺構を検討することとした。

小仁田遺跡8号竪穴建物と同様に多くの須恵器食膳具を出土した遺構が検出された遺跡としては、小仁田遺跡の北2.4kmに位置する桐生市新里町新川八幡Ⅲ遺跡(新里村教育委員会2004『宿東D遺跡・新川八幡Ⅲ遺跡』)と北西4.5kmに位置する砂田遺跡(新里村教育委員会1991『資料集赤城山麓の歴史地震-弘仁九年に発生した地震とその災害-』)をあげることができる。

新川八幡Ⅲ遺跡は、桐生市新里町新川に所在し、赤城南麓の早川の左岸に立地する。須恵器食膳具を多く出土した遺構はH-8号竪穴建物である。この竪穴建物からは土師器杯15点、土師器甕5点、黒色土器杯1点、須恵器無台杯22点、有台杯1点、須恵器小型短頸壺1点、須恵器甕6点が図示されている。

須恵器無台杯は、22点が図示(掲載No.Fig35~38-21~42)されており、口径11.0~13.5cm、平均12.33cm、底径6.0~8.1cm、平均7.10cm、底径/口径値の平均が0.58を示している。底部の切り離し技法と整形は、底部回転ヘラ起こし後手持ちヘラ削り1点、ヘラ起こし後回転ヘラ

削り3点、切り離し技法不明の回転ヘラ削り4点、回転糸切り後全面回転ヘラ削り2点、回転糸切り後周囲を手持ちヘラ削り2点、回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り5点、回転糸切り無調整5点である。小仁田8号竪穴建物とは回転ヘラ起こし後手持ちヘラ削りと回転糸切り無調整の存在が異なる。

また、出土している土師器杯や甕は、15点と5点が図示されており良好な残存である。土師器杯は器高が低く、整形が口縁部ヨコナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削りが施されている。そのうちの1点は内面の口縁部に放射状、底部に螺旋状暗文が施されている。土師器甕は小型甕と、底部から胴部片が2点と口縁部から胴部片が3点で、口縁部から胴部片では頭部が「くの字」状を呈するもの(掲載NoFig35-18・19)2点、口縁部中ほどでさらには開く形状のもの(掲載NoFig35-17)1点がある。18は口径と胴部最大径が近く、胴部の整形も斜めであることからこの3点の中では最も古い様相を呈し、19は胴部の膨らみが強く、胴部上位に横方向のヘラ削りが施されていることから18の次の段階と判断できる。こうした土師器杯や甕の状態から、8世紀第3四半期から9世紀第1四半期の年代観が与えられるが、土師器杯をみると8世紀

第4四半期から9世紀第1四半期にかけての形態が主体を占めており、新川八幡III遺跡H-8号竪穴建物は8世紀第4四半期から9世紀第1四半期に比定できる。

なお、新川八幡III遺跡では土師器甕の形態からH-8号竪穴建物より前段階に比定できるH-6号竪穴建物が検出されているが、ここでは須恵器無台杯は2点だけであった。ちなみに、2点の大きさと切り離し技法と整形は以下のとおりである。掲載NoFig33-2は口径13.0cm、底径8.8cm、底径/口径値=0.68、回転糸切り後周囲を手持ちヘラ削りである。掲載NoFig33-3は口径13.8、底径7.7cm、底径/口径値=0.56、回転糸切り後全面回転ヘラ削りである。

H-6号竪穴建物出土の無台杯はH-8号竪穴建物の無台杯より口径・底径の大きさ、底部切り離し技法後の整形がやや前段階的な様相は呈するが、出土点数が2点のため断定には至らない。

砂田遺跡は、桐生市新里町武井に所在し、赤城南麓の鏡木川の左岸に立地する。古墳時代6世紀中頃に集落を形成し、平安時代11世紀頃まで継続的に営まれていたとされる。その中で須恵器食膳具を多く出土した遺構は、弘仁9(818)年に起きた大地震に伴う山体崩壊による泥

第4表 新川八幡III遺跡H-8号竪穴建物出土須恵器杯(単位cm)

FigNo.	掲載No.	種類	器種	口径	底径	底径/口径値	器高	底部切り離し技法と整形
35	21	須恵器	杯	11.0	6.0	0.545	3.3	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。
35	22	須恵器	杯	11.6	6.4	0.552	3.5	回転糸切り無調整。
35	23	須恵器	杯	11.6	6.4	0.552	3.0	回転糸切り無調整。
36	24	須恵器	杯	11.2	6.6	0.589	3.3	回転ヘラ削り、切り離し技法不明。
36	25	須恵器	杯	12.0	7.0	0.583	3.6	回転糸切り後周囲を手持ちヘラ削り。
36	26	須恵器	杯	12.0	7.0	0.583	3.4	回転ヘラ削り、切り離し技法不明。
36	27	須恵器	杯	12.2	7.4	0.607	4.1	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。
36	28	須恵器	杯	11.8	6.5	0.551	3.6	回転糸切り無調整。
36	29	須恵器	杯	12.1	7.1	0.587	3.7	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。
36	30	須恵器	杯	12.0	7.1	0.592	3.7	回転ヘラ起こし後手持ちヘラ削り。
36	31	須恵器	杯	12.2	7.7	0.631	3.6	回転ヘラ削り、切り離し技法不明。
36	32	須恵器	杯	11.8	6.6	0.559	3.7	回転糸切り無調整。
36	33	須恵器	杯	12.6	8.1	0.643	3.5	回転糸切り後全面を回転ヘラ削り。
36	34	須恵器	杯	12.3	7.6	0.618	3.6	回転ヘラ起こし。
36	35	須恵器	杯	13.4	7.6	0.567	3.8	回転糸切り後全面を回転ヘラ削り。
37	36	須恵器	杯	13.3	8.1	0.609	3.7	回転ヘラ削り、切り離し技法不明。
37	37	須恵器	杯	12.9	7.6	0.589	3.6	回転ヘラ起こし後回転ヘラ削り。
37	38	須恵器	杯	12.9	7.0	0.543	3.7	回転糸切り後周囲を手持ちヘラ削り。
37	39	須恵器	杯	13.5	8.5	0.630	3.4	回転ヘラ起こし後回転ヘラ削り。
37	40	須恵器	杯	12.8	7.6	0.594	3.9	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。
37	41	須恵器	杯	12.8	6.3	0.492	3.7	回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。
38	42	須恵器	杯	13.2	6.0	0.455	4.4	回転糸切り無調整。
須恵器無台杯・計測値平均				12.3	7.1	0.576	3.6	
38	43	黒色土器	杯	12.9	7.6	0.589	4.7	手持ちヘラ削り、回転ヘラ起こしか。
38	44	須恵器	有台杯	15.0	9.2	0.613	5.8	不明。

流で埋没した1号用水路である。

この1号用水路からは土師器杯、甕、黒色土器杯、須恵器杯蓋、無台杯、有台杯など60点近い点数が出土しており、の中でも須恵器杯が圧倒的な数を占めているとされている。そしてほとんどの土器は泥流直下から出土していることから、地震・泥流が発生した時の一括資料に位置付けられている。出土した土師器杯の形態や整形は新川八幡III遺跡H-8号竪穴建物から出土したものと同様か、やや簡略化したもので、これ自体は8世紀第4四半期から9世紀第1四半期の年代観が与えられる。須恵器杯は口径12.5~13.5cm、底径/口径値は底部回転系切りが0.59、回転系切り後周囲回転ヘラ削りが0.55、回転系切り無調整が0.48を示すとされている。底部切り離し技法や整形技法は前記のとおりであるが、回転ヘラ削りが施されている個体には、底部中央にわずかに突起を有するものがあり、回転ヘラ起こしの痕跡が窺えるものがある。なお、須恵器杯の底部切り離し技法の比率は、第3表にあるように、回転系切り後周囲に回転ヘラ削りを施すものが40%、回転系切り無調整が20%と、底部切り離し技法は回転系切りによるものが多くを占めている。この他にも底部切り離し技法は不明で全面回転ヘラ削りが施されているものなかにも、底部が弧状に窪み、底部切り離し技法が回転系切りとみられるものが過半数以上とみられる。

以上のように、小仁田遺跡8号竪穴建物に近い時期で須恵器杯を多く出土している遺構をみてきた。これらについて、底部切り離し技法と整形を表したのが第3表である。この第3表をみると底部切り離し技法では回転ヘラ起こし技法の割合は小仁田8号竪穴建物と新川遺跡H-8号竪穴建物では大きな差はないが、小仁田遺跡8号竪穴建物では回転系切り無調整が確認できない。さらに底径/口径値も小仁田遺跡8号竪穴建物の平均0.57と新川遺跡H-8号竪穴建物0.58とほぼ同様な値を示しているが、大きさそのものは口径で0.4cm、底径で0.7cmほど縮小している。この両遺構の間では大きさの縮小化と底部回転系切り無調整の存在の有無が若干の時間差を窺わせる。

8世紀後半代の竪穴建物が連続する

遺跡との比較

小仁田遺跡8号竪穴建物と新川八幡III遺跡H-8号竪穴建物、砂田遺跡1号用水路の間では時間差が存在することが窺えたが、明確にとらえることができていない。そのため、同一遺跡のなかで8世紀後半代に須恵器杯を比較的多く出土している竪穴建物が継続的に変遷する遺跡の様相をみることにする。小仁田遺跡の周辺では該当する遺跡が確認できぬいため、太田市楽前遺跡で検証をすることとした。

楽前遺跡は太田市東今泉町に所在し、金山丘陵の北東、渡良瀬川の右岸扇状地に立地しており、近接地に山田郡家の存在が想定される集落遺跡である。(財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団2009「楽前遺跡(1)」・2010「楽前遺跡(2)」)

楽前遺跡では須恵器杯と土師器甕がともに良好な状態で出土している215号竪穴建物、235号竪穴建物、236号竪穴建物、246号竪穴建物を対象とした。

これらの竪穴建物は土師器甕の形態から236号竪穴建物が8世紀第2四半期、246号竪穴建物が8世紀第3四半期、235号竪穴建物が8世紀第3四半期から第4四半期、215号竪穴建物が8世紀第4四半期に比定できる。

四半期ごとの様相をみると8世紀第2四半期の236号竪穴建物は須恵器無台杯・椀が各1点ずつ出土している。236号竪穴建物は出土している須恵器は少量であるが、この段階の食器類は土師器が主体である。出土した杯・椀の底部は、手持ちヘラ削りと回転ヘラ削りが施されている。なお、杯の大きさは口径14.7cm、底径9.0cm、底径/口径値0.62である。

8世紀第3四半期の246号竪穴建物は無台杯が4点出土しており、底部全面に回転ヘラ削り1点と回転系切り後周囲を回転ヘラ削りしたものが3点である。なお、杯の大きさは口径12.7~15.6cm、底径8.0~8.4cm、底径/口径値0.54~0.70である。

8世紀第3四半期から第4四半期の235号竪穴建物は無台杯24点が出土しているうち、切り離し技法が不明で底部全面に回転ヘラ削り10点、回転系切り後全面ヘラ削り6点、回転系切り後周囲回転ヘラ削り6点、回転系切り無調整2点である。なお、杯の大きさは口径10.6~

13.6cm、底径6.8~9.3cm、底径/口径値0.48~0.70、平均0.55である。

8世紀第4四半期の215号竪穴建物は無台杯26点が出土している。そのうち、切り離し技法が不明で底部全面に回転ヘラ削り10点、回転糸切り後全面ヘラ削り9点、回転糸切り後周囲回転ヘラ削り4点、回転糸切り無調整2点、不明1点である。なお、杯の大きさは口径11.8~13.8cm、底径7.0~8.2cm、底径/口径値0.55~0.65、平均0.57である。

楽前遺跡の8世紀第2四半期から8世紀第4四半期の竪穴建物出土の須恵器杯を観察した。切り離し技法では、回転糸切りの導入は県中央部と同様に8世紀第3四半期である。切り離し後の整形では、回転糸切り無調整のままのものが8世紀第3四半期の段階に出現する可能性は否定できないが、比率的には少なく、増加傾向は8世紀第4四半期以降と考えられる。

小仁田遺跡8号竪穴建物出土 須恵器杯の年代

今回、周辺遺跡として比較検討した砂田遺跡1号用水路は、弘仁九(818)年に起きた地震に伴う赤城山山体崩壊の泥流で埋没し、泥流直下の土器には、地震とほぼ同様の年代観が与えられるとされている。ここでは須恵器杯の底部切り離し技法に、回転ヘラ起こしと回転糸切りが観察できるが、回転糸切りが大半を占めており、さらに回転糸切り無調整も一定量を占めている。また、新川八幡Ⅲ遺跡H-8号竪穴建物でも、須恵器杯の底部切り離し技法は回転糸切りが過半数を占め、さらに回転糸切り無調整が4分の1近くを占めており、砂田遺跡1号用水路と同様な比率がみられることから年代観も同様と考えられる。

第5表 須恵器杯技法別一覧

底部切り離し技法	回転ヘラ起こし		判別不能	回転糸切り				
	手持ち ヘラ削り	回転 ヘラ削り		全面回転 ヘラ削り	全面回転 ヘラ削り	周囲手持ち ヘラ削り	周囲回転 ヘラ削り	無調整
底部整形方法								
小仁田遺跡 底径/口径の平均値			0.54	0.63	0.56	0.65	0.64	
8号竪穴建物 比率※1			16%	5%	21%	11%	47%	
新川八幡Ⅲ遺跡 底径/口径の平均値	0.59	0.61	0.6	0.61	0.56	0.57	0.53	
H-8号竪穴建物 比率※1		5%	14%	18%	9%	9%	23%	23%
砂田遺跡 底径/口径の平均値			0.59				0.55	0.48
1号用水路 比率※2			10%	30%			40%	20%

※1 各報告書に掲載され、口径及び底径が計測できる須恵器杯での比率、小仁田遺跡19点、新川八幡Ⅲ遺跡22点(小数点以下四捨五入)

※2 「資料集赤城山麓の歴史地震-弘仁九年に発生した地震とその災害-」22p「3の切離・調整分類表」より引用

これに対してやや離れた遺跡ではあるが、8世紀第2四半期から後半代の竪穴建物が継続的に存在する楽前遺跡では、8世紀第2四半期から第3四半期の竪穴建物から、須恵器の出土量が少ないものの、回転糸切り無調整の推移を想定することができた。

こうした周辺遺跡の様相から、小仁田遺跡8号竪穴建物では、須恵器杯の底部切り離し技法は74%が回転糸切りと、砂田遺跡1号用水路や新川八幡Ⅲ遺跡H-8号竪穴建物の須恵器と同様な比率であるが、底部回転糸切り無調整が皆無である。このことは須恵器杯の供給元である須恵器窯による、底部にヘラ削りを行うことへの執着も想定できるが、底部糸切りの占める割合の変化を考慮すると、楽前遺跡235号竪穴建物と同様な年代観を与えるのが適切と考えられる。しかし、楽前遺跡235号竪穴建物からは回転糸切り無調整のものが存在する。この点を踏まえ、8号竪穴建物から出土した須恵器杯には、8世紀第3四半期の年代観を与えるべき。

なお、今回対象とした東毛地域においても、須恵器杯底部の切り離し技法・整形における回転糸切り無調整が8世紀第4四半期には出現しており、笠懸古窯跡群や太田金山古窯跡群における底部ヘラ削り整形も西毛地方の古窯跡群より後まで続けられるのだが、底部回転糸切りへの簡略化の流れは加速していったとみられる。

遺構一覧表

溝

道構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	遺物等	種別	PL.
1号溝	5	7.32×1.05/1.56×42/N-87°-W	上師器片、須惠器杯片、縄文土器片	52	24
2a号溝	1	4.60×0.95×35/N-62°-E		6	2・3
2b号溝	1	20.40×西壁2.47・東壁1.74×41/N-64°-E		6	2・3
3号溝	10	3.31×0.97~10.8×43/N-78°-W	須惠器底部~体部片、在地系焰络片	93	55
4号溝	10	3.45×西端0.50・東端1.16×52/N-90°		93	55
5号溝	10	2.09×0.59×29/N-82°-W		94	55
6号溝	3	12.75×3.11×94/N-78°-W	上師器杯・底片、須惠器杯・底片、灰釉杯片、陶器底片、铁滓、瓦片	30	13~15
7号溝	6	14.27×1.70×28/N-82°-W		62	32・33
8号溝	9	6.11×0.41×20/N-77°-W	縄文土器片	90	52
9号溝	2	5.60×0.33~0.58×73/N-87°-W	須惠器杯底部片、铁滓	13・14	7
10号溝	9	9.12×1.22×20/N-81°-W		88	49・51

土坑

道構名	区	規模(長m×幅m×深cm/長軸方位)	遺物等	種別	PL.
1号土坑	5	1.58×0.91×28/N-11°-E		52	24
2号土坑	5	<4.10×0.85×39/N-77°-W	上師器片、縄文土器片、炭化物片	52	24・25
3号土坑	5	<1.50×0.86×34/N-11°-W		52	24
4号土坑	5	<1.64×1.54×22/N-73°-W	上師器片、須惠器底片	54	25
5号土坑	5	0.77×0.73×32/N-74°-W		54	25
6号土坑	5	0.91×0.47×16/N-64°-W	上師器片	54	25
7号土坑	5	0.86×0.69×42/N-5°-W	須惠器底片、縄文土器片	52	25
8号土坑	5	1.35×0.69×37/N-9°-E	上師器底片、縄文土器片	52	25
9号土坑	5	<1.62×0.90×36/N-76°-W	上師器杯・底片	52	25
10号土坑	5	<2.23×0.88×46/N-71°-W	須惠器片	52	25
11号土坑	5	<1.54×0.41×44/-	上師器片	54	26
12号土坑	5	0.57×0.46×42/N-44°-E		54	26
13号土坑	5	0.88×0.86×21/N-76°-W		54	26
14号土坑	5	<1.62×0.18×34/N-11°-E		52	26
15号土坑	5	<0.80×0.55×30/N-76°-W	上師器片、縄文土器片	52	26
16号土坑	5	<1.74×0.32×29/N-9°-E	上師器底片、縄文土器片	52	26
17号土坑	5	<0.82×0.53×28/N-8°-W	縄文土器片	52	26
18号土坑	5	0.79×0.74×22/N-12°-E	縄文土器片	50	26
19号土坑	5	0.64×0.41×37/N-26°-W	縄文土器片	50	26
20号土坑	5	<0.75×0.64×24/N-66°-W	丸瓦片、縄文土器片	50	26・27
21号土坑	5	0.90×0.79×28/N-31°-E	縄文土器片	50	26・27
22号土坑	5	1.07×0.58×14/N-16°-E	縄文土器片	50	26・27
23号土坑	5	1.42×1.07×31/N-75°-W	上師器杯・縄文土器片	50	27
24号土坑	5	<1.13×0.50×29/N-75°-W		50	27
25号土坑	5	0.75×0.96×37/N-76°-W		50	27
26号土坑	5	0.95×0.91×40/N-16°-E	瓦片	50	27
27号土坑	5	1.36×1.22×36/N-11°-E		50	27
28号土坑	5	2.30×1.43×43/N-79°-W		50	27
29号土坑	5	1.34×1.12×59/N-72°-W	縄文土器片	50	27
30号土坑	5	2.14×1.89×59/N-20°-E		48	27・28
31号土坑	5	<1.33×0.82×41/N-8°-E		48	27・28
32号土坑	5	<1.95×1.51×55/N-15°-E	上師器片、縄文土器片	48	27・28
33号土坑	5	1.37×0.69×17/N-74°-W		48	27・28
34号土坑	5	1.68×1.06×34/N-15°-E		48	27・28
35号土坑	5	C.41×<1.26×35/N-70°-W		48	27・28
36号土坑	5	2.07×1.32×51/N-84°-W	上師器片、須惠器底片、灰釉底片、縄文土器片	48	27・28
37号土坑	5	<1.44×1.05×19/N-71°-W		48	27・28
38号土坑	5	1.90×0.70×15/N-81°-W		48	27・28
39号土坑	5	<1.28×0.33×19/N-69°-W		48	27
40号土坑	5	<1.10×0.94×40/-		48	27・28
41号土坑	5	<1.51×<1.25×40/N-46°-W	上師器片、須惠器片、縄文土器片	48	27・28
42号土坑	5	<0.87×0.24×75/-	縄文土器片	48	27・28
43号土坑	5	<1.58×1.12×40/N-70°-W	上師器杯・底片	48	27・28
44号土坑	5	<0.89×0.84×31/N-78°-W	灰釉碗片	48	27・28
45号土坑	5	<1.31×1.31×180/N-7°-E	上師器片	48	27・28
46号土坑	1	2.25×2.01×65/N-23°-W	上師器杯片	7	2
47号土坑	1	<1.06×0.54×17/N-44°-E		7	2・3
48号土坑	1	<0.92×0.65×14/N-45°-E		7	2・3
49号土坑	1	1.19×0.86×21/N-52°-E		7	2・3
50号土坑	1	1.67×1.12×20/N-87°-E		7	2・3
51号土坑	1	1.75×1.27×21/N-74°-E		7	2・3

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/長軸方位)	遺物等	鉢回	PL.
52号土坑	I	<1.08×1.10×-1.31×26/N-68°-E		7	2・3
53号土坑	I	1.30×<0.67×39/N-67°-E		7	2・3
54号土坑	I	1.60×1.59×32/N-77°-E	上師器杯底部片	7	2・3
55号土坑	I	<1.34×1.35×17/N-72°-E		7	2・3
56号土坑	I	1.58×0.79×17/N-40°-E		7	2・3
57号土坑	I	1.87×0.72×34/N-49°-E	上師器盤片、繩文土器片	7	2・3
58号土坑	I	2.13×1.03×14/N-30°-E		9	2
59号土坑	I	<1.22×1.44×40/N-75°-W		10	3
60号土坑	I	<1.08×0.97×37/N-70°-W		10	3
61号土坑	I	0.77×0.67×29/N-37°-W		10	3
62号土坑	I	1.72×1.59×33/N-83°-E		5	3
63号土坑	I	0.82×0.49×35/N-44°-E		94	56
64号土坑	I	<1.03×<0.42×29/-		94	56
65号土坑	I	3.93×0.97×37/N-8°-W		93	55・56
66号土坑	I	<1.74×<0.92×9/N-90°	陶磁器片	93	55・56
67号土坑	I	1.05×0.47×23/N-67°-E		27	11
68号土坑	I	1.26×1.03×24/N-70°-E	上師器杯片、須恵器蓋片、鐵滓	27	11
69号土坑	I	1.22×0.84×30/N-36°-W	石器片	27	11
70号土坑	I	1.32×0.68×29/N-46°-W		27	11
71号土坑	I	0.97×0.93×13/N-11°-W		27	11
72号土坑	I	1.49×1.20×81/N-23°-E	上師器杯片	27	11
73号土坑	I	1.19×0.68×20/N-66°-E		27	11
74号土坑	I	0.79×0.66×-0.72×18/N-90°		27	11
75号土坑	I	1.00×0.58×27/N-19°-W		27	11
76号土坑	I	0.98×0.14×64/N-50°-E	須恵器蓋片	27	11
77号土坑	I	1.37×1.09×37/N-74°-W	上師器杯片、須恵器蓋片	27	11
78号土坑	I	0.83×0.63×34/+37/N-11°-W	須恵器杯片、鐵滓	27	11・12
79号土坑	I	<3.28×<1.02×22/N-12°-W	上師器蓋片、須恵器杯片	27	11・12
80号土坑	I	<0.96×0.80×25/N-78°-W	上師器蓋片	27	12
81 a号土坑	I	1.34×1.16×59/N-22°-W	上師器蓋片、須恵器蓋片	27	12
81 b号土坑	I	1.18×<0.71×<24°-E		27	12
81 c号土坑	I	0.87×<0.15×19/-		27	12
82号土坑	I	<0.76×1.03×30/N-51°-W		28	12
83号土坑	I	1.28×<0.51×39/N-4°-E		28	12
84号土坑	I	1.33×0.85×18/N-75°-E		28	12
85号土坑	I	1.11×0.80×36/N-47°-W	須恵器底部片	28	12
86号土坑	I	2.19×2.45×1.65/2.11×29/N-90°	上師器蓋片、須恵器蓋片、鐵滓	28	12
87号土坑	I	1.48×1.01×29/N-18°-E	火葬跡 上師器蓋片、須恵器蓋片、骨片、炭化材(竹含む)	29	13
88号土坑	I	<0.51×0.46×21/N-51°-E	鐵滓	28	12
89号土坑	I	1.01×0.96×31/N-47°-W	上師器蓋片、須恵器蓋片	28	12
90号土坑	I	1.26×1.06×27/N-90°	上師器蓋片、須恵器蓋片	28	12
91号土坑	I	1.58×1.20×48/N-27°-E	須恵器高台陶・杯片	28	12
92号土坑	I	1.22×1.16×39/N-90°	須恵器蓋片、鐵滓	28	12
93号土坑	I	1.29×0.98×51/N-20°-E	上師器杯、須恵器蓋片、鐵滓	29	12・13
94号土坑	I	0.90×<0.54×18/N-10°-E	上師器蓋片、須恵器蓋片、鐵製品	28	12・13
95号土坑	I	<2.22×0.66×20/59/N-16°-E		28	12・13
96号土坑	I	4.21×0.75×43/N-15°-E	黑色土器蓋片、須恵器底部・蓋片、繩文土器片、鐵滓	28・29	12・13
97号土坑	I	<1.13×<0.68×40/N-18°-E		28	13
98号土坑	I	<2.28×0.70×26/N-74°-E	上師器蓋片、須恵器蓋片、鐵滓	29	13
99号土坑	I	<0.44×<0.39×12/N-8°-E	上師器蓋片、鐵滓	29	13
100号土坑	I	<2.27×0.68×28/-	上師器蓋片、須恵器蓋片、鐵滓	29	14
101号土坑	I	<0.44×<0.39×27/-	上師器蓋片、繩文土器片	29	14
102号土坑	I	-><34/-		29	14
103号土坑	I	1.71×1.02×50/N-25°-E	上師器蓋片、須恵器蓋片、陶磁器片	29	14
104号土坑	I	3.41×<0.46×19/N-26°-E	上師器蓋片、須恵器蓋片・蓋底部分、鐵滓	29	13・14
105号土坑	I	1.10×<1.00×46/N-53°-E	上師器蓋片、須恵器蓋片・橫片、陶磁器片・灰釉陶器高台碗片、鐵滓	29	13・14
106号土坑	I	1.53×0.75×40/N-22°-E		30	14
107号土坑	I	1.01×0.54×31/N-66°-W	黑色土器蓋片、鐵滓	30	14
108号土坑	I	<1.40×1.01×33/N-76°-W		29	14
109号土坑	I	0.66×0.58×22/N-83°-E	上師器蓋片、須恵器蓋片・橫片、鐵滓	28	14
110号土坑	I	1.08×0.97×39/N-8°-E	黑色土器蓋片・内黒杯片、須恵器蓋片、鐵製品	30	14
111号土坑	I	1.08×0.81×40/N-48°-E	須恵器底部片、繩文土器片	29	13・14
112号土坑	I	0.90×0.75×24/N-20°-W	上師器蓋片	30	14
113号土坑	I	1.05×0.89×17/N-33°-E	上師器蓋片、須恵器蓋片、鐵滓	30	15
114号土坑	I	1.39×0.99×21/N-9°-W	上師器蓋片・蓋片、須恵器蓋片	30	14・15
115号土坑	I	->->36/-	上師器蓋片	29	13・15

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/長軸方位)	遺物等	鉢回	PL.
116号土坑	6	1.02×0.63×11/N-70°-W		59	31
117号土坑	6	1.45×0.63×92/N-21°-E		60	31
118号土坑	6	<6.52×<1.17×37/N-70°-W	土師器焼片	59	31
119号土坑	6	3.02×1.26×30/N-4°-E		59	31
120号土坑	6	0.89×0.64×42/N-74°-W		59	31
121号土坑	6	0.85×0.83×12/N-70°-W	磁器片	60	31
122号土坑	6	0.97×0.83×11/N-65°-W		60	31
123号土坑	6	0.87×0.45×17/N-8°-E		60	31
124号土坑	6	2.68×<0.71×94/N-42°-E		61	31
125号土坑	6	1.30×<0.43×75/-		61	31
126号土坑	6	4.33×<0.86×58/N-12°-E	陶磁器片	61	31・32
127号土坑	6	<1.01×<0.99×32/N-90°		62	32
128号土坑	6	<1.22×<0.97×65/-		61	32
129号土坑	6	0.81×0.76×17/N-84°-W		62	32
130号土坑	6	1.88×0.52×35/N-73°-W	須恵器杯片、陶磁器片、繩文土器片、鉄製品	61	32
131号土坑	6	4.04×1.08×42/N-89°-W		62	32
132号土坑	6	<2.37×0.90×49/N-77°-W		62	32
133号土坑	6	1.22×0.82×51/N-65°-W		62	32
134号土坑	6	1.13×0.84×67/N-11°-E	繩文土器片	62	32
135号土坑	6	<0.65×<0.90×43/N-87°-W		62	32・33
136号土坑	6	<4.77×0.71×53/N-80°-W		62	32・33
137号土坑	6	1.18×1.08×76/N-39°-W		62	33
138号土坑	6	<7.26×0.70×70/N-74°-W		61	33
139号土坑	6	1.18×0.76×50/N-84°-W		62	32
140号土坑	6	0.75×<0.30×27/-		72	37
141号土坑	8	1.09×1.06×29/N-83°-E	土師器杯・甕片、繩文土器片	72	37
142号土坑	8	1.03×0.83×28/N-40°-W		72	37
143号土坑	8	1.00×0.72×21/N-17°-W	陶磁器片、繩文土器片	72	37
144号土坑	8	0.84×0.83×31/N-3°-E	土師器焼片	72	37
145号土坑	8	1.09×1.03×30/N-76°-W	土師器片	72	37
146号土坑	8	1.04×<0.89×20/N-35°-W	瓦片	72	37
147号土坑	8	0.86×0.82×12/N-19°-E	土師器片	72	37
148号土坑	8	1.03×0.99×17/N-27°-E	土師器片、繩文土器片	72	37
149号土坑	8	1.12×0.74×12/N-0°		72	37
150号土坑	8	2.01×<0.94×20/N-3°-W	土師器片	73	37
151号土坑	8	0.90×<0.28×78/-	土師器片、須恵器焼片	73	38
152号土坑	8	1.37×1.32×30/N-73°-E	土師器片	73	38
153号土坑	8	0.83×0.80×45/N-21°-E	土師器焼片	72	38
154号土坑	8	1.49×0.57×25/N-5°-E	須恵器焼片	72	37・38
155号土坑	8	0.50×0.39×45/N-27°-W		73	38
156号土坑	8	0.98×<0.79×42/N-10°-E	土師器焼片、須恵器杯片、繩文土器片	72	38
157号土坑	8	1.42×1.24×47/N-9°-W	土師器片・甕片、鉄滓	73	38
158号土坑	8	<0.50×<0.34×35/N-48°-W	土師器焼片・甕片	73	38
159号土坑	8	1.33×1.19×47/N-9°-E	須恵器杯片、鉄滓	73	38
160号土坑	9	0.78×0.70×35/N-1°-E		92	52・53
161号土坑	9	0.97×0.95×34/N-2°-E		92	52・53
162号土坑	9	<1.57×<0.88×39/N-80°-W	土師器焼片、陶磁器片	92	53
163号土坑	9	<1.52×<0.84×53/N-79°-W		92	53
164号土坑	9	<1.50×0.89×50/N-81°-W	繩文土器片	92	53
165号土坑	9	1.97×1.00×53/N-13°-E	土師器焼片、須恵器焼片	92	53
166号土坑	9	<1.78×1.07×47/N-79°-W	須恵器焼片	91	53
167号土坑	9	<1.25×0.84×78/N-78°-W	土師器焼片、鉄製品	91	53
168号土坑	9	<1.10×<0.62×43/-		91	53
169号土坑	9	2.01×0.82×49/N-16°-E		91	53
170号土坑	9	-×-×46/-	磁器片	91	53
171号土坑	9	0.62×0.34×43/N-84°-W		91	53
172号土坑	9	<2.52×<0.88×47/N-19°-E		91	53・54
173号土坑	9	<1.44×<1.47×57/N-79°-E		91	53・54
174号土坑	9	1.14×0.85×36/N-23°-E		91	54
175号土坑	9	1.01×0.78×84/N-44°-E	須恵器杯片	91	54
176号土坑	9	2.51×1.02×37/N-9°-E		91	54
177号土坑	9	1.09×1.04×21/N-11°-W		90	52
178号土坑	9	0.65×0.52×68/N-57°-E		91	54
179号土坑	9	0.93×0.89×18/N-23°-E		90	52
180号土坑	9	<0.75×0.79×15/N-22°-E		90	52
181号土坑	9	<1.48×<0.93×20/N-12°-E		90	52
182号土坑	4	0.78×0.56×21/N-80°-E		42	21
183号土坑	4	2.11×1.02×76/N-72°-E	黑色土器片	42	21
184号土坑	4	1.25×0.82×18/N-9°-E	土師器焼片	42	21

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/長軸方位)	遺物等	鉢回	PL.
185号土坑	4	1.01×0.64×14/N-76°-W	上師器杯・甕片	42	21
186号土坑	4	1.52×1.17×10/N-83°-W	上師器甕片・須恵器攝片	42	21
187号土坑	4	<1.29×<1.26>×30/N-10°-E	上師器甕片・須恵器甕片	42	21
188号土坑	4	<0.87>×<0.80>×27/N-78°-W	上師器甕片	42	21
189号土坑	4	1.01×0.83×60/N-84°-W		42	21
190号土坑	4	1.11×1.01×61/N-3°-E		42	21
191号土坑	4	2.81×1.66×62/N-67°-W	上師器甕・甕片・須恵器甕片・小型漆底部片・灰釉罐 頸部片・繩文土器片	41	20
192号土坑	4	1.44×1.10×45/N-74°-W	上師器片	41	20
193号土坑	4	0.86×0.75×42/N-9°-E	繩文土器片	41	22
194号土坑	4	0.97×0.83×20/N-30°-E		41	22
195号土坑	2	2.36×1.05×62/N-78°-W		17	5
196号土坑	2	2.78×1.06×38/N-16°-E	鉢製品	17	5
197号土坑	2	1.12×0.84×75/N-11°-E		17	5
198号土坑	2	斜底<1.00>×東西<0.24>×50/-		17	5
199号土坑	2	1.01×1.06×34/N-15°-E		15	6
200号土坑	2	1.12×1.11×33/-	上師器片・須恵器杯・甕片・繩文土器片	15	6
201号土坑	2	1.54×1.20×16/N-26°-W	上師器片・須恵器片	15	6
202号土坑	2	1.20×0.91×32/N-18°-E	須恵器甕片	15	6
203号土坑	2	1.16×0.57×37/N-12°-E		15	6
204号土坑	2	1.56×0.63×34/N-80°-W		15	6
205号土坑	2	<0.96>×0.99×31/N-79°-W		15	6
206号土坑	2	<1.36>×1.08×22/N-78°-W		15	6
207号土坑	2	<1.07>×0.97×31/N-78°-W		15	6
208号土坑	2	0.79×0.74×32/N-77°-W	鉢製品	15	6
209号土坑	2	<1.37>×<1.08>×22/N-78°-W		15	6
210号土坑	2	1.49×1.09×20/N-1°-E		15	6
211号土坑	2	1.68×0.91×15/N-11°-E		15	6
212号土坑	2	<0.97>×0.58×9/N-85°-E		15	6
213号土坑	2	2.05×0.98×29/N-17°-E		15	6
214号土坑	2	<1.18>×0.56×10/N-59°-W		13	6
215号土坑	2	<0.89>×1.01×22/N-79°-W		13	6
216号土坑	2	1.48×1.37×40/N-4°-W	上師器杯・甕片・須恵器攝片・瓦片	13	6
217号土坑	2	2.94×1.59×28/N-35°-E	上師器片・須恵器攝片	13	6
218号土坑	2	0.64×0.62×22/N-86°-E		13	6
219号土坑	2	<1.29>×0.66-0.80×17/N-68°-W		13	6
220号土坑	2	3.40×0.73-1.37・西端部0.48×28/N-24°-E		13	6
221号土坑	2	1.20×0.56×27/N-16°-E	上師器片・須恵器杯底部・甕口縁片	13	7
222号土坑	2	3.90×0.84-1.21×24/N-20°-E		13	7
223号土坑	2	<2.58>×0.84-0.88×23/N-11°-E		13	
224号土坑	2	<3.76>×0.77×13/N-24°-E	須恵器蓋片・杯片	13	
225号土坑	2	<0.88>×0.95×10/N-60°-E		12	7
226号土坑	2	<0.46>×0.89×18/N-74°-W	須恵器杯口縁片・石瓢	12	7
227号土坑	2	0.97×0.58×18/N-64°-E	須恵器杯口縁片	12	
228号土坑	2	1.31×0.73×31/N-25°-E		12	7
229号土坑	2	<1.60>×0.83×29/N-76°-W	須恵器片	12	7
230号土坑	2	0.84×0.81×19/N-59°-E		12	
231号土坑	2	1.64×0.81×14/N-44°-E	須恵器片	15	6
232号土坑	2	1.21×0.85×15/N-4°-W	須恵器杯底片	13	7
233号土坑	2	<2.87>×<0.50>/0.71×46/N-73°-W		17	7
234号土坑	2	1.15×0.44×38/N-9°-E		12	7
235号土坑	2	0.79×0.69×28/N-81°-E		13	7
236号土坑	2	欠番			
237号土坑	2	0.71×0.59×31/N-69°-E		12	7
238号土坑	7	欠番	上師器片		
239号土坑	7	1.39×0.82×29/N-2°-W	陶器片・繩文土器片	66	34
240号土坑	7	1.27×1.07×35/N-27°-E		66	34
241号土坑	7	1.70×1.28×68/N-1°-E		66	34
242号土坑	7	1.13×0.89×76/N-2°-W		66	34・35
243号土坑	7	0.56×0.38×15/N-31°-W		66	34・35
244号土坑	7	0.96×0.79×20/N-68°-W		67	35
245号土坑	7	2.75×0.38×30/N-10°-E		67	35
246号土坑	7	1.31×0.98×35/N-8°-E		66	35
247号土坑	7	2.00×0.64×76/N-79°-W		66	35
248号土坑	7	1.58×1.44×60/N-85°-W		66	35
249号土坑	7	0.92×0.87×17/N-48°-W	上師器片・繩文土器片	66	35
250号土坑	7	0.66×0.50×16/N-41°-E		66	35
251号土坑	7	1.57×0.58×34/N-75°-W		66	35
252号土坑	7	2.55×2.40×77/N-32°-E		65	35・36
253号土坑	7	1.58×0.62×33/N-76°-W		65	36

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	遺物等	掃図	PL.
254号土坑	7	2.53×2.59×76/N-23°-E	上師器片、繩文土器片、石器	65	36
255号土坑	9	0.73×0.67×6/N-49°-E		88	49
256号土坑	9	<1.97×<0.42×23/N-13°-E		88	49
257号土坑	9	2.42×<0.78×514/N-17°-E	上師器杯片、繩文土器片	88	49
258号土坑	9	1.20×1.14×44/N-27°-E		88	49
259号土坑	9	1.20×<0.91×30/N-57°-W	陶磁器片	88	49
260号土坑	9	<2.45×0.91×47/N-20°-E		88	50
261号土坑	9	0.66×0.54×29/N-45°-E		88	50
262号土坑	9	1.27×0.81×15/N-4°-E		87	50
263号土坑	9	2.60×1.09×45/N-14°-E	須恵器片、陶磁器片	87	50
264号土坑	9	0.76×0.41×19/N-10°-E		87	50
265号土坑	9	0.90×0.83×17/N-12°-E		87	50
266号土坑	9	1.13×1.12×23/N-86°-W		87	50
267号土坑	9	0.78×0.74×14/N-18°-E		87	50
268号土坑	9	0.50×0.45×32/N-44°-W		87	51
269号土坑	9	0.86×0.82×9/N-43°-W		87	51
270号土坑	9	1.39×1.12×32/N-67°-E		87	51
271号土坑	9	0.83×0.81×32/N-54°-E		87	51
272号土坑	9	<1.71×<0.56×57/N-7°-W		87	51
273号土坑	8	0.63×0.40×32/N-40°-W		75	43・44
274号土坑	8	0.50×0.46×18/N-72°-E		75	43・44
275号土坑	8	0.56×0.39×35/N-1°-W		75	43・44
276号土坑	8	0.79×0.64×15/N-40°-W		75	43・44
277号土坑	8	1.53×0.93×41/N-17°-E	上師器片	75	43・44
278号土坑	8	0.52×0.30×39/N-53°-E		75	44
279号土坑	8	0.66×0.51×43/N-48°-W		75	44
280号土坑	8	<0.43×0.39×20/N-4°-E		75	44
281号土坑	8	0.87×0.54×30/N-46°-E		75	44・46
282号土坑	8	1.74×0.75×12/N-12°-E	上師器杯・甕片	75	44・45
283号土坑	8	0.70×0.67×12/N-22°-W		75	45・47
284号土坑	8	1.34×0.72×17/N-40°-E		75	45
285号土坑	8	0.65×0.59×21/N-72°-W		75	45
286号土坑	8	1.95×0.60×26/N-18°-E		75	45
287号土坑	8	1.79×0.92×7/N-14°-E	須恵器片	77	45
288号土坑	8	0.82×0.57×35/N-48°-E		77	45
289号土坑	8	1.84×1.27×22/N-8°-E		77	45
290号土坑	8	<2.39×1.33×21/N-15°-E	上師器片、須恵器片	77	45
291号土坑	9	1.23×<0.80×65/-		88	51
土坑A	6	4.74×<0.46×-/N-80°-W		62	32

井戸

遺構名	区	規模(長m×幅m×深m)	遺物等	掃図	PL.
I号井戸	2	<2.20×<1.52×<2.5	上師器片、須恵器片、銭貨	13・14	7

ピット

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	備考・遺物等	掃図	PL.
1号ピット	5	0.29×0.29×32/N-53°-W		54	
2号ピット	5	0.27×0.27×32/N-34°-W		54	
3号ピット	5	0.43×0.35×14/N-45°-W		54	
4号ピット	5	0.44×0.36×15/N-53°-W		54	
5号ピット	5	0.25×0.22×12/N-66°-W		54	
6号ピット	5	0.37×0.31×10/N-63°-W		54	
7号ピット	5	0.29×0.28×18/N-4°-E		54	
8号ピット	5	0.34×0.32×36/N-52°-W		52	24
9号ピット	5	0.38×0.35×23/N-22°-W		54	
10号ピット	5	0.54×0.38×16/N-35°-E		54	
11号ピット	5	0.57×0.29×18/N-87°-E		54	
12号ピット	5	<0.19×<0.25×23/-		54	
13号ピット	5	0.35×0.23×21/N-76°-W		54	
14号ピット	5	<0.25×<0.12×25/-		54	
15号ピット	5	0.27×0.23×23/N-57°-E		54	
16号ピット	5	0.29×0.28×16/N-27°-W		54	
17号ピット	5	0.83×0.36×21/N-41°-E		54	
18号ピット	5	<0.22×<0.19×18/-		54	
19号ピット	5	0.26×0.25×15/N-70°-E		54	
20号ピット	5	0.30×0.27×21/N-17°-E		54	
21号ピット	5	0.38×0.25×29/N-30°-E		54	
22号ピット	5	0.32×0.24×31/N-47°-W		54	
23号ピット	5	<0.40×<0.16×39/-		54	
24号ピット	5	0.34×0.26×35/N-32°-W		54・55	
25号ピット	5	0.41×0.26×17/N-67°-E		54・55	

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	備考・遺物等	鉢岡	PL.
26号ピット	5	0.43×0.34×21/N-34°-W		54・55	
27号ピット	5	0.31×0.91×15/N-45°-E		54・55	
28号ピット	5	0.42×0.41×32/N-14°-W		52	
29号ピット	5	0.37×0.35×34/N-29°-E		52	
30号ピット	5	0.37×0.33×23/N-44°-W	縄文土器片	52	
31号ピット	5	<0.33×<0.25×18/N-59°-E		52	
32号ピット	5	<0.43×0.39×51/N-17°-W		52	
33号ピット	5	0.40×0.36×37/N-67°-E		52	
34号ピット	5	0.36×0.30×30/N-1°-E	土師器片	52	
35号ピット	5	0.55×0.44×16/N-51°-E		52	
36号ピット	5	0.38×0.33×22/N-9°-E		52	26
37号ピット	5	<0.51×0.39×45/N-47°-W		52・53	
38号ピット	5	0.36×0.29×45/N-49°-E		52・53	
39号ピット	5	0.37×0.30×28/N-45°-W		52・53	26
40号ピット	5	0.34×0.30×40/N-18°-W		54・55	
41号ピット	5	<0.12×<0.18×45/-		54・55	
42号ピット	5	0.27×0.27×31/N-35°-E		54	26
43号ピット	5	0.44×0.38×28/N-58°-E		52・53	
44号ピット	5	<0.33×0.31×17/N-25°-W		52・53	
45号ピット	5	0.44×0.37×17/N-19°-E		52・53	
46号ピット	5	0.38×0.34×47/N-53°-W		52・53	
47号ピット	5	<0.33×0.30×27/N-0°	縄文土器片	52・53	
48号ピット	5	0.32×0.27×45/N-8°-W		52・53	
49号ピット	5	0.32×0.24×60/N-47°-W		52・53	
50号ピット	5	0.24×0.22×36/N-66°-W		52・53	
51号ピット	5	0.30×0.29×20/N-36°-E		52・53	
52号ピット	5	0.29×0.26×27/N-70°-W		52・53	26
53号ピット	5	0.31×0.27×29/N-42°-E		52・53	26
54号ピット	5	0.28×0.25×31/N-85°-W		52・53	
55号ピット	5	0.31×0.23×21/N-14°-E		54・55	
56号ピット	5	0.45×0.24×22/N-74°-W		54・55	
57号ピット	5	<0.55×0.45×46/N-2°-E	縄文土器片	52・53	26
58号ピット	5	0.34×0.27×62/N-3°-E		52	
59号ピット	5	0.50×0.39×45/N-18°-W	土師器片	50	
60号ピット	5	0.31×0.29×68/N-31°-W		50	
61号ピット	5	0.28×0.20×26/N-20°-E	縄文土器片	50	
62号ピット	5	0.25×0.23×41/N-56°-E		50	
63号ピット	5	0.27×0.27×34/N-42°-W	縄文土器片	50	
64号ピット	5	0.32×0.26×29/N-84°-E	縄文土器片	50	
65号ピット	5	0.30×0.26×41/N-63°-E		50	
66号ピット	5	0.27×0.25×14/N-43°-E		50	
67号ピット	5	0.28×0.24×31/N-22°-E		50	
68号ピット	5	0.29×0.27×34/N-85°-E		50	
69号ピット	5	0.29×0.25×14/N-5°-W		50	
70号ピット	5	0.42×0.39×36/N-37°-E		50	
71号ピット	5	0.28×0.28×13/N-35°-W		50	
72号ピット	5	0.30×0.23×23/N-54°-W	土師器片	50	
73号ピット	5	0.32×0.25×47/N-87°-E		50	
74号ピット	5	0.33×0.33×61/N-78°-W		50	
75号ピット	5	0.31×0.29×41/N-49°-W		50	
76号ピット	5	0.25×0.19×42/N-51°-E		50	
77号ピット	5	0.46×0.33×67/N-23°-W		50	
78号ピット	5	0.44×0.40×37/N-52°-E		50	
79号ピット	5	0.25×0.23×35/N-39°-W		50	
80号ピット	5	0.23×0.21×38/N-65°-W		50	
81号ピット	5	<0.32×0.45×51/N-80°-E		50	
82号ピット	5	<0.33×1.25×40/N-27°-W	須恵器杯片・鉄滓	50	
83号ピット	5	0.53×0.45×66/N-59°-W	土師器片・不明鉢片	50	
84号ピット	5	0.47×0.31×64/N-42°-W		50	
85号ピット	5	0.29×0.27×20/N-59°-W		48・49	
86号ピット	5	0.37×0.35×76/N-51°-W		48・49	
87号ピット	5	0.24×0.22×42/N-9°-W		48・49	
88号ピット	5	0.32×0.30×19/N-37°-W		48・49	
89号ピット	5	0.53×0.33×66/N-58°-E		50	27
90号ピット	5	0.31×0.27×36/N-82°-E	土師器片・縄文土器片	48・49	
91号ピット	5	0.51×0.37×54/N-57°-E		48・49	
92号ピット	5	0.43×0.39×44/N-82°-E		48・49	
93号ピット	5	0.36×0.25×43/N-82°-W		48・49	28
94号ピット	5	0.37×0.29×52/N-41°-E		50	
95号ピット	5	0.70×0.52×58/N-82°-W		50・51	

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	参考・遺物等	鉢回	PL.
96号ピット	5	0.30×0.39×45°N-90°		50・51	27
97号ピット	5	0.39×0.26×45°N-87°-E	上飾器片	48・49	28
98号ピット	5	0.45×0.34×38°N-79°-E		48	28
99号ピット	5	0.30×0.27×30°N-73°-E	須恵器片	48・49	28
100号ピット	5	0.42×0.41×44°N-5°-W		48・49	28
101号ピット	5	0.39×0.39×52°N-22°-E		48・49	
102号ピット	5	0.26×0.25×54°N-62°-W		50・51	
103号ピット	5	<0.24>×<0.32>×30/-		50・51	27
104号ピット	5	0.32×0.26×20°N-85°-E		48・49	
105号ピット	1	0.54×0.34×32°N-71°-W		5	
106号ピット	1	0.30×0.23×34°N-27°-W		6	
107号ピット	1	0.54×0.40×56°N-2°-E		6	3
108号ピット	1	0.38×0.37×25°N-69°-E		6	3
109号ピット	1	0.26×0.22×42°N-37°-E		6	3
110号ピット	1	0.33×0.27×29°N-43°-W		6	3
111号ピット	1	0.25×0.22×17°N-34°-W		6	3
112号ピット	1	0.31×0.18×42°N-27°-E		6	
113号ピット	1	0.23×0.24×27°N-35°-W		6	3
114号ピット	1	0.43×0.36×37°N-15°-W		6	3
115号ピット	1	0.36×0.27×46°N-26°-W		6	3
116号ピット	1	0.54×0.24×60°N-29°-W		6	3
117号ピット	1	0.32×0.26×24°N-47°-W		5	3
118号ピット	1	0.39×0.30×57°N-55°-E		5	
119号ピット	1	0.42×0.40×48°N-57°-E	1号柱穴列P 1	7・8	4
120号ピット	1	0.51×0.34×42°N-57°-E	1号柱穴列P 2	7・8	4
121号ピット	1	0.50×0.44×41°N-52°-E	1号柱穴列P 3 胸壁器片	7・8	4
122号ピット	1	0.42×0.35×47°N-25°-E		7	3
123号ピット	1	0.61×0.45×49°N-73°-W	2号柱穴列P 1	9	2・4
124号ピット	1	0.36×0.31×22°N-56°-W		7	2
125号ピット	1	<0.36>×0.33×42°N-28°-W		7	2
126号ピット	1	<0.42>×0.43×51°N-36°-E		9	2・4
127号ピット	1	<0.33>×0.38×53°N-29°-E	2号柱穴列P 2	9	2・4
128号ピット	1	0.50×0.49×55°N-27°-E	2号柱穴列P 3	9	4
129号ピット	1	0.34×0.25×25°N-2°-W		9	
130号ピット	1	0.38×0.37×53°N-1°-E		9	
131号ピット	1	0.58×0.42×27°N-61°-W		10	
132号ピット	1	0.70×0.52×65°N-54°-E	3号柱穴列P 2	10	4
133号ピット	1	0.58×0.50×63°N-42°-E	3号柱穴列P 1	10	4
134号ピット	1	0.50×0.41×43°N-33°-W	4号柱穴列P 1	10	4
135号ピット	1	0.44×0.39×35°N-22°-W	4号柱穴列P 2	10	4
136号ピット	1	0.45×0.36×50°N-3°-E	4号柱穴列P 3	10	4
137号ピット	1	0.42×0.38×24°N-64°-W		10	4
138号ピット	1	0.55×0.48×66°N-19°-E		10	
139号ピット	1	0.50×0.47×29°N-5°-W		10	
140号ピット	1	0.32×0.30×31°N-38°-E		10	
141号ピット	1	0.25×0.23×51°N-55°-W		5	2
142号ピット	1	<0.33>×0.36×31°N-39°-W		6	3
143号ピット	1	0.26×0.22×25°N-70°-W		5	
144号ピット	1	0.32×0.30×30°N-10°-E		5	2
145号ピット	10	<0.31>×<0.21>×26°N-32°-E		94	
146号ピット	10	0.54×<0.31>×40°N-6°-W		94	
147号ピット	10	<0.87>×<0.40>×43°N-66°-W		94	
148号ピット	10	0.85×<0.40>×37°N-70°-W		94	
149号ピット	10	0.52×0.46×33°N-34°-W	陶器片	93	
150号ピット	1	0.43×0.32×36°N-84°-W		10	
151号ピット	3	0.52×0.38×54°N-13°-E	上飾器杯片・須恵器片	27	11
152号ピット	3	0.62×0.43×50°N-28°-W	須恵器口縁部片	27	11
153号ピット	3	0.46×0.26×42°N-23°-E		27	11
154号ピット	3	0.53×0.38×43°N-65°-E	上飾器杯片・須恵器口縁部片	27	11
155号ピット	3	0.59×0.37×53°N-1°-W	跳溝	27	11
156号ピット	3	<0.48>×0.36×47°N-80°-W	上飾器口縁部片・須恵器杯・甕・蓋・跳溝	27	11
157号ピット	3	0.39×0.35×51°N-26°-W	石製品片(砾石か?)	27	11
158号ピット	3	0.33×0.26×53°N-57°-E		27	11
159号ピット	3	0.35×0.32×38°N-39°-E	上飾器杯・甕片	27	
160号ピット	3	0.39×<0.30>×31/-		27	
161号ピット	3	0.33×0.30×47°N-56°-W		27	11
162号ピット	3	0.37×0.31×36°N-55°-E		27	
163号ピット	3	0.42×0.41×46°N-69°-W		27	11
164号ピット	3	0.40×0.37×43°N-57°-W	須恵器杯片	27	43
165号ピット	3	<0.61>×<0.46>×38°N-48°-E		27	

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	備考・遺物等	鉢岡	PL.
166号ピット	3	0.67×0.53×26°/N-10°-E	須恵器口縁片	28	
167号ピット	3	0.52×0.50×43°/N-5°-E	須恵器杯、甕片	28	12
168号ピット	3	0.30×0.28×23°/N-42°-W		28	12
169号ピット	3	0.24×0.19×16°-		28	
170号ピット	3	<0.30×0.28×13°/N-57°-W		28	12
171号ピット	3	0.28×0.26×34°/N-65°-W	上師器片	28	
172号ピット	3	<0.34×0.26×23°/-		28	
173号ピット	3	0.20×0.19×27°/N-44°-E		29	
174号ピット	3	0.21×0.19×23°/N-33°-E		29	
175号ピット	3	0.27×0.23×38°/N-78°-W		29	
176号ピット	3	0.28×0.25×30°/N-20°-E		29	13
177号ピット	3	0.29×0.23×31°/N-88°-E	上師器片・須恵器片	29	13
178号ピット	3	0.34×0.30×29°/N-66°-W		29	13
179号ピット	3	0.38×0.29×26°/N-25°-W		29	13
180号ピット	3	0.26×0.24×27°/N-47°-E	上師器片	29	13
181号ピット	3	0.42×0.29×50°/N-20°-W		29	13
182号ピット	3	0.44×0.31×43°/N-7°-W	黒色土器片・須恵器高台脚片	29	13
183号ピット	3	0.28×0.26×23°/N-38°-E		29	13
184号ピット	3	0.53×0.51×45°/N-76°-W	須恵器片	30	14
185号ピット	3	0.43×0.41×36°/N-2°-E	上師器片	29	13
186号ピット	3	0.33×0.30×61°/N-6°-E		30	14
187号ピット	3	0.28×0.26×44°/N-18°-E	須恵器片	29	13
188号ピット	3	0.49×0.43×19°/N-21°-E		29	13
189号ピット	6	0.36×0.31×28°/N-43°-E		59	
190号ピット	6	0.36×0.33×21°/N-26°-W		59	
191号ピット	6	0.43×0.39×25°/N-27°-E		60	
192号ピット	6	<0.26×0.26×20°/-		60	
193号ピット	6	0.31×0.26×66°/N-81°-E		61	
194号ピット	6	0.50×0.48×41°/N-73°-W	陶磁器片	61	
195号ピット	6	0.46×0.45×54°/N-76°-E		61	
196号ピット	6	0.42×0.40×82°/N-57°-W		61	
197号ピット	6	0.43×0.33×67°/N-79°-E		61	
198号ピット	6	0.26×0.23×29°/N-24°-E		61	
199号ピット	6	0.59×0.40×47°/N-8°-W		60	
200号ピット	6	0.53×0.33×42°/N-32°-E		62	32
201号ピット	6	0.43×0.35×41°/N-37°-E		62	32
202号ピット	6	0.46×0.32×40°/N-72°-E		62	32
203号ピット	6	0.41×0.40×41°/N-23°-W		62	32
204号ピット	8	0.34×0.33×17°/N-12°-W	上師器片	72	
205号ピット	8	0.34×0.31×14°/N-66°-E		72	37
206号ピット	8	0.24×0.24×33°/N-55°-E		73	
207号ピット	8	0.25×0.22×35°/N-35°-E		73	
208号ピット	8	0.29×0.27×26°/N-66°-E		73	
209号ピット	8	0.32×0.28×46°/N-72°-E		73・74	
210号ピット	8	0.30×0.28×51°/N-52°-E		73	
211号ピット	8	0.35×0.31×44°/N-60°-E		73	
212号ピット	8	0.41×0.29×46°/N-82°-E		73	
213号ピット	8	0.28×0.26×47°/N-15°-W		73	
214号ピット	8	0.40×0.34×59°/N-89°-E	上師器片	73	
215号ピット	8	0.34×0.24×59°/N-87°-E		73・74	
216号ピット	8	0.27×0.25×34°/N-23°-W		73・74	
217号ピット	8	0.23×0.22×23°/N-55°-E		73・74	
218号ピット	8	0.29×0.27×45°/N-60°-E		73・74	
219号ピット	8	0.26×0.22×49°/N-61°-W	砥石	73・74	
220号ピット	8	<0.27×0.27×19°/N-77°-W		73・74	
221号ピット	8	<0.25×0.27×41°/N-87°-W	上師器片	73・74	
222号ピット	8	0.37×0.31×34°/N-89°-E		73・74	
223号ピット	8	0.37×0.32×49°/N-53°-W		73・74	
224号ピット	8	<0.31×0.24×51°/N-29°-E		73・74	
225号ピット	8	0.44×0.39×53°/N-16°-E		73・74	
226号ピット	8	0.32×0.26×53°/N-36°-E		73・74	
227号ピット	8	0.29×0.24×27°/N-34°-E		73・74	
228号ピット	8	0.37×0.31×26°/N-27°-W		73・74	
229号ピット	8	0.36×0.33×31°/N-74°-E	上師器片	73・74	
230号ピット	8	0.49×0.39×22°/N-49°-E		73・74	
231号ピット	8	<0.32×0.37×28°/N-49°-W		73・74	
232号ピット	8	0.38×0.33×33°/N-11°-E	上師器口縁片	73・74	
233号ピット	8	0.43×0.27×38°/N-7°-E		73・74	
234号ピット	8	0.35×0.25×22°/N-81°-W		73・74	
235号ピット	8	0.39×0.31×49°/N-68°-W		73・74	

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	参考・遺物等	鉢図	PL.
236号ピット	8	0.30×0.29×52° N-48°-E		73	74
237号ピット	8	0.31×0.26×65° N-38°-W		73	74
238号ピット	8	0.29×0.21×61° N-45°-W		73	74
239号ピット	8	<0.25×0.22×55° N-45°-E		73	74
240号ピット	8	0.36×0.16×32/-		73	74
241号ピット	8	0.43×0.42×50° N-3°-W		73	74
242号ピット	8	0.23×0.20×28° N-40°-W		73	74
243号ピット	8	<0.25×0.14×26° N-27°-W		73	38
244号ピット	8	<0.28×0.23×31/-		73	74
245号ピット	8	0.49×0.40×20° N-20°-W		73	74
246号ピット	8	0.30×0.23×34° N-7°-E	上師器片	73	74
247号ピット	8	0.27×0.23×35° N-43°-E	上師器片・彌唐器片口縁片・残片	73	74
248号ピット	8	0.28×0.26×29° N-35°-E		73	74
249号ピット	8	0.27×0.24×54° N-55°-W	須唐器片	73	74
250号ピット	8	0.28×0.27×46° N-43°-E		73	74
251号ピット	8	0.28×0.27×20° N-88°-E		73	74
252号ピット	8	<0.42×0.25×15° N-5°-E		72	
253号ピット	8	0.30×0.27×16° N-11°-E		72	
254号ピット	4	0.91×0.63×58° N-74°-W		42	
255号ピット	4	0.48×0.40×55° N-2°-W	上師器片	42	
256号ピット	4	0.75×0.65×73° N-42°-E	須唐器片断片	42	
257号ピット	4	0.42×0.33×68° N-39°-E	煙管瓶	42	
258号ピット	4	0.55×0.42×0.50×50° N-39°-E	上師器片・須唐器片	42	
259号ピット	4	0.32×0.30×51° N-50°-W		42	
260号ピット	4	0.47×0.44×32° N-16°-E	上師器片・陶磁器片	42	21
261号ピット	4	0.54×0.47×45° N-21°-E		41	
262号ピット	4	0.41×0.36×54° N-42°-E		41	
263号ピット	4	0.39×0.33×59° N-81°-W		41	20
264号ピット	4	0.30×0.24×26° N-75°-E		41	
265号ピット	4	0.45×0.30×28° N-29°-E		41	
266号ピット	4	0.40×0.40×44° N-15°-E		41	50
267号ピット	2	0.55×0.40×61° N-87°-W		17	
268号ピット	2	0.55×0.51×35° N-15°-W	2号柵 P 4	17	18
269号ピット	2	0.34×0.26×45° N-66°-E		17	
270号ピット	2	0.50×0.42×47° N-34°-E		17	
271号ピット	2	0.36×0.28×45° N-54°-E	1号掘立柱建物 P 3	17	19
272号ピット	2	0.44×0.39×36° N-46°-W	1号掘立柱建物 P 4 土師器片・須唐器片	17	19
273号ピット	2	0.26×0.26×26° N-3°-E		17	
274号ピット	2	0.31×0.26×60° N-67°-W		17	
275号ピット	2	0.30×0.29×60° N-89°-W	瓦片	17	
276号ピット	2	0.28×0.23×57° N-77°-W		17	
277号ピット	2	0.57×0.38×54° N-25°-W		17	
278号ピット	2	<0.29×0.26×19° N-44°-W		17	
279号ピット	2	0.30×0.25×32° N-7°-W		17	
280号ピット	2	0.54×0.53×42° N-29°-E	1号掘立柱建物 P 1	17	19
281号ピット	2	0.28×0.22×21° N-49°-W		17	
282号ピット	2	0.30×0.23×26° N-45°-W		17	
283号ピット	2	0.42×0.37×27° N-1°-W		17	
284号ピット	2	0.36×0.28×67° N-11°-E		17	
285号ピット	2	0.39×0.31×63° N-23°-E	1号柵 P 4	17	18
286号ピット	2	0.19×0.18×23° N-14°-E		17	
287号ピット	2	0.24×0.23×34° N-85°-W		17	
288号ピット	2	0.46×0.39×54° N-47°-E	1号掘立柱建物 P 5	17	19
289号ピット	2	0.57×0.43×51° N-3°-E	396号ピット(1号掘立柱建物 P 6)	17	
290号ピット	2	0.25×0.22×67° N-23°-W	396号ピット(1号掘立柱建物 P 6)	17	
291号ピット	2	0.42×0.36×44° N-87°-W		17	
292号ピット	2	0.45×0.35×60° N-56°-E	1号柵 P 3 上師器片	17	18
293号ピット	2	0.58×0.44×44° N-24°-E	2号柵 P 1	17	18
294号ピット	2	0.44×0.42×46° N-66°-W		17	18
295号ピット	2	0.45×0.32×48° N-68°-E		17	
296号ピット	2	0.33×0.30×56° N-75°-E	2号柵 P 2	17	18
297号ピット	2	0.36×0.37×52° N-68°-W		17	
298号ピット	2	0.38×0.41×33° N-68°-W		17	
299号ピット	2	0.33×0.30×57° N-3°-W	1号柵 P 2	17	18
300号ピット	2	0.71×0.56×65° N-4°-E	黒色土器片	15	
301号ピット	2	0.32×0.25×43° N-26°-W		15	
302号ピット	2	0.92×0.72×19° N-47°-W		15	
303号ピット	2	0.24×0.22×46° N-6°-E		15	
304号ピット	2	0.57×0.47×19° N-76°-W		15	16
305号ピット	2	0.55×0.34×37° N-5°-E		15	6

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	参考・遺物等	鉢岡	PL.
306号ピット	2	0.32×0.30×33°N-63°-W		15	16
307号ピット	2	0.31×0.28×47°N-15°-E		15	16
308号ピット	2	0.30×0.23×29°N-32°-W		15	16
309号ピット	2	0.46×0.40×43°N-25°-W		15	16
310号ピット	2	0.45×0.33×25°N-84°-W		15	16
311号ピット	2	0.31×0.27×33°N-45°-W		15	16
312号ピット	2	0.39×0.25×27°N-14°-W		15	16
313号ピット	2	0.46×0.41×40°N-21°-W		15	16
314号ピット	2	0.25×0.22×32°N-35°-E		15	16
315号ピット	2	0.23×0.18×33°N-67°-W		15	16
316号ピット	2	0.49×0.43×54°N-30°-W		15	16
317号ピット	2	0.34×0.26×44°N-89°-W		15	16
318号ピット	2	0.45×0.37×40°N-26°-W		15	16
319号ピット	2	0.39×0.26×19°N-79°-E		15	16
320号ピット	2	0.32×0.32×41°N-90°		15	16
321号ピット	2	0.32×0.31×32°N-55°-E		15	16
322号ピット	2	0.41×0.29×40°N-37°-E		13	
323号ピット	2	0.48×0.38°N-31°-W		13	
324号ピット	2	0.64×0.49×36°N-80°-E	黒色土器片	13	
325号ピット	2	0.44×0.41×37°N-34°-E		13	
326号ピット	2	0.68×0.35×57°N-41°-W		13	
327号ピット	2	0.47×0.30×35°N-60°-E		13	
328号ピット	2	0.25×0.24×34°N-38°-W		12	
329号ピット	2	0.33×0.30×40°N-57°-W		12	
330号ピット	2	0.36×0.28×30°N-38°-E		12	
331号ピット	2	0.32×0.31×50°N-57°-W		12	
332号ピット	2	0.51×0.29×59°N-41°-W		12	
333号ピット	2	0.29×0.23×41°N-19°-E		12	
334号ピット	2	0.47×0.44×46°N-1°-E		12	
335号ピット	2	0.58×0.48×43°N-44°-W		12	
336号ピット	2	0.50×0.31×46°N-40°-E		12	
337号ピット	2	0.98×0.54×36°N-48°-E		12	
338号ピット	2	0.34×0.31×48°N-89°-E		12	
339号ピット	2	0.25×0.23×29°N-23°-W		12	
340号ピット	2	0.29×0.26×29°N-58°-W		12	
341号ピット	2	0.59×0.54×42°N-56°-E		12	
342号ピット	2	0.49×0.45×43°N-75°-W		12	
343号ピット	7	0.26×0.20×13°N-78°-E		68	34
344号ピット	7	0.26×0.23×29°N-8°-E		68	
345号ピット	7	0.57×0.54×38°N-19°-E		68	34
346号ピット	7	0.28×0.20×35°N-28°-E		68	34
347号ピット	7	0.36×0.35×37°N-32°-E		68	34
348号ピット	7	0.31×0.31×23°N-24°-E		68	34
349号ピット	7	0.23×0.22×31°N-7°-E		68	
350号ピット	7	0.30×0.25×29°N-85°-E		68	
351号ピット	7	0.22×0.19×20°N-66°-E		68	34
352号ピット	7	0.35×0.30×32°N-57°-W		68	34
353号ピット	7	0.24×0.21×38°N-21°-W		68	34
354号ピット	7	0.49×0.47×60°N-2°-E		67	35
355号ピット	7	0.62×0.53×37°N-64°-W		67	35
356号ピット	7	0.51×0.39×44°N-66°-W		67	35
357号ピット	7	0.26×0.23×22°N-63°-E		67	35
358号ピット	7	0.33×0.26×35°N-41°-E		67	
359号ピット	7	0.24×0.24×37°N-51°-E		67	35
360号ピット	7	0.19×0.17×33°N-15°-E		67	35
361号ピット	7	0.42×0.38×12°N-19°-W		67	
362号ピット	7	0.30×0.27×38°N-3°-W		67	
363号ピット	7	0.24×0.22×45°N-42°-W		67	35
364号ピット	7	0.47×0.37×47°N-3°-E		67	35
365号ピット	7	0.30×0.28×14°N-81°-W		67	35
366号ピット	7	0.23×0.23×26°N-66°-E		67	
367号ピット	7	0.27×0.26×31°N-82°-W		66	
368号ピット	7	0.24×0.22×22°N-23°-E		66	
369号ピット	7	0.34×0.29×58°N-70°-E		66	
370号ピット	7	0.73×0.71×24°N-5°-W		66	35
371号ピット	7	0.32×0.24×41°N-31°-E		66	
372号ピット	7	0.30×0.29×53°N-65°-E		66	
373号ピット	7	<0.22>×0.24×19°N-81°-W		65	
374号ピット	7	0.24×0.21×23°N-4°-W		65	
375号ピット	7	0.29×0.28×25°N-40°-E		65	

造構一覧表

造構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	備考・遺物等	鉢岡	PL.
376号ビット	7	0.32×0.29×38° N-50°-W		65	
377号ビット	7	<0.50×0.78×27°-		67	
378号ビット	7	0.54×0.52×26° N-68°-E		67	
379号ビット	7	0.22×0.20×20° N-60°-E		67	
380号ビット	2	0.38×0.36×31° N-5°-W		17	
381号ビット	2	<0.25×0.24×37° N-35°-W		17	
382号ビット	2	0.29×0.26×36° N-3°-E		17	
383号ビット	2	0.27×0.25×54° N-50°-E	1号掘立柱建物 P 2	17~19	
384号ビット	2	0.33×0.26×59° N-3°-E		17	
385号ビット	2	0.23×0.22×51°-		17	
386号ビット	2	0.20×0.17×44° N-2°-E		17	
387号ビット	2	0.20×0.19×30° N-10°-E		17	
388号ビット	2	0.32×0.27×26° N-55°-W		17~19	
389号ビット	2	<0.17×0.25×28° N-14°-W		17	
390号ビット	2	0.64×0.30° N-67°-W	2号柵 P 3	17~18	
391号ビット	2	<0.20×0.29×24° N-20°-E		17	
392号ビット	2	<0.29×0.31×34° N-9°-E		17	
393号ビット	2	0.44×0.30×44° N-89°-W		17	
394号ビット	2	0.46×0.25×22° N-62°-E		17	
395号ビット	2	0.29×0.21×32° N-37°-E		17	
396号ビット	2	0.37×0.41×51°-	1号掘立柱建物 P 6 (289号+290号ビット)	17~19	
397号ビット	2	0.23×0.16×44° N-13°-E		17	
398号ビット	2	0.37×0.37×46° N-16°-E	1号柵 P 1	17~18	
399号ビット		欠番			
400号ビット	2	0.69×0.34×53° N-60°-W		17	
401号ビット	2	0.27×0.21×36° N-22°-E		15~16	
402号ビット	2	0.33×0.28×60° N-22°-E		15~16	
403号ビット	2	0.31×0.28×56° N-13°-E		15~16	
404号ビット	2	0.38×0.30×40° N-67°-E		15~16	
405号ビット	2	0.46×0.32×26° N-54°-W		15~16	
406号ビット	2	0.38×0.29×42° N-71°-W		15~16	
407号ビット	2	0.25×0.18×18° N-53°-W		15~16	
408号ビット	2	<0.36×0.31×24° N-15°-E		15	
409号ビット	2	0.39×0.27×54° N-3°-E		15~16	
410号ビット	2	0.30×0.29×52° N-83°-W		15~16	
411号ビット	2	0.27×0.24×39° N-7°-E		15~16	
412号ビット	2	0.42×0.31×61° N-9°-E		15~16	
413号ビット	2	0.24×0.21×64° N-4°-W		15~16	
414号ビット	2	0.49×0.37×51° N-77°-E		15~16	
415号ビット	2	0.61×0.30×44° N-80°-E		13	
416号ビット	2	<0.37×0.35×33° N-85°-E		15~16	
417号ビット	2	0.33×0.30×46° N-18°-W		15~16	
418号ビット	9	0.38×0.29×34° N-78°-E	4号柵 P 1	88~89	
419号ビット	9	0.46×0.37×45° N-9°-W	4号柵 P 2	88~89	
420号ビット	9	0.45×0.41×28° N-37°-E	4号柵 P 8	88~89	
421号ビット	9	0.78×0.46×59° N-28°-W	3号柵 P 7	88~89	
422号ビット	9	0.30×0.22×27° N-76°-W		88	
423号ビット	9	0.38×0.28×56° N-55°-W		88	
424号ビット	9	0.43×0.37×46° N-70°-E		87	
425号ビット	9	0.29×0.29×31° N-55°-E		87	
426号ビット	9	<0.31×0.32×62° N-32°-E		87	
427号ビット	9	0.34×0.27×33° N-62°-E		87	
428号ビット	9	0.47×0.32×40° N-18°-E		87	
429号ビット	9	0.35×0.33×30° N-70°-E		87	
430号ビット	9	0.30×0.29×39° N-33°-W	鋼製品	87	50
431号ビット	9	<0.38×0.36×9°/-		87	50
432号ビット	9	0.39×0.35×47° N-7°-E		87	
433号ビット	9	0.37×0.35×24° N-44°-E		87	51
434号ビット	9	0.36×0.34×40° N-36°-E		87	
435号ビット	9	0.36×0.33×27° N-3°-W		87	
436号ビット	9	0.24×0.22×22° N-47°-E		87	51
437号ビット	9	0.33×0.29×20° N-80°-E		87	51
438号ビット	9	0.30×0.30×23° N-30°-E		87	51
439号ビット	9	<0.40×0.48×26° N-70°-E		87	51
440号ビット	9	0.44×0.31×34° N-11°-E		87	51
441号ビット	9	0.22×0.21×28° N-28°-W		88	
442号ビット	9	0.41×0.39×51° N-23°-W	4号柵 P 7	88~89	
443号ビット	9	0.37×0.31×40° N-33°-W	3号柵 P 8	88~89	
444号ビット	9	0.22×0.22×40° N-27°-W		88	
445号ビット	9	0.28×0.28×32° N-18°-W		88	

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	参考・遺物等	鉢回	PL.
446号ピット	9	0.42×0.42×36°N-66°-E		88・89	
447号ピット	9	0.35×0.34×43°N-3°-W		88・89	
448号ピット	9	0.52×0.47×43°N-75°-W		88・89	
449号ピット	9	0.38×0.33×33°N-3°-W		88・89	
450号ピット	9	0.30×0.27×42°N-76°-W		87	
451号ピット	9	0.40×0.33×53°N-26°-E		87	50
452号ピット	9	<0.59×0.52×82/-		87	
453号ピット	9	0.63×0.54×69°N-36°-E		87	
454号ピット	9	0.27×0.24×47°N-10°-W		87	50
455号ピット	9	0.23×0.21×52°N-10°-W		87	50
456号ピット	8	0.23×0.23×25°N-3°-W	上脚器片	75	
457号ピット	8	0.37×0.20×25°N-9°-E		75	
458号ピット	8	0.36×0.33×47°N-67°-W		75	
459号ピット	8	0.25×0.24×11°N-48°-E		75	
460号ピット	8	0.35×0.33×29°N-85°-E		75	43
461号ピット	8	0.29×0.24×26°N-72°-W		75	43
462号ピット	8	0.22×0.21×19°N-41°-W		75	43
463号ピット	8	0.33×0.30×47°N-71°-W		75	43
464号ピット	8	0.34×0.33×26°N-63°-E	須恵器杯底部片	75	
465号ピット	8	<0.74×0.73×21°N-45°-E		75	44
466号ピット	8	<0.23×0.26×20/-		75・76	
467号ピット	8	0.53×0.48×34°N-4°-W		75・76	
468号ピット	8	0.30×0.29×33°N-5°-W		75・76	
469号ピット	8	0.46×0.45×56°N-29°-E	2号掘立柱建物P 1	75・78	
470号ピット	8	0.29×0.26×36°N-49°-W		75・76	
471号ピット	8	0.52×0.46×32°N-23°-W		75・76	
472号ピット	8	0.50×0.42×28°N-49°-W		75・76	
473号ピット	8	0.44×0.35×31°N-17°-E		75・76	
474号ピット	8	0.29×0.28×38°N-70°-E		75・76	
475号ピット	8	0.28×0.26×47°N-72°-E		75・76	
476号ピット	8	<0.46×0.26×19/-		75・76	
477号ピット	8	0.38×0.30×29°N-78°-W	2号掘立柱建物P 2	75・78	44
478号ピット	8	0.34×0.26×17°N-52°-W		75・76	
479号ピット	8	0.22×0.20×28°N-32°-W		75・76	
480号ピット	8	0.30×0.30×39°N-51°-E		75・76	
481号ピット	8	0.39×0.34×23°N-89°-E		75・76	
482号ピット	8	0.39×0.35×27°N-44°-E		75・76	
483号ピット	8	0.35×0.29×22°N-45°-W		75・76	
484号ピット	8	0.43×0.36×42°N-48°-W	2号掘立柱建物P 6	75・78	
485号ピット	8	0.35×0.26×31°N-18°-E		75・76	44
486号ピット	8	0.32×0.27×32°N-73°-W		75・76	44・47
487号ピット	8	0.39×0.39×53°N-87°-E	2号掘立柱建物P 7	75・78	44
488号ピット	8	<0.27×31°N-48°-W		75・76	44
489号ピット	8	0.43×0.42×56°N-68°-E	5号櫛P 1	75・78	
490号ピット	8	0.34×0.30×41°N-77°-W		75・76	47
491号ピット	8	0.48×0.38×30°N-13°-E		75・76	47
492号ピット	8	0.27×0.26×21°N-13°-E		75・76	47
493号ピット	8	0.29×0.28×33°N-50°-E	須恵器杯口縁片	75・76	47
494号ピット	8	0.47×0.41×64°N-44°-W	5号櫛P 2	75・78	
495号ピット	8	0.43×0.35×36°N-15°-W	須恵器杯口縁片	75・76	47
496号ピット	8	0.41×0.38×23°N-61°-E		75・76	47
497号ピット	8	0.37×0.37×65°N-5°-E	5号櫛柱穴P 3	75・78	
498号ピット	8	<0.23×0.21×35°N-90°		75・76	
499号ピット	8	0.35×0.31×62°N-12°-E		75・76	
500号ピット	8	0.36×0.35×49°N-88°-W		75・76	
501号ピット	8	0.30×0.29×28°N-64°-E		75・76	
502号ピット	8	0.41×0.34×43°N-5°-E	2号掘立柱建物P 5　主脚器小型廣口縁片	75・78	
503号ピット	8	0.34×0.30×40°N-59°-E	2号掘立柱建物P 4	75・78	
504号ピット	8	0.46×0.35×18°N-54°-E		75・76	
505号ピット	8	0.68×0.54×24°N-87°-E		75・76	
506号ピット	8	0.51×0.39×42°N-12°-W		75・76	45
507号ピット	8	0.45×0.37×15°N-44°-E		75・76	45
508号ピット	8	0.31×0.27×24°N-4°-W		75・76	45
509号ピット	8	0.48×0.42×17°N-6°-E		75・76	
510号ピット	8	0.52×0.45×18°N-57°-E		75・76	45
511号ピット	8	0.47×0.31×33°N-13°-E		75・76	45
512号ピット	8	0.55×0.40×37°N-26°-E		75・76	
513号ピット	8	<0.31×24.1×39°N-39°-W		77	
514号ピット	8	0.48×0.39×30°N-31°-W		77	
515号ピット	8	0.25×0.23×27°N-40°-W		77	

遺構一覧表

遺構名	区	規模(長m×幅m×深cm/方位)	箇考・遺物等	捕図	PL.
516号ピット	8	0.28×0.25×29/N-69°-E		77	
517号ピット	8	0.44×0.42×18/N-49°-W		77	
518号ピット	8	0.60×0.56×23/N-30°-E		77	
519号ピット	8	0.39×0.31×15/N-45°-E		77	
520号ピット	8	0.41×0.36×22/N-6°-W		77	
521号ピット	8	0.39×0.36×69/N-52°-E		77	
522号ピット	8	0.34×0.33×23/N-74°-E		77	
523号ピット	8	0.45×0.41×31/N-32°-E	2号掘立柱建物P 3	75・78	
524号ピット	8	0.31×0.28×36/N-89°-W	土師器小型攢口縁片	75・76	
525号ピット	9	0.30×0.21×44/N-14°-W		88・89	
526号ピット	9	0.41×0.37×51/N-22°-W		88・89	
527号ピット	9	0.40×0.30×57/N-81°-W		88・89	
ピットA	6	0.45×0.34×-/N-15°-W		62	33

掘立柱建物

遺構名	区	規模(建物: 芽々直離/方位 柱穴: 長m×幅m×深cm/方位)	遺物等	捕図	PL.
柱穴番号(調査時名稱)	位				
1号掘立柱建物	2	東辺4.12m/N-6°-E、西辺4.12m/N-1°-W、北辺3.32m/N-77°-W、南辺2.70m/N-76°-W		17~19	8
P 1 (280号ピット)	0.54×0.53×42/N-29°-E			17~19	8
P 2 (383号ピット)	0.27×0.25×54/N-50°-E			17~19	8
P 3 (271号ピット)	0.36×0.28×45/N-54°-E			17~19	8
P 4 (272号ピット)	0.44×0.39×36/N-46°-W	土師器類/須恵器片		17~19	8
P 5 (288号ピット)	0.46×0.39×54/N-47°-E			17~19	8
P 6 (396号ピット)	0.57×0.41×51/-			17~19	8
2号掘立柱建物	8	母岸: 東辺3.27m、西辺3.18m/N-6°-E、北辺2.19m、南辺2.21m 底: 東辺0.77m、西辺0.80m、幅2.21m		75・78	44~46
P 1 (469号ピット)	0.45×0.45×56/N-29°-E			75・78	46
P 2 (477号ピット)	0.38×0.30×29/N-78°-W			75・78	44
P 3 (523号ピット)	0.45×0.41×31/N-32°-E			75・78	46
P 4 (503号ピット)	0.34×0.30×40/N-59°-E			75・78	46
P 5 (502号ピット)	0.41×0.34×43/N-5°-E	土師器小型攢口縁片		75・78	46
P 6 (484号ピット)	0.43×0.36×42/N-48°-W			75・78	46
P 7 (487号ピット)	0.39×0.39×53/N-87°-E			75・78	45・46
P 8	0.39×0.35×41/N-28°-E	277号土坑内		75・78	44~46

樋・柱穴列

遺構名	区	規模(芽々長/方位 柱穴: 長m×幅m×深cm/方位)	遺物等	捕図	PL.
柱穴番号(調査時名稱)					
1号樋	2	3.96m/N-79°-W		17・18	8
P 1 (398号ピット)	0.37×0.37×46/N-16°-E			17・18	8
P 2 (299号ピット)	0.33×0.30×57/N-3°-W			17・18	8
P 3 (292号ピット)	0.45×0.35×60/N-56°-E			17・18	8
P 4 (285号ピット)	0.39×0.31×63/N-23°-E			17・18	8
2号樋	2	5.33m/N-1°-E		17・18	8
P 1 (293号ピット)	0.58×0.44×44/N-24°-E			17・18	8
P 2 (296号ピット)	0.33×0.30×56/N-75°-E			17・18	8
P 3 (390号ピット)	0.64×0.30×46/N-67°-W			17・18	8
P 4 (268号ピット)	0.55×0.51×35/N-15°-W			17・18	8
3号樋	9	4.20m/N-81°-W		88・89	51
P 1		0.39×0.36×39/N-31°-W		88・89	51
P 2		0.44×0.40×46/N-24°-W		88・89	51
P 3		0.66×0.55×118/N-27°-W		88・89	51
P 4		0.30×0.24×46/N-28°-E		88・89	51
P 5		0.34×0.31×45/N-26°-W		88・89	51
P 6		1.22×0.43×58/N-3°-E		88・89	51
P 7 (421号ピット)		0.78×0.46×59/N-28°-W		88・89	51
P 8 (445号ピット)		0.37×0.31×40/N-33°-W		88・89	51
4号樋	9	4.92m/N-81°-W		88・89	51
P 1 (418号ピット)		0.38×0.29×34/N-78°-E		88・89	51
P 2 (419号ピット)		0.46×0.37×45/N-9°-W		88・89	51
P 3		0.39×0.32×23/N-4°-E		88・89	51
P 4		0.54×0.32×32/N-16°-E		88・89	51
P 5		0.52×0.38×38/N-4°-W		88・89	51
P 6		-×-×-/-		88・89	51
P 7 (442号ピット)		0.41×0.39×51/N-23°-W		88・89	51
P 8 (420号ピット)		0.45×0.41×28/N-37°-E		88・89	51
5号樋	8	3.28m/N-5°-E		75・78	46・47
P 1 (489号ピット)		0.43×0.42×56/N-68°-E		75・78	46
P 2 (494号ピット)		0.47×0.41×64/N-44°-W		75・78	47
P 3 (497号ピット)		0.37×0.37×65/N-5°-E		75・78	47

遺構一覧表

遺構名	区 柱穴番号(調査時名稱)	規模(芯々長/方位 柱穴:長m×幅m×深cm/方位)	遺物等	掃図	PL.
1号柱穴列	1	P 1-P 2 : 1.95m/N-63°-W P 2-P 3 : 2.72m/N-31°-E		7・8	4
P 1 (119号ピット)		0.42×0.40×48/N-57°-E		7・8	4
P 2 (120号ピット)		0.51×0.34×42/N-57°-E		7・8	4
P 3 (121号ピット)		0.50×0.44×41/N-52°-E	陶磁片	7・8	4
2号柱穴列	1	4.51m/N-26°-E		9	2・4
P 1 (123号ピット)		0.61×0.45×49/N-75°-W		9	2・4
P 2 (127号ピット)		<0.33×0.38×53/N-29°-E		9	2・4
P 3 (128号ピット)		0.50×0.49×55/N-27°-E		9	4
3号柱穴列	1	2.49m/N-77°-W		10	4
P 1 (132号ピット)		0.70×0.52×65/N-54°-E		10	4
P 2 (133号ピット)		0.58×0.50×63/N-42°-E		10	4
4号柱穴列	1	2.65m/N-75°-W		10	4
P 1 (134号ピット)		0.50×0.41×43/N-33°-W		10	4
P 2 (135号ピット)		0.44×0.39×35/N-22°-W		10	4
P 3 (136号ピット)		0.45×0.36×50/N-3°-E		10	4

堅穴建物・堅穴状遺構

遺構名	区 堅穴(堅穴建物:長軸長m×短軸長m×深さcm/面積m/ 方位 内部道構:長m×幅m×高cm/長軸方位)	遺物等	掃図	PL.
1号堅穴建物	3 3.39×1.53×30/<2.76>/N-10°-W	上師器・須恵器、環状石製品、鉄滓	33	15・16
2号堅穴建物	3 4.16×3.44×46/<10.70>/N-53°-E	上師器・甕、須恵器・蓋・高台碗・甕・甕、其、鉄滓、平瓦完形品	34~37	13・16 ~18
3号堅穴建物	3 3.25×2.03×47/<5.43>/N-2°-W	上師器・甕、灰釉陶、砾石、鉄滓、瓦	38・39	14・ 18・19
4号堅穴建物	8 3.41×2.95・3.23×51/9.86/N-0°	上師器・甕、須恵器・蓋・甕・鐵文土器、鉄滓	79~81	38~41
5号堅穴建物	8 4.31×3.13×23/<13.19>/N-8°-E	上師器・甕、須恵器碗	82・83	41・42
6号堅穴建物	4 東<西1.64>×南北<1.73>×39/<2.83>/N-79°-W	上師器甕・須恵器・無台碗・甕・甕・炭化材	43・44	22・23
7号堅穴建物	4 3.75×3.40×24/12.29/N-85°-W	上師器・甕・須恵器碗・石器・鐵文土器片	45・46	23
8号堅穴建物	2 5.04×3.58×43/17.64/N-52°-W	上師器・甕・須恵器・蓋・盤・甕・鐵文土器・道具灰・右筋肋輪・炭化材	20~25	9・10
9号堅穴建物	8 3.16×0.58×83/<5.05>/N-77°-W	上師器・甕・鐵滓	84	47・48
1号堅穴状遺構	5 1.69×2.56×12/<7.00>/-	上師器・甕・須恵器・甕・鐵滓	57	28・29

遺物観察表

2区1号土坑

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第184-1 PL.57-1	1	錢貨 元豐通寶	ほぼ完形	外 内 2.43 1.85 厚 重 0.13 2.2	胎土/焼成/色調 石材・素材等	篆書体。面の形は深く文字輪郭が明瞭。背の形はやや浅いが輪、郭は明瞭。輪の一部が欠けた。

2区196号土坑

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第184-1 PL.57-2	1	鉄製品 タガネか	一部欠損	長 幅 7.2 1.3 厚 重 0.9 39.7	胎土/焼成/色調 石材・素材等	先端部は四角錐状になる。先端部から4.3cm程から断面がれくなれる。

2区202号土坑

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第184-2 PL.57-3	1	須恵器 杯	覆土 口縁部～底部片	口 底 14.6 11.2 厚 径 8.8 4.2	胎土/焼成/色調 石材・素材等	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。底部は疑似高台状を呈す。

2区208号土坑

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第184-3 PL.57-3	1	鉄製品 不明	破片	長 幅 (5.3) (2.8) 厚 重 0.9 10.3	胎土/焼成/色調 石材・素材等	鉄製品のひび割れが見られる鉄製品。破片で製品かどうかも不明。

2区216号土坑

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第184-4 PL.57-4	1	瓦 平瓦	覆土 側縁部小片		胎土/焼成/色調 石材・素材等	表面には布目痕が残る。裏面はヘラナデ。側面はヘラ削り。

2区226号土坑

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第184-5 PL.57-5	1	繩文石器 石器	完形	長 幅 34.0 14.0 厚 重 6.0 2.1	胎土/焼成/色調 石材・素材等	凸基有茎繩、繩文後晩期に帰属する可能性が高い。

2区224号土坑

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第184-6 PL.57-6	1	須恵器 盤	覆土 底部片	底 116.0 11.8	胎土/焼成/色調 石材・素材等	クロコ整形、回転は右回りか。高台は貼付。

2区K275号ピット

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第184-7 PL.57-6	1	瓦 平瓦	覆土 破片		胎土/焼成/色調 石材・素材等	表裏ともヘラナデ。

2区8号竪穴建物

種類 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第224-1 PL.57-7	1	土師器 杯	甕左前 床 5.1 1/4	口 底 12.4 9.8 高 厚 3.1	繩砂粒/良好にぶ い泥	口縁部はヨコナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。
第224-2 PL.57-8	2	須恵器 杯蓋	甕穴中央東寄り 床 0.9 口縁部～天井部	口 17.8	繩砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。口縁部は端部を折り曲げ。
第224-3 PL.57-9	3	須恵器 杯蓋	覆土 捨 天井部片	捨 5.3	繩砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。捨は粘土紐を貼付し、環状に作る。
第224-4 PL.57-10	4	須恵器 杯	覆土 1/3	口 11.8 底 6.8 高 厚 3.5	繩砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。
第224-5 PL.57-9	5	須恵器 杯	甕穴南北壁中央 床 +25.7/0.9 4/5	口 12.8 底 7.2 高 厚 3.5	繩砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転系切り後周囲を回転ヘラ削り。底部は疑似高台状を呈す。
第224-6 PL.57-10	6	須恵器 杯	甕穴中央南北寄り 床 +10.6 2/3	口 13.0 底 7.0 高 厚 3.8	繩砂粒/酸化焰 氣味/明黄褐	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転系切り後底部周囲から周縁に回転ヘラ削り。底部から口縁部への屈曲部は明瞭。
第224-7 PL.57-11	7	須恵器 杯	甕穴北西部中央 床 +4.2/6.1 3/4	口 13.0 底 6.6 高 厚 4.3	繩砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部と底部周縁は回転ヘラ削り。内面の底部と体部の屈曲部は明瞭。
第224-8 PL.57-12	8	須恵器 杯	甕穴北西部中央 床 +5.7/7.1 4/5	口 13.6 底 8.2 高 厚 4.3	繩砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転系切り後周囲を回転ヘラ削り。底部は疑似高台状を呈す。
第224-9 PL.57-13	9	須恵器 杯	甕穴中央北寄り 床 +10.6/15.2 3/4	口 13.3 底 7.8 高 厚 4.0	繩砂粒/酸化焰/赤 褐	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転系切り後周囲から周縁に回転ヘラ削り。
第224-10 PL.58-1	10	須恵器 杯	甕穴北西部 床 +8.3 1/2	口 13.3 底 7.3 高 厚 4.6	繩砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ起こし後底部から底部周縁に回転ヘラ削り。

遺物観察表

捕 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材	成形・整形の特徴
				口 底	高 度	幅 幅		
第238-11 PL.58-2	11	須恵器 杯	竪穴北西部 床 +12.8/2.4 4/5	13.4 6.4	高 度	3.5	織砂粒・醸化焰 のみ/黒褐色	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後底部周囲から周縁に回転ヘラ削り。外面は焼された状態。
第238-12 PL.58-3	12	須恵器 杯	竪穴北西部中央 床+1.0 2/3	13.3 8.4	高 度	3.6	織砂粒・粗砂粒・ 醸・還元焰/燒葉	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。底部は疑似高台状を呈す。
第238-13 PL.58-4	13	須恵器 杯	覆土・壠覆土 床+1/2	13.4 7.7	高 度	3.9	織砂粒・醸化焰/明 鏡	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後周縁を回転ヘラ削り。
第238-14 PL.58-5	14	須恵器 杯	竪穴北東床 +7.8 4/5	13.5 6.5	高 度	3.7	織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後全面に回転ヘラ削り。底部は疑似高台状を呈す。疑似高台径9.0cm。
第238-15 PL.58-6	15	須恵器 杯	覆土 1/2	13.6 7.7	高 度	4.1	織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部と底部周縁は回転ヘラ削り。底部は回転糸切り後周縁に「×」記入。
第238-16 PL.58-7	16	須恵器 杯	竪穴中央南東 床+13.1/2.1 1/2	13.7 9.1	高 度	3.6	織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後周縁を回転ヘラ削り。
第238-17 PL.58-8	17	須恵器 杯	壠覆土 ほぼ完形	13.8 8.5	高 度	4.2	織砂粒・醸化焰/明 鏡	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後、全面に回転ヘラ削り。系切り痕がわずかに残る。
第238-18 PL.58-9	18	須恵器 杯	覆土 1/2	13.8 10.3	高 度	3.4	織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後中央を残し手持ちヘラ削り。ヘラ削りと底部周縁の間には「×」記入。
第238-19 PL.58-9	19	須恵器 杯	竪穴北北部 床 +10.5/1.8 3/4	14.0 8.0	高 度	3.4	織砂粒・粗砂粒・ 醸化焰・焼・黃褐色	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後中央をわずかに残し廻転ヘラ削り。底部は疑似高台状を呈す。外面は焼成。
第238-20 PL.58-10	20	須恵器 杯	竪穴北西部中央 床+4.0 1/2	14.0 8.1	高 度	3.5	織砂粒・粗砂粒・ 還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後周縁と周縁を回転ヘラ削り。
第238-21 PL.58-11	21	須恵器 杯	竪穴南西部中央 床+16.1/+8.6 ほぼ完形	14.0 7.3	高 度	4.0	織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後中央をわずかに残して底部周縁まで回転ヘラ削り。
第238-22 PL.58-12	22	須恵器 杯	竪穴中央・北東 寄り 床-0.5/ +19.2/7.1 3/4	14.1 7.7	高 度	4.7	織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。焼成時の歪。底部は回転糸切り後中央をわずかに残して手持ちヘラ削り。外面底部に「×」の線刻。
第238-23 PL.59-1	23	須恵器 杯	鼈左手握彫 床 +35.2 底部-体部下位 片	底	8.8		織砂粒・醸化焰/明 鏡	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。
第238-24 PL.59-2	24	須恵器 杯	壠覆土 底部-体部下位 片	底	9.0		織砂粒・還元焰/灰 白	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。手外面底部に「×」の線刻。粘土円柱径6.5~7.0cm。
第238-25 PL.59-3	25	須恵器 有台杯	竪穴北西部 床 +1.1 1/2	9.6 6.9			織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り、高台は貼付が剥落。
第238-26 PL.59-4	26	須恵器 有台杯	竪穴北東寄り 床+12.8 ほぼ完形	10.2 6.4	台 高	6.8	織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。
第238-27 PL.59-5	27	須恵器 有台杯	床-12.6/8.5/ 5.7 3/4	10.6 7.1			織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後周縁を回転ヘラナデ、高台は貼付を打ち欠き調整。内面は底部と体部の崩れが明顯。
第238-28 PL.59-6	28	須恵器 有台杯	竪穴北東寄り 床+8.5/9.3/1.1 ほぼ完形	11.2 7.4			織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後中央を残し回転ヘラナデ、高台は貼付、途中から打ち欠き調整。内面は底部と体部の崩れが明顯。
第238-29 PL.59-7	29	須恵器 有台杯	竪穴南東床 -9.2 ほぼ完形	11.7 7.2	台 高	7.2	織砂粒・粗砂粒・ 還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後周縁を回転ヘラナデ、高台は貼付。内面は底部と体部の崩れが明顯。
第248-30 PL.59-8	30	須恵器 有台杯	竪穴北西部中央 床+6.1 2/3	12.2 8.1			織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後中央を残し回転ヘラナデ、高台は貼付。内面は底部と体部の崩れが明顯。
第248-31 PL.59-9	31	須恵器 有台杯	覆土・壠覆土 底部 台	7.9 8.2			織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。体部を持ち欠き調整し、内用開か。
第248-32 PL.59-10	32	須恵器 縦	鼈左手・左手前 床+32.9/23.4 3/4	17.1 10.6	高 度	6.5	織砂粒・粗砂粒・ 還元焰/灰黄	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。底部は丸みをもち、則脚は疑似高台状を呈す。
第248-33 PL.59-11	33	須恵器 有台盤	竪穴北東寄り 床+4.5/10.2 形	18.4 13.0			織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り後周縁をヘラ削り。高台は貼付を打ち欠き。内面口縁部ほどに凹脛を造らし屈曲させる。
第248-34 PL.59-12	34	須恵器 縦	壠覆土・壠腹 口縁部-体部上 半片				織砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。口縁部は大きく外反。外面は陥れ付着のため形状不明。内面はヘラナデ。
第248-35 PL.60-1	35	上部器 縦	竪穴北西部 床 +10.0 頂部-胴部上 半片				織砂粒/良好/にぶ い赤褐色	頭部はヨナナデ。胴部上位は横から斜めのヘラ削り。内面は胴部にヘラナデ。
第248-36 PL.60-1	36	須恵器 縦	竪穴中央部 床 +2.0 口縁部-胴部上 位片	20.6			織砂粒・粗砂粒・ 還元焰/灰	口縁部はクロコ成形、胴部は叩き締め成形。外面の平行叩き痕と内面の同心円状ア貝痕はかすかに残る程度にナデ消されてい

遺物観察表

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第24図-37 PL.60-2	37	須恵器 甕	覆左手前・堅穴 北東寄り 床 +2.5/13.9 肩部・胸部		織砂粒/還元焰/灰	脚部は叩きぬけ成形。外面は平行叩き痕がくすかに残るが、内面のアテ具痕はナデ消されている。
第24図-38 PL.60-3	38	瓦 丸瓦	覆上 側面小片		織砂粒/還元焰/暗 灰	表面はヘラナデ、内面は布目痕が残る。側面はヘラ削り。
第25図-39 PL.60-4	39	瓦 平瓦	覆左手堅厚 床 +23.4 側面片		織砂粒/酸化焰/明 黄褐	表面の布目痕はほとんどナデ消されている。裏面は格子状叩き痕がくすかに残るがほとんどナデ消されている。裏面はヘラ削り。
第25図-40 PL.60-5-6	40	石製品 筋輪	完形	長幅 5.0 厚 4.9 重 44.0	蛇紋岩	中央に背面からの片面穿孔による、径 8mm の円孔。断面形は逆台形、棱部面取り。表面擦痕多い。背面摩耗して光沢あり。側面に「拳」[○□]、表面に「中郷長」の刻銘。

3区6号溝

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-1 PL.60-1	1	黒色土器 鉢	覆上 底部～体部下位 片	底 10.0	織砂粒/酸化焰/柏 ヘラミガキ	成形不明。内面黑色處理。底部と体部はヘラ削り。内面は全面にヘラミガキ。
第31図-2 PL.60-2	2	須恵器 杯	覆上 底部～体部下位 片	底 10.0	織砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。
第31図-3 PL.60-7	3	灰釉陶器 皿	覆上 口縁部～体部片		織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。体部は回転ヘラ削り。施釉方法不明。大原 2 号式期。
第31図-4 PL.60-8	4	須恵器 甕	覆上 口縁部下位～頸 部片		織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ成形か。頸部にて脚部と口縁部を接合。外間にヘラの当たった痕跡が残る。

3区68号土坑

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-5 PL.60-9	1	須恵器 杯蓋	覆上 口縁部～天井部	口 18.0	織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。口縁部は端部を折り曲げ。内面には煤が付着。

3区72号土坑

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-6 PL.60-10	1	須恵器 杯	覆上 底部片	底 7.2	織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部はヘラ削り。

3区86号土坑

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-7 PL.60-11	1	須恵器 杯蓋	覆上 天井部片		織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。

3区91号土坑

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-8 PL.60-12	1	須恵器 杯	覆上・上層底面 底部～体部片	底 5.6 台 6.0	織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ。高台は貼付。

3区94号土坑

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-9 PL.60-13	1	鉄製品 釘木製品か	一部	長 (3.4) 厚 幅 0.4 重 2.0		四角く面取りがされている棒状の製品。端部に向けてやし理みが薄くなる。

3区96号土坑

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-10 PL.60-14	1	須恵器 杯	覆上・上層底面 底部～体部片	底 7.0	織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転系切り後周囲を回転ヘラ削り。
第31図-11 PL.60-15	2	須恵器 杯	覆上 底部～体部片	底 7.0	織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。

3区100号土坑

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-12 PL.60-16	1	土師器 杯	覆上 底部片		織砂粒/良好/柏	底部は手持ちヘラ削り。外外面に墨書、残存が一部のため判読不能。

3区105号土坑

掃 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-13 PL.60-17	1	灰釉陶器 甕	覆上 底部片	底 8.5 台 8.0	織砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ。高台は貼付。施釉方法不明。大原 2 号式期。

遺物観察表

3区109号土坑

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-14	1	須恵器 杯	覆土 口縁部	横 2.4	織砂粒/還元焰/灰 黄褐色	クロコ整形。回転は右回り。柄はボタン状の粘土を貼付し、周囲をわずかに引き上げ、内側を窪むようにする。断面と内面は酸化焰状態。

3区110号土坑

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-15	1	鉄製品 鍛未製品か	一部欠損	長(6.1) 厚 0.3 幅 0.7 重 5.0		基部のようにわずかに細くなる。もう一方は端部に向って薄くなり刃部のようにも見えるがはっきりしない。

3区111号土坑

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-16	1	須恵器 杯	覆土 底部~全体片	底 8.0	織砂粒/還元焰/に ぶい黄	クロコ整形。回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。体部下位に棱を作る。

3区151号ピット

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-17	1	須恵器 杯	覆土 口縁部片		織砂粒/還元焰/灰 黄褐色	クロコ整形。回転は右回り。口唇部は上下に引き出されるようになるが、下方は貼付か。

3区154号ピット

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-18	1	須恵器 杯	覆土 底部~全体片		織砂粒/還元焰/灰 白	クロコ整形。回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。

3区156号ピット

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第31図-19	1	須恵器 杯	覆土 底部~全体片	底 7.1	織砂粒/還元焰/灰 白	クロコ整形。回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。
第32図-20 PL.60-11	2	土師器 甕	覆土 口縁部片	口 20.6	織砂粒/矮/暗灰黃 口縁部はヨコナデ。	

3区157号ピット

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第32図-21	1	土師器 甕	覆土 胴部下位片		織砂粒/良好/褐	外面はヘラ削り、内面はヘラナデ。

3区158号ピット

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第32図-22	1	土師器 甕	覆土 口縁部~頭部片	口 15.9	織砂粒/良好/赤褐 口縁部から頭部はヨコナデ。	

3区166号ピット

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第32図-23	1	須恵器 広口甕	覆土 口縁部~頭部		織砂粒/還元焰/灰 褐色	クロコ整形。回転は右回り。口唇部は上下に引き出されるようになる。

3区1号堅穴建物

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第33図-1	1	黒色土器 杯	覆土 口縁部片		織砂粒/還元焰/黑 褐色	クロコ整形、内外面とも黒色処理。外面ともヘラミガキ。外面は器底感のため単位不明。
第33図-2	2	瓦 丸瓦	覆土 破片		織砂粒/酸化焰/灰 褐色	表面はヘラナデ、裏面には布目痕が残る。
第33図-3 PL.61-2	3	圓文石器 石製品	完形	長 5.9 厚 5.1 重 48.6	織砂粒/還元焰/灰 褐色	素材を丸く偏平に整形し中央部を穿孔。表面には人為的な小孔が5か所認められる。

3区2号堅穴建物

拂 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第36図-1	1	黒色土器 杯	覆土 床+28.3 口縁部~全体下位片	口 12.4 幅 9.4	織砂粒/酸化焰/青 褐色	クロコ整形、回転は右回りか。内面は黒色処理。有台杯か。
第36図-2	2	黒色土器 杯	覆左 床+16.8 口縁部片	口 14.8	織砂粒/酸化焰/青 褐色	クロコ整形、回転は右回りか。内面は黒色処理。内面は横方向ヘラミガキ。
第36図-3	3	須恵器 有台杯	覆土 底部片	底 12.4 台 12.6	織砂粒/酸化焰/に ぶい褐	クロコ整形、回転は右回り。内面は黒色処理が二次焼成によって消失。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。内面はヘラミガキ。
第36図-4 PL.61-3	4	須恵器 杯	覆左 床+20.3 完形	口 14.6 高 3.4 幅 3.0	織砂粒/還元焰/灰 褐色	クロコ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。口縁部は端部を揃はボタン状粘土を貼付。
第36図-5 PL.61-4	5	須恵器 杯	覆土 1/4	口 15.0 高 3.2 横 4.4	織砂粒/還元焰/灰 褐色	クロコ整形、回転は右回り。天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。口縁部は端部を折り曲げ。横は円錐状粘土を貼付し、周囲をつまみ上げ顎状に作る。

遺物観察表

種類 PL.No.	種類 PL.No.	出上位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	
須恵器 杯	6	裏左床+16.8 横二片部片	横 5.0	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。横は粘土紐を貼し、環状に作る。	
須恵器 杯	7	覆土 口縁部~天井部 片	口 15.2	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。口縁部は端部を折り曲げ。	
須恵器 杯	8	裏前床+21.6 口縁部~底部片	口 11.6 底 7.6	繊砂粒/酸化焰/に ふい槽	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。	
須恵器 杯	9	裏左床+31.2~ 33.9 1/2	口 12.0 底 7.4	繊砂粒/還元焰/灰 オリーブ	クロコ整形、回転は右回り。底部は手持ちヘラ削り。内面に火拂が残る。	
須恵器 杯	10	貯藏穴覆土上層 床-1.0	口 13.4 底 8.0	繊砂粒/還元焰/灰 完形	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。底部は疑似高台状を呈す。	
須恵器 杯	11	貯藏穴覆土上層 床-2.8 ほぼ完形	口 13.7 底 7.7	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
須恵器 杯	12	貯藏穴覆土上層 床-0.4 ほぼ完形	口 14.0 底 9.5	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部全面と周縁を回転ヘラ削り。	
須恵器 杯	13	豎穴南面部中央 床-6.1 底部-1体部下位 片	底 7.0	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は全面を回転ヘラ削り。底部は疑似高台状を呈す。	
須恵器 有台杯	14	裏手前床面+2.2 完形	口 12.8 底 8.3	台 8.6 高 4.2	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。
須恵器 有台杯	15	豎穴中央西面部 +1.9 粘土部分 範囲にかかる 底部	底 9.0 台 9.5	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。体部を丁寧に打ち欠いている。	
瓦	16	貯藏穴覆土上層 床-2.1 平瓦	底 27.8 底 24.8	長 41.2 厚 1.7	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	一枚一枚。表面はヘラナデで布目痕をほとんど消している。裏面も叩き痕ナデ消しているが、難なため部分的に残る。焼成時にひび割れを起こしている。(底=広端径、狭=狭端径)
瓦	17	覆土 狭端片			繊砂粒/還元焰/に ふい黄槽	表面は布目痕が残る。裏面はヘラナデ。狭端面はヘラ削り。
石製品 不明	18	鉄製品 不明	破片	長 (3.0) 幅 (1.2) 重 2.3		先端が尖っている鉄破片。未製品の可能性があるか。カマボコ状の断面を持つ。

3区号堅穴建物

種類 PL.No.	種類 PL.No.	出上位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	
土師器 杯	1	覆土 底部片		繊砂粒/良好/橙	小片のため詳細不明。外面に墨書き。	
土師器 小型甕	2	東廻の西 床 +9.6 口縁部~脚部上 位片	口 13.0	繊砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部から脚部はヨコナデ、脚部はヘラ削り。内面は脚部にヘラナデ。台付費か。	
土師器 台付甕	3	覆土 台部片	台 8.6	繊砂粒/良好/褐灰	台部は脚部に貼付。内外面ともヨコナデ。	
須恵器 杯	4	裏土 口縁部~体部片	口 12.8	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。	
須恵器 甕	5	裏土 底面~床-38.6 底部-1脚部下位 片	底 16.0	繊砂粒/還元焰/灰	脚部は明き彫め形成か、底部はヘラ削り後ヘラナデ、脚部の底部周縁はヘラ削り、脚部はナデ。内面は底部から脚部にヘラナデ。	
瓦 PL.62-2	6	覆土 小片		繊砂粒/酸化焰/橙	表面には布目痕が残る。裏面はヘラナデ。	
石製品 底石	7	石製品 底石	欠損	長 11.1 幅 5.8 重 350.3	変玄武岩	裏面と右側面に研磨痕、やや粗粒な石材を利用。
石製品 不明	8	鉄製品 不明	破片	長 (2.6) 幅 (1.6) 重 8.1		鋳造の割れのようなヒビを持つ鉄片。鉄津ともみられる。

4区号191号土坑

種類 PL.No.	種類 PL.No.	出上位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
須恵器 機	1	裏土 底部-1脚部下位 片	底 台 7.4 7.0	繊砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。
灰釉陶器 長颈壺	2	覆土 頭部~脚部上位 片		繊砂粒/還元焰/灰 白	頭部に脚部と口縁部を接合。クロコ整形、回転は右回り。施釉方法不明。窓式期不明。

4区号185号土坑

種類 PL.No.	種類 PL.No.	出上位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
青磁系青磁 碗	1	青磁系青磁 碗	体部下位片	/灰白/	外面に鍋突文。青磁輪に墨りがあり、蓮瓣文がほとんど見えない。大字府分類II-b類。13世紀前後~前半。

遺物観察表

4区257号ピット

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第44回-2 PL-62-8	1	副製品 煙管(雁首)	完形	長幅 6.0 厚 4.0	厚 0.1 重 7.5	側面につなぎ目が見られる。火皿の小口側に直径2mmほどの丸い穴があいている。首は細く伸びている。

4区6号堅穴建物

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第44回-1 PL-62-9	1	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底 12.6 6.0	高 3.7	織砂粒/酸化鉛/黄 灰
第44回-2 PL-62-10	2	須恵器 輪扁櫛	堅穴南東部 床 +0.1 口縁部～底部片	口 底 14.9 8.0	高 5.3	織砂粒/酸化鉛/灰 黄
第44回-3 PL-62-11	3	須恵器 鏡	覆土 口縁部～体部片	口 14.9		織砂粒/酸化鉛/ 焼/オリーブ黒
第44回-4 PL-62-11	4	上師器 鏡	覆土 口縁部～胴部上位片	口 底 18.8 20.8		織砂粒/良好/橙 黄
第44回-5 PL-62-12	5	上師器 鏡	壇内覆土上層か 底部～胴部下位片	底 4.5		織砂粒/良好/褐灰
第44回-6 PL-63-1	6	須恵器 鏡	胴部片		織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	胴部は叩き締め成形、外表面は平行叩き直しをナデ消しているがかかるに残る。内面は平行アテ貝殻が残る。7と同一個体。
第44回-7 PL-63-2	7	須恵器 鏡	蓮右赤部石上 燃焼跡状+21.9 胴部片		織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	胴部は叩き締め成形、外表面は平行叩き直しをナデ消しているがかかるに残る。内面は破片下には同心円状アテ貝殻、上半は平行アテ貝殻が残る。6と同一個体。

4区7号堅穴建物

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第45回-1 PL-63-3	1	上師器 杯	蓮右袖口から 口縁部～底部片	口 底 20.6 12.8		織砂粒/良好/橙 黄
第45回-2 PL-63-4	2	上師器 鏡	蓮右手堅穴東壁 南端 3/4	口 底 21.1 22.2	3.9 28.0	織砂粒/良好/にぶ い赤褐
第45回-3 PL-63-4	3	須恵器 鏡	覆土 口縁部～体部片	口 13.2		織砂粒/還元焰/灰
第45回-4 PL-63-5	4	礎文石器 石鏡	完形	長 幅 1.6 1.5	厚 重 0.3 0.5	チャート
第45回-5 PL-63-6	5	副製品 鏡	一部	長 幅 (4.7)	厚 重 0.2 10.1	凹基無茎葉、先端部は丸みを持つ

5区1号溝

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第56回-1 PL-63-7	1	上師器 杯	覆土 底部～体部小片			織砂粒/良好/にぶ い相
第56回-2 PL-63-8	2	黒色土器 鏡	覆土 口縁部片			織砂粒/酸化鉛/に ぶい相
第56回-3 PL-63-8	3	礎文石器 打製石斧	完形	長 幅 10.6 4.4	厚 重 1.6 92.3	ホルンフェルス

5区10号坑

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第56回-4 1		灰釉陶器 長颈壺	覆土 胴部片			織砂粒/還元焰/灰 白

5区20号坑

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第56回-5 PL-63-9	1	鉄製品 月子破損品か 破片	長幅	(2.6) 1.0	厚 重 0.4 3.0	刀子状に作られているが、埋蔵前に被損している。刃部のように作られているが、詳述不明。

5区26号坑

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第56回-6 PL-63-10	1	瓦 丸瓦	土坑壁裏部 底 +24.3 右広端部分			織砂粒/酸化鉛/に ぶい赤褐

5区36号坑

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第56回-7 1		灰釉陶器 長颈壺	覆土 口縁部片	口 11.8		織砂粒/還元焰/灰 白
第56回-8 1		灰釉陶器 碗	覆土 体部片			ロクロ整形、回転は右回り。破片内外全面に施釉。窓式期不明。

5区44号坑

種類	No.	種類	出土位置	計測値	胎土/焼成/色調	成形・整形の特徴
PL-No.		器種	残存率		石材・素材等	
第56回-9 1		灰釉陶器 碗	覆土 体部片			織砂粒/還元焰/灰 白
第56回-10 1		灰釉陶器 碗	覆土 体部片			ロクロ整形、回転は右回り。破片内外全面に施釉。窓式期不明。

5区1号竪穴状構

拂 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	
第57図-1 PL.64-1	1	上師器 杯	地上を伴わない 土坑内 1/4	口 底 11.8 6.6	高 4.0	繊砂粒/良好/橙	口縁部はヨコナデ、体部と底部は手持ちヘラ削り。
第57図-2 PL.64-2	2	上師器 杯	覆土 1/4	口 底 13.4 8.4	高 4.3	繊砂粒/良好/黄褐	口縁部はヨコナデ、体部と底部は手持ちヘラ削り。
第57図-3 PL.64-3	3	須恵器 櫛	地上を伴わない 土坑縁辺 1/3	口 底 14.0 7.0	高 4.3	繊砂粒/還元焰/灰白	クロコ整彌、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付、底部切り削し技法は回転糸切り。
第57図-4 PL.64-4	4	須恵器 櫛	覆土 底部-全体部 1/3	底 台 7.8 7.4	高 4.3	繊砂粒/酸化焰/黄褐	クロコ整彌、回転は右回り。底部は糸切り、高台は貼付。外面部に墨書き、判読不能。
第57図-5 PL.64-5	5	須恵器 櫛	竪穴状構東部、 土坑のない部分 刺部片			繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/オリーブ 黒	脚部は引き締め成形。外面部は平行叩き直すナデ酒しているがかかるに残る。内部は銀紙下には同心円状アラ貝扇、上半は平行状アラ貝扇が残る。6号竪穴建物5-7と同一個体か。
第57図-6 PL.64-6	6	土製品 羽口	破片	長 幅 (8.4) (5.8)	重 111.0		先端部の一部がガラス化している。断面上に大き目の砂やスサが混じり、焼けも甘く、崩れやすい。
PL.64-7	7	土製品 羽口	破片	縦 厚 (6.7) (2.8)	重 68.7		融解している羽口の破片。一部ガラス質に変化している。羽口は大き目の砂粒を含む。スサは確認できない。
PL.64-9	9	鉄滓	破片	縦 横 (5.6) (6.2)	厚 重 2.4 46.3		融解している羽口の破片。一部ガラス質に変化している。羽口は大き目の砂粒を含む。スサは確認できない。
PL.64-10	10	鉄滓	破片	縦 横 (7.6) (7.4)	厚 重 7.6 339.9		酸化上塗に多く覆われている。発泡は少なく津質は密。不定形な津。
PL.64-11	11	鉄滓	破片	縦 横 (4.9) (5.6)	厚 重 3.2 77.9		粘土に付着する鉄滓。鉄滓部分は炭疽跡と見泡が見られる。粘土には1世前後の大きな砂粒が含まれ一部ガラス化する。
PL.64-12	12	鉄滓	破片		重 198.1		石に鉄成分が付着する。鋼鐵れがあったと思われる痕跡があることから、スタルが残存していたものと思われる。
PL.64-13	13	鉄滓	破片	縦 横 (7.1) (6.8)	厚 重 3.3 157.4		下面の一部が丸みを帯び平滑で幅8mm~13mm程度の炭の痕跡が残存する。発泡は少なく津質は密。一部酸化上塗が付着し砂粒が含まれる。

6区121号土坑

拂 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第600図-1 PL.65-1	1	龍泉窯系青磁 瓶	体部片		/灰白/	外面に錐進弁文。青磁軸に若干漏りがあり、連弁文が見えにくい。大宰府分類II-b類。13世紀前後~前半。

6区130号土坑

拂 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	
第61図-1 PL.65-2	1	鉄製品 釘	一部	長 幅 (2.6) (0.4)	厚 重 0.3 1.1		体部のみ残存する。脚部に向けて細くなっている様子が確認できる。

7区239号土坑

拂 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第64図-1 PL.65-3	1	滑浦陶器 甕	口縁部片		/灰/	器表はふい色。口縁端部を上方に立ち上げる。端部下辺は若干下方に突き出る。13世紀後~四半期。

7区254号土坑

拂 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	
第64図-2 PL.65-4	1	圓文石器 右肩	欠損	長 幅 (2.2) (2.4)	厚 重 4.0 2.0	黒色安山岩	円基無茎端であるが、先端部を欠損。左右対称形の整形が強いため、未成品の可能性もある。

8区146号土坑

拂 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	
第64図-2 PL.65-4	1	圓文石器 右肩	欠損	長 幅 (2.2) (2.4)	厚 重 4.0 2.0	黒色安山岩	円基無茎端であるが、先端部を欠損。左右対称形の整形が強いため、未成品の可能性もある。

8区219号ピット

拂 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第71図-1 PL.65-5	1	瓦 平瓦	覆土 左広端片		繊砂粒/酸化焰/に ふい黄褐	表面には布目痕が残る。裏面はヘラナデ。広端面と左側面はヘラ削り。

8区4号竪穴建物

拂 図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	
第81図-1 PL.65-7	1	上師器 杯	覆土 口縁部-底部片	口 12.6		繊砂粒/良好/に ふい	口縁部はヨコナデ、体部と底部は手持ちヘラ削り。
PL.65-8	2	上師器 杯	繊縁部 底部小片			繊砂粒/良好/橙	小片のため詳細不明。外面に墨書き。
第81図-3 PL.65-9	3	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底 11.8 6.0	高 5.8	繊砂粒/酸化焰/に ふい	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。
第81図-4 PL.65-10	4	須恵器 杯	竪穴東部床 +3.4 完形	口 底 12.2 5.8	高 3.9	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。

遺物観察表

捕 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第81図-5 PL.65-11	5	須恵器 碗	盤穴式堅厚北部 床~26.9 底部~体部片	底 7.0 6.8		織砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は斜面切り、高台は貼付。
第81図-6 PL.65-12	6	土師器 甕	甕・壺前 床~0.5 ~4.5 口縁部~胴部下位	口 20.2 胴 22.3		織砂粒/良好/ぶ い粒	口縁部から頸部はヨコナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部にヘラナデ。
第81図-7 PL.65-13	7	土師器 甕	壺前・堅厚中央 床~7.2~10.1 口縁部~胴部下位 片	口 20.2 胴 22.8		織砂粒/良好/粒	口縁部から頸部はヨコナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部にヘラナデ。
第81図-8 PL.66-1	8	土師器 甕	蓮燃鏡内部 使用面~18.3 底部~頭部片	底 4.4 胴 21.0		織砂粒/良好/粒	底部と胴部はヘラ削り。内面は底部から胴部にヘラナデ。
第81図-9 PL.66-2	9	須恵器 甕	腹上 底部~胴部			織砂粒/還元焰/灰	胴部は叩き締め形成か。胴部は外側とも叩き痕、アチ具痕をナ デ消している。底部はヘラ削りか。

8区5号竪穴建物

捕 国 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第83図-1	1	須恵器 輪穴	覆土 口縁部片			織砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形。
第83図-2	2	土師器 甕	覆土 口縁部~胴部片			織砂粒/良好/粒	口縁部から頸部はヨコナデ、胴部はヘラ削り。

8区9号竪穴建物

捕 国 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第84図-1 PL.66-2	1	土師器 杯	甕左袖上 面~8.5 ほぼ完形	口 12.1 底 11.0	高 3.3	織砂粒/良好/柵	口縁部はヨコナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。
第84図-2 PL.66-3	2	土師器 甕	甕覆土 口縁部~胴部下 位片	口 19.7		織砂粒/良好/赤柵	口縁部から頸部はヨコナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部にヘラナデ。

9区140号ピット

捕 国 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第87図-1 PL.66-5	1	銅製品 座金	完形	外 1.42	厚 0.08	重 0.3	わずかに光沢が確認できるか。形状は丸く、中心に四角形の穴が空いている。

9区167号土坑

捕 国 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第91図-1 PL.66-3	1	鉄製品 釘か	一部欠損	長 (3.5) 幅 0.7	厚 0.4	重 3.7	打ち付けたような頭部状の丸が見られるが詳細不明。断面四 角形、全体にやや捻じれおり、埋蔵時には脚部が欠損していた とみられる。

9区170号土坑

捕 国 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第91図-2 PL.66-4	1	須恵窯系青磁 甕	口縁部片			/灰白/	口縁部から体部内面に分割線。小片のために口縁部の輪花は不明。 大宰府分類1~4類。内外面に青磁釉。12世紀中葉~後半。

10区3号溝

捕 国 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第94図-1 PL.66-6	1	須恵器 杯	溝幅の中央部 底面~28.5 底部~体部	底 6.0		織砂粒/酸化焰/に ぶい黄褐色	ロクロ整形、回転は右回り。底部の切り離し技法は磨滅のため不 明。内面に煤化跡は漆付着。
第94図-2 PL.66-7	2	在地系土器 焰灯	在地系土器 口縁部から体部 片			/暗灰/	断面中央は暗灰色。器表附近は灰白色。外側の器表は黒色。内面 の器表は灰色から灰白色。体部外下面は墨。外面に煤付着。 江戸時代。

遺構外等出土遺物

捕 国 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴
第95図-1 PL.66-8	1	在地系土器 片口鉢	2区4層 底部	底 (11.8)		チャート含む/灰 白/	断面は灰白色。器表は黒色。底部右回転斜切無調整。底部内面周 縁と体部内面下部は、すり鉢としての使用により器表が若干摩滅。 中世。
第95図-2 PL.66-9	2	在地系土器 内耳鉢	2区18トレンチ 口縁部から体部 1/6	口 (31.6)		チャート含む/黑 色/	断面は灰白色。口縁部端や肥厚し、上部は平坦で内面は弱い稜 をなす。口縁部下の内面は弱い稜をなす。外側の器表は煤付着。 15世紀後半。
第95図-3 PL.66-10	3	常滑陶器 広口鉢	7区確認面 口縁部片			/灰/	外側の器表は黒褐色から灰色。内面の器表はふい赤褐色。口縁 部を外面向下に折り返し、折り返し部は本体と一体化する。上方 への立ち上がりは欠損。15世紀。
第95図-4 PL.66-11	4	常滑陶器 片口鉢	9区IV層 体部下位片			/灰~黄灰/	外側の器表はふい赤褐色。内面に自然釉かかる。内面下半は使 用により器表が平滑となる。自然釉が広範にかかると使用痕 から常滑片口鉢Ⅱ類である。中世。

捕 図 PL.No.	No.	種 類 残 部	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材	成形・整形の特徴
第95回-5 PL.66-12	5	須恵器 杯	1区トレチ 1/4	口 底 5.0 5.4	9.0 高 2.7 赤褐色	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。
第95回-6 PL.66-13	6	瓦 平瓦	2区表採 側面部片			縞砂粒/還元焰/灰
第95回-7 PL.66-14	7	須恵器 鉢	2区トレチ 口縁部~側面部片	口 42.8	縞砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。側面は内外面とも回転ヘラナデ。
第95回-8 PL.67-1	8	瓦 平瓦	3区表採 右側面部片		縞砂粒/酸化焰/青 ぶい青	表面には布目痕が残る。裏面はヘラナデ。側面はヘラ削り。
第96回-9 PL.67-2	9	須恵器 鉢	5区 L1縁部~側面部 位片		酸化焰/酸化焰/青 焼/褐灰	クロコ整形、回転は右回り。胸部は回転ヘラ削り。内外面とも焼成。
第96回-10 PL.67-3	10	灰釉陶器 鉢	5区 体部片		微砂粒/還元焰/灰 白	クロコ整形、回転は右回り。内外面に施釉、施釉方法不明。窯式 期不明。
第96回-11 PL.67-4	11	須恵器 杯	8区 底部片	底 7.0	縞砂粒/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整、底部周囲 は齊脛。
第96回-12 PL.67-5	12	鉄製品 鍼	5区 1/2	長 幅 7.5 1.2	厚 重 0.3 4.3	鋸りばさみ。表はやや丸みを帯び、裏面は平らになっている。
第96回-13 PL.67-3	13	鉄製品 釘分片	4区4脚 破片	長 幅 (2.8) 0.4	厚 重 ~ 1.4	断面四角形の鉄製品。一方の端部はやや丸みを帯びて釘の足状に も見える。
第96回-14 PL.67-4	14	鉄製品 刀子破損品 完形	8区4脚 1/0	長 幅 (2.3) 1.0	厚 重 0.3 3.9	埋蔵時には大指し曲げられて刀身がひ字形になっている。刃は しっかりと確認できる。
第96回-15 PL.67-5	15	銀鏡 開元通寶	5区 完形	外 内 1.96 2.4	厚 重 0.14 2.4	上月、背ともに彰が深く文字、輪、郭が明瞭。
第96回-16 PL.67-6	16	銀鏡 政和通寶	8区4脚 ほぼ完形	外 内 2.01 2.9	厚 重 0.14 2.9	篆書体。郭は深いがやや文字が不明瞭。背の輪、郭は浅く確認で きない。
第96回-17 PL.67-2	17	縞文石器 天球體	9区肚石器トレ ンチ 壳形	長 幅 10.0 3.2	厚 重 1.4 39.0	デไซド 両面調整の尖頭器で、中央部付近に最大幅を持つ。長幅比は1.37 で木集柄の尖頭器である。
第96回-18 PL.67-8	18	縞文石器 石匙	5区 壳形	長 幅 6.9 2.2	厚 重 0.8 13.1	チャート 両面調整の鍔長の石匙である。
第96回-19 PL.67-9	19	縞文石器 石鑿	7区肚石器トレ ンチ 壳形	長 幅 1.7 1.5	厚 重 0.3 0.4	チャート 門基無茎葉、平面形態は正三角形に近い。
第96回-20 PL.67-10	20	縞文土器 深鉢	2区IV層 口縁部破片		縞砂、織維/5つ う	両面に条痕を施す。早期後葉。
第96回-21 PL.67-11	21	縞文土器 深鉢	2区IV層 側面部片		縞砂、織維/5つ う	両面に条痕を施す。早期後葉。
第96回-22 PL.67-12	22	縞文土器 深鉢	7区確認面・IV層 側面部破片		縞砂、輝石、チャート トト羅/5つう	両面に条痕を施す。早期後葉。
第96回-23 PL.68-1	23	縞文土器 深鉢	5区8号工坊 側面部破片		粗砂、織維/5つ う	くの字状に外屈する。R.L.縞文を横位施する。黒紙式。
第96回-24 PL.68-2	24	縞文土器 深鉢	5区47号ビット 側面部破片		粗砂、チャート 羅、織維/5つう	R.L.縞文を横位施する。黒紙式。
第96回-25 PL.68-3	25	縞文土器 深鉢	4区193号土坑 側面部破片		縞砂、輝石/良好	R.L.縞文を埴位とし、木葉文、円形竹管刻突を施す。諸職a式。
第97回-26 PL.68-4	26	縞文土器 深鉢	5区確認面 側面部破片		縞砂、輝石/良好	R.L.縞文を埴位施する。諸職a式。
第97回-27 PL.68-5	27	縞文土器 深鉢	3区94-96号土坑 側面部破片		粗砂、白色粒、輝 石、石英/良好	L.R.縞文を横位、斜位施し、円形竹管刻突を施す。諸職a式。
第97回-28 PL.68-6	28	縞文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		縞砂/良好/	波状口縁。口縁に沿って帯状沈線を施し、L.R.縞文を充填施文す る。称名寺I式。
第97回-29 PL.68-7	29	縞文土器 深鉢	5区1号堅穴状遺 構 側面部破片		粗砂、輝石、石英 /良好/	粗位の帯状沈線を施し、L.R.縞文を充填施文する。称名寺I式。
第97回-30 PL.68-8	30	縞文土器 深鉢	8区IV層 側面部破片		縞砂、赤色粒、輝 石/良好/	帶状沈線による弧状モチーフを施し、L.R.縞文を充填施文する。 称名寺I式。
第97回-31 PL.68-9	31	縞文土器 深鉢	8区1トンチ 側面部破片		粗砂、輝石、石英 /良好/	帶状沈線によるモチーフを施し、L.R.縞文を充填施文する。 称名寺I式。
第97回-32 PL.68-10	32	縞文土器 深鉢	7区確認面 側面部破片		縞砂、チャート 羅、輝石/良好	帶状沈線によるモチーフを施し、L.R.縞文を充填施文する。称名 寺I式。
第97回-33 PL.68-11	33	縞文土器 深鉢	7区確認面 側面部破片		粗砂、白色粒、輝 石、石英/5つう	帶状沈線によるモチーフを施し、L.R.縞文を充填施文する。称名 寺I式。
第97回-34 PL.68-12	34	縞文土器 深鉢	9区10層 口縁部破片		縞砂/5つう/	波状口縁。波頂部に環状凹凸を前後左右方に配した突起を付す。 口縁に沿って沈線をめぐらす。称名寺II式。
第97回-35 PL.68-13	35	縞文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		粗砂、輝石/5つ う	沈線によるモチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺II式。
第97回-36 PL.68-14	36	縞文土器 深鉢	8区IV層 側面部破片		縞砂/良好/	帶状沈線によるJ字状モチーフを施す。称名寺II式。
第97回-37 PL.68-15	37	縞文土器 深鉢	7区確認面 側面部破片		粗砂、輝石、石英 /5つう/	帶状沈線によるモチーフを施す。列点を充填施文する。称名寺II 式。
第97回-38 PL.68-16	38	縞文土器 深鉢	7区確認面 側面部破片		粗砂、輝石/5つ う/	帶状沈線によるJ字状モチーフを施す。称名寺II式。
第97回-39 PL.68-17	39	縞文土器 深鉢	8区IV層 側面部破片		縞砂、輝石/良好	帶状沈線による弧状モチーフを施す。称名寺II式。

捕 図 PL.No.	No.	種 類 器 様	出上位置 残 存 部	計測値	胎上/焼成/色調 材石・素 材 等	成 形・整 形 の 特 徴
第97回-40 PL.68-18	40	礎文土器 深鉢	9区IV層 胴部破片		粗砂、輝石/ふつ う/	帶状沈綫によるモチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺Ⅱ式。
第97回-41 PL.68-19	41	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		細砂/良好/	帶状沈綫によるモチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺Ⅱ式。
第97回-42 PL.68-20	42	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		細砂、輝石/良好/ 良好/	帶状沈綫による弧状モチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺Ⅱ式。
第97回-43 PL.68-21	43	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		細砂、輝石/良好/ 良好/	帶状沈綫によるJ字状モチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺Ⅱ式。
第97回-44 PL.68-22	44	礎文土器 深鉢	7区IV層 胴部破片		細砂/良好/	帶状沈綫によるモチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺Ⅱ式。
第97回-45 PL.68-23	45	礎文土器 深鉢	5区I溝 胴部破片		粗砂/ふつう/	帶状沈綫による弧状モチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺Ⅱ式。
第97回-46 PL.68-24	46	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		粗砂、輝石/ふつ う/	帶状沈綫による縦位のモチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺Ⅱ式。
第97回-47 PL.69-1	47	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		粗砂、石英、チャー ト/ふつう/	帶状沈綫による縦位のモチーフを施し、列点を充填施文する。称名寺Ⅱ式。
第97回-48 PL.69-2	48	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		粗砂、輝石/良好/	帶状沈綫によるモチーフを施す。称名寺Ⅱ式。
第97回-49 PL.69-3	49	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		細砂/良好/	縦位、U字形、逆U字形の沈綫を施す。瓶之内1式。
第98回-50 PL.69-4	50	礎文土器 深鉢	5区I号溝穴状遺 構		粗砂、輝石/良好/ 良好/	口縁外面をくの字状に内側させて凹線をめぐらし、以下、横位、逆U字形の沈綫を施す。瓶之内1式。
第98回-51 PL.69-5	51	礎文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		粗砂/ふつう/	口縁部を文帯とし、口縁部をくの字状ににくく内屈させて沈綫をめぐらす。頭部に複数条の沈綫をめぐらして脛脛状の貼付文を付し、貼付下端に円形剥落を2個施す。瓶之内1式。
第98回-52 PL.69-6	52	礎文土器 深鉢	8区IV層 頭部破片		粗砂/ふつう/	頭部に2条の沈綫をめぐらして口縁部無文帯を区画。以下、懸垂文状の沈綫を施す。礎文を充填施文する。瓶之内1式。
第98回-53 PL.69-7	53	礎文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		粗砂/良好/	口縁外面をくの字状に内側させて円形剥落をめぐらし、以下、瓶位沈綫を施す。瓶之内1式。
第98回-54 PL.69-8	54	礎文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		粗砂/良好/	口縁部をくの字状ににくく内屈させて沈綫をめぐらし、以下、横位沈綫を施す。瓶之内1式。
第98回-55 PL.69-9	55	礎文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		粗砂/良好/	口縁部をくの字状ににくく内屈させて沈綫をめぐらす。瓶之内1式。
第98回-56 PL.69-10	56	礎文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		粗砂、輝石/良好/	口縁外面を肥厚させ、帶状沈綫をめぐらして列点を充填施文する。瓶之内1式。
第98回-57 PL.69-11	57	礎文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		粗砂/良好/	小波状口縁。口縁部をくの字状ににくく内屈させ。波頭部下に円孔を穿つ。内孔の下に沈綫を治ませ。脇内に円形剥落突を施す。瓶之内1式。
第98回-58 PL.69-12	58	礎文土器 深鉢	5区57号ヒット 口縁部破片		粗砂/ふつう/	小波状口縁。口縁部をくの字状に内屈させる。波頭部下に円文を配し、中心に円形剥落突を施す。脇内に円形竹賀剥落突を施す。瓶之内1式。
第98回-59 PL.69-13	59	礎文土器 深鉢	5区7号上坑 口縁部破片		粗砂/良好/	口縁外面をくの字状に内屈させて円形剥落をめぐらす。瓶之内1式。
第98回-60 PL.69-14	60	礎文土器 深鉢	8区4号溝穴建 物、8区IV層 口縁部破片		粗砂、輝石/良好/	口縁下に横位沈綫をめぐらす。口縁内面肥厚。瓶之内1式。
第98回-61 PL.69-15	61	礎文土器 深鉢	8区IV層 口縁部破片		粗砂、輝石、石英、 チャート/細膩/良 好/	小波状口縁。波頭部下に円文を配し、中心に円形剥落突を施す。脇内に弧綫文を施す。口縁内面肥厚。瓶之内1式。
第98回-62 PL.69-16	62	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		粗砂、輝石、石英/ 良好/	集合沈綫による懸垂文を施し、L.R礎文を充填施文する。瓶之内1式。
第98回-63 PL.69-17	63	礎文土器 深鉢	8区4号溝穴建 物・148号上坑 胴部破片		粗砂、輝石、チャー ト/細膩/良好/	集合沈綫による弧状の懸垂文を施し、L.R礎文を充填施文瓶之内1式。する。
第98回-64 PL.69-18	64	礎文土器 深鉢	8区IV層 胴部破片		粗砂、輝石/良好/	横位集合沈綫をめぐらして口縁部無文帯を区画。以下、弧状の集合沈綫を施し、L.R礎文を充填施文する。瓶之内1式。
第98回-65 PL.69-19	65	礎文土器 深鉢	5区1号溝穴状遺 構	底 5.2	粗砂、輝石/良好/	L.R礎文を文地とし、斜位、弧状の沈綫を施す。瓶之内1式。
第98回-66 PL.69-20	66	礎文土器 深鉢	8区1号上坑 破片	高 1.9	粗砂/ふつう/	弧状の沈綫を施し、L.R礎文を充填施文する。瓶之内1式。
第98回-67 PL.69-21	67	礎文土器 深鉢	8区IV層 底部破片	底 5.2	粗砂/良好/	残存部は無文。後期前葉。
第98回-68 PL.69-22	68	上製品	5区2号上坑 破片	高 1.9	粗砂/ふつう/	貝輪状土製品。外側が内傾する。断面レンズ状だが、下端がやや平坦になる。後期前葉。
第98回-69 PL.69-23	69	土製品	4区7号溝穴建物 壠 1/2	径 厚 2.5 0.5	粗砂/良好/	円形の板状の土製品。断面レンズ状。後期前葉。

写 真 図 版



鹿田山中腹から南の発掘調査地を望む



1 遺跡遠景 南から



2 遺跡遠景 南東から



3 1区 南から



4 1区 北から



5 1区土層断面Aライン(基本土層) 西から



6 1区土層断面Bライン(2トレンチ北壁) 南から



7 1区土層断面Cライン(2トレンチ東壁) 西から



8 1区土層断面Dライン(1トレンチ北壁) 南から



1 1号区土層断面Eライン(1トレンチ東壁) 西から



2 2号溝 東から



3 2号溝断面Aライン 西から



4 2号溝断面Bライン 東から



5 1号区中部の土壤・ビット 西から



1 47・48号土坑 西から



2 55号土坑・122号ピット断面 西から



3 56・57号土坑 東から



4 57号土坑断面 西から



5 58号土坑断面 南から



6 59・60号土坑 南から



7 59・60号土坑断面 南から



8 61号土坑 西から



9 62号土坑 南から



10 62号土坑焼土・炭化物出土状況 南から



11 62号土坑断面 南から



12 2号溝周辺のピット 東から



1 1号柱穴列(119~121号ピット) 北東から



2 1号柱穴列P1(119号ピット)断面 南から



3 1号柱穴列P2(120号ピット)断面 北から



4 1号柱穴列P3(121号ピット)断面 北から

5 2号柱穴列(123・127・128号ピット)
126・129号ピット 南から

6 2号柱穴列P1(123号ピット)断面 南から

7 2号柱穴列P2(127号ピット)・126号ピット
断面 東から

8 2号柱穴列P3(128号ピット)断面 南から



9 3号柱穴列(132・133号ピット) 西から



10 3号柱穴列P1(133号ピット)断面 南から



11 3号柱穴列P2(132号ピット)断面 南から



12 4号柱穴列(134~136号ピット) 東から



13 4号柱穴列P1(134号ピット)断面 南から



14 4号柱穴列P2(135号ピット)断面 南から



15 4号柱穴列P3(136号ピット)断面 南から



1 2区 南から



2 2区 北から



3 2区土層断面Aライン(16トレンチ北壁) 南から



4 2区土層断面Bライン(16トレンチ東壁) 西から



5 2区土層断面Cライン(17トレンチ北壁) 南から



6 2区土層断面Dライン(17トレンチ東壁) 西から



7 195号土坑断面 東から



8 196・197号土坑断面 南から



9 198号土坑断面 東から



1 199号土坑断面 南から



2 200・201号土坑断面 東から



3 202~204号土坑・305号ピット断面
南から



4 205~207号土坑断面 東から



5 208号土坑断面 東から



6 209・210号土坑断面 南から



7 211号土坑断面 南から



8 212・231号土坑 東から



9 213号土坑断面 東から



10 214号土坑断面 東から



11 215号土坑断面 東から



12 216号土坑 東から



13 217・218土坑／322号ピット 南から



14 219号土坑断面 西から



15 220号土坑断面 南から



1 221・222号土坑断面 南から



2 225号土坑 西から



3 226号土坑 西から



4 228号土坑断面 南から



5 229号土坑断面 東から



6 232号土坑断面 西から



7 233号土坑断面 東から



8 234号土坑断面 東から



9 235号土坑断面 南から



10 237号土坑断面 南から



11 1号井戸・9号溝 東から



12 1号井戸 南から



13 1号井戸石組み 南から



14 9号溝 東から



1 1・2号柵／1号掘立柱建物 南から



2 1号柵P2(299号ビット) 南から



3 1号柵P3(292号ビット) 南から



4 1号柵P4(285号ビット) 南から



5 2号柵P1(293号ビット) 南から



6 2号柵P2(296号ビット) 西から



7 2号柵P2(296号ビット)下部 西から



8 2号柵P4(268号ビット) 西から



9 1号掘立柱建物P1(280号ビット) 南から



10 1号掘立柱建物P3(271号ビット) 西から



11 1号掘立柱建物P4(272号ビット) 南から



12 1号掘立柱建物P5(288号ビット) 東から



1 8号竪穴建物床面 北西から



2 8号竪穴建物断面Aライン 南西から



3 8号竪穴建物断面Bライン 北西から



4 8号竪穴建物掘方 北西から



5 8号竪穴建物竈 北西から



6 8号竪穴建物竈断面Aライン 南西から



7 8号竪穴建物竈断面Bライン 北西から



8 8号竪穴建物竈掘方 北西から



1 8号竪穴建物遺物出土状況 北西から



2 8号竪穴建物遺物出土状況 北東から



3 3区 南から



4 3区土層断面Aライン(3トレンチ北壁) 南から



5 3区土層断面Bライン(3トレンチ東壁) 西から



6 3区土層断面Cライン(4トレンチ南壁) 北から



7 3区土層断面Dライン(4トレンチ西壁) 東から



1 3区北端部の土坑・ピット 南から



2 67号土坑断面 南から



3 68号土坑断面 南から



4 69号土坑断面 南から



5 70号土坑断面 南から



6 71号土坑断面 東から



7 72号土坑断面 東から



8 73号土坑断面 東から



9 74号土坑断面 南東から



10 75号土坑断面 東から



II 76号土坑断面 東から



12 77号土坑断面 西から



1 78号土坑断面 南から



2 79号土坑断面 南から



3 80号土坑断面 東から



4 81号土坑断面 東から



5 82・83号土坑断面 南から



6 84号土坑／167・169号ピット 南から



7 85号土坑・170号ピット 北東から



8 86号土坑・168号ピット 南から



9 88・89号土坑断面 南東から



10 90号土坑断面 南から



11 91号土坑断面 南から



12 92号土坑断面 南から



13 93号土坑断面 北東から



14 94～96号土坑 南から



1 6号溝北の土坑・ピット 南から



2 94~96号土坑断面 南から



3 97号土坑断面 東から



4 98・99号土抗断面 南から



5 火葬跡(87号土坑)上面 西から



6 火葬跡(87号土坑)上面 南から



7 火葬跡(87号土坑)上面断面 西から



8 火葬跡(87号土坑)下面断面 北東から



9 火葬跡(87号土坑)炭化物・骨出土状況 西から



10 火葬跡(87号土坑)炭化物・骨出土状況
近接 西から



11 火葬跡(87号土坑)骨片集中部下部 南から



12 火葬跡(87号土坑)掘方 西から



1 100～104号土坑断面 南西から



2 105号土坑断面 北東から



3 106号土坑断面 南から



4 3区南端部の土坑・ピット 南から



5 107号土坑断面 西から



6 108号土坑断面 西から



7 109号土坑断面 南から



8 110号土坑断面 北から



9 110号土坑断面 南から



10 111号土坑断面 南東から

11 112号土坑断面 南から



1 113号土坑断面 南から



2 114号土坑断面 南から



3 115号土坑断面 南から



4 6号溝 南から



5 6号溝 碓出土状況 西から



6 6号溝断面Cライン 西から



7 6号溝断面Bライン 西から



8 1号堅穴建物 北から



1 1号竪穴建物断面 西から



2 1号竪穴建物遺物出土状況 北から



3 1号竪穴建物掘方 東から



4 2号竪穴建物 南西から



5 2号竪穴建物断面A～Cライン 南西から



6 2号竪穴建物断面Dライン 南東から



7 2号竪穴建物遺物出土状況 南西から



8 2号竪穴建物遺物出土状況 粘土部分 南西から



1 2号竪穴建物竈全景 南西から



2 2号竪穴建物竈断面Aライン南西部 南東から



3 2号竪穴建物竈断面Aライン北東部 南東から



4 2号竪穴建物竈断面Bライン 南西から



5 2号竪穴建物竈掘方 Aライン 南東から



6 2号竪穴建物貯藏穴 東から



7 2号竪穴建物貯藏穴断面 東から



8 2号竪穴建物掘方 南西から



1 2号竪穴建物P1断面 南から



2 2号竪穴建物P2断面 南から



3 2号竪穴建物土坑1断面 南西から



4 3号竪穴建物最終床面 西から



5 3号竪穴建物第2床面 西から



6 3号竪穴建物掘方 西から



7 3号竪穴建物断面A ライン下部(貼床)南端 東から



8 3号竪穴建物断面A ライン下部(貼床)中央 東から



9 3号竪穴建物断面B ライン上部 南から



1 3号竪穴建物断面Bライン下部(貼床) 南から



2 3号竪穴建物北竈 南から



3 3号竪穴建物北竈断面 東から



4 3号竪穴建物東竈 西から



5 3号竪穴建物東竈断面Aライン東部 南から



6 3号竪穴建物東竈断面Aライン西部 西から



7 3号竪穴建物東竈断面Bライン 西から



8 3号竪穴建物貯藏穴 南東から



1 4区北発掘区 北から



2 4区北発掘区南部 南西から



3 4区土層断面Aライン(15トレンチ北壁) 南から



4 4区土層断面Bライン(15トレンチ東壁) 西から



5 4区土層断面Cライン(16トレンチ北壁) 南から



6 4区土層断面Dライン(16トレンチ東壁) 西から



7 191～193号土坑・263号ピット 東から



8 191・192号土坑断面 東から



1 193号土坑断面 東から



2 194号土坑 北から



3 194号土坑断面 東から



4 7号竪穴建物 西から



5 7号竪穴建物断面Aライン 南から



6 7号竪穴建物断面Bライン 西から



7 7号竪穴建物遺物出土状況 西から



8 7号竪穴建物掘方 西から



9 7号竪穴建物龕 西から



1 182号土坑 東から



2 182号土坑断面 東から



3 183号土坑断面 東から



4 184号土坑 東から



5 184号土坑断面 南から



6 185号土坑 東から



7 185号土坑断面 東から



8 186号土坑 南から



9 186号土坑断面 東から



10 187号土坑 南から



11 188~190号土坑・260号ピット 南西から



12 188号土坑断面 南西から



13 189・190号土坑断面 南東から



14 260号ピット断面 南から



1 6号竖穴建物 西から



2 6号竖穴建物断面Aライン 南から



3 6号竖穴建物断面Bライン 東から



4 6号竖穴建物扉 西から



5 6号竖穴建物扉断面Aライン 南から



6 6号竖穴建物扉断面Bライン 西から



7 6号竖穴建物扉西方 西から



8 5区 南から



1 5区 北から



2 1号溝 北東から



3 1号溝断面Aライン 西から



4 1号溝断面Bライン 東から



5 1号溝断面Cライン・17号土坑断面 西から



6 1号溝断面Dライン・58号ピット断面 西から



7 1号土坑・8号ピット 東から



8 1号土坑・8号ピット断面 南から



9 2・3号土坑 南から



1 2号土坑東半断面 南から



2 2号土坑断面西端部 南から



3 4号土坑 西から



4 4号土坑断面 西から



5 5号土坑 西から



6 5号土坑断面 南から



7 6号土坑 北から



8 6号土坑断面 南から



9 7号土坑 西から



10 7号土坑断面 南から



11 8号土坑 東から



12 8号土坑断面 南から



13 9・10号土坑周辺 南から



14 9号土坑断面 東から



15 10号土坑断面 東から



1 11号土坑 北西から



2 12号土坑・42号ピット 南東から



3 12号土坑 碓出土状況 南東から



4 12号土坑・42号ピット断面 東から



5 13号土坑 東から



6 13号土坑断面 東から



7 14号土坑 西から



8 15・16号土坑周辺 西から



9 15号土坑 西から



10 16号土坑断面 西から



11 17号土坑・57号ピット 北東から



12 18号土坑 南から



13 18号土坑断面 南から



14 19号土坑断面 南東から



15 20～22号土坑 西から



1 20・21号土坑断面 北から



2 22号土坑断面 南から



3 23・24号土坑 南から



4 23・24号土坑断面 東から



5 25~28号土坑周辺 南西から



6 25号土坑断面 南東から



7 26号土坑断面 南東から



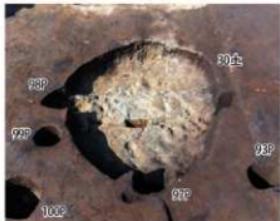
8 29号土坑 南から



9 29号土坑断面 南から



10 30~45号土坑周辺 北西から



1 30号土坑と周辺のピット 南から



2 30号土坑断面 南から



3 31~36号土坑断面 西から



4 37・38号土坑断面 西から



5 40~42号土坑断面 西から



6 43号土坑 東から



7 44号土坑断面 東から



8 45号土坑断面 西から



9 1号壁穴状遺構 東から



1 1号竖穴状遺構遺物出土状況 東から



2 1号竖穴状遺構断面 東から



3 1号竖穴状遺構遺物出土状況 南西から



4 1号竖穴状遺構遺物出土状況(鉄漬) 南から



5 1号竖穴状遺構遺物出土状況(砾・焼土) 北から



6 1号竖穴状遺構底部の焼土 東から



7 1号竖穴状遺構 P 1 + 2 南から



8 1号竖穴状遺構 P 1 南から



9 1号竖穴状遺構 P 2 南から



1 6区 南から



2 6区 北から



3 6区土層断面Aライン(7トレンチ北壁) 南から



4 6区土層断面Bライン(7トレンチ東壁) 西から



5 6区土層断面Cライン(6トレンチ北壁) 南から



6 6区土層断面Dライン(6トレンチ東壁) 西から



7 6区土層断面Eライン(5トレンチ南壁) 北から



8 6区土層断面Fライン(5トレンチ西壁) 東から



1 116号土坑断面 南から



2 117号土坑 西から



3 118号土坑 西から



4 118号土坑断面Aライン 西から



5 119号土坑 北から



6 120号土坑 南から



7 121号土坑 南から



8 121号土坑断面 南から



9 122号土坑 南から



10 122号土坑断面 南から



11 123号土坑 南から



12 123号土坑断面 南から



13 124・125号土坑断面 西から



14 126号土坑 北から



15 126号土坑断面 南から



1 127号土坑 西から



2 128号土坑 東から



3 128号土坑断面 東から



4 129号土坑 南から



5 129号土坑断面 東から



6 130号土坑 東から



7 130号土坑断面 西から



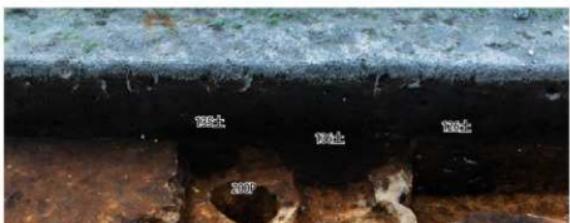
8 131号土坑 東から



9 132号土坑・7号溝断面 西から



10 133・134号土坑 南から





1 135・136号土坑断面 東から



2 137号土坑 南から



3 138号土坑 西から



4 7号溝東部 西から



5 7号溝西部 東から



6 7区 南から



7 7区 北から



8 7区土層断面Aライン(14トレンチ北壁) 南から



9 7区土層断面Bライン(14トレンチ東壁) 西から



1 7区土層断面Cライン(13トレンチ北壁) 南から



2 7区土層断面Dライン(13トレンチ東壁) 西から



3 7区土層断面Eライン(14トレンチ北壁) 南から



4 7区土層断面Fライン(14トレンチ東壁) 西から



5 7区239・240号土坑周辺 南から



6 7区241～243号土坑周辺 北から



7 239号土坑断面 北から



8 240号土坑断面 北西から



9 241号土坑断面 南西から



1 242号土坑断面 南西から



2 243号土坑断面 南西から



3 244号土坑断面 南から





1 252号土坑断面 南から



2 253・254号土坑 東から



3 253・254号土坑断面 東から



4 8区北発掘区 南から



5 8区北発掘区 北から



6 8区北土層断面Aライン(11トレンチ北壁) 南から



7 8区北土層断面Bライン(10トレンチ北壁) 南から



8 8区北土層断面Cライン(10トレンチ東壁) 西から



1 140号土坑断面 南から



2 141号土坑 南から



3 141号土坑断面 南から



4 142号土坑 東から



5 142号土坑断面 南から



6 143・154号土坑 南から



7 143・154号土坑断面 南から



8 144～146・148号土坑 南西から



9 144号土坑断面 南から



10 145・146号土坑断面 南東から



11 147号土坑断面 南から



12 148号土坑断面 南から



13 147・149号土坑／205号ピット 南から



14 149号土坑断面 南から



15 150号土坑 西から



1 151号土坑 東から



2 152号土坑 南から



3 152号土坑断面 南から



4 153号土坑 東から



5 153号土坑断面 東から



6 154号土坑 西から



7 154号土坑覆土の焼土・炭化物 西から



8 155号土坑・243号ピット断面 南から



9 156号土坑断面 南から



10 152・157～159号土坑 東から



11 157～159号土坑断面 東から



12 4号竪穴建物 西から



13 4号竪穴建物掘方 西から



1 4号竪穴建物断面Aライン 南から



2 4号竪穴建物断面Bライン 東から



3 4号竪穴建物断面Aライン西部 南から



4 4号竪穴建物断面Aライン東部 南から



5 4号竪穴建物断面Bライン北部 東から



6 4号竪穴建物断面Bライン中部 東から



7 4号竪穴建物断面Bライン南部 東から



8 4号竪穴建物遺物出土状況 西から



1 4号竪穴建物遺物出土状況 部分 西から



2 4号竪穴建物遺物出土状況 №7 南から



3 4号竪穴建物遺物出土状況 西から



4 4号竪穴建物遺物出土状況 西から



5 4号竪穴建物遺物出土状況 西から



6 4号竪穴建物遺物出土状況 南から



7 4号竪穴建物遺物出土状況 西から



8 4号竪穴建物遺物出土状況 西から



1 4号堅穴建物P1断面 北東から



2 4号堅穴建物P2断面 南東から



3 4号堅穴建物堅穴断面Fライン 南から



4 4号堅穴建物堅穴溝断面Dライン 西から



5 4号堅穴建物堅穴溝断面Iライン 西から



6 4号堅穴建物掘方断面Aライン 東から



7 5号堅穴建物 東から



8 5号堅穴建物掘方 南から



9 5号堅穴建物断面Aライン 東から



10 5号堅穴建物断面Bライン 南から



1 5号竪穴建物 炉上面の炭化物・灰
南から



2 5号竪穴建物 炉上面の炭化物・灰断面
南東から



3 5号竪穴建物 炉底面の灰・焼土断面
南東から



4 5号竪穴建物P1 南から



5 5号竪穴建物P1断面 南から



6 5号竪穴建物P2 南から



7 5号竪穴建物P2断面 南から



8 5号竪穴建物P3 南から



9 5号竪穴建物P3断面 南から



10 5号竪穴建物P4 南から



11 5号竪穴建物P4断面 南から



12 5号竪穴建物P5 南から



13 5号竪穴建物P5断面 南から



14 5号竪穴建物P6 南から



15 5号竪穴建物P6断面 南から



1 8区南発掘区 南から



2 8区南発掘区 北から



3 8区南土層断面Dライン(21トレンチ北壁) 南から



4 8区南土層断面Eライン(21トレンチ東壁) 西から



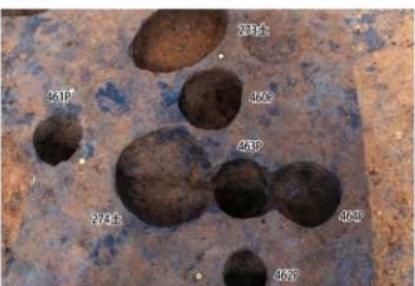
5 8区南土層断面Fライン(20トレンチ北壁) 南から



6 8区南土層断面Gライン(20トレンチ東壁) 西から



7 8区南土層断面Hライン(基本土層採取地点) 北から



8 274号土坑周辺 東から



1 273号土坑 南から



2 273号土坑断面 南西から



3 274号土坑断面 東から



4 275号土坑 南から



5 275号土坑断面 南から



6 276号土坑 南から



7 276号土坑断面 南から



8 277号土坑・2号掘立柱跡物P8 南から



9 277号土坑断面 南から



10 278号土坑 南東から



11 278号土坑断面 南から



12 279・280号土坑/465号ピット 南東から



13 279・280号土坑/465号ピット断面 東から



14 281号土坑・2号掘立柱建物P2(477号ピット)断面 南西から



15 282号土坑周辺 南から



1 282号土坑・2号掘立柱建物P 7(487
号ピット)断面 南から



2 283号土坑断面 南から



3 284号土坑周辺 北から



4 285号土坑 南から



5 285号土坑断面 南から



6 286号土坑周辺 南から



7 286号土坑断面 南から



8 287号土坑 南から



9 287号土坑断面 南から



10 288号土坑 南西から



11 288号土坑断面 南東から



12 289号土坑 南から



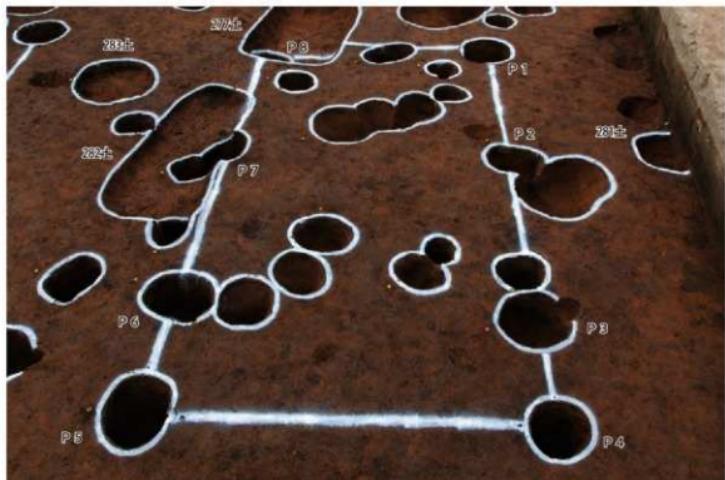
13 289号土坑断面 南から



14 290号土坑 西から



15 290号土坑断面 南から



1 2号掘立柱建物 南から



2 2号掘立柱建物P1(469号ピット)断面 南から



3 2号掘立柱建物P2(477号ピット)断面 西から



4 2号掘立柱建物 P3(523号ピット)断面 東から



5 2号掘立柱建物P 4(503号ピット)断面 南から



6 2号掘立柱建物P5(502号ピット)断面 南から



7 2号掘立柱建物 P 6(484号ピット)断面 南から



8 2号掘立柱建物P7(487号ピット)断面 南から



9 2号掘立柱建物 P 8(277号土坑内)
南から



10 5号柵P1(489号ピット)断面 南から



1 5号柵 南から



2 5号柵 P 2 (494号ビット)断面 南から



3 5号柵 P 3 (497号ビット)・498号ビット断面 南から



4 9号竪穴建物 西から



5 9号竪穴建物断面Aライン 東から



6 9号竪穴建物 南から



7 9号竪穴建物縦 西から



1 9号竪穴建物遺物出土状況 西から



2 9号竪穴建物竪断面Bライン 南から



3 9号竪穴建物竪断面Cライン 西から



4 9号竪穴建物竪断面 方 南から



5 9区北発掘区 南から



6 9区北発掘区 北から



7 9区土層断面Aライン(19トレンチ北壁) 南から



8 9区土層断面Bライン(19トレンチ東壁) 西から



1 9区土層断面Cライン(18トレンチ北壁) 南から



2 9区土層断面Dライン(18トレンチ東壁) 西から



3 10号溝 東から



4 10号溝断面 東から



5 255号土坑 南から



6 255号土坑断面 東から



7 256・257号土坑 東から



8 256号土坑断面 東から



9 257号土坑断面 東から



10 258・259号土坑 東から



11 258・259号土坑断面 東から



1 260号土坑 東から



2 260号土坑断面 南から



3 261号土坑 南から



4 261号土坑断面 南から



5 262号土坑周辺 南から



6 262号土坑断面 南から



7 263号土坑 南から



8 263号土坑断面 南から



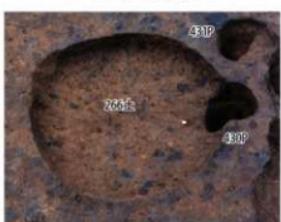
9 264号土坑 東から



10 265号土坑 南東から



11 265号土坑断面 南から



12 266号土坑周辺 南から



13 266号土坑断面 南から



14 267号土坑 南から



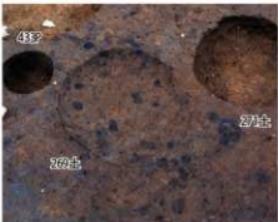
15 267号土坑断面 南から



1 268号土坑 南東から



2 268号土坑断面 南から



3 269・271号土坑／433号ピット 南から



4 269号土坑断面 南から



5 270号土坑・440号ピット 南西から



6 270号土坑・440号ピット断面 南から



7 271号土坑 南から



8 271号土坑断面 南から



9 272号土坑周辺 西から



10 272号土坑断面 西から



11 272号土坑・439号ピット断面 南から



12 291号土坑 東から



13 3・4号柵／10号溝 南から



14 3・4号柵／10号溝 東から



1 9区南発掘区 南から



2 9区土層断面Eライン(9トレンチ北壁) 南から



3 9区土層断面Fライン(9トレンチ東壁) 西から



4 9区土層断面Gライン(8トレンチ北壁) 南から



5 9区土層断面Hライン(8トレンチ東壁) 西から





1 161号土坑断面 西から



2 162・163号土坑 西から



3 162号土坑断面 西から



4 163号土坑断面 西から



5 164・165号土坑 南から



6 164号土坑断面 東から



7 165号土坑断面 南から



8 166号土坑 西から



9 167号土坑 西から



10 168号土坑 東から



11 169・174号土坑周辺 東から



12 169号土坑断面 南から



13 170・171号土坑 西から



14 170・171号土坑断面 西から



15 172・173号土坑 西から



1 172・173号土坑断面 南西から



2 174号土坑 南から



3 174号土坑断面 南から



4 175号土坑 東から



5 175号土坑断面 東から



6 176号土坑 南から



7 176号土坑断面 東から



8 178号土坑 南から



9 178号土坑断面 東から



10 10区 北から



11 10区北部 北東から



12 10区南部 北から



1 3・4号溝／65・66号土坑 西から



2 3・4号溝／65・66号土坑 北東から



3 3・4号溝断面 西から



4 3号溝断面Aライン 西から



5 3号溝断面Bライン 東から



6 3号溝縄出土状況 南西から



7 3号溝縄出土状況(東部) 南東から



8 4号溝断面Aライン 西から



9 4号溝断面Bライン 東から



10 5号溝 東から



11 5号溝断面 東から



1 63号土坑 南西から



2 63号土坑断面 北東から



3 64号土坑 東から



4 64号土坑断面 南から



5 65号土坑 北東から



6 65号土坑断面 北から



7 66号土坑 南から



8 66号土坑断面 東から



9 8号堅穴建物出土土器一括

2区



1 : 1号井口-1



2 : 196号土坑-1



3 : 208号土坑-1



4 : 216号土坑-1



5 : 226号土坑-1



6 : 275号土坑-1

8号竖穴建物 I



7 : 8型-1



8 : 8型-2



9 : 8型-5



10 : 8型-6



11 : 8型-7



12 : 8型-8



13 : 8型-9

PL.58

8号竖穴建物2



1 : 8型-10



2 : 8型-11



3 : 8型-12



4 : 8型-13



5 : 8型-14



6 : 8型-15



7 : 8型-16



8 : 8型-17



9 : 8型-18



10 : 8型-19



11 : 8型-20



12 : 8型-21

8号竖穴建物3



1 : 8型-23



2 : 8型-24



3 : 8型-25



4 : 8型-26



5 : 8型-27



6 : 8型-28



7 : 8型-29



8 : 8型-30



10 : 8型-32



11 : 8型-33



9 : 8型-31



12 : 8型-34



PL.60

8号竪穴建物4



1 : 8型-36



3 : 8型-38



2 : 8型-37



4 : 8型-39



5 : 8型-40



6 : 8型-40部分



3区



7 : 6号溝-3



9 : 100号土坑-1



8 : 94号土坑-1



10 : 110号土坑-1



11 : 156号ビット-2

1号竖穴建物



1:1型-2



2:1型-3

2号竖穴建物



3:2型-4



4:2型-5



5:2型-9



6:2型-10



7:2型-11



8:2型-12



9:2型-14



10:2型-15



11:2型-17



12:2型-18

PL.62

2号竪穴建物



3号竪穴建物



4区



6号竪穴建物





7号竖穴建物



5区



PL.64

1号竖穴状遗构



1 : 1 整穴状 - 1



2 : 1 整穴状 - 2



3 : 1 整穴状 - 3



4 : 1 整穴状 - 4



5 : 1 整穴状 - 5



6 : 1 整穴状 - 6



7 : 1 整穴状 - 7



8 : 1 整穴状遗构出土铁滓(一部抽出)



9 : 1 整穴状 - 8



10 : 1 整穴状 - 9



11 : 1 整穴状 - 10



12 : 1 整穴状 - 11



13 : 1 整穴状 - 12

6区



1 : 121号土坑 - 1



2 : 130号土坑 - 1

7区



3 : 239号土坑 - 1



4 : 254号土坑 - 1

8区



5 : 146号土坑 - 1



6 : 219号ピット - 1

4号竪穴建物



7 : 4型 - 1



7 : 4型 - 1



7 : 4型 - 1



11 : 4型 - 5



8 : 4型 - 2



9 : 4型 - 3



10 : 4型 - 4



12 : 4型 - 6



13 : 4型 - 7

PL.66

4号竪穴建物2



1 : 4 竪-8

9号竪穴建物



2 : 9 竪-1

9区



3 : 167号土坑-1



4 : 170号土坑-1



5 : 430号ビット-1

10区



7 : 3 溝-2



6 : 3 溝-1

遺構外出土遺物 1



8 : 遺構外-1(2区4面)



10 : 遺構外-3(7区確認面)



9 : 遺構外-2(2区試掘トレンチ)



11 : 遺構外-4(9区北4面)



12 : 遺構外-5(1区)



13 : 遺構外-6(2区)



14 : 遺構外-7(3区)

遗构外出土遺物 2



1 : 遺構外-8(3区)

3 : 遺構外-13
(4区4層)4 : 遺構外-14
(8区4層)

5 : 遺構外-15(5区)



6 : 遺構外-16(8区)



7 : 遺構外-17(9区北)



8 : 遺構外-18(5区)



9 : 遺構外-19(7区)



10 : 遺構外-20(2区)



11 : 遺構外-21(2区)



12 : 遺構外-22(7区)

PL.68

遺構外出土遺物 3



1 : 遺構外-23(5 区)



2 : 遺構外-24(5 区)



3 : 遺構外-25(4 区)



4 : 遺構外-26(5 区)



5 : 遺構外-27(3 区)



6 : 遺構外-28(8 区)



7 : 遺構外-29(5 区)



8 : 遺構外-30(8 区)



9 : 遺構外-31(8 区)



10 : 遺構外-32(7 区)



11 : 遺構外-33(7 区)



13 : 遺構外-35(8 区)



14 : 遺構外-36(8 区)



15 : 遺構外-37(8 区)



12 : 遺構外-34(9 区)



16 : 遺構外-38(7 区)



17 : 遺構外-39(8 区)



18 : 遺構外-40(9 区)



19 : 遺構外-41(8 区)



20 : 遺構外-42(8 区)



21 : 遺構外-43(8 区)



22 : 遺構外-44(7 区)



23 : 遺構外-45(5 区)



24 : 遺構外-46(8 区)

遺構外出土遺物 4



1 : 遺構外-47(8区)



2 : 遺構外-48(8区)



3 : 遺構外-49(8区)



4 : 遺構外-50(5区)



5 : 遺構外-51(8区)



6 : 遺構外-52(8区)



7 : 遺構外-53(8区)



8 : 遺構外-54(8区)



9 : 遺構外-55(8区)



14 : 遺構外-60(8区)



15 : 遺構外-61(8区)



16 : 遺構外-62(8区)



17 : 遺構外-63(8区)



18 : 遺構外-64(8区)



19 : 遺構外-65(5区)



20 : 遺構外-66(8区)



21 : 遺構外-67(8区)



22 : 遺構外-68(5区)



23 : 遺構外-69(4区)

報告書抄録

ふりがな	こにたいせき
書名	小仁田遺跡
副書名	(主)大間々世良田線社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
卷次	
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	736
編著者名	洞口正史・神谷佳明
編集機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行期間	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20240222
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
T E L	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	こにたいせき
遺跡名	小仁田遺跡
遺跡所在地ふりがな	ぐんまけんみどりしかさかけちょうしか
遺跡所在地	群馬県みどり市笠懸町庭
市町村コード	10212
遺跡番号	K0062
北緯(世界測地系)	36.23.20
東経(世界測地系)	139.16.08
調査期間	20220401~20220731
調査面積	4020.54
調査原因	道路建設
種別	集落/その他の生産遺跡/散布地/その他
主な時代	縄文/弥生・奈良・平安(8~9世紀)/中近世
遺跡概要	集落・弥生・堅穴建物1/古代・堅穴建物8+土師器+須恵器+石製品+金属器+鉄滓/中近世・掘立柱建物2+柵・柱穴列9+溝11+井戸1+土坑296+ピット528+陶磁器+金属器+銭/生産遺跡・平安時代・堅穴状遺構1+土師器+須恵器+鉄滓/散布地・縄文土器+石器/その他-中世-火葬跡1
特記事項	8号堅穴建物から、刻書を付した石製鋤車および、8世紀第3四半期に比定される須恵器環がまとまって出土した。
要約	比較的発掘調査遺跡の少ない、大間々扁状地戴塚面扇頂部西端近くの沖積地に面す。縄文時代の遺構は認められないが、完形の尖頭器、石匙や、早期、前期及び後期初頭から前葉の土器が出土した。5号堅穴建物は弥生時代後期の所産と思われ、沖積地開発の起点が弥生時代にさかのぼることが示された。古墳時代の遺構・遺物は認められず、8世紀前半から9世紀後半にかけての集落が遺跡の主体をなす。近接する笠懸古窯跡群は、上野国分寺の建立に直結した性格を持つ瓦陶兼業窯とされる。8世紀第3四半期の須恵器環が多く出土し、刻書鋤車を持つ8号堅穴建物や、同時期の精鍊遺構とみられる1号堅穴状遺構の存在から見て、本遺跡も笠懸窯と関連した集落として形成されたものであろう。中・近世では掘立柱建物、柵、柱穴列や火葬跡のほか、溝、土坑・ピットがあって、少数ながら渡来銭の出土もみられた。

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第736集

小仁田遺跡

(主)大間々世良田歴社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

令和6(2024)年2月20日 印刷

令和6(2024)年2月22日 発行

編集・発行/公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gummibun.org/>

印刷/上武印刷株式会社

